

池田町子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査報告書

令和6年3月
池田町

池田町子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査報告書

も く じ

調査の概要 / 1

- 1 調査の目的 2
- 2 調査方法、回収結果等 2
- 3 集計・分析にあたって 3

第 1 部 保護者調査（就学前児童・小学生） / 5

第 1 章 就学前児童保護者調査 / 6

- 1 子どもと家族の状況 6
 - (1) 小学校区 6
 - (2) 子どもの年齢 6
 - (3) 主に子育てをしている人 6
 - (4) 調査票の回答者 7
 - (5) 同居家族 7
 - (6) きょうだいの人数 7
- 2 子どもの育ちをめぐる環境 8
 - (1) 子どもをみてくれる人はいるか 8
 - (2) 相談相手 9
- 3 保護者の就労状況等 11
 - (1) 母親の就労状況 11
 - (2) 父親の就労状況 14
 - (3) 母親のフルタイムへの転換希望 15
 - (4) 働いていない母親の就労意向 16
- 4 平日の定期的な教育・保育事業 18
 - (1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無 18
 - (2) 利用している定期的な教育・保育事業の種類 19
 - (3) 定期的な教育・保育事業の利用状況 20
 - (4) 定期的な教育・保育事業の利用希望日数・時間 23
 - (5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由 26
 - (6) 利用したい定期的な教育・保育事業 27
 - (7) 教育・保育事業を利用したい場所 28
- 5 地域子育て支援事業 29
 - (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況 29
 - (2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向 30
 - (3) 子育て支援事業等の認知度・利用経験・利用意向 32
- 6 休日の定期的な教育・保育事業の利用意向 38
 - (1) 土曜日 38
 - (2) 日曜日・祝日 39
 - (3) 土曜日または日曜日・祝日に月に 1～2 回利用したい理由 40
 - (4) 長期休暇期間中の幼稚園または認定こども園（幼稚園部）の利用 41
 - (5) 長期休暇期間中に週に数日利用したい理由 42
- 7 子どもが病気の時の対応 43
 - (1) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無 43
 - (2) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法 44
 - (3) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の施設の利用意向 45
- 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり 46
 - (1) 不定期に利用している教育・保育事業 46
 - (2) 不定期の教育・保育事業の利用意向 47
 - (3) 宿泊を伴う一時預かり 49
- 9 育児休業制度 50
 - (1) 育児休業の取得 50
 - (2) 育児休業を取得しない理由 51
 - (3) 育児休業取得後の職場復帰（母親） 52
 - (4) 育児休業取得期間と取得希望期間（母親） 53
 - (5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由（母親） 54
 - (6) 仕事と子育ての両立 55
- 10 子育て支援事業の評価等 56
 - (1) 子育ての環境や支援への満足度 56
 - (2) コミュニティママ子育てサポートの認知度と利用意向 57
 - (3) 改善してほしいサービス・よかったサービス 59

11	子育ての楽しさ・つらさ	66	(3)	新型コロナウイルス感染症の影響	92
	(1) 理想の子ども数と実際の（現実を考える）子ども数	66	14	意見・要望等	94
	(2) 子育ては楽しいか	67		(1) 子育て支援全般	94
	(3) 子育てに自信が持てなくなることがあるか	68		(2) 保育園・幼稚園・認定こども園	96
	(4) 父親は育児をしているか	69		(3) 子育て支援センター	96
	(5) 産後うつ	70		(4) 病児・病後児保育等	96
	(6) 子どもへの暴力	71		(5) 保健・医療	96
	(7) 子育て支援を感じたことがあるか	73		(6) 児童館・図書館	97
	(8) 子育てに関する知りたい情報	78		(7) ひとり親家庭への支援	97
12	新しい事業、重点施策等	79		(8) 産後ケア、多胎児家庭・多子家庭への支援	97
	(1) 子ども食堂の認知度	79		(9) 障がいのある子ども等への支援	98
	(2) 子ども食堂の参加意向	80		(10) 公園などの遊び場	98
	(3) 子育て世帯訪問支援事業	81		(11) 教育・学校	99
	(4) 重点的に取り組んでほしい施策	82		(12) 子育て環境・安全	100
13	生活の状況等	89		(13) 相談・情報提供	100
	(1) 暮らしの状況	89		(14) 経済的支援	100
	(2) 幸福感	90		(15) 少子化対策	101
				(16) 計画・アンケートについて	102

第2章 小学生保護者調査 / 103

1	子どもと家族の状況	103	(3)	放課後児童クラブを利用しない主な理由	126
	(1) 小学校区	103	(4)	池田っ子チャレンジ教室	128
	(2) 子どもの学年	103	6	子育て支援事業等の利用状況	132
	(3) 調査票の回答者	103		(1) 子育て支援事業等の認知度	132
	(4) 主に子育てをしている人	104		(2) 子育て支援事業等の利用経験	133
	(5) 同居家族	105		(3) 子育て支援事業等の利用意向	134
	(6) きょうだいの人数	105	7	子どもが病気の時の対応	135
2	子どもの育ちをめぐる環境	106		(1) 子どもが病気等で学校を休まなければならなかったことの有無	135
	(1) 子どもをみてる人はいるか	106		(2) 子どもが病気等で学校を休んだ場合の対処方法	136
	(2) 相談相手	107		(3) 子どもが病気等で学校を休んだ場合の施設の利用意向	137
3	保護者の就労状況等	109	8	不定期の事業や宿泊を伴う一時預かり	138
	(1) 母親の就労状況	109		(1) 不定期に利用している事業	138
	(2) 父親の就労状況	112		(2) 不定期の預かり等の事業の利用意向	138
	(3) 母親のフルタイムへの転換希望	113		(3) 宿泊を伴う一時預かり	140
	(4) 働いていない母親の就労意向	114	9	育児休業制度	141
4	放課後等の子どもの居場所	116		(1) 育児休業の取得	141
	(1) 平日の放課後の過ごし方	116		(2) 育児休業を取得しない理由	142
	(2) 土曜・休日の過ごし方	118		(3) 育児休業取得後の職場復帰（母親）	144
5	放課後児童クラブ・池田っ子チャレンジ教室	120			
	(1) 放課後児童クラブの利用状況	120			
	(2) 放課後児童クラブの利用希望日数・時間等	121			

(4) 育児休業取得期間と取得希望期間（母親）	144	(3) 新型コロナウイルス感染症の影響	176
(5) 仕事と子育ての両立	145	14 意見・要望等	178
10 子育て支援事業の評価等	146	(1) 子育て支援全般	178
(1) 子育ての環境や支援への満足度	146	(2) 放課後児童クラブ	179
(2) 改善してほしいサービス・よかったサービス	147	(3) 保健・医療	180
11 子育ての楽しさ・つらさ	154	(4) 児童館・図書館	180
(1) 理想の子ども数と実際の（現実を考える）子ども数	154	(5) ひとり親家庭への支援	181
(2) 子どもへの暴力	155	(6) チャレンジ教室、イベント	181
(3) 子育て支援を感じたことがあるか	157	(7) 障がいのある子ども等への支援	181
12 新しい事業、重点施策等	164	(8) 公園などの遊び場	182
(1) 子ども食堂	164	(9) 教育・学校	183
(2) 学習支援（寺子屋など）	166	(10) PTA・子ども会等	186
(3) 子育て世帯訪問支援事業	167	(11) 子育て環境・安全	187
(4) 重点的に取り組んでほしい施策	168	(12) 相談・情報提供	188
13 生活の状況等	173	(13) 経済的支援	189
(1) 暮らしの状況	173	(14) 少子化対策	190
(2) 幸福感	174	(15) 計画・アンケートについて	191
		(16) その他	192

第2部 子ども・若者調査（中学生・15～18歳）／193

1 基本属性	194	(6) ヤングケアラーに該当するか	203
(1) 性別	194	(7) 世話をしている人がいるか	204
(2) 年齢（15～18歳）	194	(8) 世話の状況等	204
(3) 同居家族	194	4 結婚・子育て・少子化など	207
2 生活の状況	195	(1) 将来結婚したいと思うか	207
(1) 就学・就労状況	195	(2) 将来結婚すると思う理由	208
(2) 将来どこで暮らしたいか	196	(3) 将来結婚しないと思う理由	209
(3) 放課後等の過ごし方	197	(4) 子どもを持ちたいと思うか	210
(4) 暮らしの状況	198	(5) 子どもを持つにあたって障壁となるもの	211
3 困っていること	199	(6) 少子高齢化について、どう感じるか	212
(1) スマートフォンなどの情報通信機器の利用時間	199	5 あるといいと思う施設や居場所	213
(2) インターネット利用によるトラブル	200	6 意見・要望等	216
(3) 困っていること	201	(1) 中学生	216
(4) 相談相手の有無	202	(2) 15～18歳	217
(5) ヤングケアラー	202		

第3部 まとめと考察／ 223

<p>1 仕事と子育て…………… 224</p> <p> (1) 母親の就労状況・形態…………… 224</p> <p> (2) 就労していない母親の就労意向…………… 224</p> <p> (3) 育児休業の取得状況…………… 225</p> <p>2 教育・保育事業…………… 226</p> <p> (1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用意向（就学前児童）…………… 226</p> <p> (2) 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（就学前児童）…………… 227</p> <p> (3) 子どもが病気の時の対応…………… 228</p> <p> (4) 不定期の教育・保育事業（就学前児童）…………… 230</p> <p>3 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用意向（3歳未満）…………… 231</p> <p>4 放課後児童クラブ等…………… 232</p> <p> (1) 放課後児童クラブの利用（小学生）…………… 232</p> <p> (2) 放課後児童クラブの利用児数と利用希望児数（小学生）…………… 232</p> <p> (3) 池田っ子チャレンジ教室（小学生）…………… 233</p> <p>5 子ども食堂…………… 234</p> <p>6 コミュニティママ子育てサポート（就学前児童）…………… 235</p> <p>7 子育て支援サービスの評価等…………… 236</p> <p>8 子ども・子育て支援の充実のために…………… 237</p> <p> (1) 子育ての環境や支援への満足度…………… 237</p>	<p> (2) 子育て支援を感じたことがあるか…………… 237</p> <p> (3) 子ども・子育て支援の参考指標…………… 238</p> <p> (4) 産後うつ（就学前児童）…………… 239</p> <p> (5) 子どもへの暴力…………… 240</p> <p> (6) 子どもへの暴力の内容…………… 240</p> <p> (7) 子どもの数の理想と現実…………… 241</p> <p>9 ヤングケアラー…………… 241</p> <p>10 結婚観等…………… 242</p> <p>11 考 察…………… 244</p> <p> (1) 就労している母親の増加…………… 244</p> <p> (2) 父親の子育て意識等の変化…………… 244</p> <p> (3) 子ども・子育て支援の評価…………… 244</p> <p> (4) 主なサービスの評価・ニーズ…………… 245</p> <p> (5) 児童虐待の防止等…………… 246</p> <p> (6) 少子化対策について…………… 247</p> <p> (7) 子ども食堂、学習支援等について…………… 247</p> <p> (8) 子どもが安全に安心してインターネットを利用できる環境整備…………… 248</p> <p> (9) 複合化・複雑化する支援ニーズへの対応…………… 248</p> <p> (10) 感染症等への対応…………… 248</p> <p> (11) 子ども・若者の居場所づくり…………… 249</p>
---	--

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「池田町第3期子ども・子育て支援事業計画」および新たに制定されたこども基本法に基づく「池田町こども計画」を策定するための基礎資料を得ることを目的とし、小学校6年生以下の児童を持つ保護者ならびに中学2年生および15歳～18歳の若者を対象として実施しました。

就学前児童保護者に対しては、保育サービス等の利用状況や利用意向、子育てについての悩み、仕事と子育てなどについて、また、小学生保護者に対しては、放課後児童クラブの利用状況や利用意向、仕事と子育て、病気・病後の対応などについてお聞きしました。

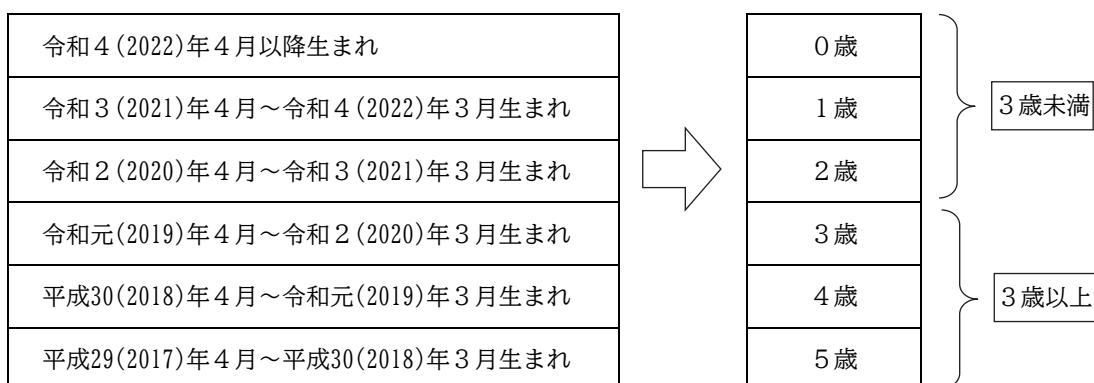
中学2年生および15歳～18歳の若者に対しては、若い世代の悩みや相談相手、結婚や子育てに関する考え方などについてお聞きしました。

2 調査方法、回収結果等

保護者調査	就学前児童保護者	調査対象者	就学前児童の保護者全数。ただし、就学前児童が2人以上いる世帯は1人とした。			
		調査方法	保育園・認定こども園通園児は各園にて配布・回収。幼稚園児・未就園児は郵送配布・郵送回収			
		調査基準日	令和5年12月1日			
		調査期間	令和5年12月1日～12月25日			
		回収結果	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
		696	432	431	61.9%	
	小学生保護者	調査対象者	小学生の保護者全数。ただし、小学生が2人以上いる世帯は1人とした。			
		調査方法	小学校にて配布・回収			
		調査基準日	令和5年12月1日			
		調査期間	令和5年12月1日～12月25日			
回収結果		配布数	回収数	有効回答数	有効回答率	
	1,228	838	815	66.4%		
子ども・若者調査	中学2年生	調査対象者	池田中学校2年生			
		調査方法	中学校にて配布・回収			
		調査基準日	令和5年12月1日			
		調査期間	令和5年12月1日～12月25日			
		回収結果	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
		218	199	196	89.9%	
	15～18歳	調査対象者	町内に住んでいる15歳～18歳の人			
		調査方法	郵送配布・郵送回収			
		調査基準日	令和5年12月1日			
		調査期間	令和5年12月1日～12月25日			
回収結果		配布数	回収数	有効回答数	有効回答率	
	748	266	264	35.3%		

3 集計・分析にあたって

- ① 回答の比率は、その設問の回答数を基数（N）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- ② 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 有効回答とした中には、子どもの年齢、学年、小学校区等の属性不詳があります。したがって、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しない場合があります。
- ④ 就学前児童の年齢については次の区分で集計しました。



- ⑤ 選択肢が長いものについては、内容を損なわない範囲内で、要約して表記しているものがあります。
- ⑥ 第3部では、調査項目によっては過去に行った調査と比較分析を行いました。
 - 「平成21年」とあるのは平成21年度に実施した「池田町次世代育成支援の行動計画（後期）策定に向けたニーズ調査」
 - 「平成25年」とあるのは平成25年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
 - 「平成30年」とあるのは平成30年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
 - 「令和5年」とあるのは今回の調査

第1部

保護者調査（就学前児童・小学生）

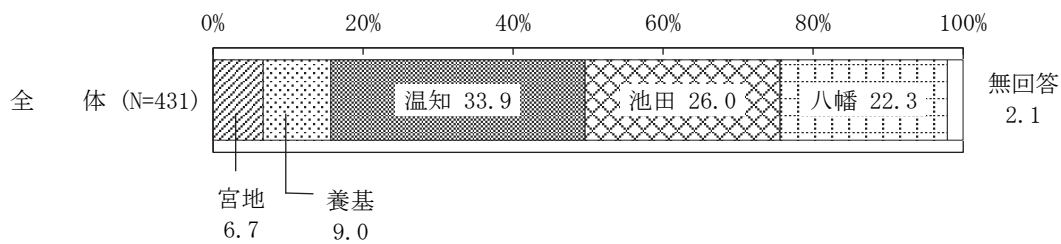
第1章 就学前児童保護者調査

1 子どもと家族の状況

(1) 小学校区

住んでいる地区（小学校区）は、「温知」が33.9%と最も多く、次いで「池田」（26.0%）、「八幡」（22.3%）、「養基」（9.0%）、「宮地」（6.7%）となっています。

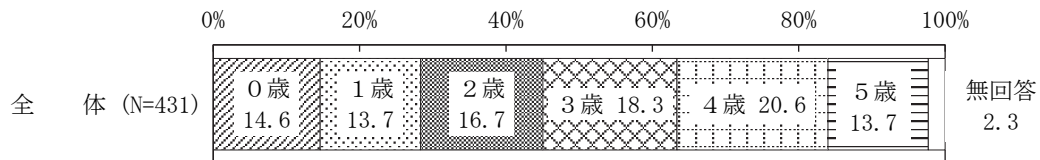
図表1-1 小学校区



(2) 子どもの年齢

対象となった子どもの年齢は、4歳が20.6%と最も多く、これに3歳、「5歳以上」を加えた＜3歳以上＞が52.6%を占めています。＜3歳未満＞は45.0%です。

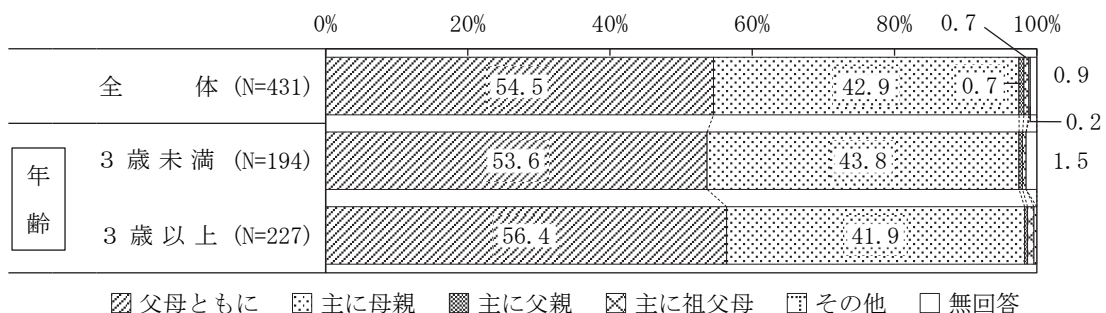
図表1-2 子どもの年齢



(3) 主に子育てをしている人

子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」（54.5%）と「主に母親」（42.9%）で97.4%を占めています。3歳未満、3歳以上ともに「父母ともに」が「主に母親」を上回っています。

図表1-3 主に子育てをしている人

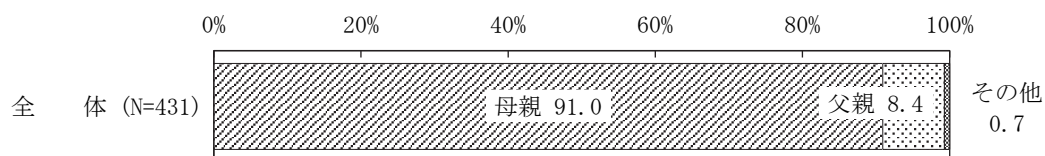


(注) 全体以外は1%未満は省略。

(4) 調査票の回答者

調査票の回答者は、「母親」が91.0%を占めています。

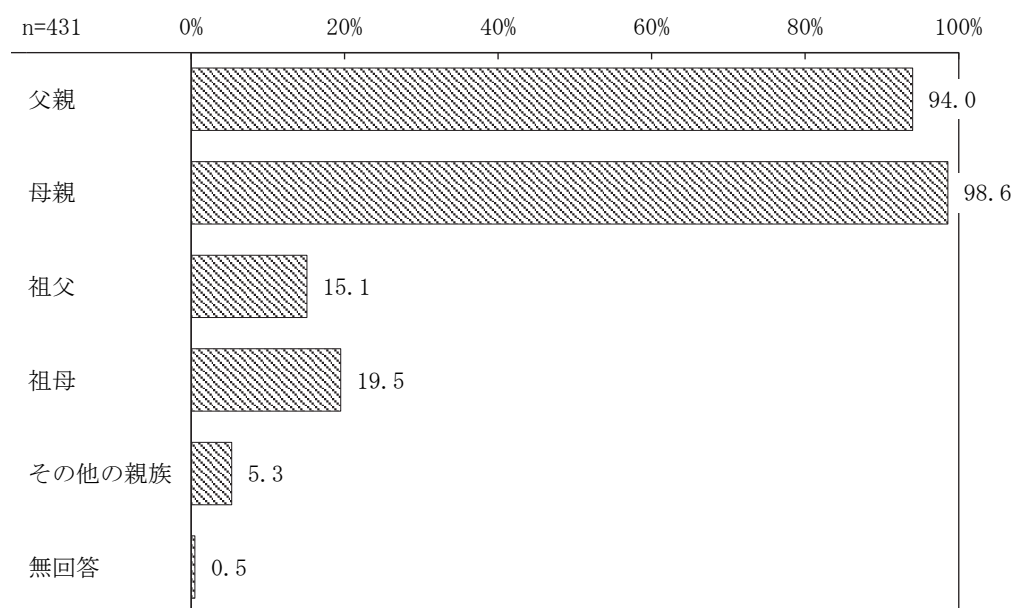
図表 1-4 回答者



(5) 同居家族

同居家族は図表 1-5 のとおりです。なお、世帯構成別では、ひとり親世帯は2.1% (9世帯)、親と子の二世帯世帯は (ひとり親世帯を除く) 74.9%、三世帯世帯などのその他の世帯は22.5%、無回答は0.5%となっています。

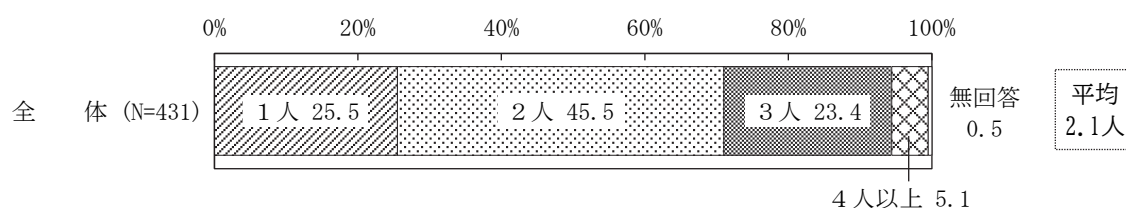
図表 1-5 同居家族 (複数回答)



(6) きょうだいの人数

きょうだいの人数は「2人」が45.5%と最も多く、次いで「1人」(25.5%)、「3人」(23.4%)、「4人以上」(5.1%)の順となっています。平均は2.1人です。

図表 1-6 きょうだいの人数



2 子どもの育ちをめぐる環境

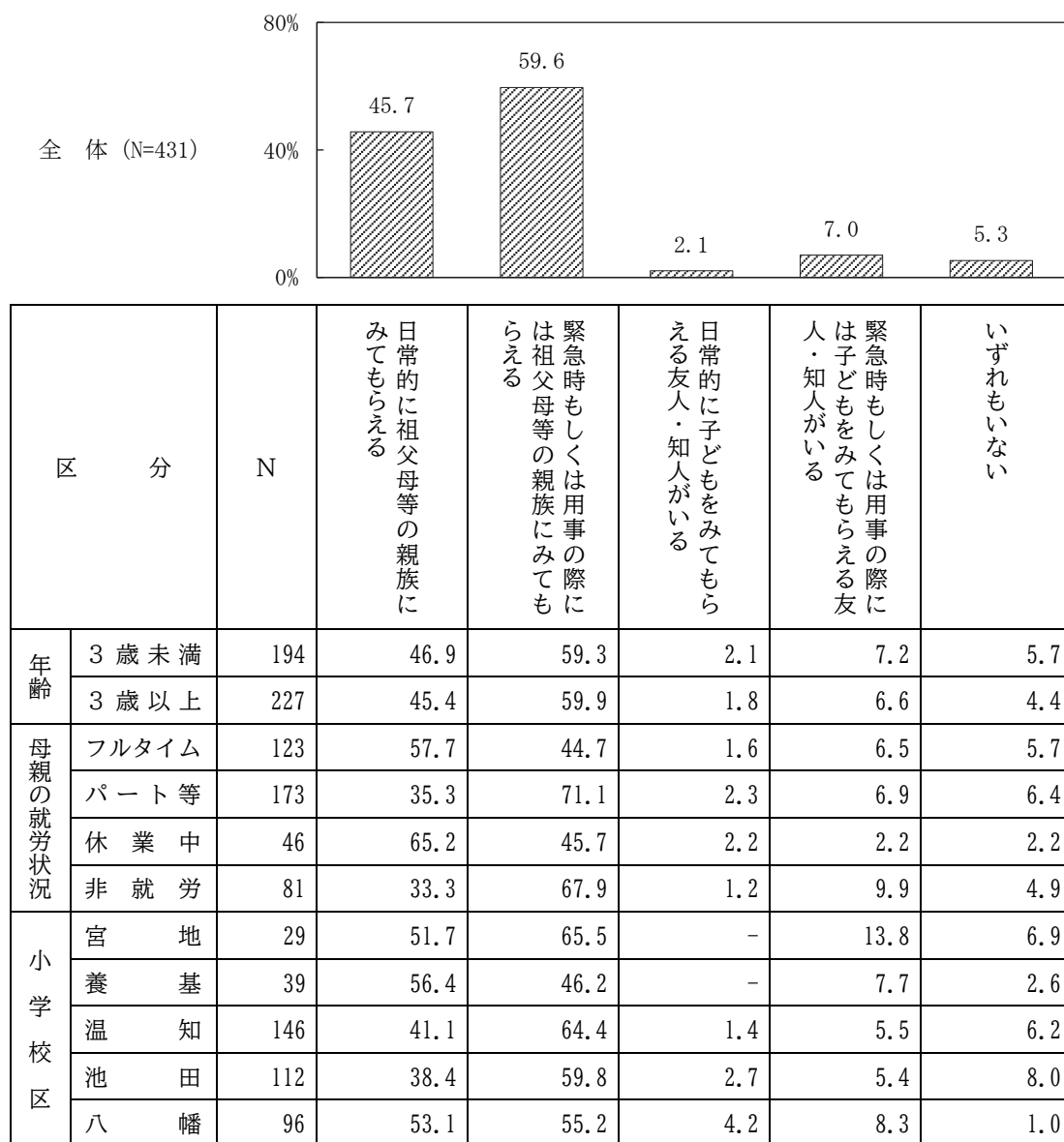
(1) 子どもをみてる人はいるか

「日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか」という設問では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となっています。「いずれもない」が5.3% (23人) あります。

母親の就労状況別の「フルタイム」「休業中」は、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が50%以上と高く、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を上回っています。

図表1-7 子どもをみてる人がいるか (複数回答)

単位：Nは人、他は%

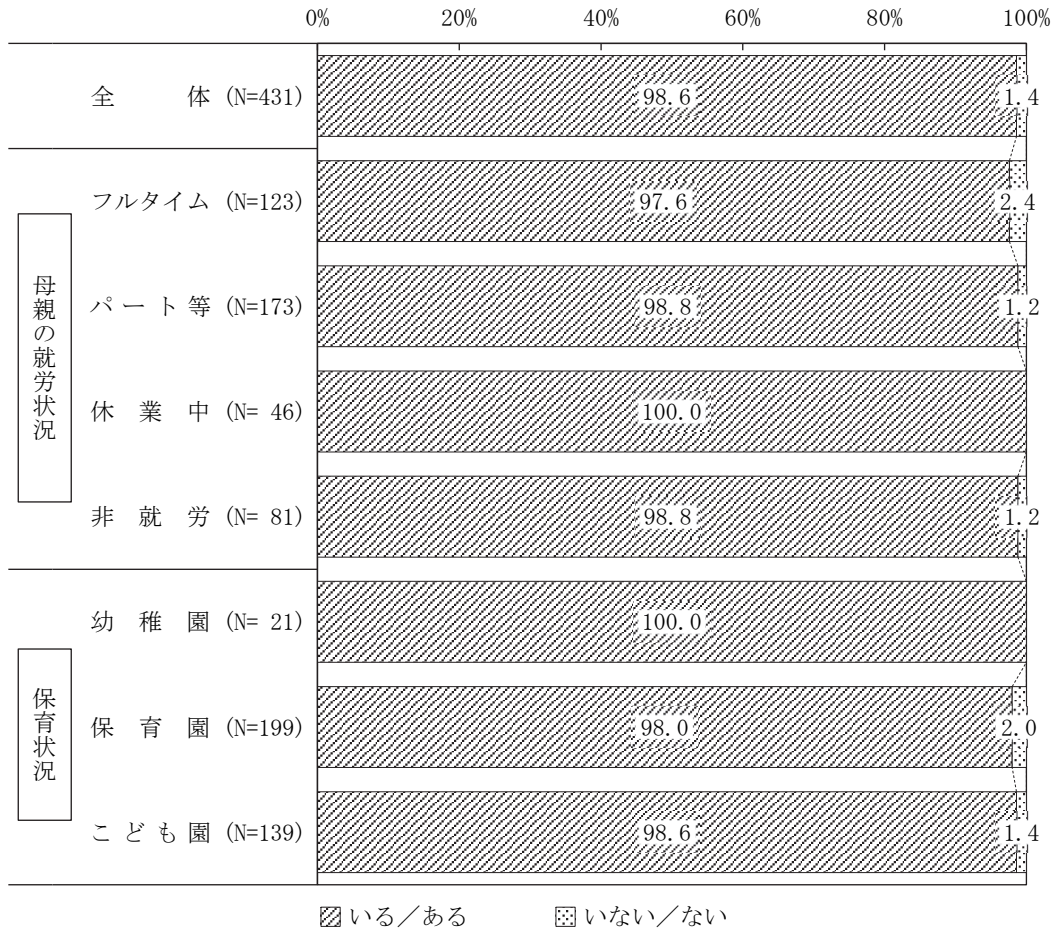


(2) 相談相手

① 子育ての相談相手はいるか

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人、相談できる場所があるかをたずねたところ、「いる／ある」が98.6%となっています。

図表1-8 相談相手の有無



② 相談相手

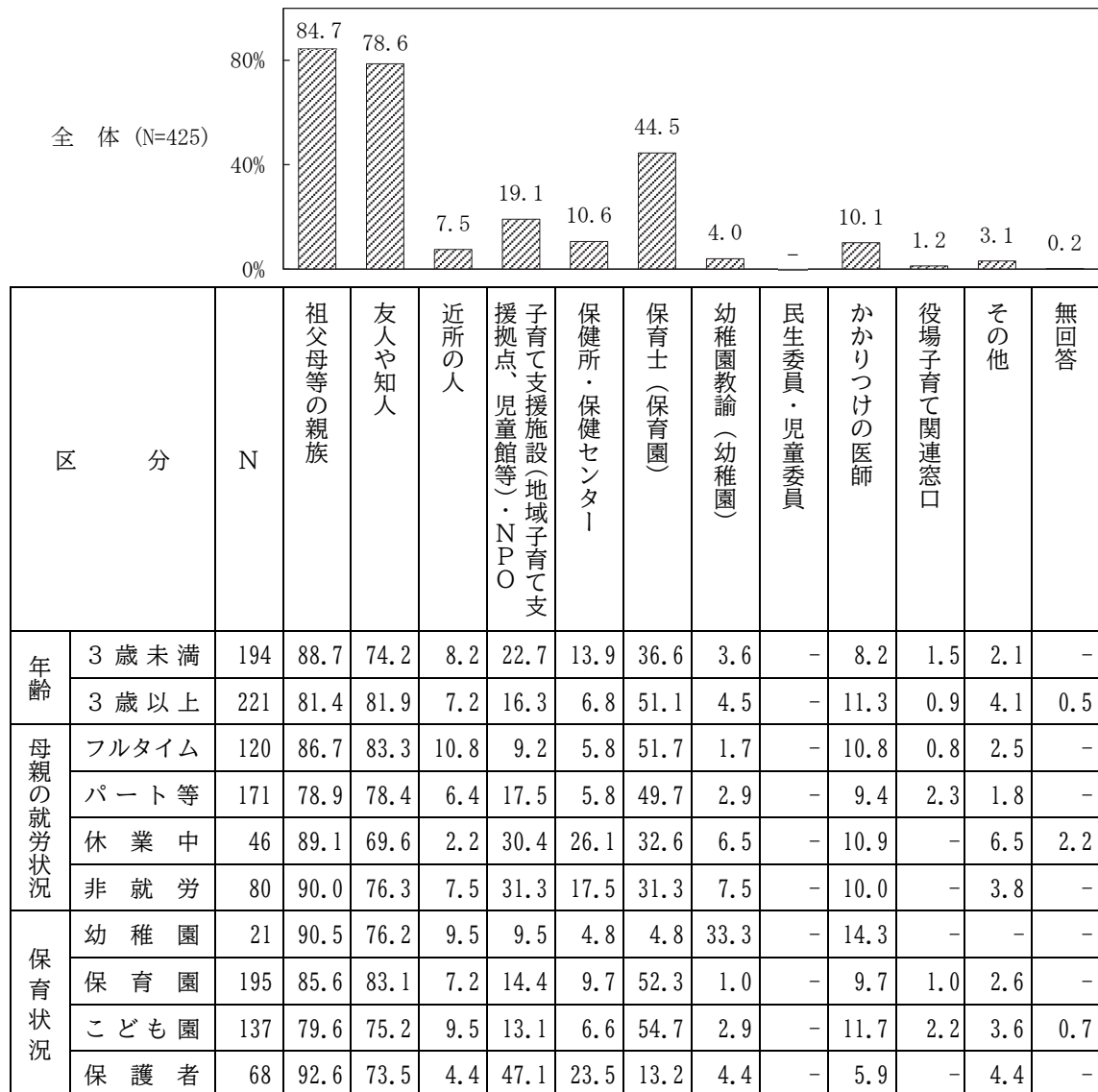
前問で気軽に相談できる人や場所が「いる／ある」と答えた人に、その相談相手等をたずねところ、「祖父母等の親族」が84.7%と最も高く、次いで「友人や知人」(78.6%)となっています。そのほかでは、「保育士（保育園）」が40%以上の比較的高い割合です。

子どもの年齢別にみると、3歳未満は3歳以上に比べて「祖父母等の親族」「子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO」「保健所・保健センター」が高く、3歳以上は「友人や知人」、「保育士」が高くなっています。

「その他」として、「ことばの教室（5人）」「職場の同僚（3人）」「訪問看護」「ひとり親家庭等就業自立支援センター」「SNS」「実母」という記載がありました。

図表 1-9 相談相手（複数回答）

単位：Nは人、他は%



3 保護者の就労状況等

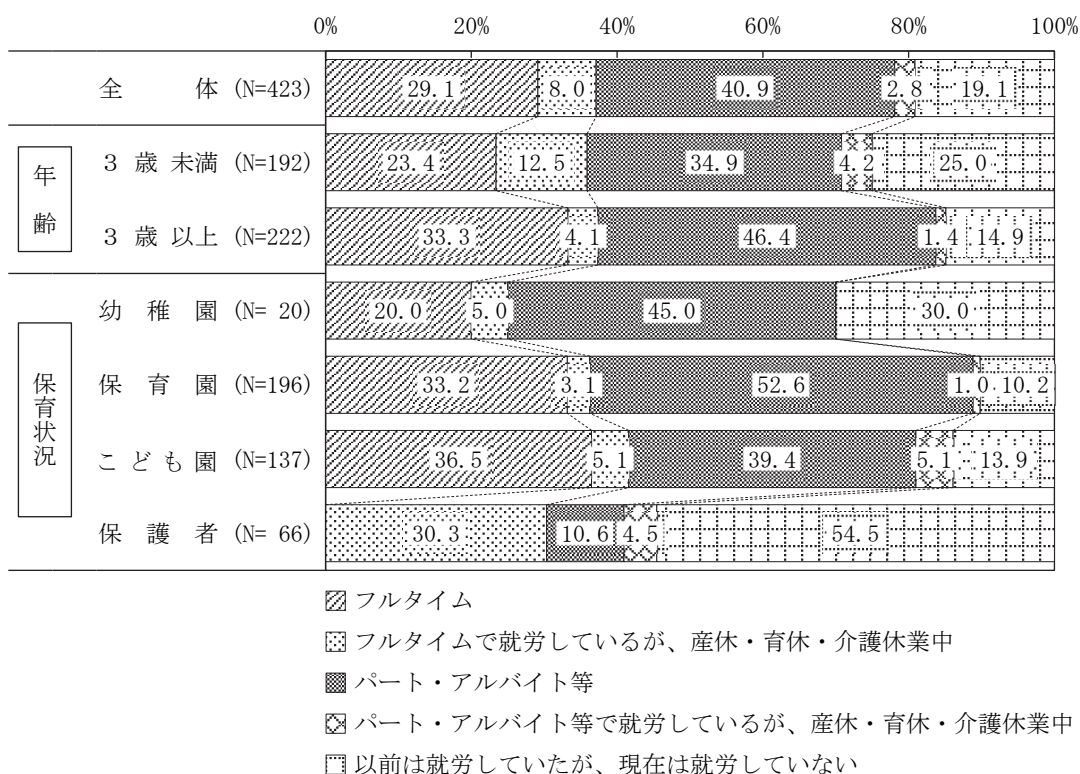
(1) 母親の就労状況

① 母親の就労状況・形態

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等」(以下「パート等」といいます)が40.9%と最も高く、次いで「フルタイム」「以前は就労していたが、現在は就労していない」の順となっています。「産休・育休・介護休業中」は、「フルタイム」と「パート等」を合わせると10.8%になります。

子どもの年齢別にみると、3歳未満は3歳以上に比べて「以前は就労していたが、現在は就労していない」「産休・育休・介護休業中」が高く、3歳以上は3歳未満に比べて「フルタイム」「パート等」が高くなっています。保育状況別にみると、保育サービス等を利用していない保護者は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が54.5%を占めています。

図表1-10 母親の就労状況・形態



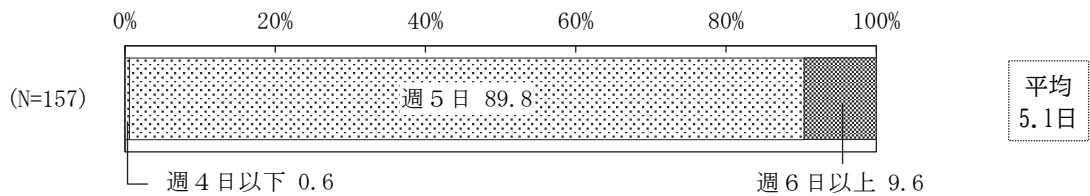
(注)「これまで就労したことがない」という選択肢には該当がなかった。

② 母親の就労日数と就労時間数

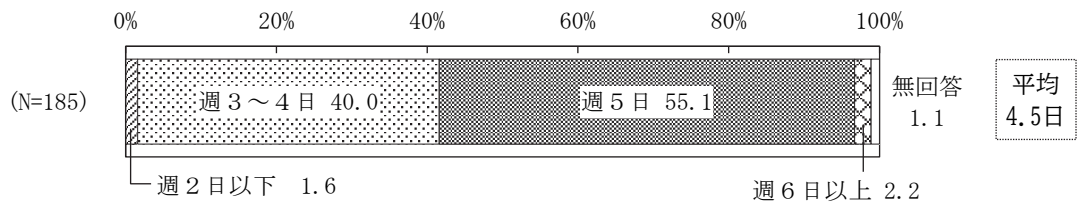
図表1-11、図表1-12は、前問で就労していると答えた人に、1週当たりの就労日数および1日当たりの就労時間数（産休・育休・介護休業中の人は休業に入る前の状況）をたずねた結果です。フルタイムは、1週当たりの平均就労日数が5.1日、1日当たりの平均就労時間数が8.1時間であり、パート等は、1週当たりの平均就労日数が4.5日、1日当たりの平均就労時間数が5.4時間となっています。

図表1-11 母親の1週間当たり就労日数

【フルタイム（休業中を含む）】

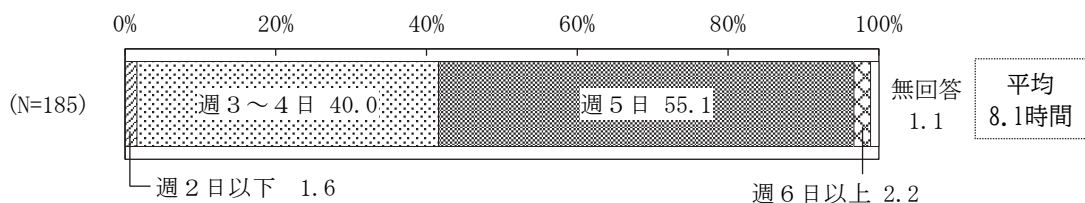


【パート等（休業中を含む）】

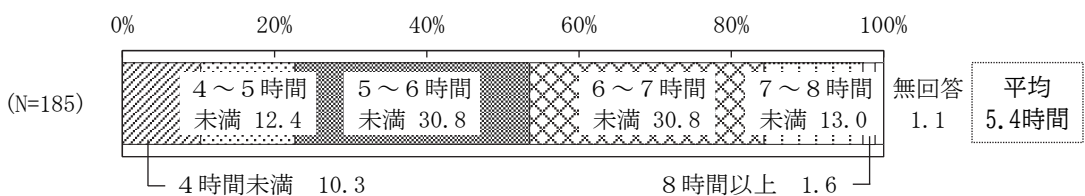


図表1-12 母親の1日当たり就労時間

【フルタイム（休業中を含む）】



【パート等（休業中を含む）】

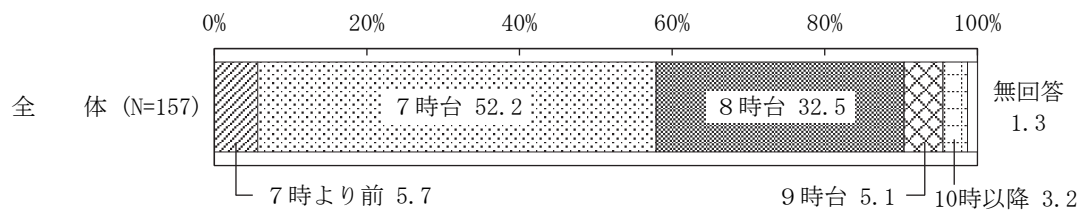


③ 母親の家を出る時刻と帰宅時刻

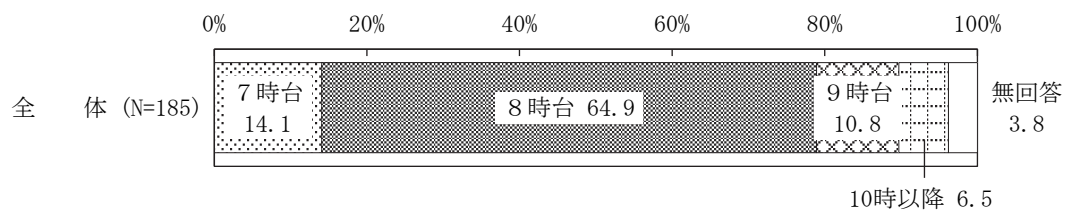
図表1-13、図表1-14は、図表1-10で就労していると答えた人に、家を出る時刻と帰宅時刻（産休・育休・介護休業中の人は休業に入る前の状況）をたずねた結果です。フルタイムは、家を出る時刻が「7時台」（52.2%）と「8時台」（32.5%）で大半を占め、帰宅時刻は「18時台」（37.6%）、「17時台」（31.2%）が高く、＜19時以降＞は17.8%となっています。パート等は、家を出る時刻は「8時台」（64.9%）が高く、帰宅時刻は「16時台」（30.8%）、「15時台」（27.0%）が高く、＜17時以降＞は15.7%です。

図表1-13 母親の家を出る時刻

【フルタイム（休業中を含む）】

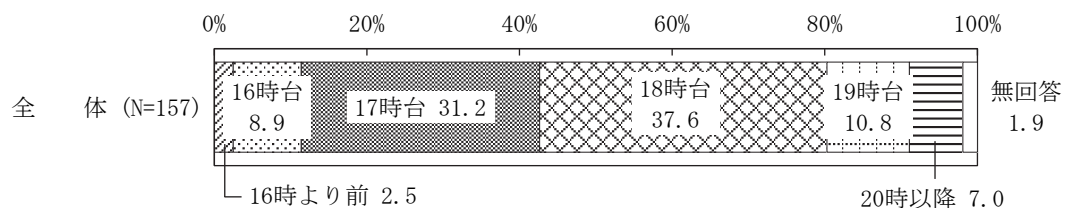


【パート等（休業中を含む）】

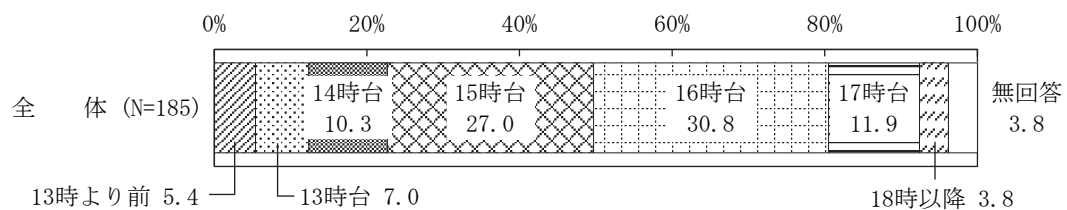


図表1-14 母親の帰宅時刻

【フルタイム（休業中を含む）】



【パート等（休業中を含む）】

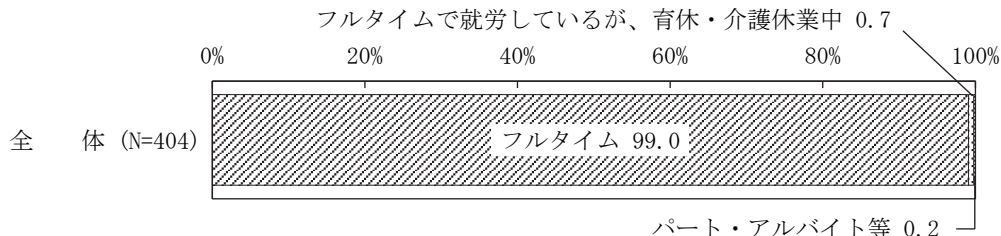


(2) 父親の就労状況

① 父親の就労状況・形態

父親の99.0%が「フルタイム」で働いていると答えています。育休・介護休業中は0.7%（3人）、パート等は0.2%（1人）です。

図表 1-15 父親の就労状況・形態



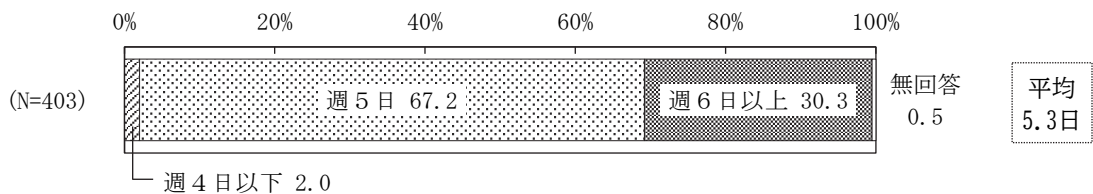
(注)「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中」「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」という選択肢には該当がなかった。

② 父親の就労日数と就労時間数

図表 1-16、図表 1-17は、前問で就労していると答えた人に、1週当たりの就労日数および1日当たりの就労時間数をたずねた結果です。「フルタイム」で働いている人の1週当たりの平均就労日数は5.3日、1日当たりの平均就労時間数は9.5時間です。

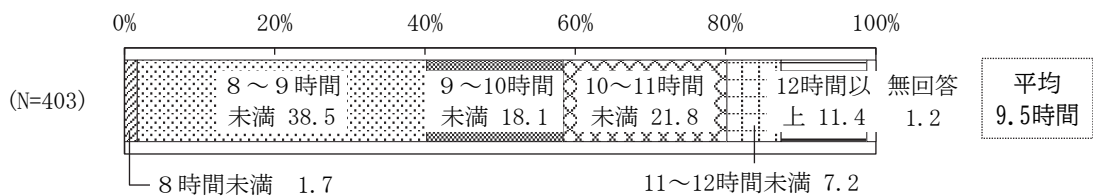
図表 1-16 父親の1週間当たり就労日数

【フルタイム（休業中を含む）】



図表 1-17 父親の1日当たり就労時間

【フルタイム（休業中を含む）】

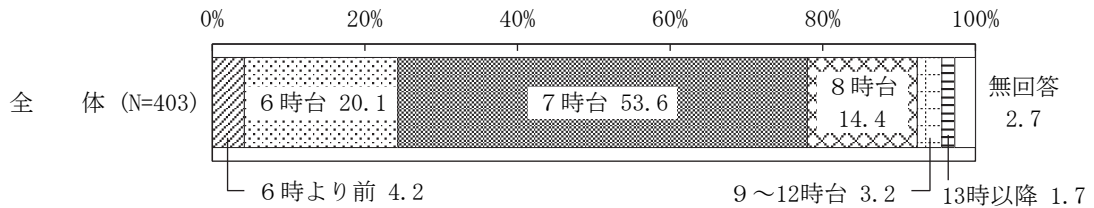


③ 父親の家を出る時刻と帰宅時刻

図表1-18、図表1-19は、①で「フルタイム」で働いていると答えた人に、家を出る時刻と帰宅時刻をたずねた結果です。家を出る時刻は「7時台」が最も高く、帰宅時刻は「18時台」「19時台」「20時台」がいずれも20%台と様々です。

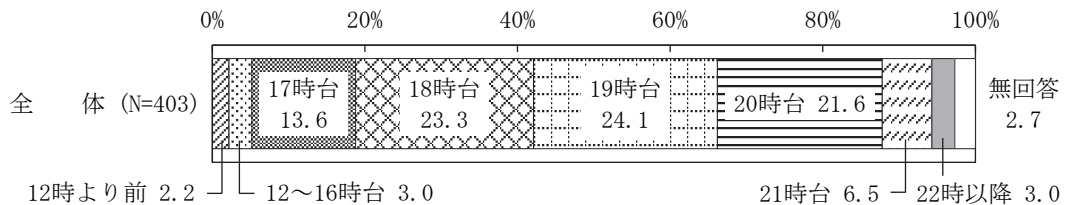
図表1-18 父親の家を出る時刻

【フルタイム（休業中を含む）】



図表1-19 父親の帰宅時刻

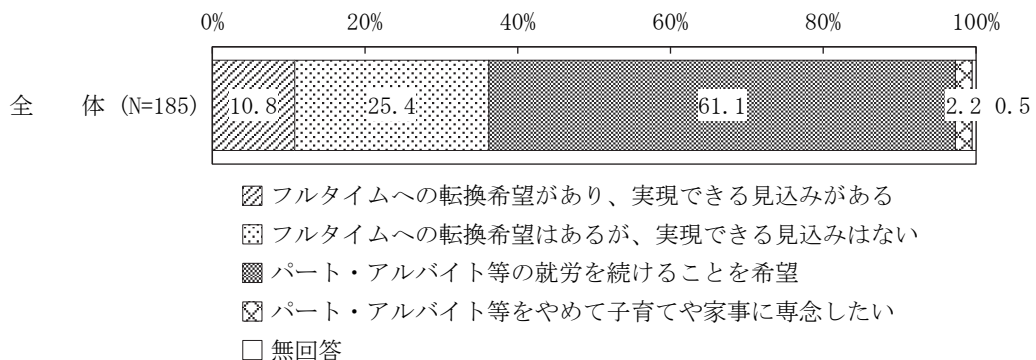
【フルタイム（休業中を含む）】



(3) 母親のフルタイムへの転換希望

パート等と答えた185人の母親のフルタイムへの転換の「希望がある」は36.2%ですが、25.4%は「実現できる見込みはない」としています。

図表1-20 母親のフルタイムへの転換希望

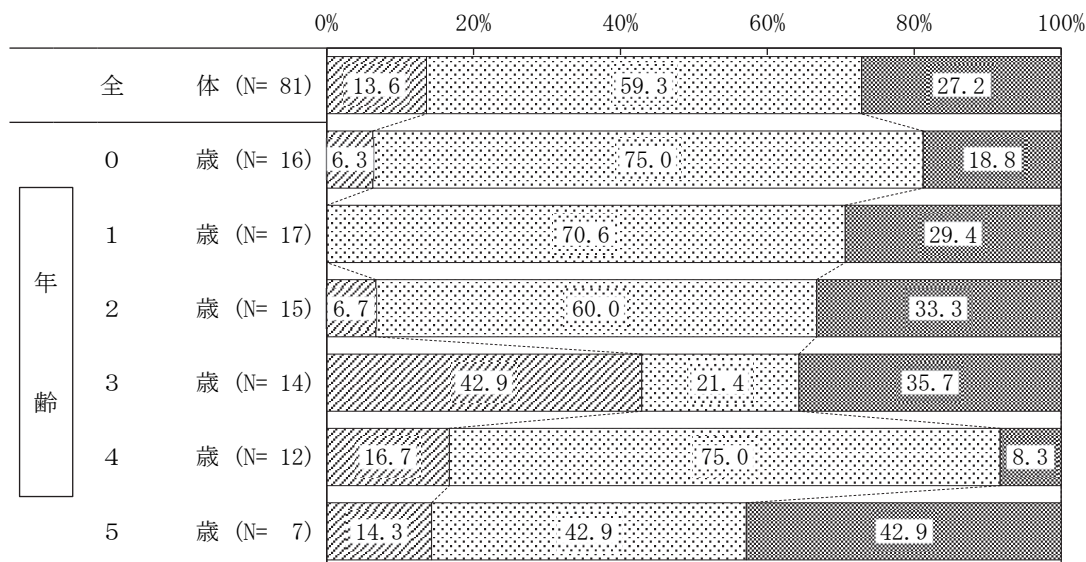


(4) 働いていない母親の就労意向

① 働いていない母親の就労意向

現在、仕事をしていない81人の母親の就労意向は、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」が59.3%を占めています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.2%となっています。子どもの年齢別にみると、3歳以外は「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」が最も高く、3歳は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が高くなっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は5歳が42.9%と最も高くなっています。

図表 1-21 働いていない母親の就労意向

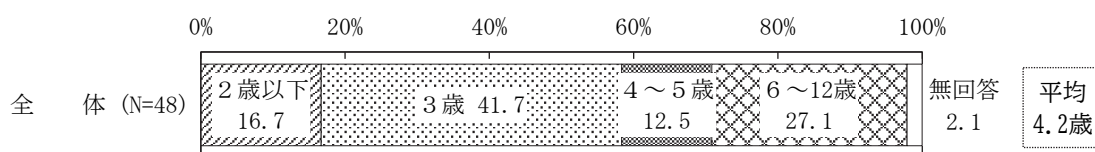


子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

② 子どもが何歳になったら就労したいか

①で「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」と答えた48人の母親に、子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「3歳」が41.7%と最も高く、平均は4.2歳となっています。

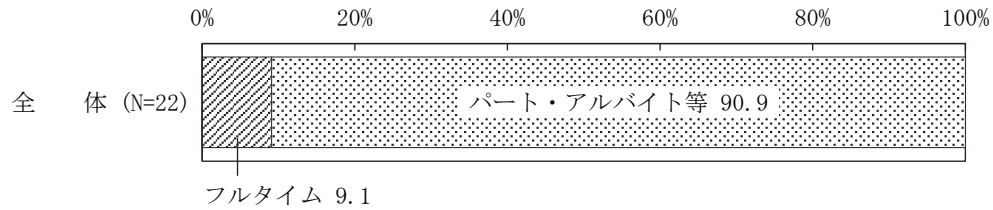
図表 1-22 子どもが何歳になったら就労したいか



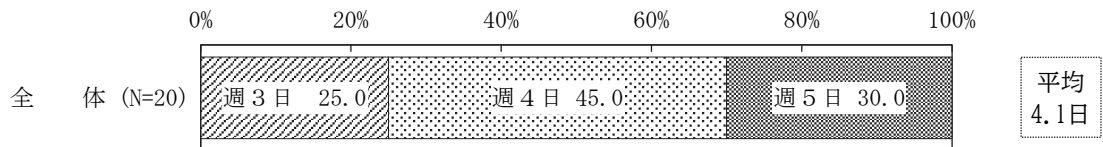
③ 希望する就労形態・日数・時間

①で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた22人の母親の希望する就労形態は、90.9%が「パート・アルバイト等」です（図表1-23）。また、パート等と答えた20人の就労希望日数は、「週4日」（45.0%）が最も高く（図表1-24）、1日たりの就労希望時間の平均は4.8時間となっています（図表1-25）。

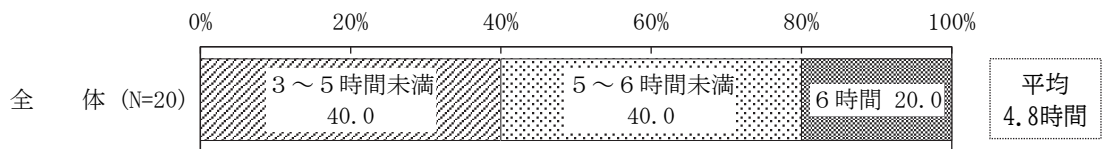
図表1-23 就労希望形態



図表1-24 パート等の就労希望日数



図表1-25 パート等の就労希望時間

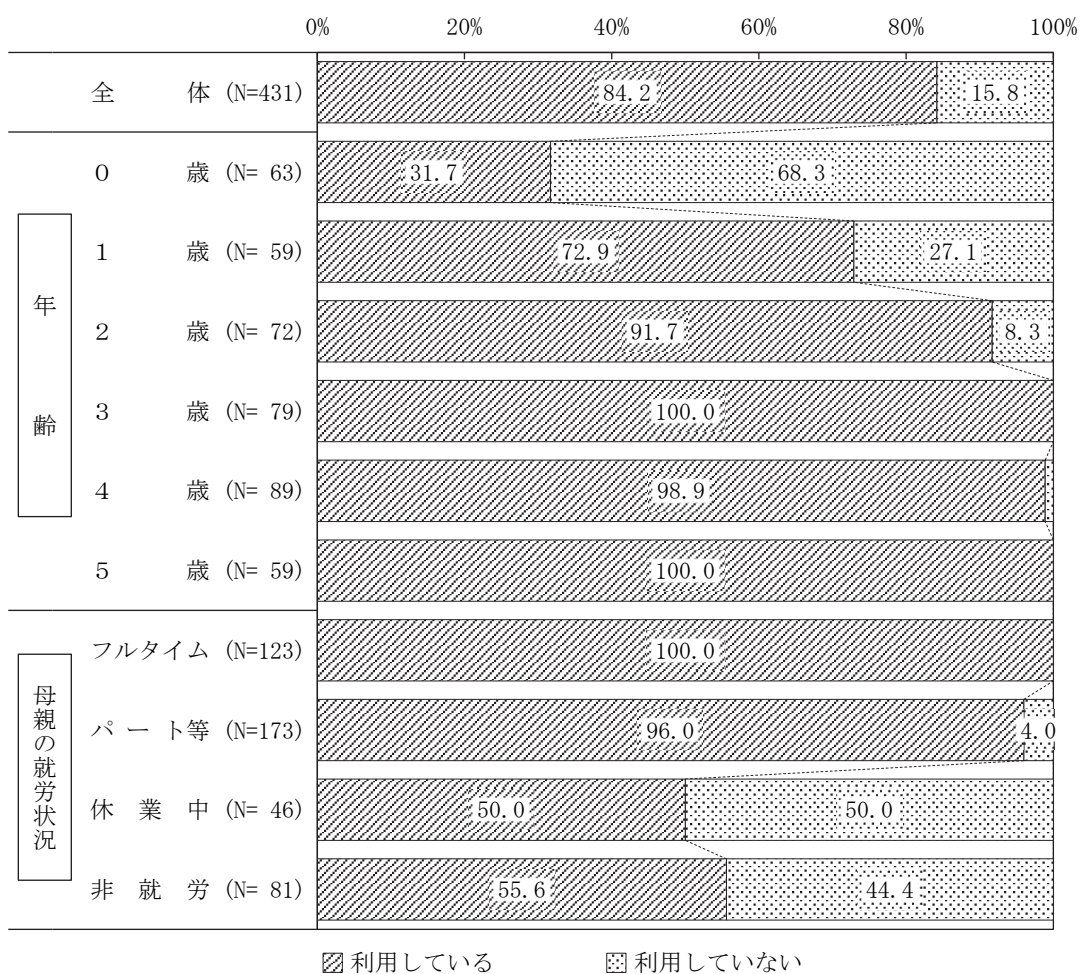


4 平日の定期的な教育・保育事業

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用しているサービスをいい、幼稚園、保育園、認定こども園、事業所内保育施設などが該当します。定期的な教育・保育事業は、調査対象である子どもの84.2%が利用しており、子どもの年齢別にみると、3歳以上はほぼ全員が利用しており、2歳も90%を超えています。母親の就労状況別にみると、フルタイムでは100%、パート等では96.0%となっています。

図表1-26 定期的な教育・保育事業の利用の有無

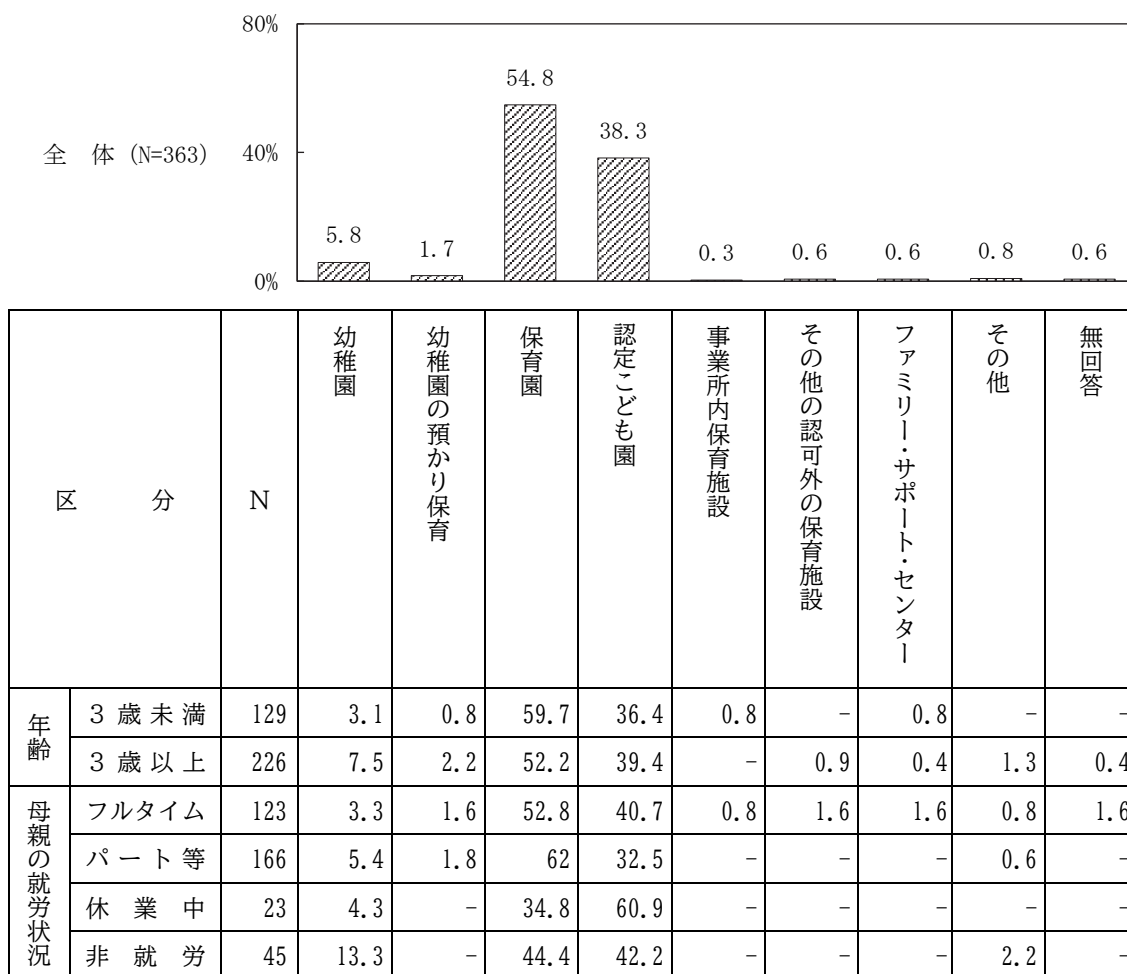


(2) 利用している定期的な教育・保育事業の種類

利用している定期的な教育・保育事業の種類は、「保育園」が54.8%と最も高く、次いで「認定こども園」(38.3%)、「幼稚園」(5.8%)となっています。全体の合計が102.9%となっているので、わずかですが複数のサービスを利用していると答えた人がいます。「その他」として、「ことばの教室(3人)」が記載されていました。

図表1-27 利用している定期的な教育・保育事業(複数回答)

単位：Nは人、他は%



(注)「小規模保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」という選択肢には該当がなかった。

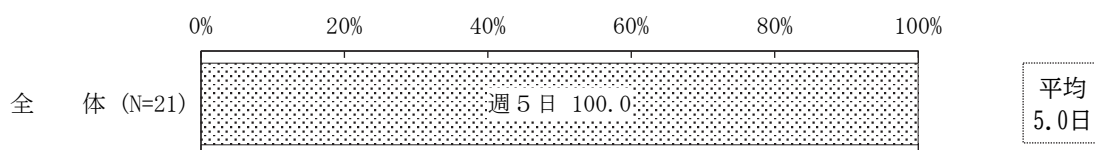
(3) 定期的な教育・保育事業の利用状況

① 幼稚園

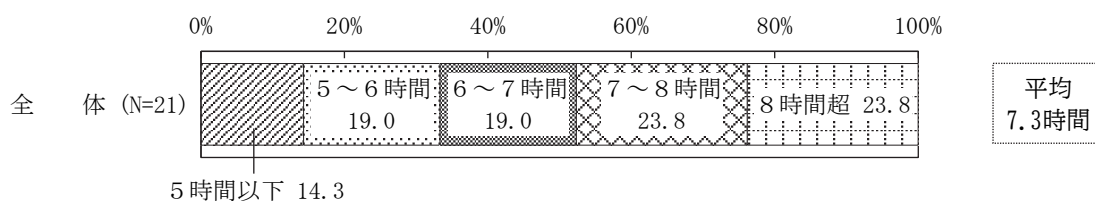
幼稚園を利用している子どもの1週間の利用日数は全員が「週5日」と回答しています。1日の利用時間は「5時間以下」から「8時間超」まで様々であり、平均利用時間は7.3時間です（図表1-28）。また、利用時間帯は、9時台前半から14時台が高くなっています（図表1-29）。

図表1-28 幼稚園の利用日数・利用時間

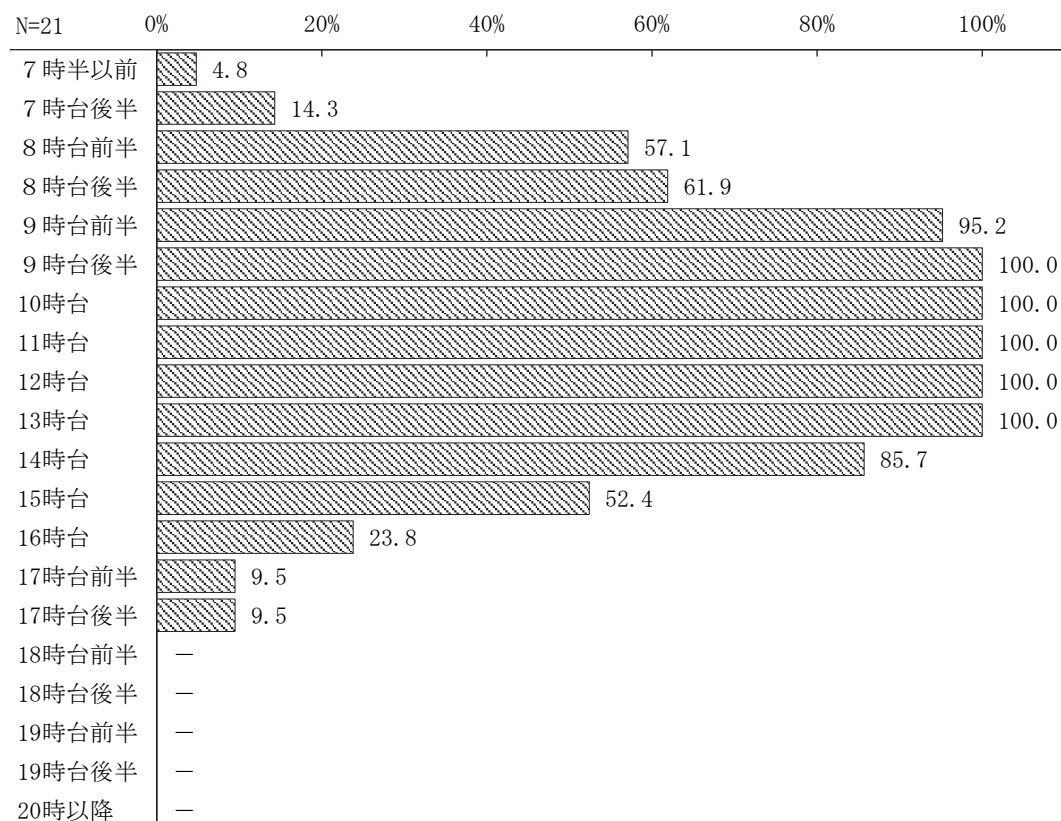
【1週間の利用日数】



【1日の利用時間】



図表1-29 幼稚園の利用時間帯

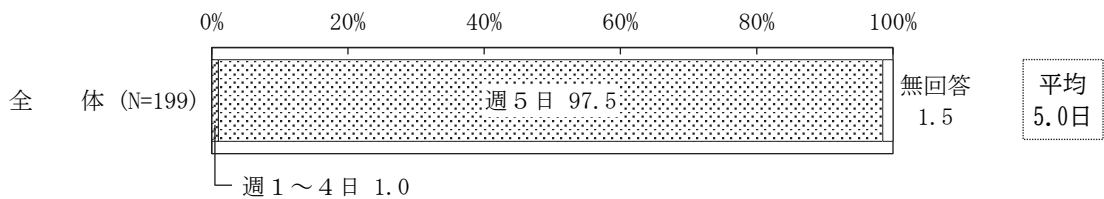


② 保育園

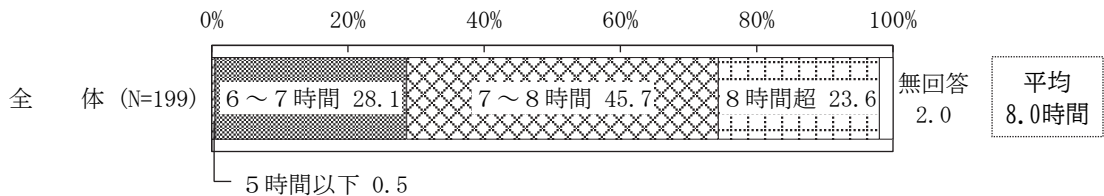
保育園を利用している子どもの1週間の利用日数は、「週5日」が97.5%を占めています。1日の利用時間は「7時間～8時間」が45.7%と最も高くなっています。「8時間超」も23.6%あり、平均利用時間は8.0時間となっています(図表1-30)。また、利用時間帯は、9時台前半から15時台が高くなっています(図表1-31)。

図表1-30 保育園の利用日数・利用時間

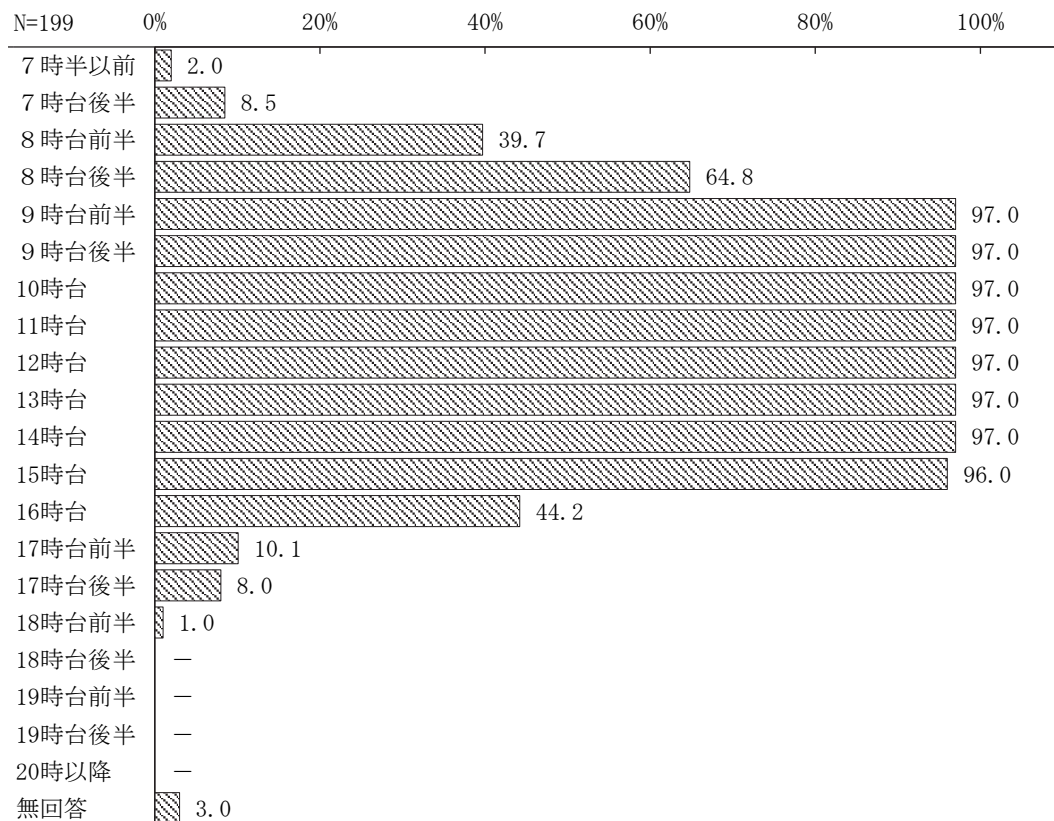
【1週間の利用日数】



【1日の利用時間】



図表1-31 保育園の利用時間帯

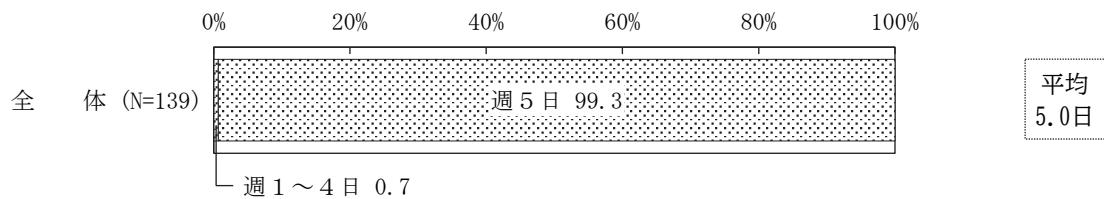


③ 認定こども園

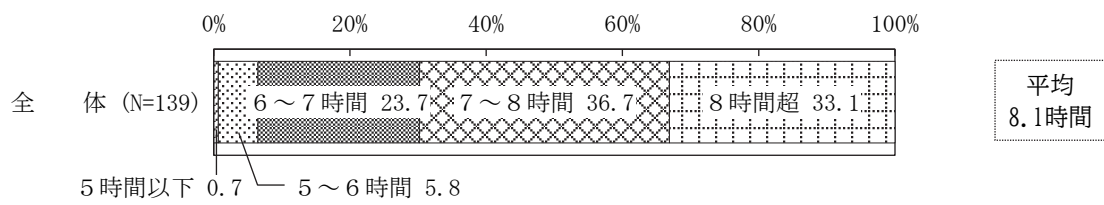
認定こども園を利用している子どもの1週間の利用日数は、「週5日」が99.3%を占めています。1日の利用時間は「7時間～8時間」が36.7%と最も高く、「8時間超」も30%を上回っており、平均利用時間は8.1時間となっています（図表1-32）。利用時間帯は、8時台前半から50%を超え、9時台前半からは90%を超え、15時台まで利用は高くなっています（図表1-33）。

図表1-32 認定こども園の利用日数・利用時間

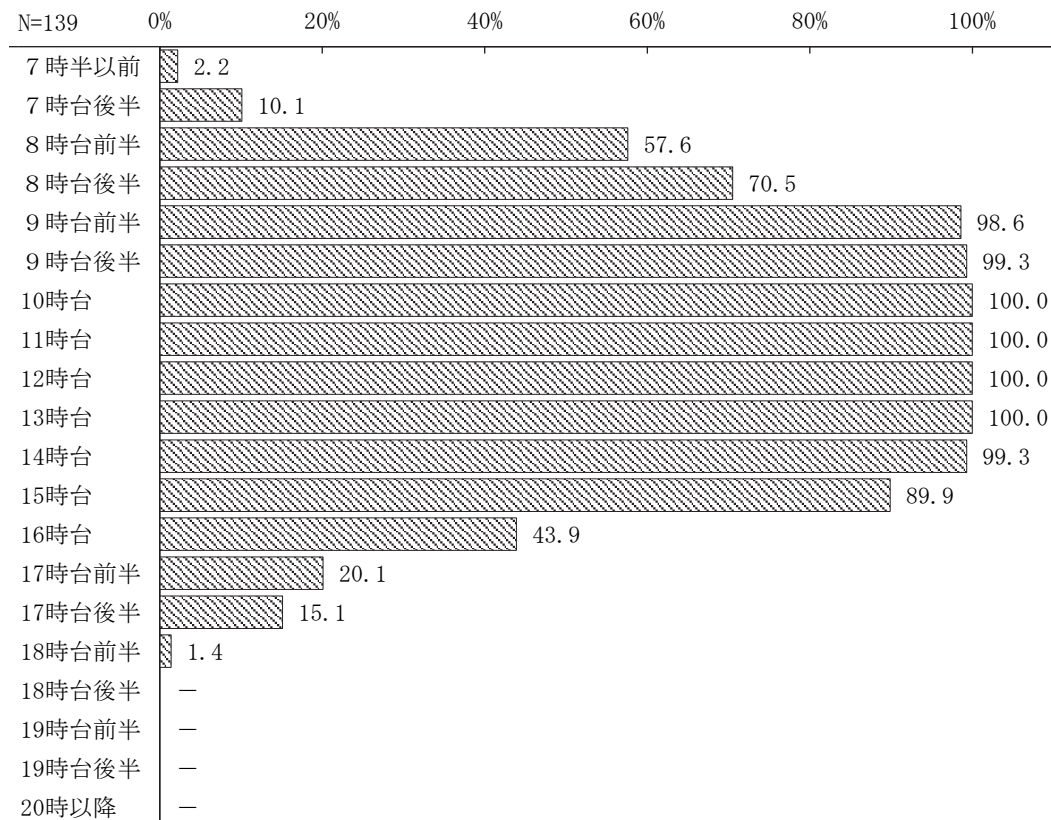
【1週間の利用日数】



【1日の利用時間】



図表1-33 認定こども園の利用時間帯



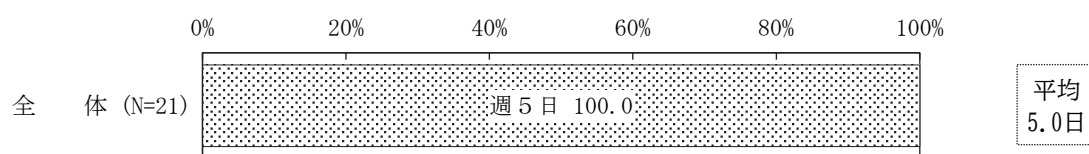
(4) 定期的な教育・保育事業の利用希望日数・時間

① 幼稚園

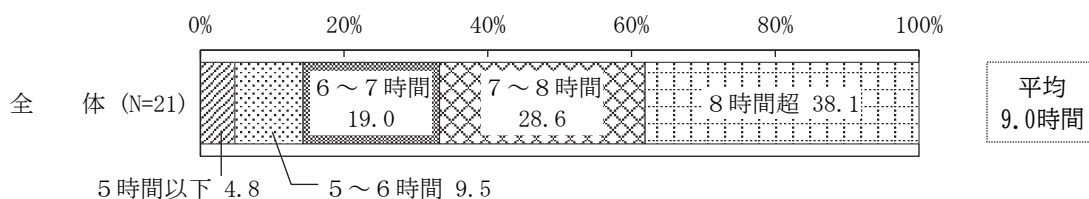
幼稚園を利用している子どもの1週間の利用希望日数は、利用状況と同じく全員が「週5日」です。1日の利用希望時間は「8時間超」が38.1%と最も高く、平均利用希望時間は9.0時間となっており、利用状況の7.3時間を1.7時間上回っています（図表1-34）。また、利用希望時間帯は、利用状況に比べて登園時間、退園時間ともに広がっています（図表1-35）。

図表1-34 幼稚園の利用希望日数・希望時間

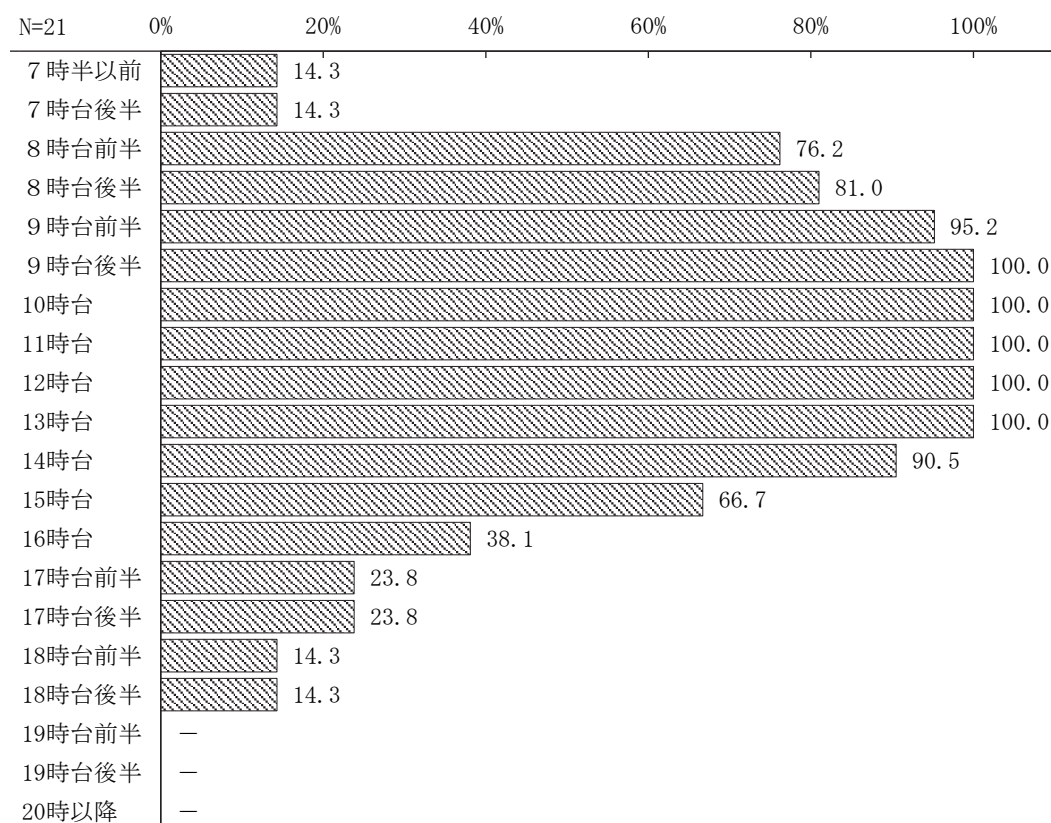
【1週間の利用希望日数】



【1日の利用希望時間】



図表1-35 幼稚園の利用希望時間帯

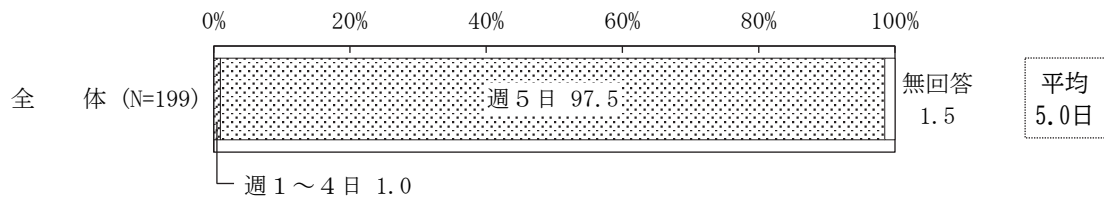


② 保育園

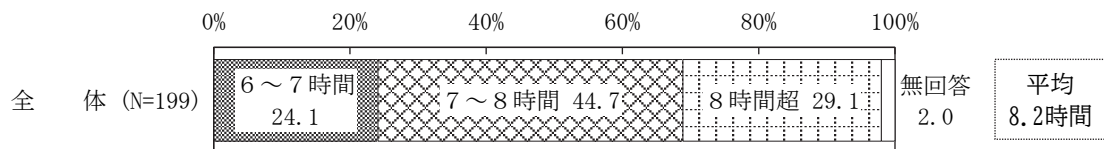
保育園を利用している子どもの1週間の利用希望日数は、「週5日」が97.5%を占めています。1日の利用希望時間は「7時間～8時間」が44.7%と最も高く、次いで「8時間超」(29.1%)となっています。1日当たり平均利用希望時間は8.2時間で、利用状況より0.2時間長くなっています(図表1-36)。また、利用希望時間帯は、8時台前半、16時台が6ポイント以上高くなっています(図表1-37)。

図表1-36 保育園の利用希望日数・時間

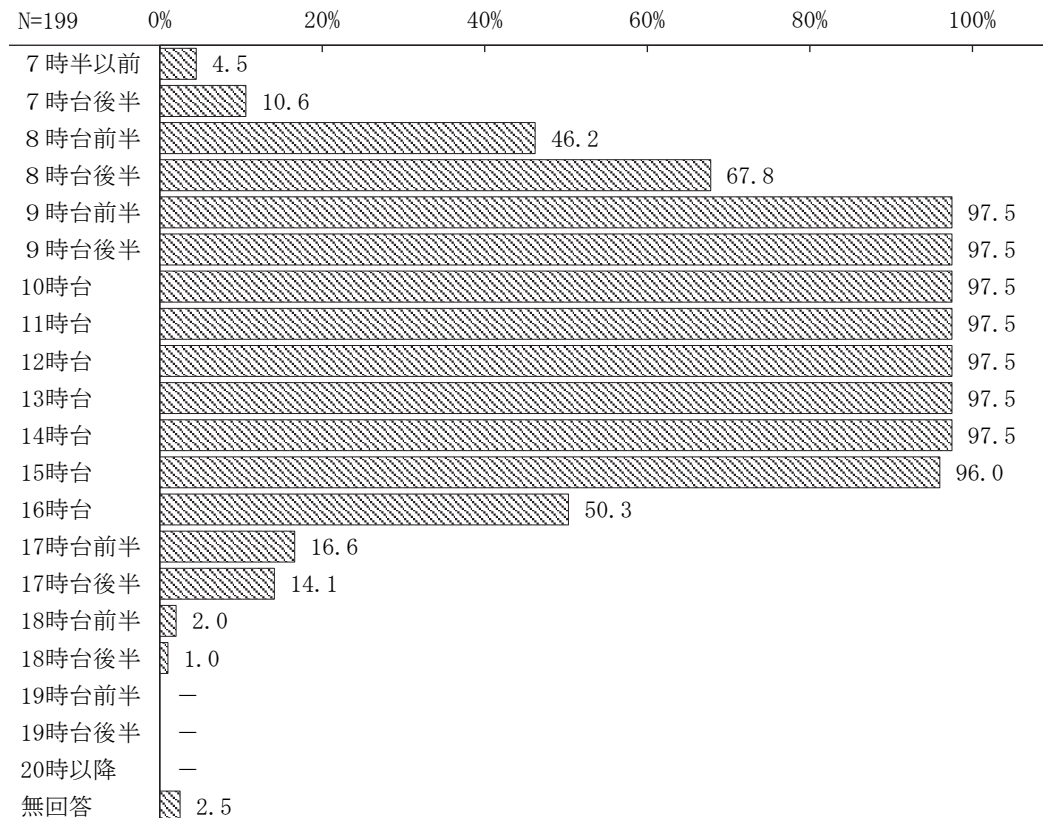
【1週間の利用希望日数】



【1日の利用希望時間】



図表1-37 保育園の利用希望時間帯

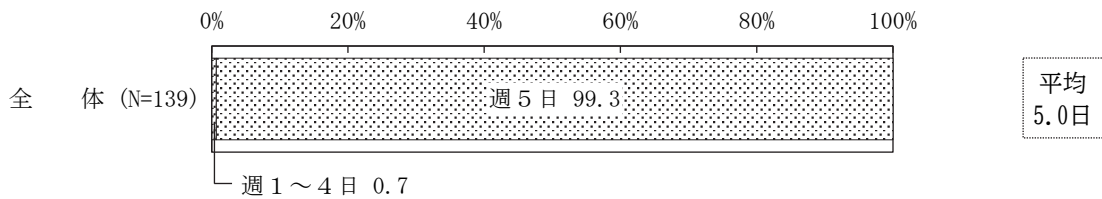


③ 認定こども園

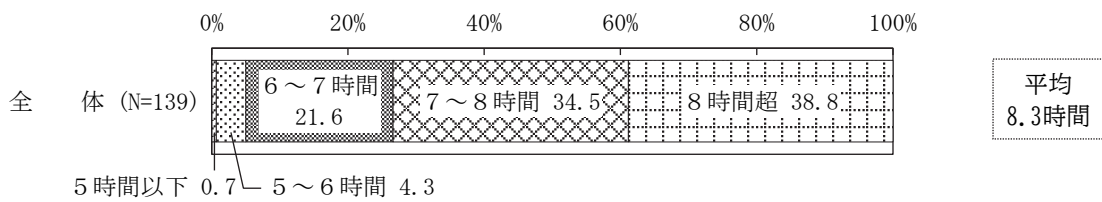
認定こども園を利用している子どもの1週間の利用希望日数は、「週5日」が99.3%を占めています。1日の利用希望時間は「8時間超」(38.8%)が最も高く、次いで「7時間～8時間」「6時間～7時間」の順となっています。平均利用希望時間は8.3時間で、利用状況より0.2時間長くなっています(図表1-38)。利用希望時間帯は、8時台前半、16時台が5ポイント高くなっています(図表1-39)。

図表1-38 認定こども園の利用希望日数・時間

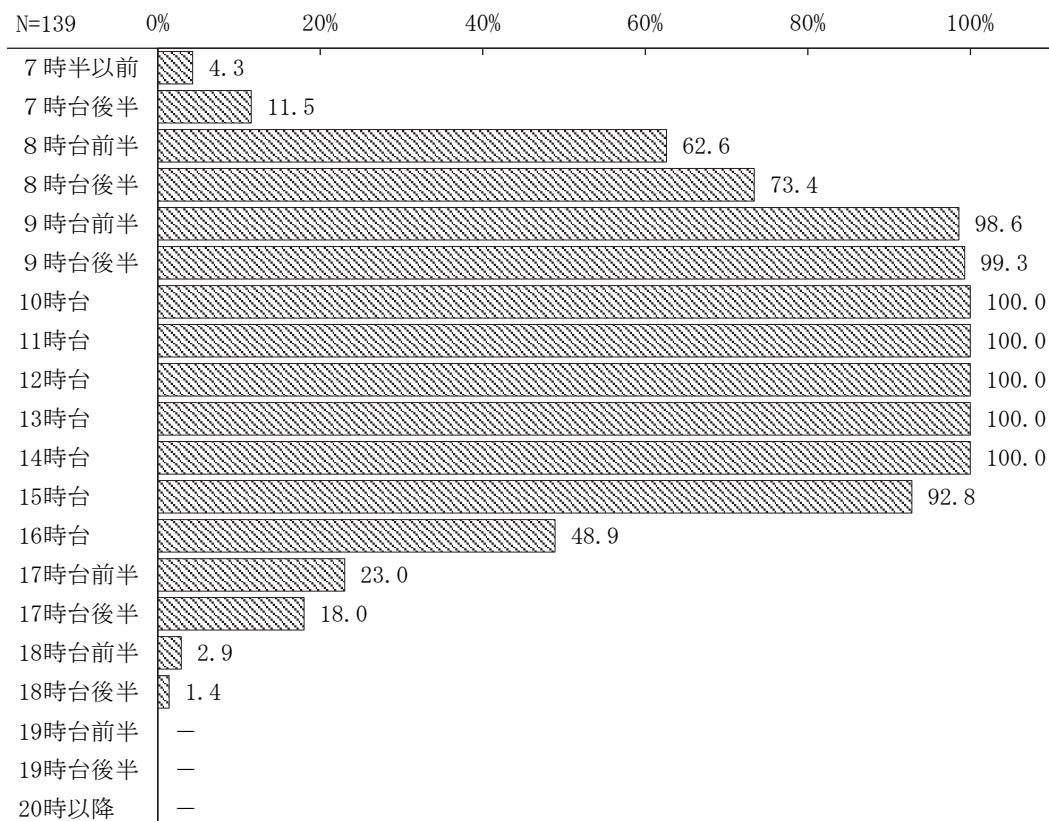
【1週間の利用希望日数】



【1日の利用希望時間】



図表1-39 認定こども園の利用希望時間帯

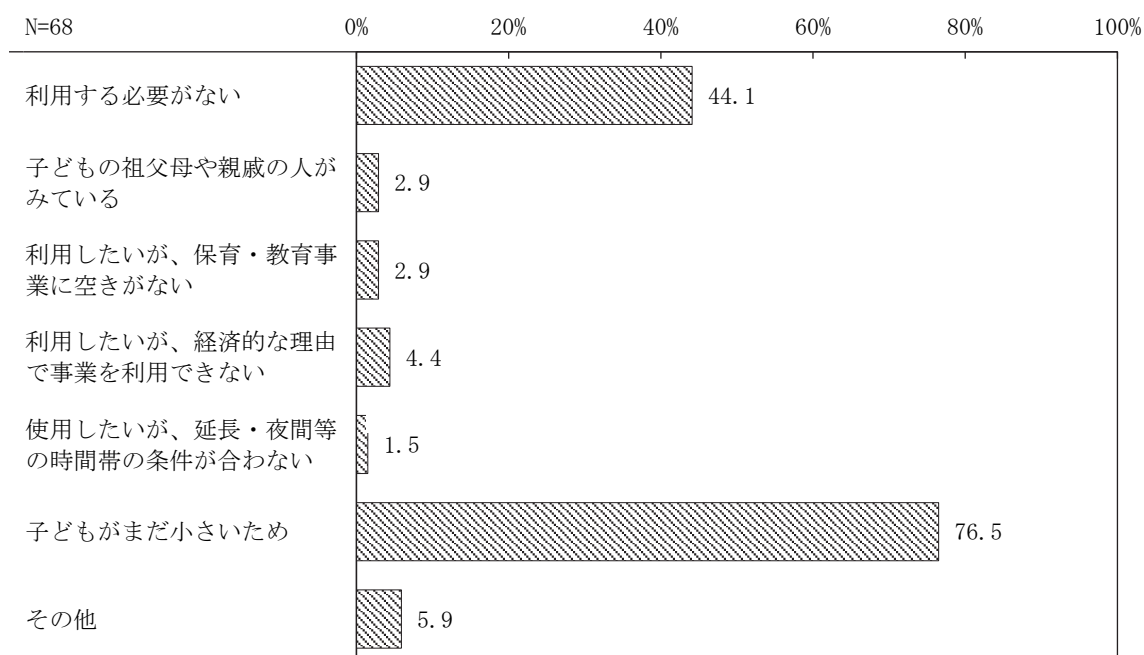


(5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

定期的な教育・保育事業を利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」(76.5%)が最も高く、次いで「利用する必要がない」(44.1%)となっています(図表1-40)。

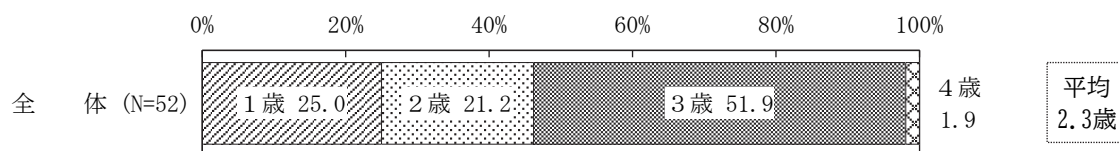
「子どもがまだ小さいため」と答えた人は、定期的な教育・保育事業を子どもが3歳ぐらいになったら利用したいと考えている人が51.9%を占めており、平均年齢は2.3歳となっています(図表1-41)。

図表1-40 定期的な教育・保育事業を利用していない理由(複数回答)



(注)「近所の人や父母の友人・知人がみている」「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」という選択肢には該当がなかった。

図表1-41 定期的な教育・保育事業を子どもが何歳ぐらいになったら利用したいか(「子どもがまだ小さいため」と答えた人)



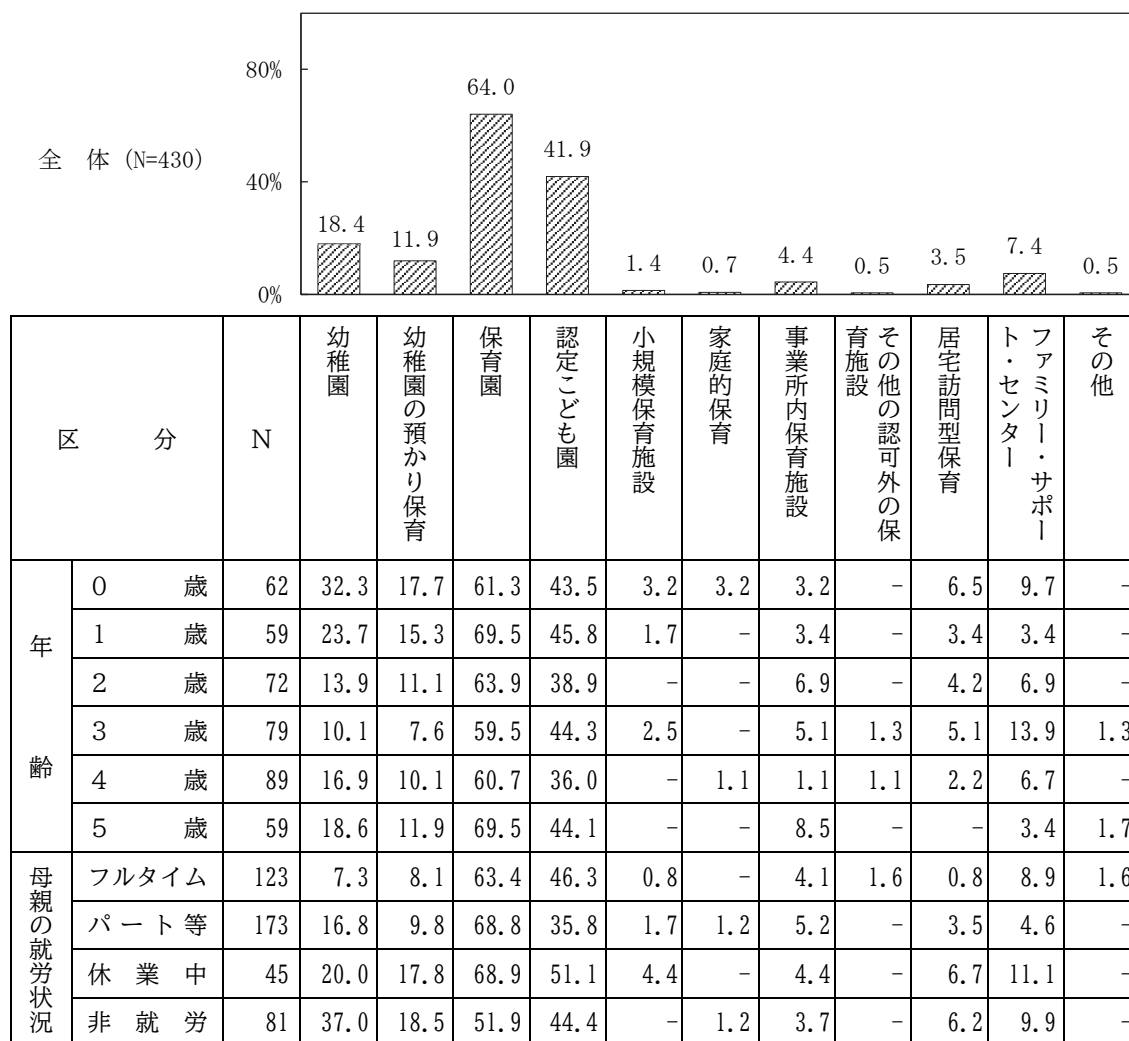
(6) 利用したい定期的な教育・保育事業

現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として、定期的に利用したい事業としては、「保育園」(64.0%)が最も高く、次いで「認定こども園」(41.9%)、「幼稚園」(18.4%)などとなっています。

「その他」として、「病児保育(2人)」が記載されていました。

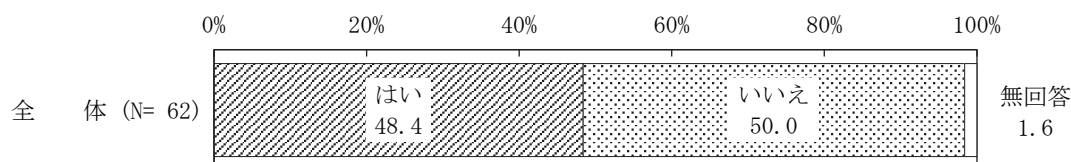
図表1-42 利用したい定期的な教育・保育事業(複数回答)

単位：Nは人、他は%



幼稚園利用について、正確にニーズを把握することを目的として、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」の利用を希望し、かつそのほかのサービスも希望した人に、特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するかたずねたところ、「はい」は48.4%となっています。

図表1-43 幼稚園の利用を強く希望するか

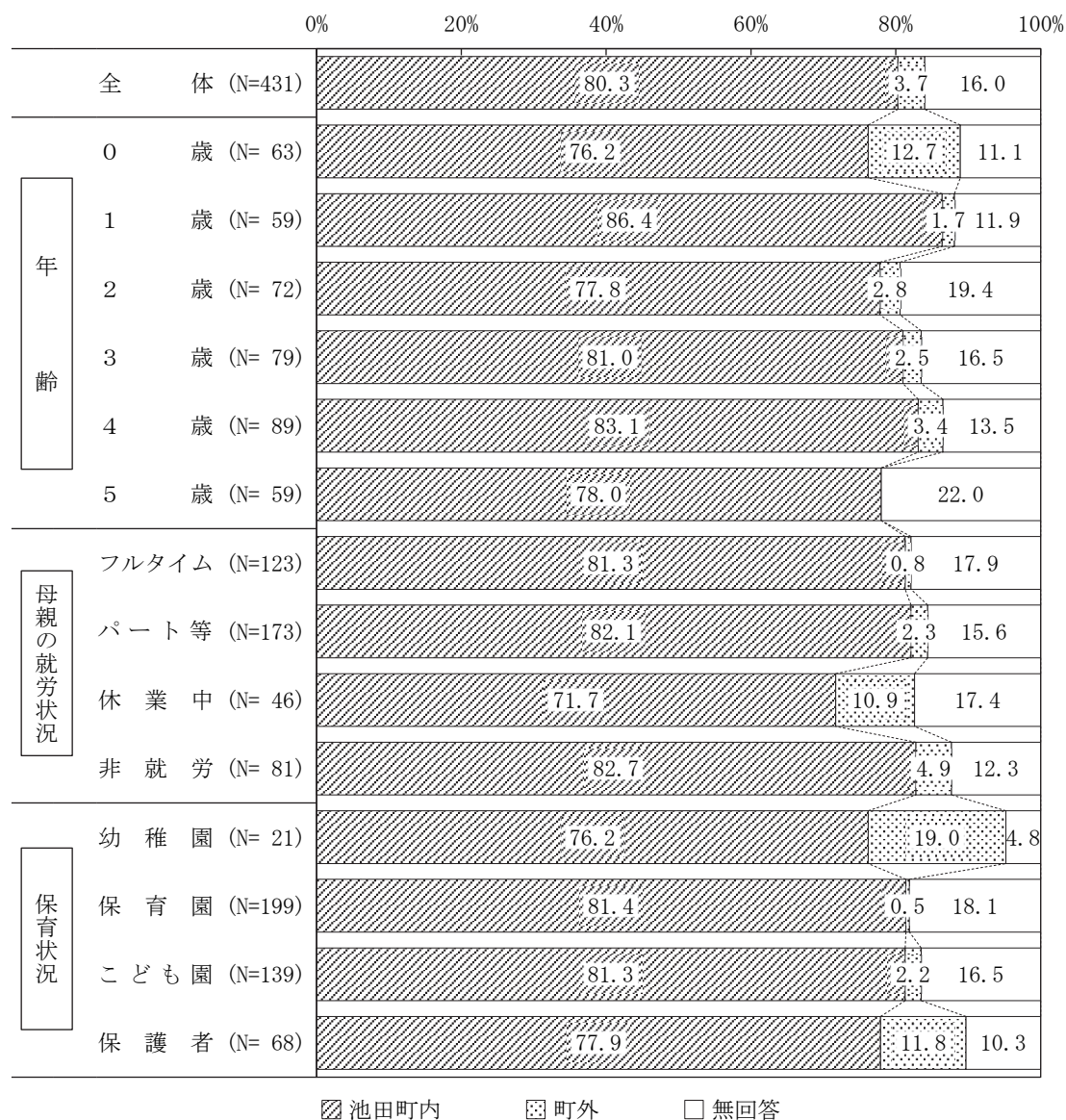


(7) 教育・保育事業を利用したい場所

教育・保育事業を利用したい場所としては、「池田町内」が80.3%、「町外」が3.7%、「無回答」が16.0%という結果です。「町外」が比較的高いのは、年齢別の0歳、母親の就労状況別の休業中、保育状況別の幼稚園、保護者です。

町外の利用したい場所としては、「揖斐川町（6人）」「瑞穂市」「本巣市」「岐阜市」が記載されていました。

図表1-44 教育・保育事業を利用したい場所



5 地域子育て支援事業

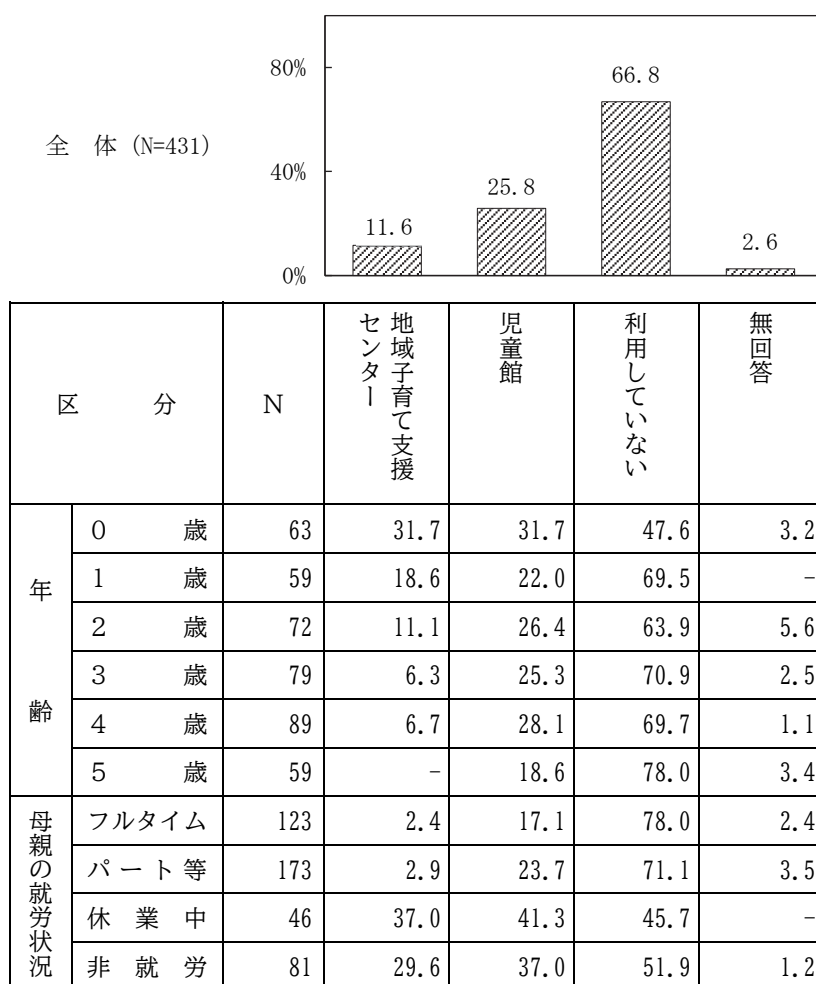
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

① 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「児童館」や「子育て支援センター」が含まれます）の利用状況をたずねた結果が図表1-45です。「地域子育て支援センター」は0歳が31.7%と高く、「児童館」は0～4歳まで20%以上の利用となっています。母親の就労状況別では、フルタイムやパート等と比べて、休業中や非就労の利用が高くなっています。

図表1-45 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）

単位：Nは人、他は%

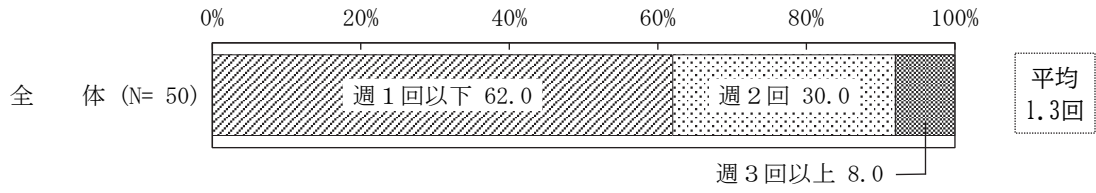


② 地域子育て支援拠点事業の利用回数

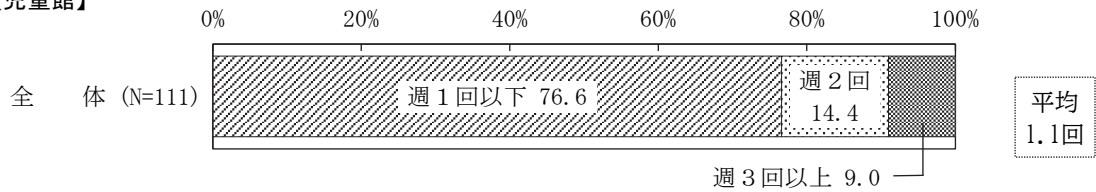
児童館や地域子育て支援センターの利用回数は、いずれも「週平均1回以下」が60%以上を占めており、平均は地域子育て支援センターが週1.3回、児童館が1.1回です（図表1-46）。

図表 1-46 地域子育て支援拠点事業の利用回数

【地域子育て支援センター】



【児童館】

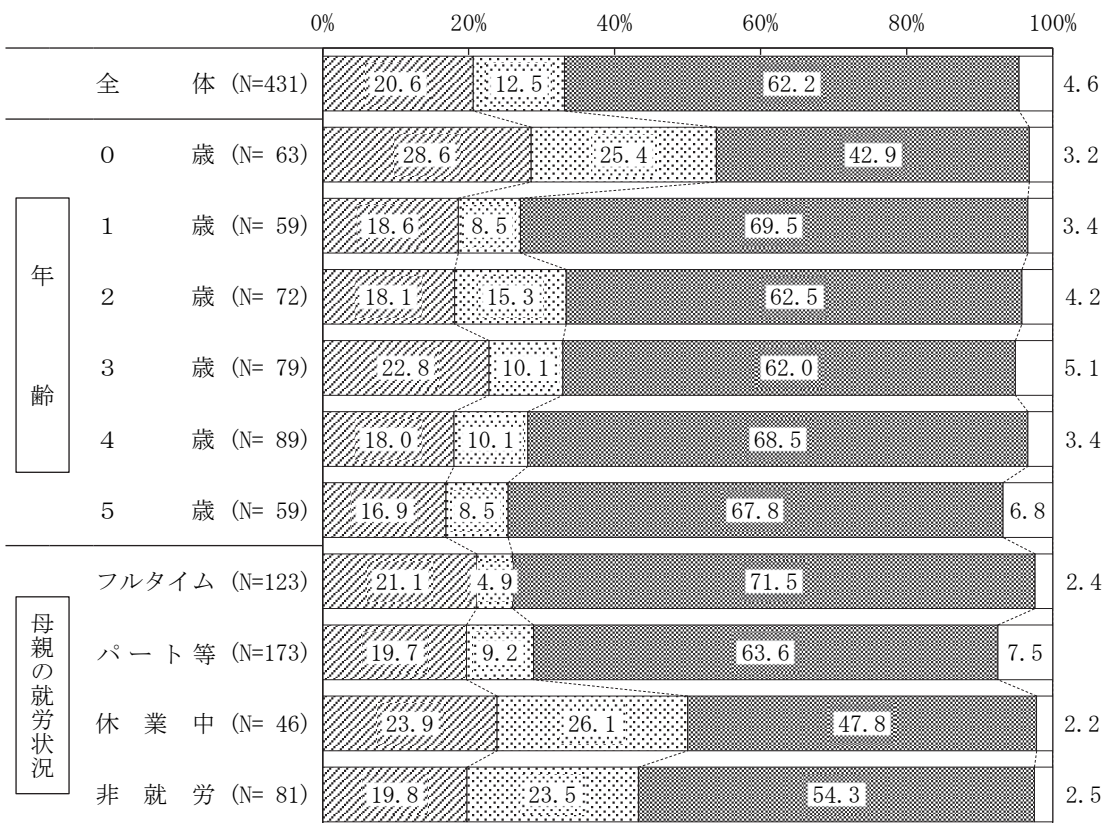


(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

① 地域子育て支援拠点事業の利用意向

地域子育て支援拠点事業の利用意向は、全体では「利用していないが、今後利用したい」(20.6%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(12.5%)を合計すると33.1%となっており、0歳、休業中は50%以上です。

図表 1-47 地域子育て支援拠点事業の利用意向



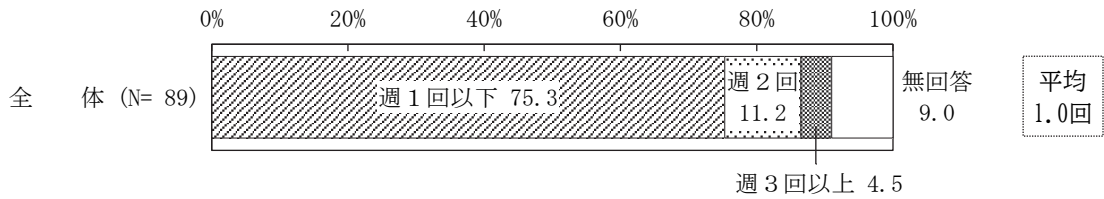
- ▨ 利用していないが、今後利用したい
- ▤ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

② 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数

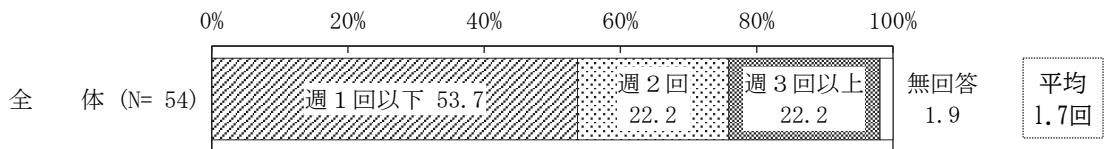
児童館や地域子育て支援センターの利用回数は、「利用していないが、今後利用したい」と答えた人は週平均1.0回、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と答えた人は週平均1.7回となっています（図表1-48）。

図表1-48 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数

【「利用していないが、今後利用したい」と答えた人】



【「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と答えた人】



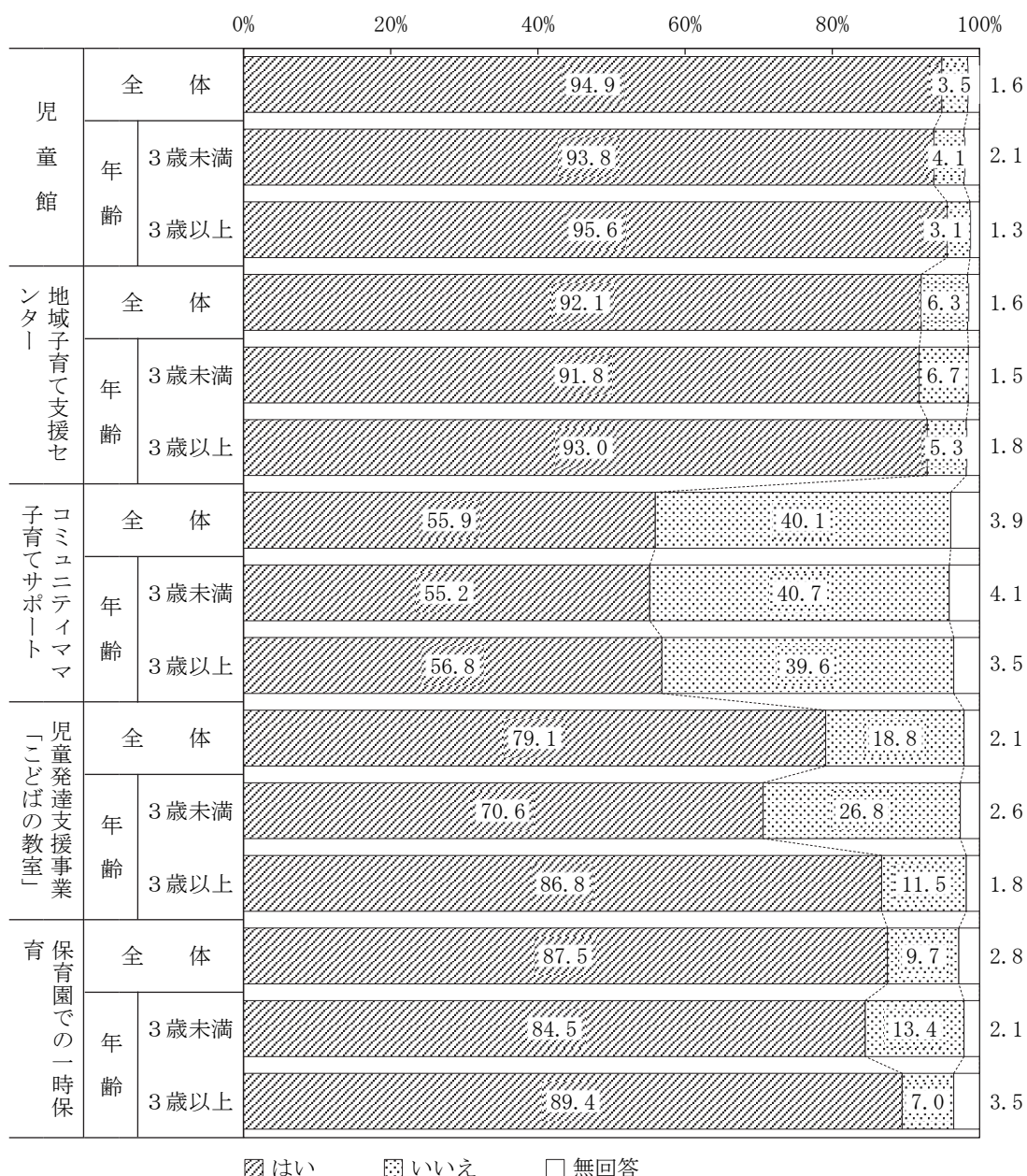
(3) 子育て支援事業等の認知度・利用経験・利用意向

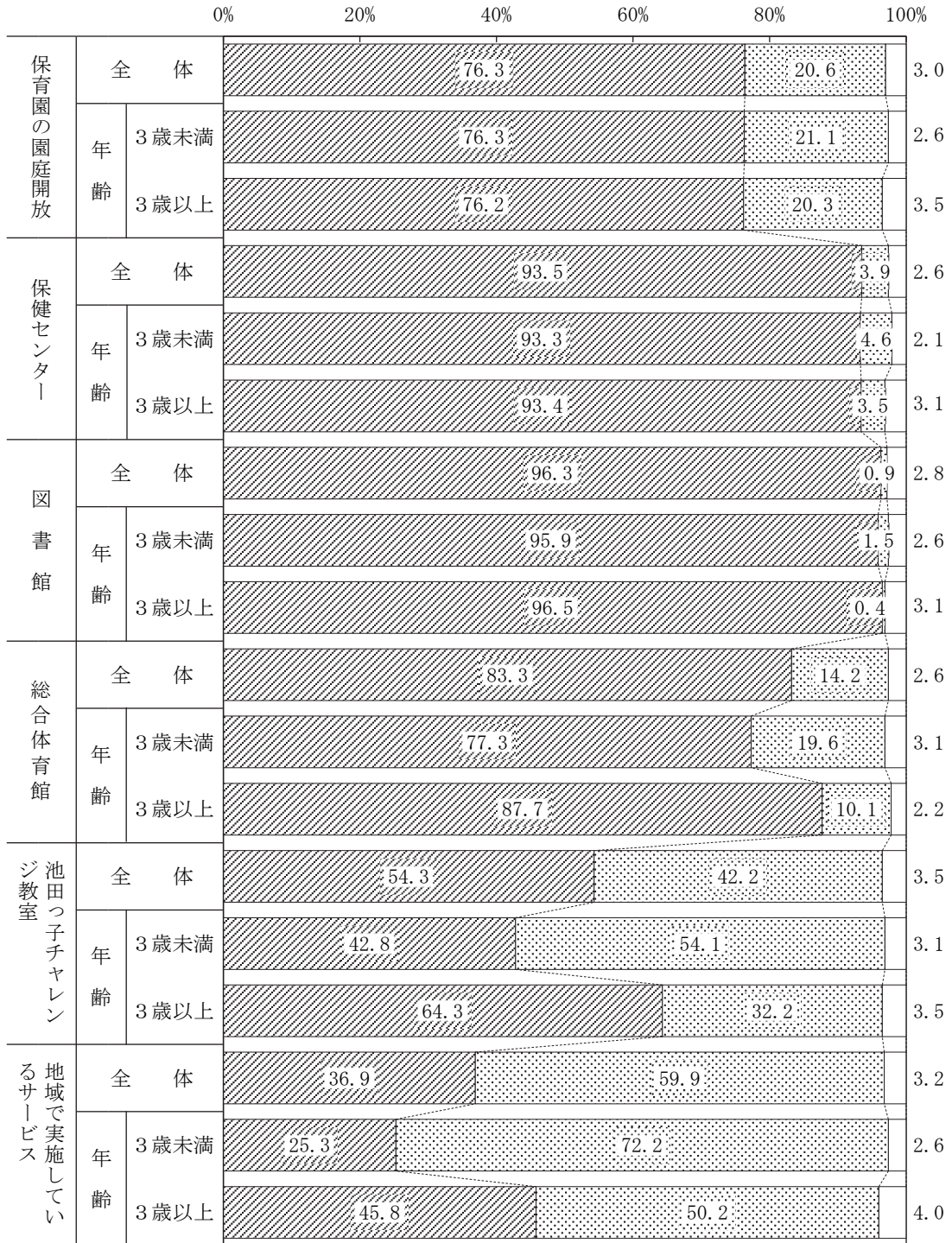
① 認知度（「知っている」）

子育て支援に関連する11の施設・事業の認知度をみると、「児童館」「地域子育て支援センター」「保健センター（相談、親子教室等）」「図書館」は90%以上と高いのに対し、「地区公民館などを活用して地域で実施しているサービス」「池田っ子チャレンジ教室」「コミュニティママ子育てサポート」は60%以下にとどまっています。

年齢別にみると、「池田っ子チャレンジ教室」「地区公民館などを活用して地域で実施しているサービス」は3歳以上が20ポイント以上高く、そのほかは大きな開きは見られません。

図表1-49 子育て支援事業等の認知度





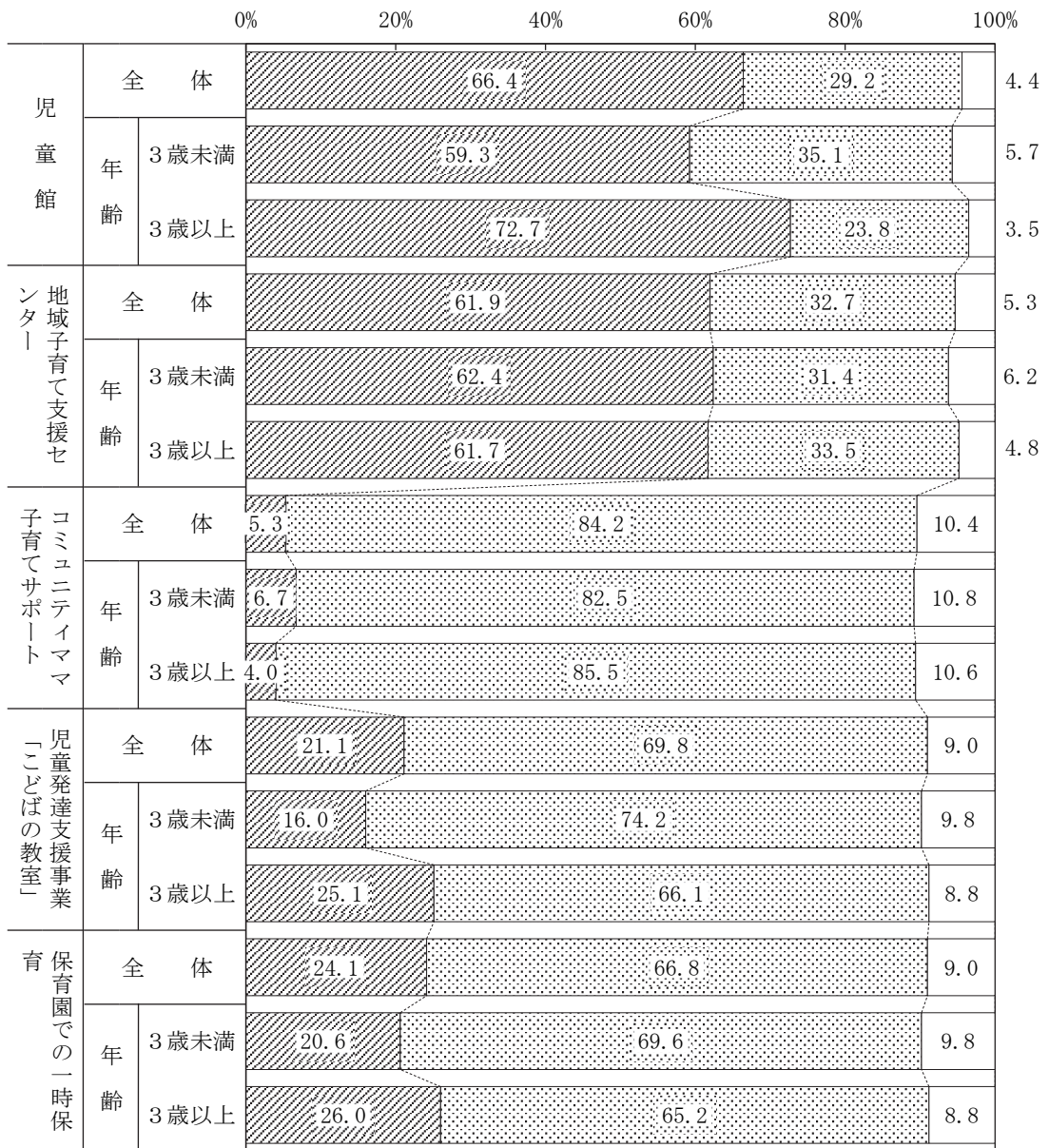
はい
 いいえ
 無回答

N=全体 431 3歳未満 194 3歳以上 227

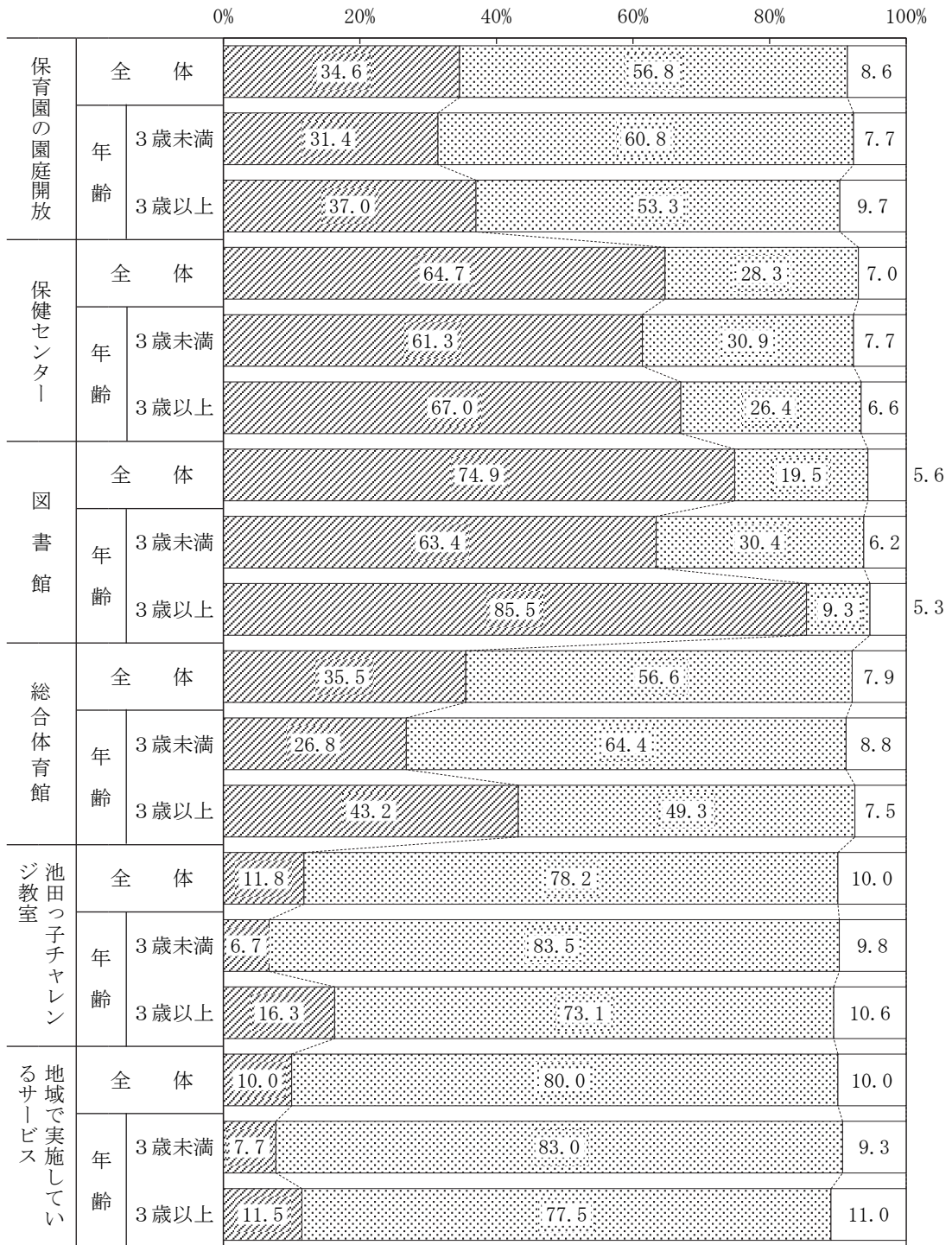
② 利用経験（「これまでに利用したことがある」）

利用経験が高いのは、「図書館」（74.9%）、「児童館」（66.4%）、「保健センター（相談、親子教室等）」（64.7%）、「地域子育て支援センター」（61.9%）などであり、「コミュニティママ子育てサポート」（5.3%）、「地区公民館などを活用して地域で実施しているサービス」（10.0%）、「池田っ子チャレンジ教室」（11.8%）は低くなっています。年齢別にみると、「図書館」「総合体育館」は3歳以上が15ポイント以上高くなっています。

図表1-50 子育て支援事業等の利用経験



■ はい □ いいえ □ 無回答



はい
 いいえ
 無回答

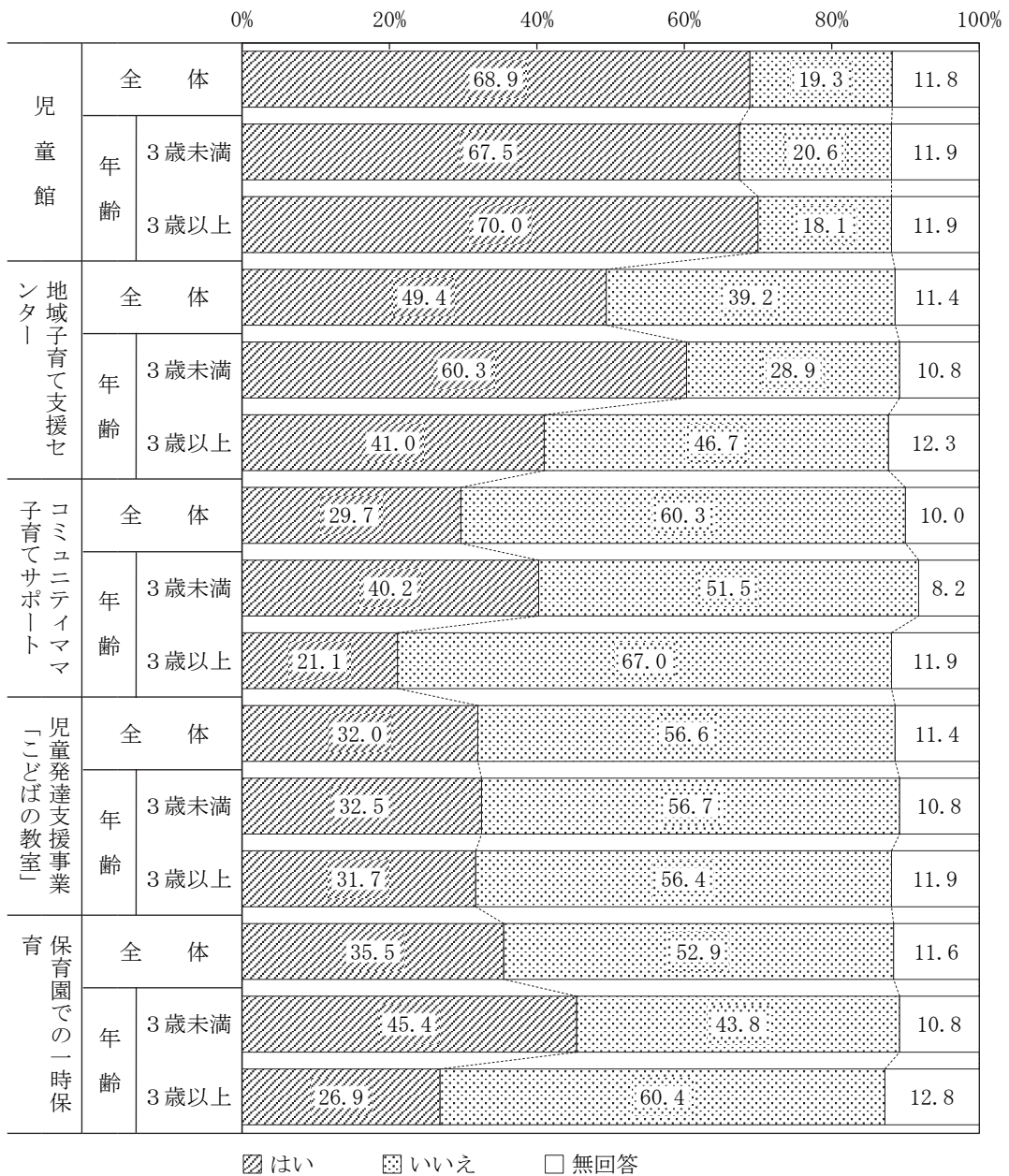
N=全体 431 3歳未満 194 3歳以上 227

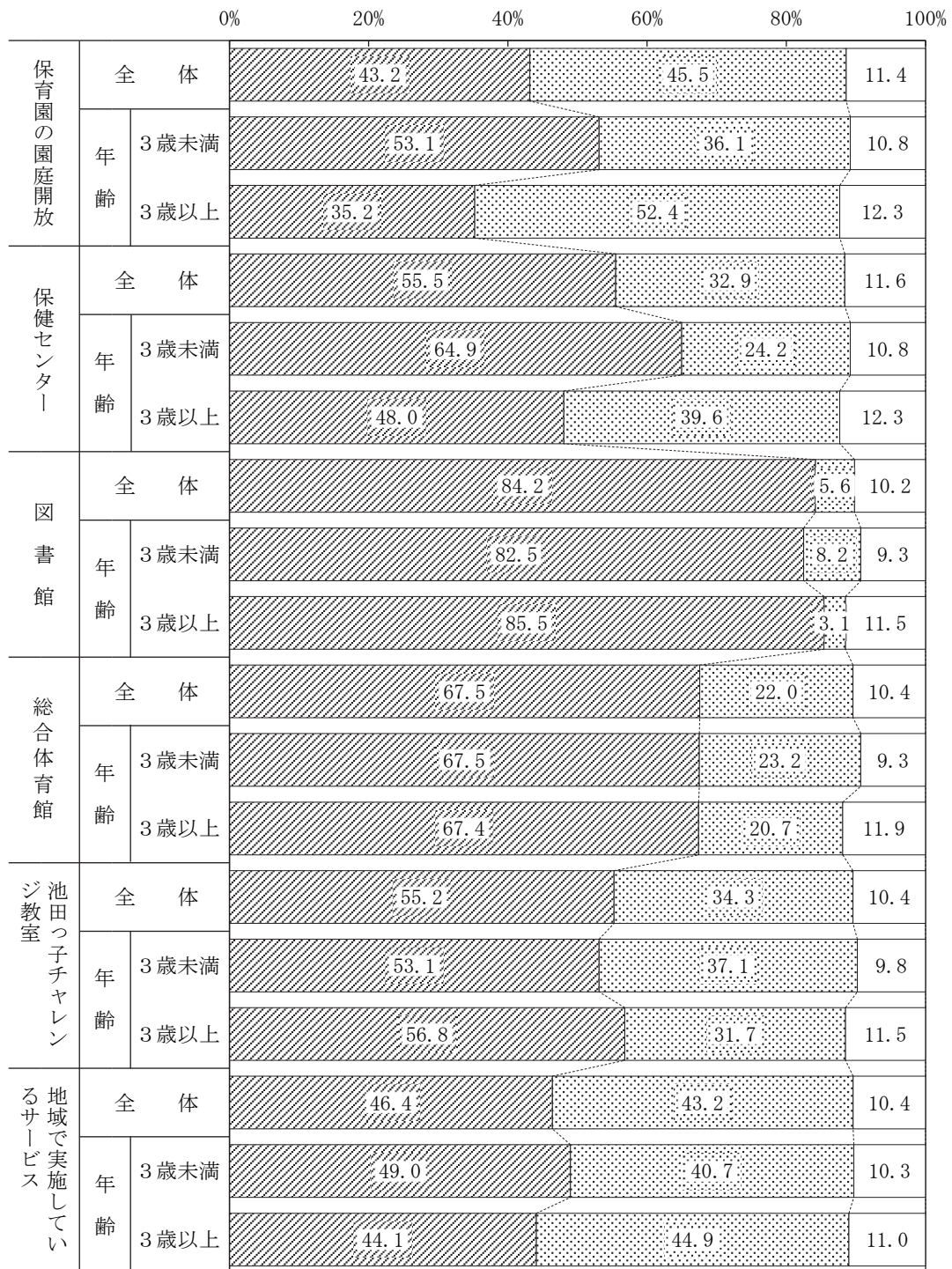
③ 利用意向（「今後利用したい」）

利用意向は、②の利用経験に比べると、「池田っ子チャレンジ教室」「地区公民館などを活用して地域で実施しているサービス」「総合体育館」は30ポイント以上高くなっています。また、3歳未満の「コミュニティママ子育てサポート」も30ポイント以上高くなっています。

逆に利用経験より低くなっているのは、「地域子育て支援センター」「保健センター」で、3歳頃までの利用が多い施設です。

図表1-51 子育て支援事業等の利用意向





はい
 いいえ
 無回答

N=全体 431 3歳未満 194 3歳以上 227

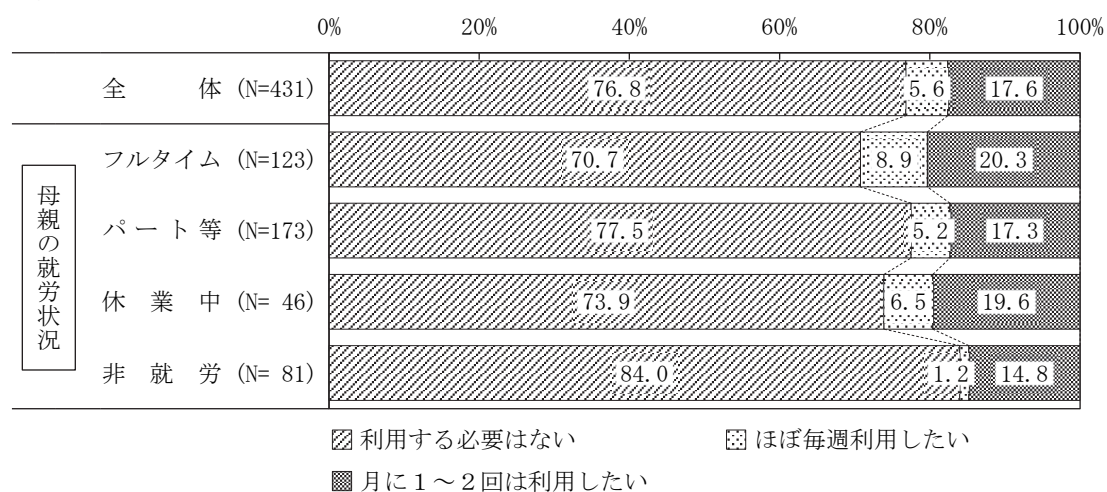
6 休日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(1) 土曜日

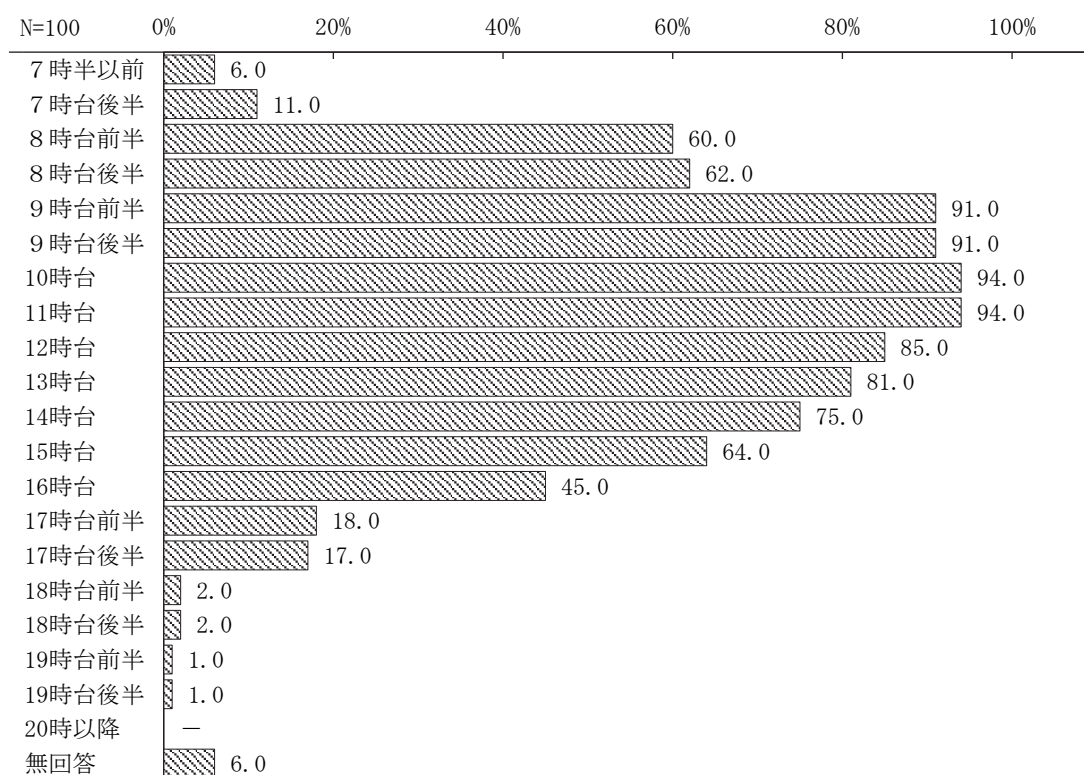
土曜日の定期的な教育・保育事業については、「利用する必要はない」が76.8%を占めていますが、「月に1～2回は利用したい」が17.6%、「ほぼ毎週利用したい」が5.6%と、合わせて23.2%の利用希望があります。母親の就労状況別にみると、「ほぼ毎週利用したい」は、フルタイム、休業中の利用希望が高くなっています（図表1-52）。

利用希望時間帯をみると、8時台前半から15時台が高くなっています（図表1-53）。

図表1-52 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表1-53 土曜日の利用希望時間帯

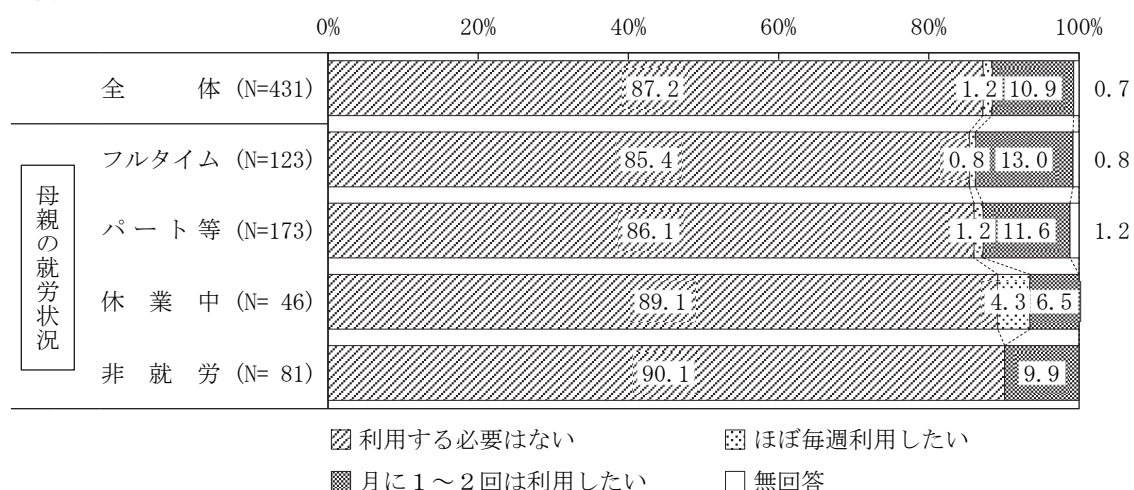


(2) 日曜日・祝日

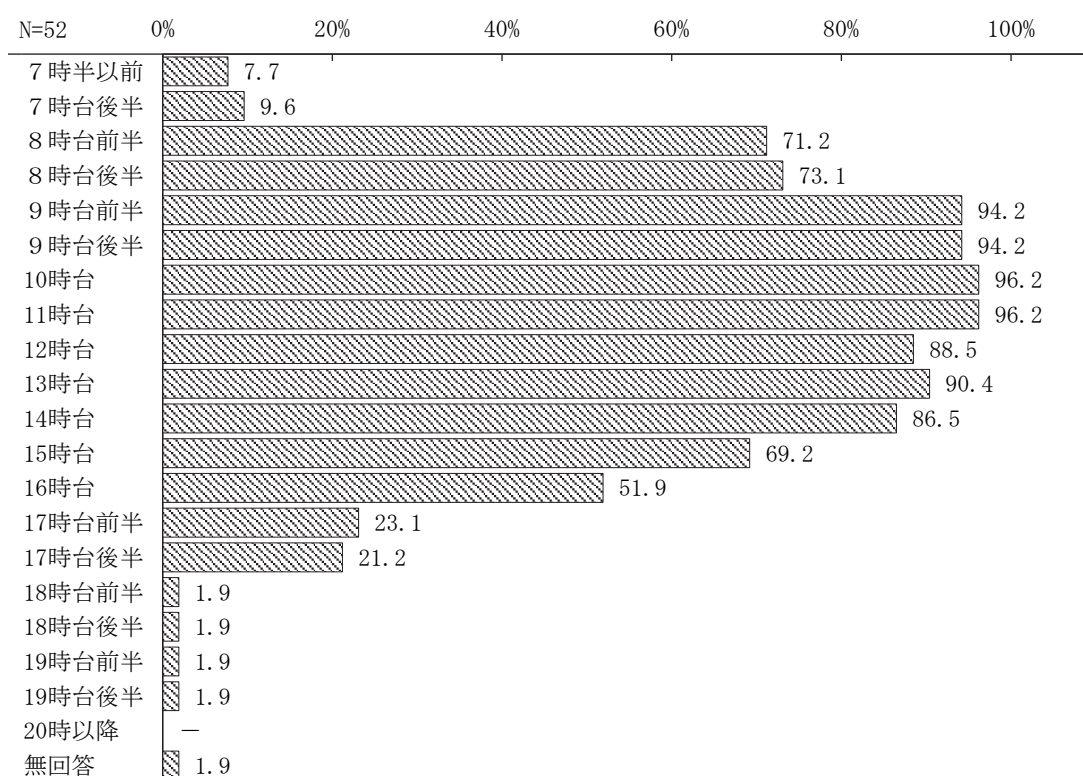
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業については、「利用する必要はない」が87.2%を占めています。「月に1～2回は利用したい」が10.9%、「ほぼ毎週利用したい」が1.2%と、合わせて12.1%の利用希望があります（図表1-54）。

利用希望時間帯をみると、8時台前半から15時台が高くなっています（図表1-55）。

図表1-54 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表1-55 日曜日・祝日の利用希望時間帯

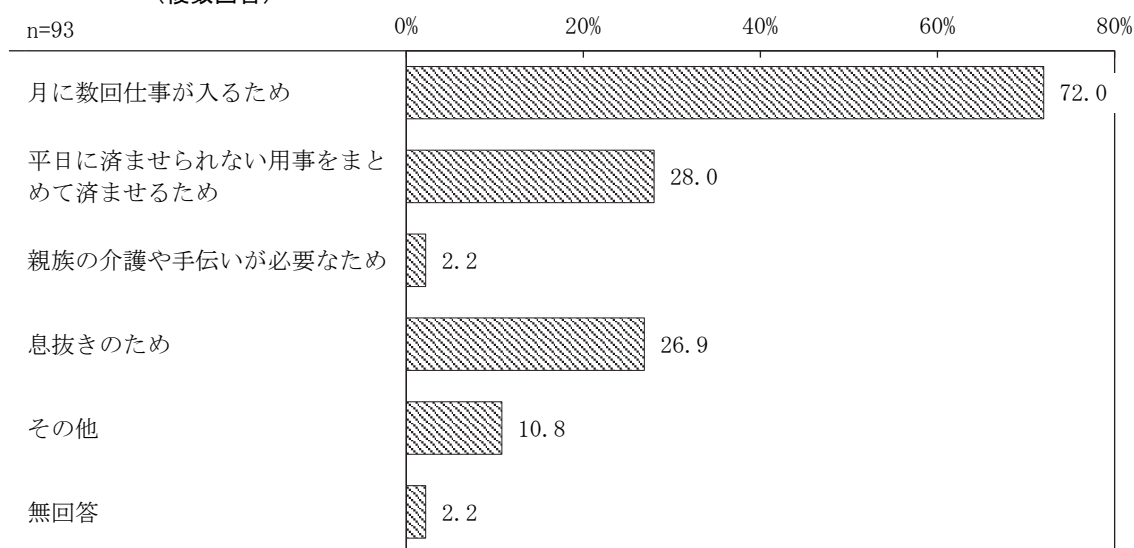


(3) 土曜日または日曜・祝日に月に1～2回利用したい理由

土曜日または日曜・祝日に月に1～2回は定期的な教育・保育事業を利用したいと答えた人の毎週利用するのではなく、たまに利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」(72.0%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(28.0%)、「息抜きのため」(26.9%)などとなっています。

「その他」として、図表1-57の記載がありました。

図表1-56 土曜日または日曜・祝日に月に1～2回は定期的な教育・保育事業を利用したい理由
(複数回答)



図表1-57 土曜日または日曜・祝日に月に1～2回は定期的な教育・保育事業を利用したい理由
(その他)

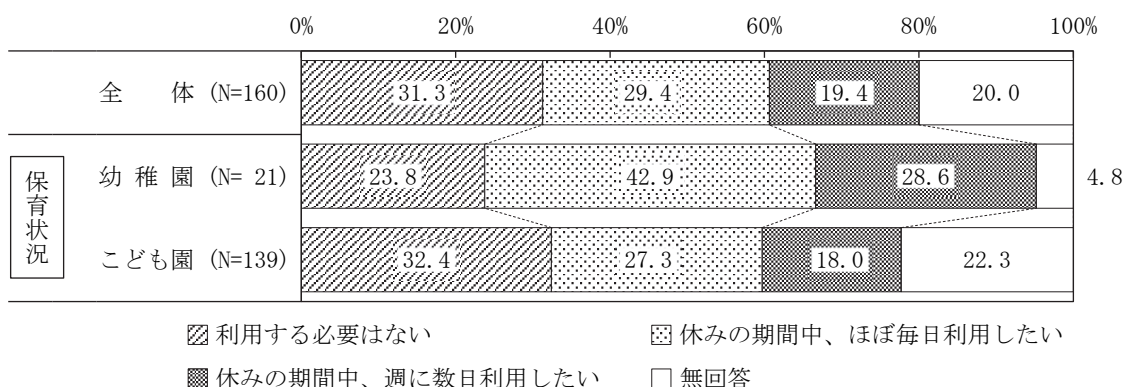
<ul style="list-style-type: none"> ・ 祝日に仕事があるため (4人) ・ 上の子の習い事があるため ・ 兄弟の少年団の手伝いがあるため ・ 兄弟の都合のため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多児のため ・ 祖父母が孫2人を1日見るのが大変なため ・ 友だち作り ・ 天候が悪いとき等
--	---

(4) 長期休暇期間中の幼稚園または認定こども園（幼稚園部）の利用

図表1-58は、幼稚園または認定こども園（幼稚園部）利用の160人に夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望をたずねた結果です。「利用する必要はない」が31.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が29.4%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が19.4%となっています。保育状況別にみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は幼稚園がこども園がより15.6ポイント高くなっています。

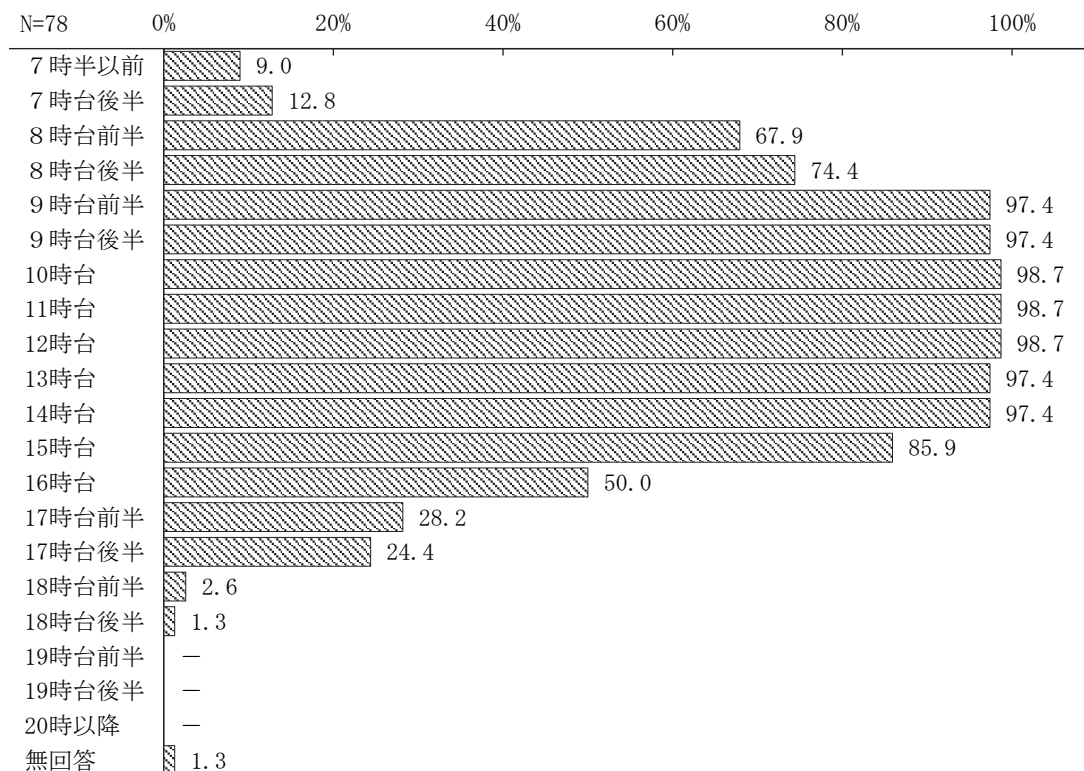
利用希望時間帯をみると、8時台前半から15時台が高くなっています(図表1-59)。

図表1-58 長期休暇期間中の幼稚園または認定こども園（幼稚園部）の利用意向



(注) 回答者のみ

図表1-59 長期休暇期間中の利用希望時間帯

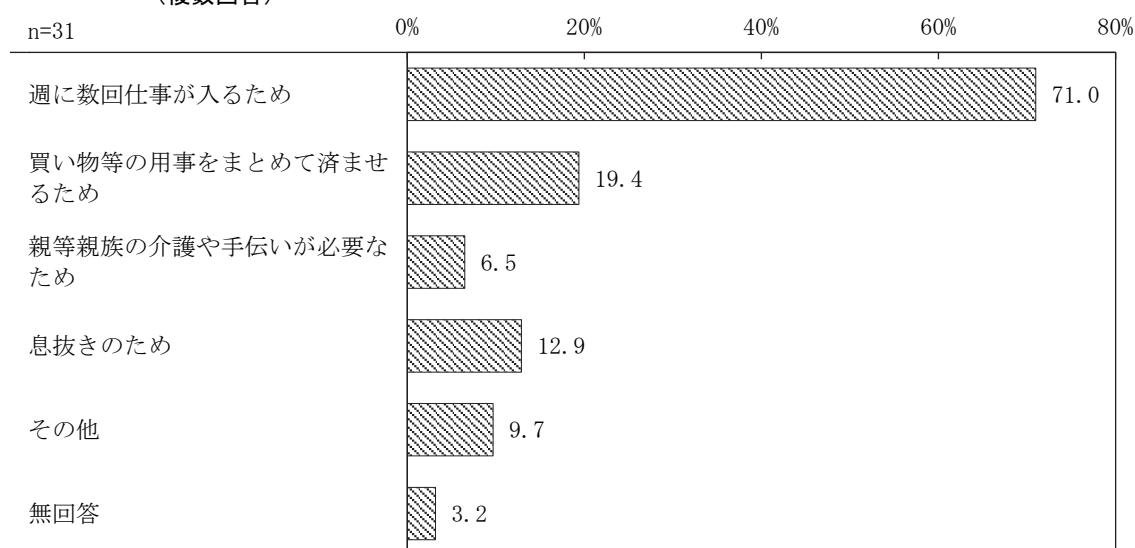


(5) 長期休暇期間中に週に数日利用したい理由

長期休暇期間中に週に数日は幼稚園または認定こども園（幼稚園部）を利用したいと答えた人の毎日ではなく、たまに利用したい理由としては、「週に数回仕事が入るため」（71.0%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（19.4%）、「息抜きのため」（12.9%）などとなっています。

「その他」として、「多児のため」「祖父母に見てもらおう負担を減らすため（父母共に仕事あり）」「祖母が迎えに行けない日があるため」「お盆休みが仕事上ないため」が記載されていました。

図表 1-60 長期休暇期間中に週に数日は幼稚園または認定こども園（幼稚園部）利用したい理由
（複数回答）

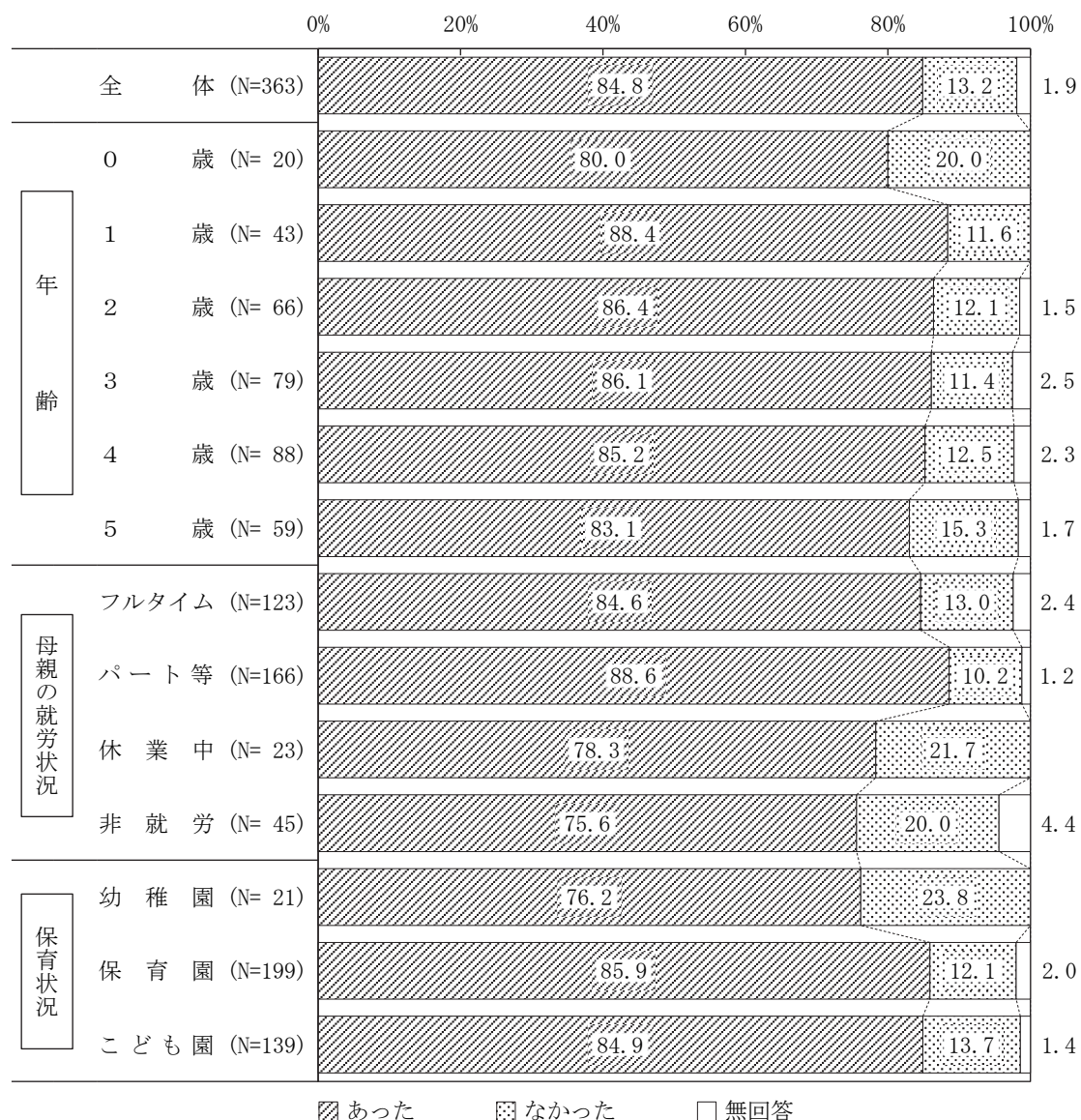


7 子どもが病気の時の対応

(1) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無

定期的な教育・保育事業を利用している子どもが病気やケガで通常の定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無については、「あった」が84.8%、「なかった」が13.2%です。

図表1-61 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無



(2) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法

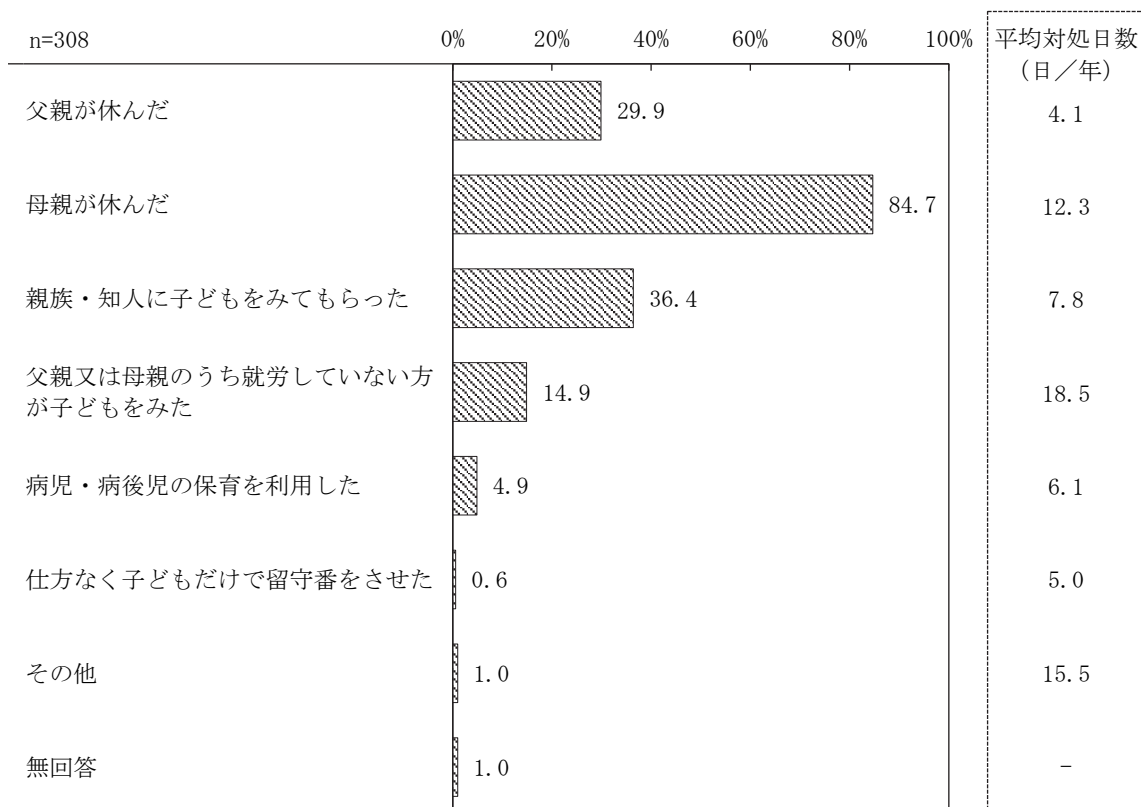
定期的な教育・保育事業を利用している子どもが病気等で事業が利用できなかった時の対処方法については、「母親が休んだ」(84.7%)が最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった(同居者を含む)」(36.4%)、「父親が休んだ」(29.9%)、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」(14.9%)の順となっています。

「病児・病後児の保育を利用した」は4.9%でした。

対処が必要だった日数の平均を対処方法別にみると、「母親が休んだ」は12.3日、「親族・知人に子どもをみてもらった」は7.8日、「父親が休んだ」は4.1日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は18.5日、「病児・病後児の保育を利用した」は6.1日となっています。

「その他」として、「母親が育休中」「母が専業主婦のため必要なし」「お姉ちゃんが休みだったので見てもらった」「見ながら仕事をした」が記載されていました。

図表1-62 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法(複数回答)



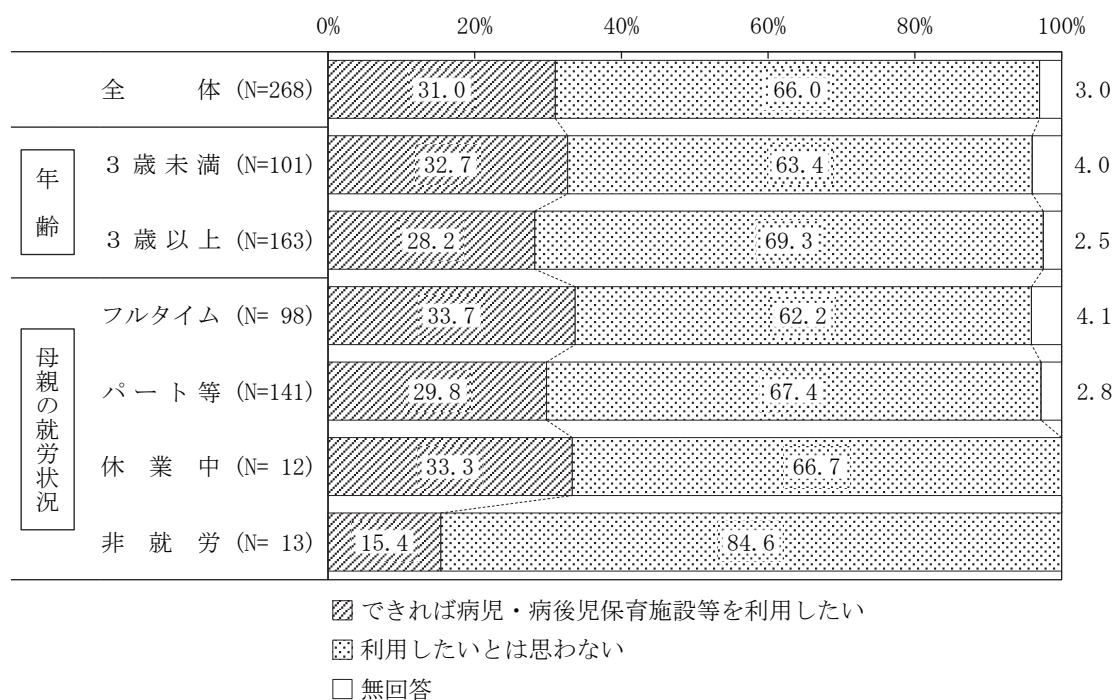
(注)「ベビーシッターを利用した」「コミュニティママ子育てサポートを利用した」という選択肢には該当がなかった。

(3) 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の施設の利用意向

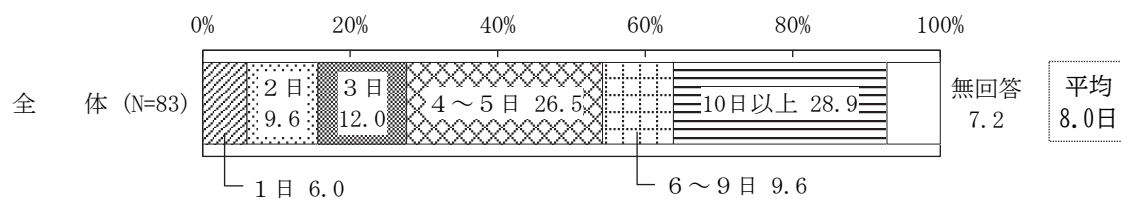
子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できず、親が仕事を休んで対処した人のうち、病児・病後児保育施設等を利用したいと答えた人は31.0%です(図表1-63)。

預けたいと思った日数の平均は、8.0日になっています(図表1-64)。

図表1-63 子どもが病気等で定期的な教育・保育事業が利用できず、親が仕事を休んだ人の施設の利用意向



図表1-64 施設に預けたいと思った日数(日/年)



8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり

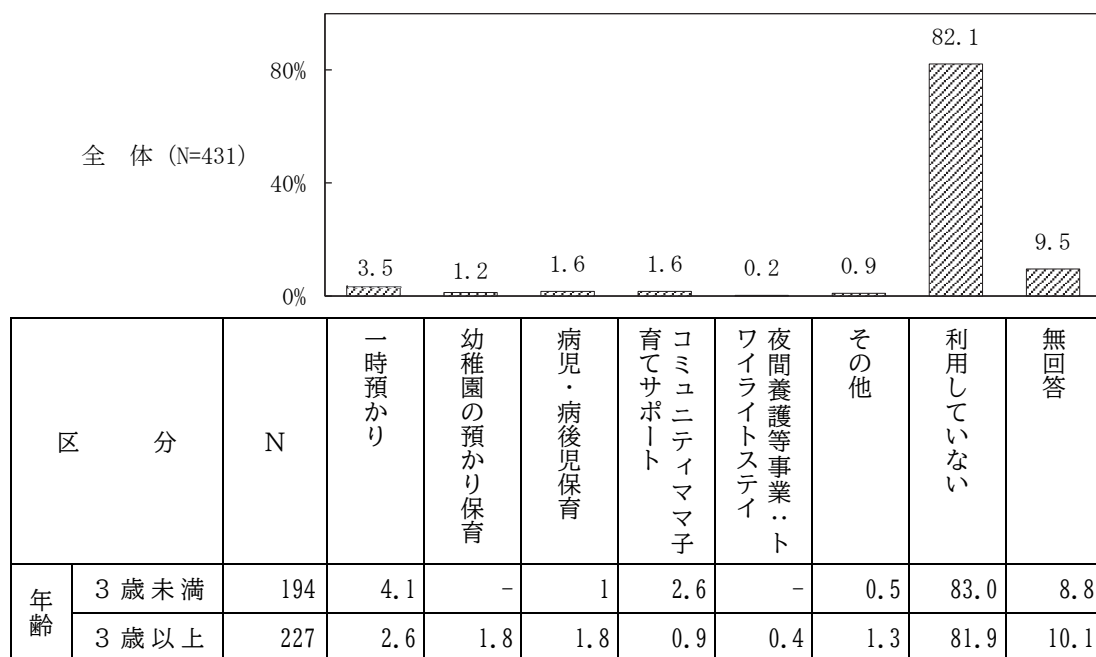
(1) 不定期的に利用している教育・保育事業

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期的に利用している事業としては、「一時預かり」が3.5%と最も高く、「病児・病後児保育」「コミュニティママ子育てサポート」「幼稚園の預かり保育」などいずれも2%未満の利用となっています。また、1年間の平均利用日数は、「一時預かり」が9.2日、「病児・病後児保育」が6.5日、「コミュニティママ子育てサポート」4.1日、「幼稚園の預かり保育」が13.0日などとなっています。

「その他」として、「職場の託児所」「事業所にある保育園」「延長保育」「祖父母」が記載されていました。

図表1-65 不定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）

単位：Nは人、他は%



(注)「ベビーシッター」という選択肢には該当がなかった。

図表1-66 不定期的に利用している教育・保育事業の平均利用日数

単位：日/年

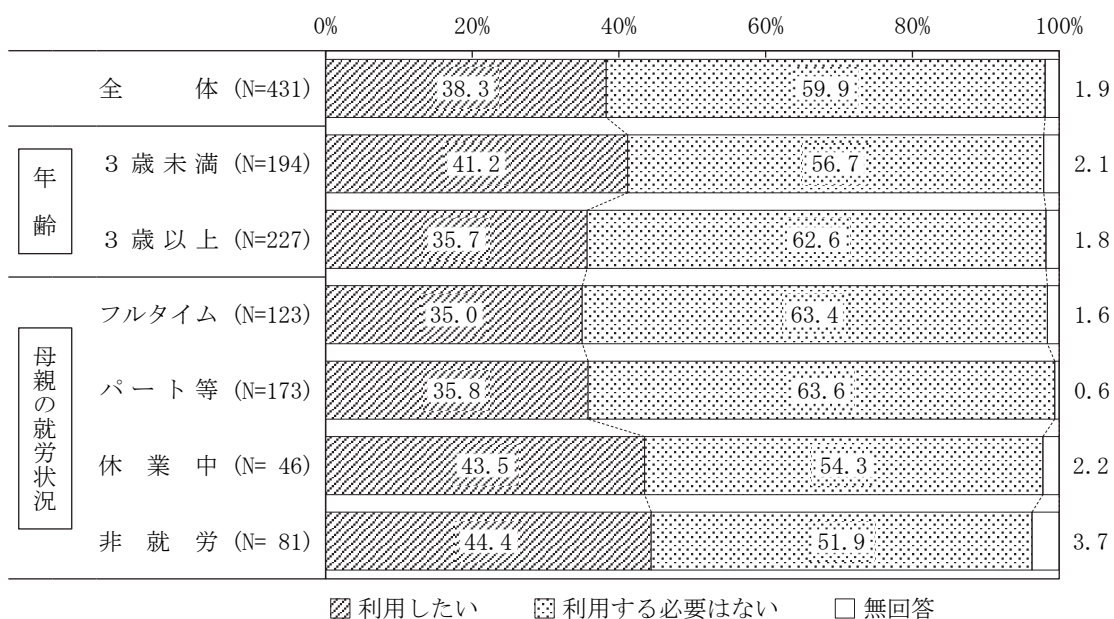
区分	一時預かり	幼稚園の預かり保育	病児・病後児保育	コミュニティママ子育てサポート	夜間養護等事業・ワイルドステイ	その他
全体	9.2	13.0	6.5	4.1	3.0	30.0
年齢	3歳未満	-	2.0	2.4	-	20.0
	3歳以上	8.7	13.0	4.3	8.5	35.0

(2) 不特定の教育・保育事業の利用意向

① 利用意向

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定の教育・保育事業を「利用したい」と答えているのは38.3%です。「利用したい」は、年齢別では3歳未満（41.2%）が高く、母親の就労状況別では、非就労（44.4%）、休業中（43.5%）が高くなっています。

図表1-67 不特定の教育・保育事業の利用意向



② 不定期の教育・保育事業の利用目的

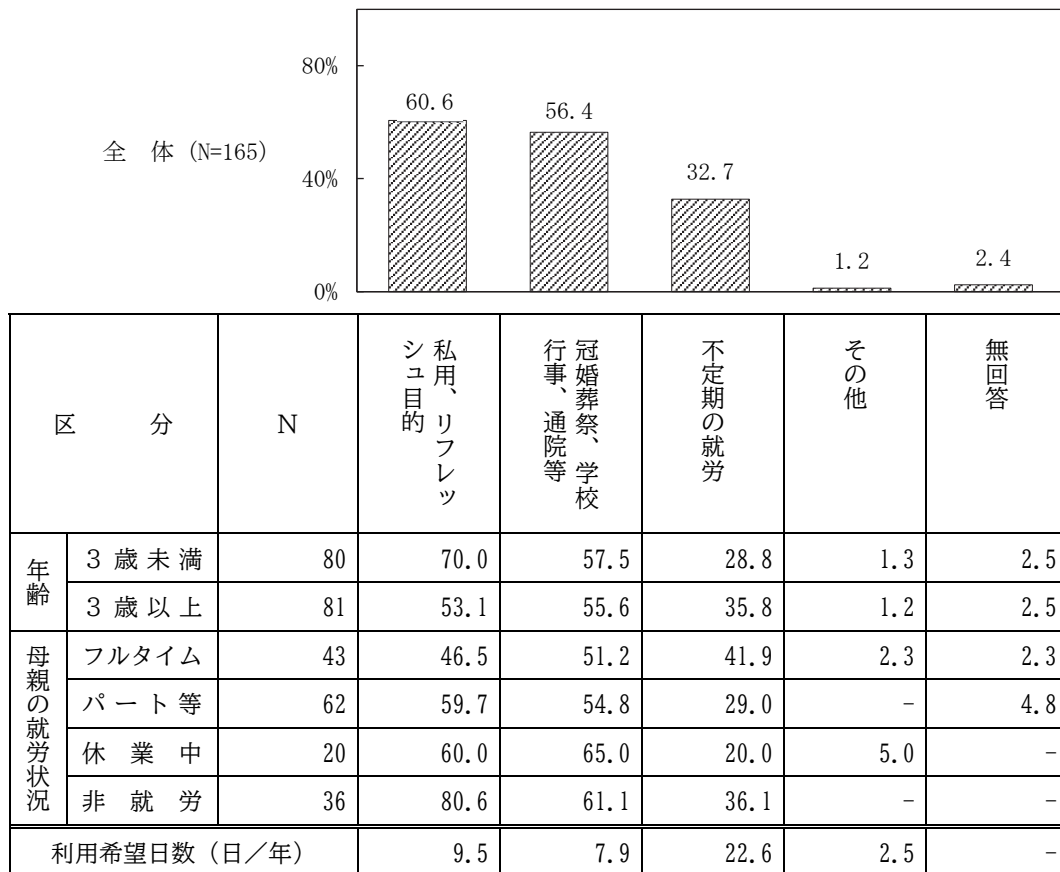
①で「利用したい」と答えた人の利用目的をたずねた結果が図表1-68です。「私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(60.6%)、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等」(56.4%)、「不定期の就労」(32.7%)などとなっています。

目的別の1年間の利用希望日数をみると、「不定期の就労」が22.6日と最も多く、「私用、リフレッシュ目的」が9.5日、「冠婚葬祭、学校行事、通院等」が7.9日です。

「その他」として、「資格のための研修を受講するため」「緊急時、親の急病時など」が記載されていました。

図表1-68 目的別の不定期の教育・保育事業の利用希望(複数回答)

単位：Nは人、利用希望日数は日、他は%



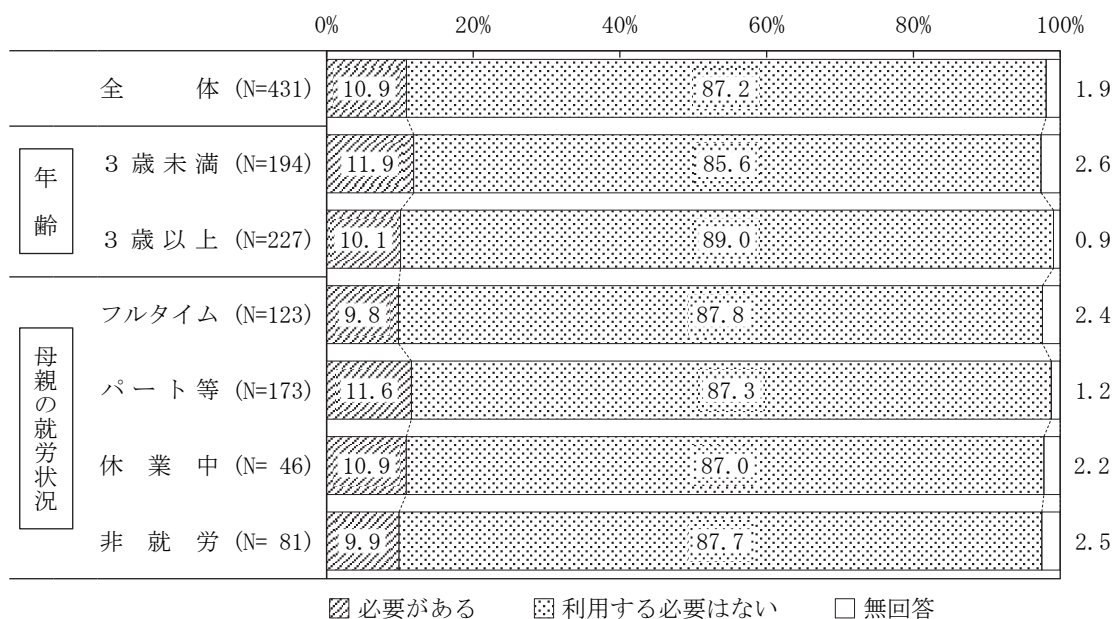
区 分		N	私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、通院等	不定期の就労	その他	無回答
年齢	3歳未満	80	70.0	57.5	28.8	1.3	2.5
	3歳以上	81	53.1	55.6	35.8	1.2	2.5
母親の就労状況	フルタイム	43	46.5	51.2	41.9	2.3	2.3
	パート等	62	59.7	54.8	29.0	-	4.8
	休業中	20	60.0	65.0	20.0	5.0	-
	非就労	36	80.6	61.1	36.1	-	-
利用希望日数(日/年)			9.5	7.9	22.6	2.5	-

(3) 宿泊を伴う一時預かり

① 子どもを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思うか

保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(きょうだい含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うかたずねたところ、「必要がある」は10.9%です。

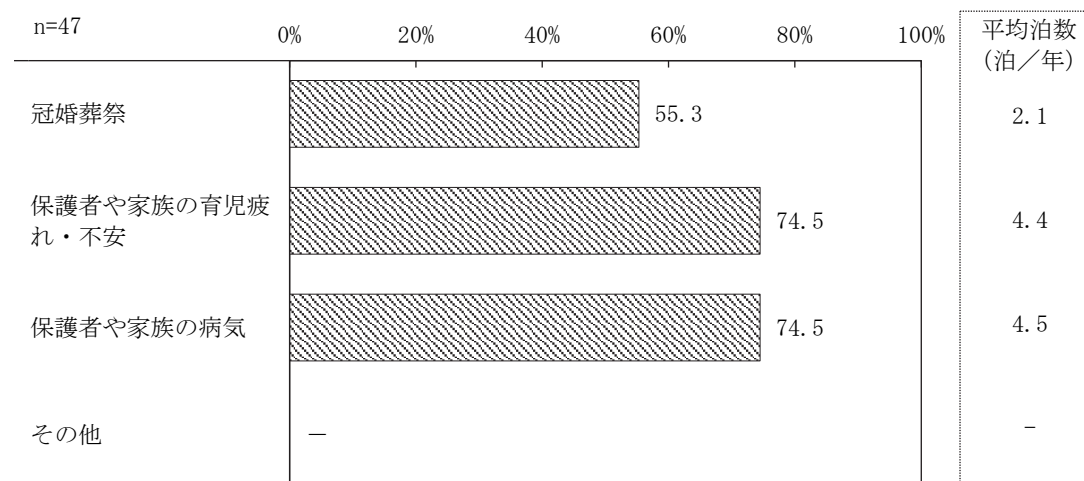
図表 1-69 子どもを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思うか



② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用目的

前問で「必要がある」と答えた人に、短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用目的をたずねたところ、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」がともに74.5%と高く、必要な平均泊数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が4.4泊、「保護者や家族の病気」が4.5泊などとなっています。

図表 1-70 短期入所生活援助事(ショートステイ)の利用目的(複数回答)



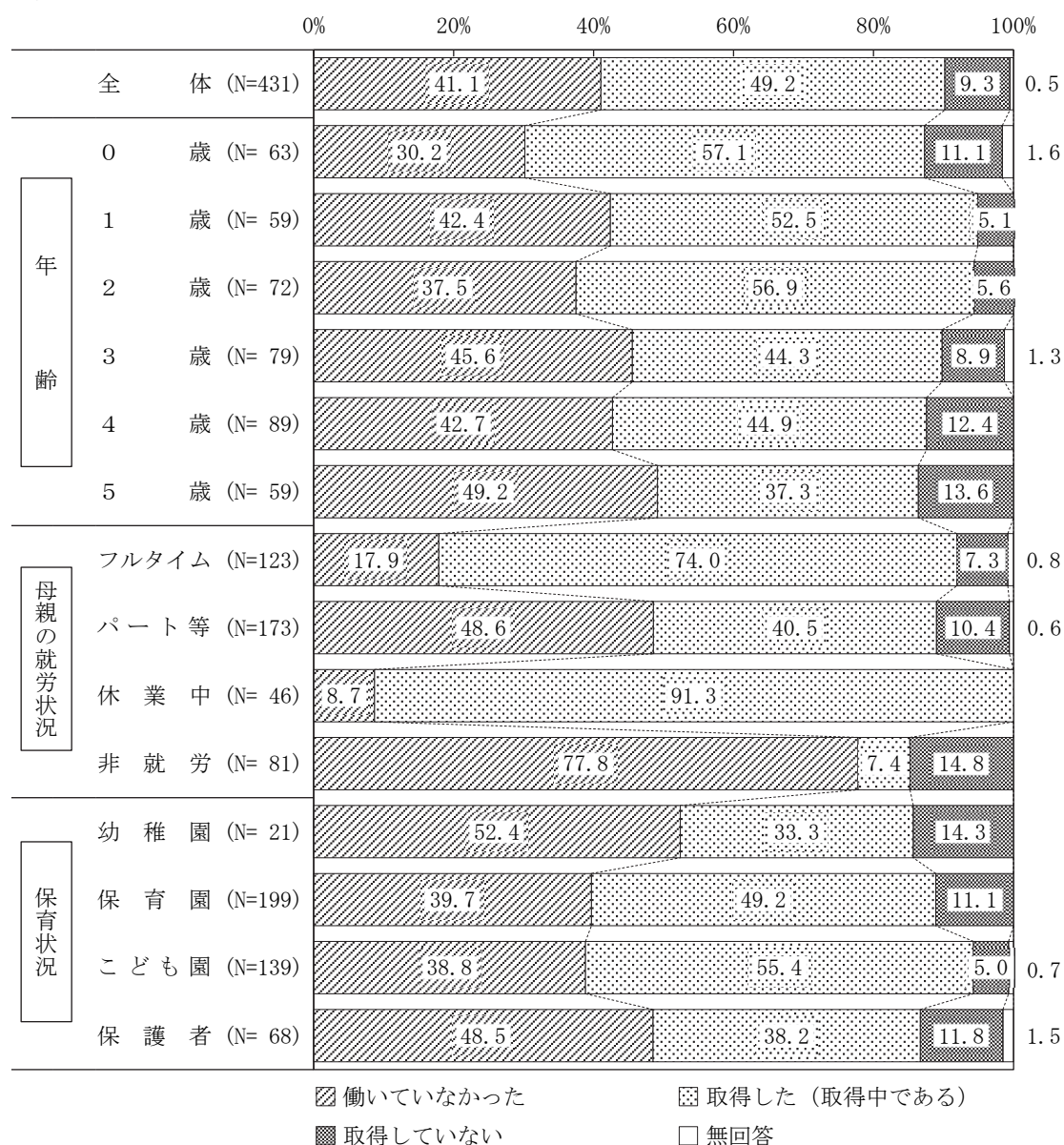
9 育児休業制度

(1) 育児休業の取得

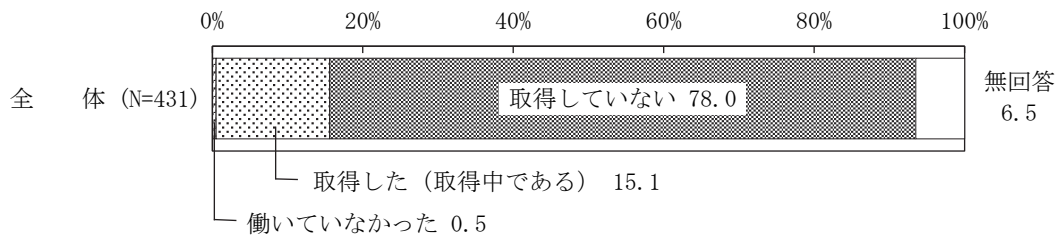
育児休業を「取得した（取得中である）」母親は49.2%ですが、子どもの出生時に「働いていなかった」母親が41.1%います。子どもの年齢別にみると、0～2歳の取得率が50%台と高くなっています。また、母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「取得した（取得中である）」は74.0%を占めています（図表1-71）。

育児休業を「取得した（取得中である）」と答えた父親は、15.1%（65人）です（図表1-72）。

図表1-71 母親の育児休業の取得状況



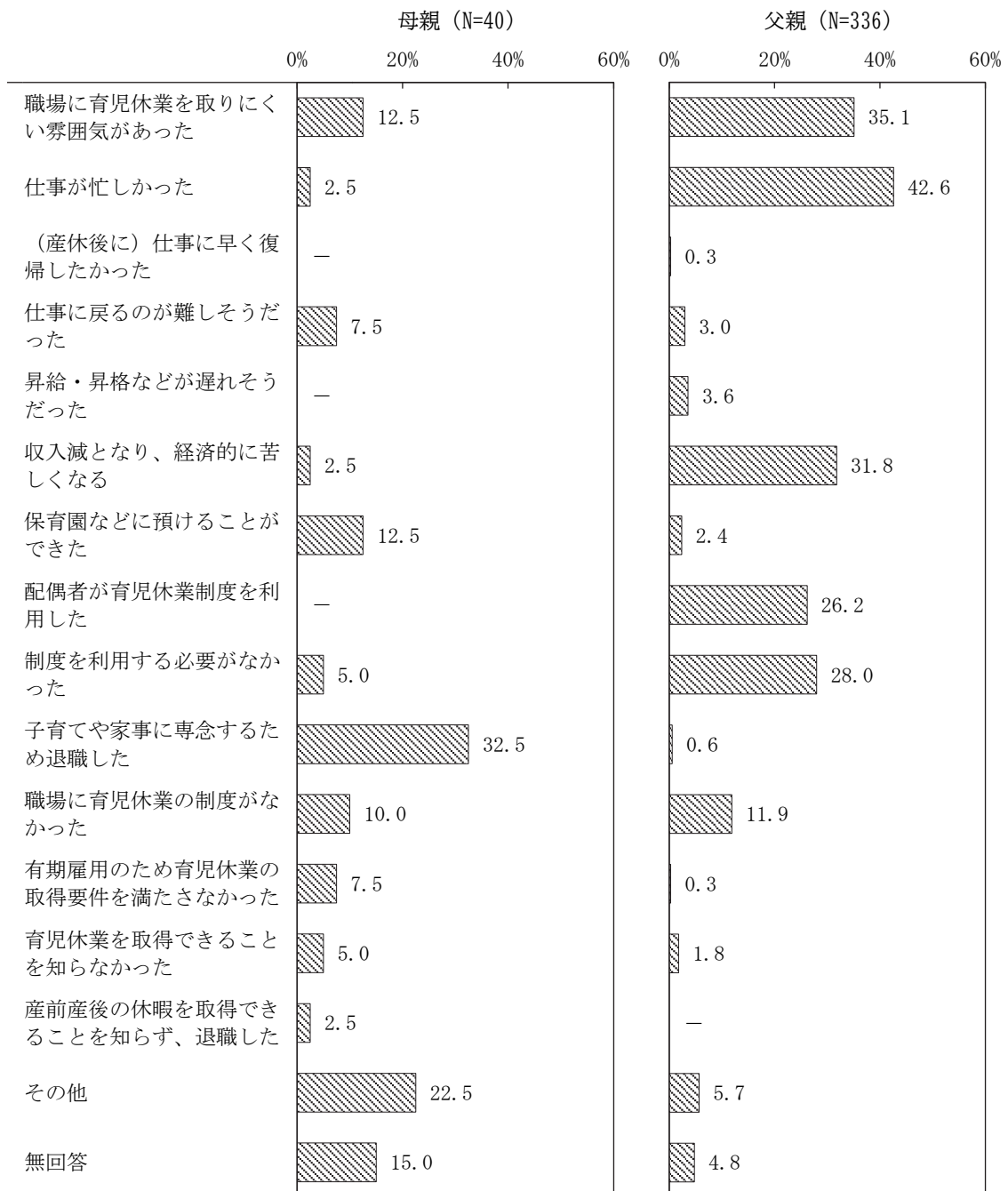
図表 1-72 父親の育児休業の取得状況



(2) 育児休業を取得しない理由

(1)で「取得していない」と答えた人の育児休業を取得しない理由としては、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が32.5%と最も高くなっています。「職場に育

図表 1-73 育児休業を取得しない理由（複数回答）



児休業を取りにくい雰囲気があった」「保育園などに預けることができた」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」も10%以上です。

父親は「仕事が忙しかった」が42.6%と最も高く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」も30%以上の比較的高い割合となっています。「その他」として、図表1-74の内容が記載されていました。

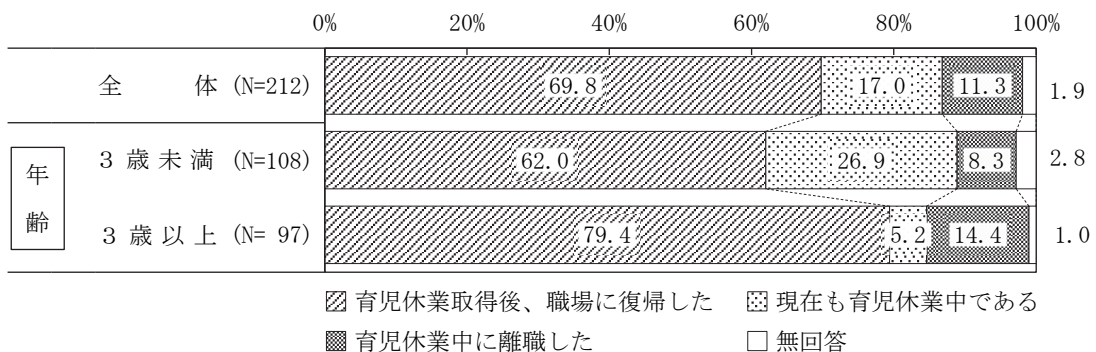
図表1-74 育児休業を取得しない理由（その他）

母 親	父 親
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自営だから（2人） ・ 母父共に個人事業主だったので、育休制度がなかった ・ 産休は取れないと言われた ・ 育児休業なく退職扱いとなった ・ つわりで出勤が困難で退職した ・ 人数が少ないため、産前1週間、産後8週間しか取得できなかった ・ 小さい子どもが2人いながら、保育士の正社員を続けるのが、仕事量的に自分には難しかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自営業だから（5人） ・ 母父共に個人事業主だったので、育休制度がなかった ・ 母親が働いておらず、家にいたため ・ 母親が育休を取得したから ・ 義両親のサポートがあったので、取得する必要がなかった ・ 昼休憩が長く、家に帰ってきて育児ができたため ・ 転職したため ・ 元々育児に積極的ではないので、家にいても何もしてもらえないので、仕事に行ってもらった方がよかった ・ 有休の中で休んだ ・ 育児休業の制度が整っておらず、利用しづらい ・ 育児休業を希望したが、取得できなかった ・ 取る必要なし ・ これから取得する予定である

(3) 育児休業取得後の職場復帰（母親）

(1)で育児休業を「取得した（取得中である）」と答えた212人の母親のうち、69.8%が「育児休業取得後、職場に復帰した」、17.0%が「現在も育児休業中である」、11.3%が「育児休業中に離職した」と答えています。子どもの年齢別にみると、3歳以上は「育児休業取得後、職場に復帰した」が79.4%を占めています。3歳未満は3歳以上に比べて「現在も育児休業中である」が高くなっています。

図表1-75 育児休業取得後の母親の職場復帰



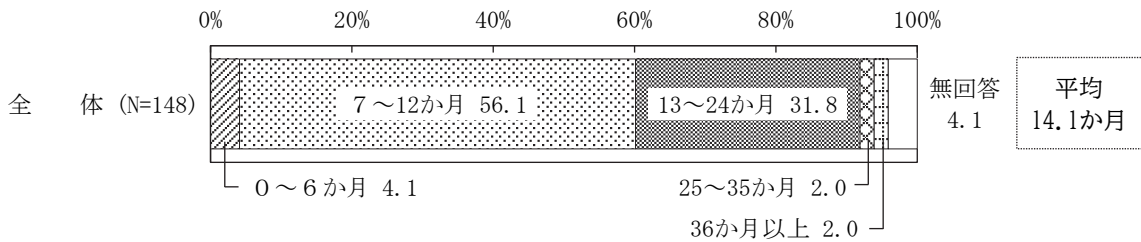
(4) 育児休業取得期間と取得希望期間（母親）

(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた母親に、子どもが何歳何か月のときに職場復帰したか、また、何歳何か月のときまで育児休業をとりたかったのかをたずねた結果が図表1-76です。母親の実際の取得期間は「7～12か月」が56.1%、「13～24か月」が31.8%などとなっており、平均は14.1か月です。これに対して、取得希望期間は「13～24か月」と「36か月以上」がともに31.1%と高く、平均は24.3か月となっています。これは、子どもが1歳または2歳で職場復帰をしている母親が多いが、希望としては子どもが2歳または3歳位までは仕事を休んで子どもの面倒をみたいという母親が多いということです。

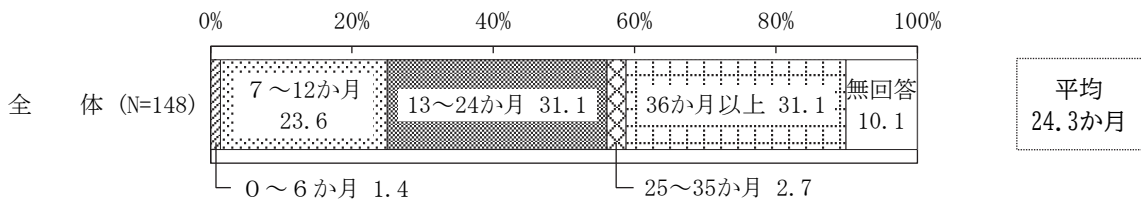
図表1-77は、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度が勤め先にあれば、子どもが何歳何か月までとりたかったかをたずねた結果ですが、「36か月以上」が52.7%を占めており、平均は29.3か月となっています。

図表1-76 育児休業の実際の取得期間と希望期間（母親）

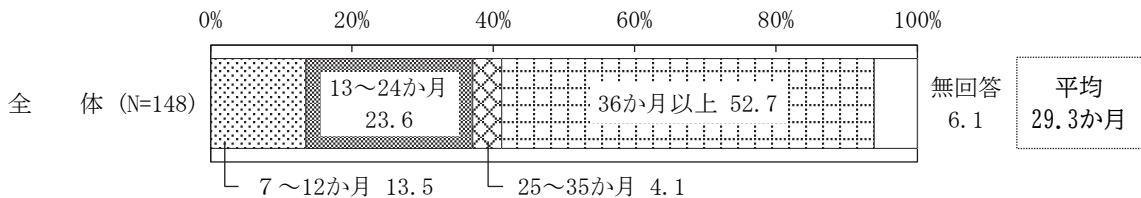
【実際の取得期間（子どもの月齢）】



【希望の期間（子どもの月齢）】



図表1-77 3歳まで休暇を取得できる制度があったら子どもが何か月までとるか（母親）



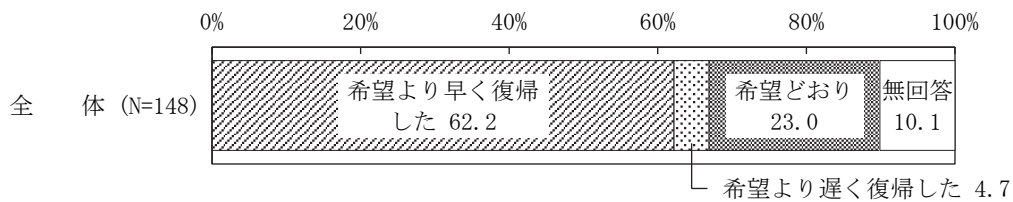
(5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由（母親）

図表1-78は、育児休業取得期間と取得希望期間の差異を表しています。「希望より早く復帰した」が62.2%、「希望どおり」が23.0%、「希望より遅く復帰した」が4.7%となっています（図表1-78）。

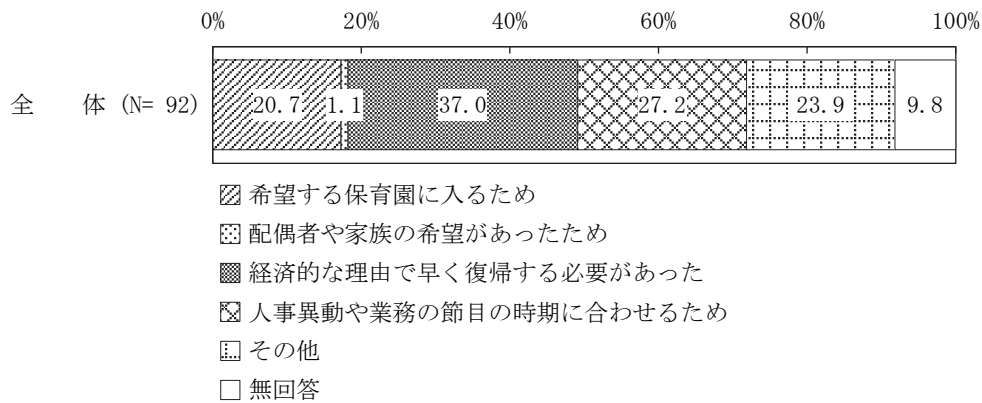
「希望より早く復帰した」理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（37.0%）、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（27.2%）などとなっています（図表1-79）。「その他」として、図表1-80の内容が記載されていました。

「希望より遅く復帰した」7人の遅く復帰した理由は、図表1-81のとおりです。

図表1-78 育児休業取得期間と取得希望期間の差異（母親）



図表1-79 早く復帰した理由（母親）



図表1-80 早く復帰した理由（母親・その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・1年しか育児休業が取れない（8人） ・会社の規定（3人） ・3歳まで取得できる制度が職場にはなかった（2人） ・職場の人手不足（2人） ・会社の都合（2人） ・子どもと一緒に連れて働ける環境だったため 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の育休が子どもの産まれた月からと決まっているから・1歳から収入がなくなるから ・長ければ長いほど収入が少なくなるため ・託児所があるから ・それが普通だと思った ・自分しかスタッフがいないため
--	---

図表1-81 遅く復帰した理由（母親）

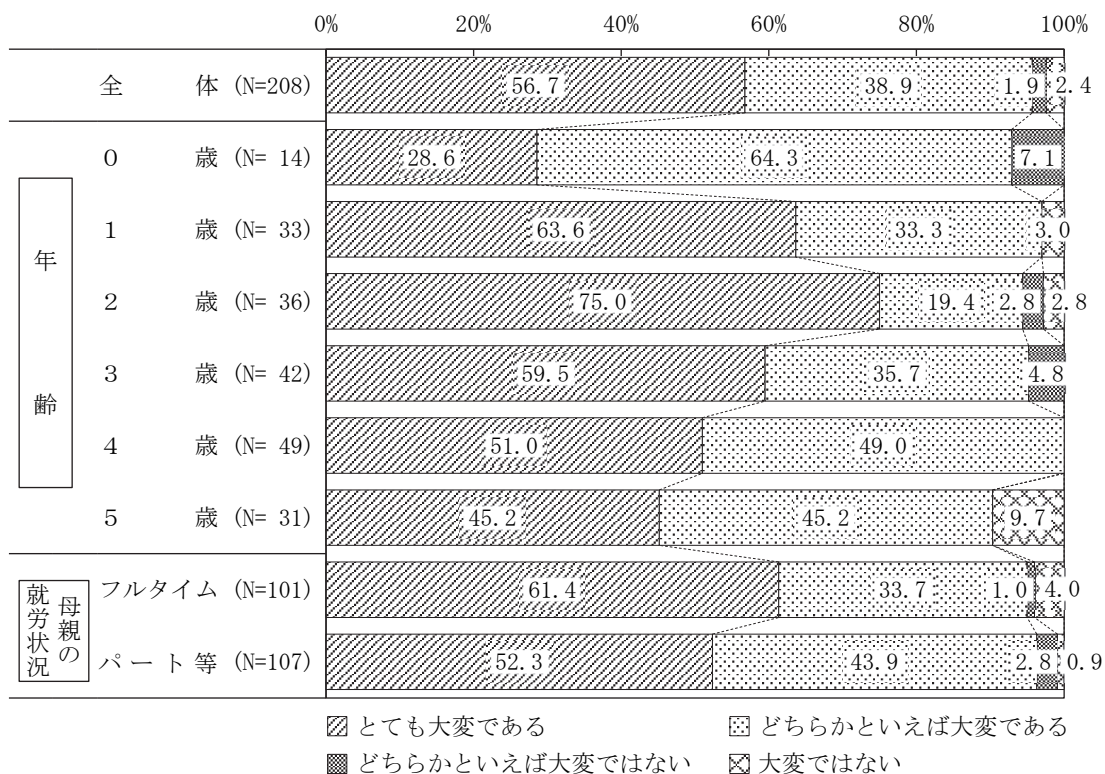
単位：人

区分	希望する保育園に入れなかったため	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	配偶者や家族の希望があったため	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	無回答
全体 (N=7)	1	3	1	1	1

(6) 仕事と子育ての両立

子育てをしながら就労している人に、仕事と子育ての両立が大変と感じているかたずねたところ、「とても大変である」が56.7%、「どちらかといえば大変である」が38.9%となっています。「とても大変である」が高いのは、子どもの年齢別では1歳・2歳、母親の就労状況別ではフルタイムです。

図表1-82 仕事と子育ての両立は大変か（回答者のみ）

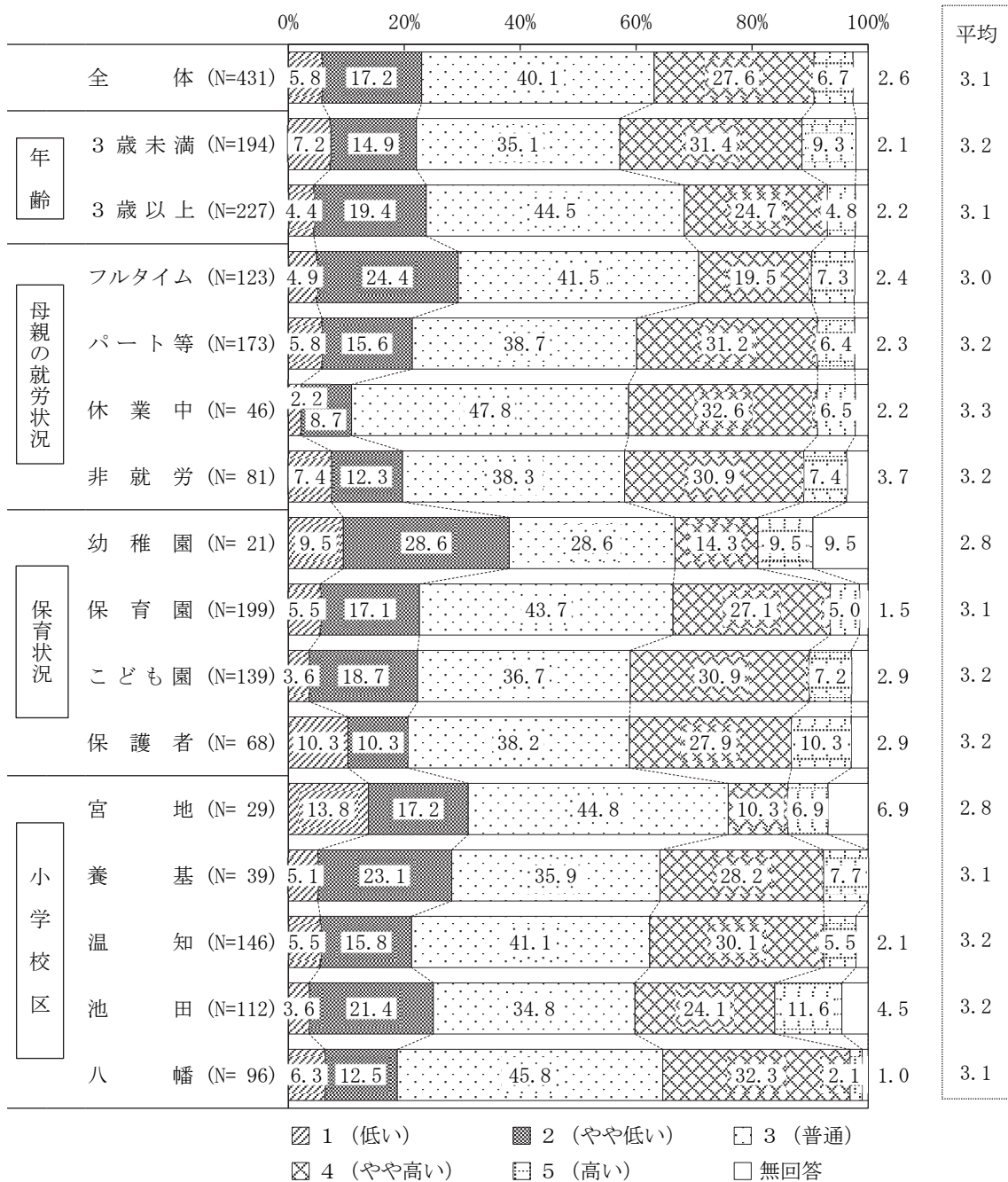


10 子育て支援事業の評価等

(1) 子育ての環境や支援への満足度

地域の子育ての環境や支援への満足度について、「1（満足度が低い）」から「5（満足度が高い）」で評価をしていただいた結果が図表1-83です。「3（普通）」という評価が40.1%と最も高く、次いで「4（やや高い）」(27.6%)、「2（やや低い）」(17.2%)となっています。平均は、全体では3.1、属性別では、保育状況別の幼稚園（2.8）、小学校区別の宮地（2.8）がやや低くなっています。

図表1-83 子育て環境や支援への満足度

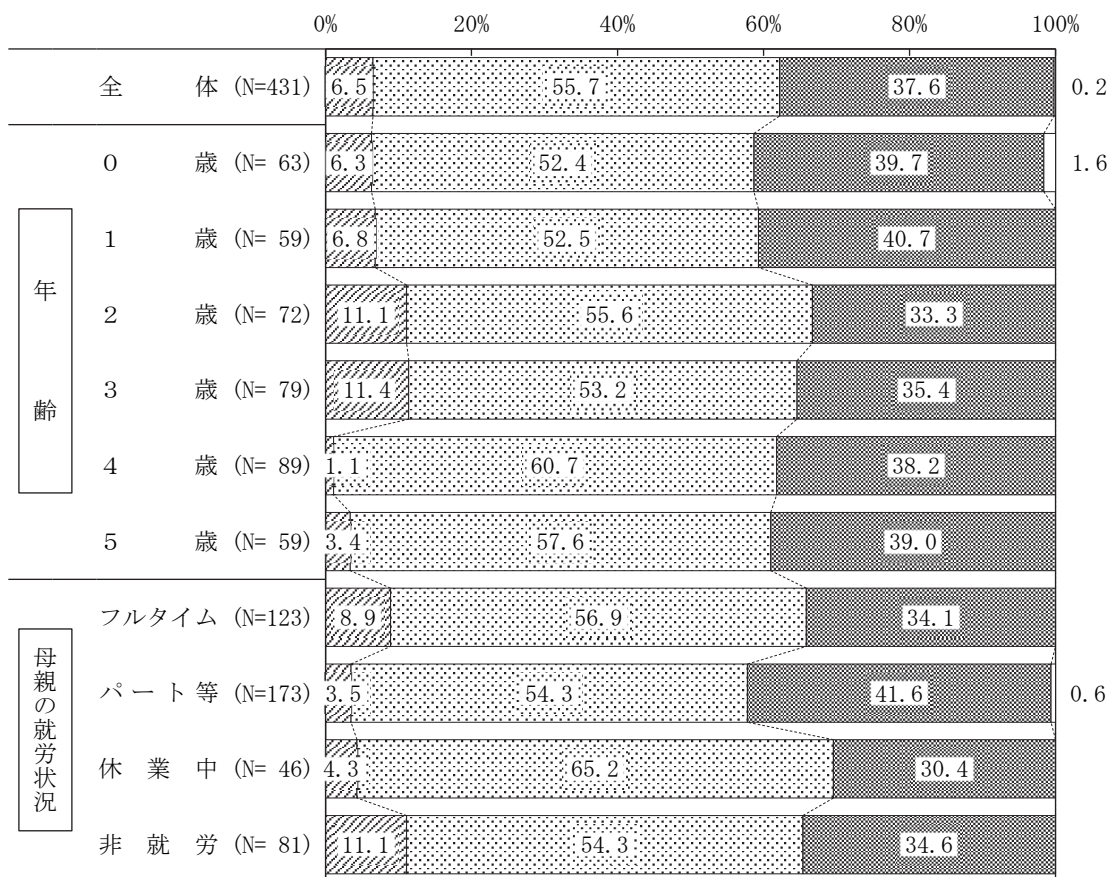


(2) コミュニティママ子育てサポートの認知度と利用意向

① 認知度

コミュニティママ子育てサポートについては、「知っているが、会員として登録していない」(55.7%)と「会員として登録している」(6.5%)を合計した62.2%が事業を<知っている>こととなります。子どもの年齢別の1歳、母親の就労状況別のパート等の「知らない」が40%を上回っています。

図表1-84 コミュニティママ子育てサポートの認知度



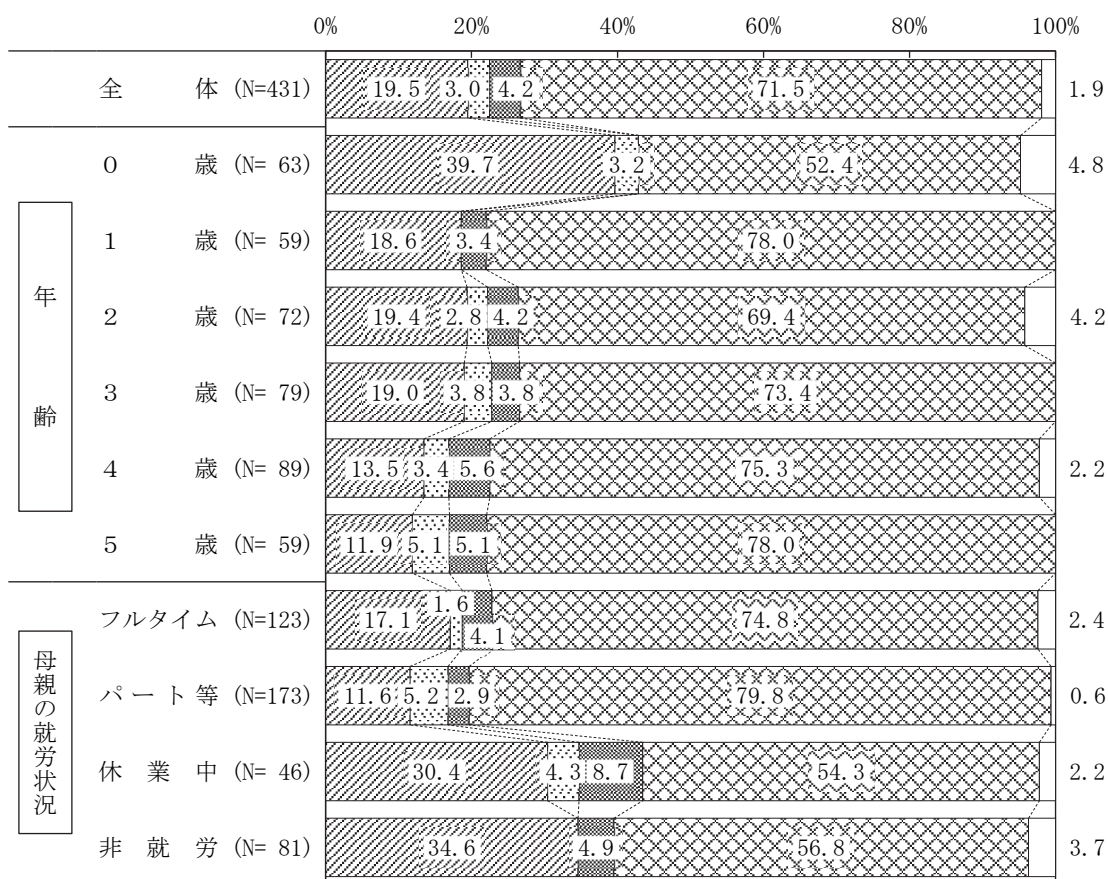
- ☑ 会員として登録している
- ☒ 知っているが、会員として登録していない
- 知らない
- 無回答

② 利用意向

コミュニティママ子育てサポートを利用したいかという設問に対しては、「利用会員として登録したい（登録している）」が19.5%、「両方会員として登録したい（登録している）」が4.2%、「サポート会員として登録したい（登録している）」が3.0%です。

「利用会員として登録したい（登録している）」は年齢別の0歳、母親の就労状況別の休業中、非就労で30%以上となっています。

図表1-85 コミュニティママ子育てサポートの利用意向



- ☑ 利用会員として登録したい（登録している）
- ☑ サポート会員として登録したい（登録している）
- ☑ 両方会員として登録したい（登録している）
- ☑ 利用（登録）するつもりはない
- 無回答

(3) 改善してほしいサービス・よかったサービス

現在利用している保育園、幼稚園、認定こども園などの子育て支援サービス、母子保健サービスなどについて、改善してほしいこと、利用してよかったことについて自由に記載してもらいました。

① 保育園

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<p>【保育士等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合保育（土曜日）に未満児を預けるのが不安。保育士を増やしてほしい ・園長先生（温知）の保護者対応、態度 ・先生によって対応がばらつく ・先生の発達の知識について。たまに年齢、月齢より高いことを求められているように感じる ・虐待した先生の継続雇用をやめてほしい ・クレームが出ている先生の対応は改善希望 ・保育士の人員増（3歳以上も2人体制）、保育士の給与増 ・保育士さんが増えてほしい ・加配制度の充実 <p>【サービスの利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の日が空いていない。使いたいときに使えない ・一時保育のとき、理由を聞かないでほしい、預けにくい ・早朝保育の時間が一番早い時間に利用しづらいこと ・預ける時間帯を決めるのではなく、柔軟な対応で預かってほしい ・申し込める日より、断られる日の方が多い。給食を頼みたい ・母親の就労に左右され、仕事を簡単にやめられないプレッシャーになる ・祝日も希望者は利用できるようにしてほしい ・途中入園ができる <p>【保育時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業があるため、延長保育の時間に余裕があるとありがたいです ・朝あと30分早く開園してほしい <p>【保育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝日も預けたい ・英語教室をいっぱい行う ・英語教室を増やしてほしい <p>【保育料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり等、もう少し低価格、もしくは無料でしてもらえると助かるし、利用しやすくなる ・認定外保育に通っている場合でも、3歳クラスになったときから保育料無償化にしてほしい。今は3歳の誕生日以降のため。保育料無償化の開始年齢を、2歳やそれより小さい年齢から補助 	<p>【子どもの成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと過ごせる環境を作っていたけている。長所を尊重してもらえている ・少しだけでも子どもが外で経験することができたこと ・家ではわからなかった発達の遅れに気付いた ・色々なことを覚えて帰って来るのでよいです ・子どもの成長が見られる。先生とも交流ができる ・できることに自信が持てた ・できなかったことができるようになっていたり、友だちとの関わり方を教えてもらえた ・他の子と関わることができる。楽しそうに通っている ・子ども一人一人の性格、成長に合ったアドバイスもしてもらえて、ありがたいです ・色々なことを覚えてくれる。覚えるのが早い ・子どもの成長を多くの大人が見守れる。自立が早い ・たくさん褒められ、本人にやる気が見られたこと ・家ではできないことなど、保育園ではたくさんできる ・子どもの社会性が身に付いたこと ・子どもが自分でできることがどんどん増えている。あまり人見知りをしなくなった ・いろいろなことを子どもに教えてくれるので知識が付き ・いろいろ教わってくるからとっても助かります <p>【保育士等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の対応がとてもよい（2人） ・先生が良い先生ばかりだった ・先生が親切です ・保育士が優しい ・とてもいい先生に恵まれてありがたいです ・先生方がとても温かく、子どものことを丁寧に保育して下さり、母子共に安心して過ごすことができている ・とても子どものことをよく見て下さる先生がいて、力になって下さること ・安全に見てくれていてありがたい ・先生方が非常によくして下さい、子どもが楽しんでる ・とても子どものことをよく見て下さる先生がいて、力になって下さること ・安全に見てくれていてありがたい ・先生方が非常によくして下さい、子どもが楽しんでる

<p>をしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金 ・金額、設備 ・同じ保育を受けているのに、親の収入で金額が違うのはおかしいと思う <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園での子どもの様子を見る機会（参観等）があると良い ・園の話したいことはすぐ一で送ってくるのに、子ども達の今後に関わることは何も教えてくれない ・流行している風邪は教えてほしい ・もう少し早く行事の日程を知りたい ・入園準備など、もっと具体的に説明を書いてほしい ・給食のレシピが知りたい <p>【園舎等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物が古いのが気になる ・絵本などポロポロの本を借りてくることが多い。充実してほしい <p>【保護者の負担軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が大変。働いているお母さんが多いのでなくていいと思う ・個別懇談を希望者のみにしてほしい。一日10分程のために仕事を休まないといけないのが困ります。子どもの様子は朝や帰りでも聞けるので、必要ないと思います ・懇談15分のために仕事を休みにくいので、発表会等に合わせてやってほしい ・平日の行事が多く、仕事を休まなければならないことが多いこと <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日、写真、ビデオNGなどときがある。レンズではなく、子どもを見てほしいというのはわかるけれど、家でみんなで見たいので、三脚で固定して撮影させてほしいという声が他の人、何人からも聞きました ・突然廃園や民営化しないでほしい ・コロナ前はお迎えに行った後、園庭で遊べたが、今は遊べないので園庭開放してほしい ・バス通園 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の様子をしっかりと見てくれる ・先生が子どものことをすごく見てくれている ・よく子どものことを見ており、普段の様子を教えてください ・よく子どもを見てくれている（宮地保育園） ・子どもがのびのびと過ごせており、先生とも親がコミュニケーションを取れること <p>【一時保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園で行われている一時保育サービス（5人） ・一時保育を利用して、細かく1日の様子を教えてください ・一時保育のおかげで、研修を受けることができた <p>【延長保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育も無料で利用でき、休みも最低限であり、ありがたい ・延長保育 ・急でも早朝保育に応じてくれた ・仕事や家庭の都合で、早朝延長保育をしてもらえたこと ・長時間見てもらえる。子どものことを非常によく見てくれている ・9:00~16:00まで預かってもらえてすごく助かっています <p>【あそびの広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそびの広場、保育園の見学や雰囲気を知ることができた ・あそびの広場で雰囲気を知れてよかった <p>【仕事ができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と両方ができる ・保育園で預かってもらえることで、安心して働くことができる ・安心して仕事に行ける ・朝から夕方まで仕事ができるのは本当にありがたいです ・仕事があり、家族に預けられないとき、保育所が利用できること <p>【楽しく過ごす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが毎日楽しそう（5人） ・お友だちや先生と遊びができて楽しそうだし、成長した ・子ども達が保育園が好き、先生が好き ・子どもが楽しく過ごせている。一人時間が持てる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変に対応してもらえるところ ・働いていなくても預けることができる点があった
---	---

② 認定こども園

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・希望保育中の給食（春休み） ・発表会などを増やしてほしい ・春休み期間も通常保育をしてほしい ・保護者会の活動が多い ・こども園の休みが多く、仕事を休まなければならない ・働いていると半日降園の対応が大変 ・一時保育の日が空いていない。使いたいときに使えない ・母親の就労に左右され、仕事を簡単にやめられないプレッシャーになる ・定員オーバーしている ・一部の保育士を替えてほしい。子どもに怒鳴っていた。あいさつしない、適当なあいさつのため、子どもに悪影響 ・一時預かり等、もう少し低価格、もしくは無料でしてもらえると助かるし、利用しやすくなる ・同じ保育を受けているのに、親の収入で金額が違うのはおかしいと思う 	<p>【子どもの成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な経験をさせてくれる ・発達について相談できる ・友だちができた。給食が手作り、知育おもちゃが多い。 ・子ども一人一人の個性や特性を認め、温かく受け入れてくれる ・一人一人を大切にいろいろな体験ができてよかった ・いろいろ教わってくるからとても助かります <p>【保育士等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの良いところ、苦手なことをよく見て下さる ・先生が優しく丁寧 ・どの先生も親身になって話を聞いて下さるため、困ったことがあるとすぐに相談できる ・先生がとても親切にしてくれる ・手厚い ・すくすく育てている <p>【サービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引っ越しの際の一時預かり ・時間が長いので仕事が多いときなど本当にありがたい ・朝早くから夜まで保育してくれること ・年末年始やお盆休みが短くて助かった ・土曜保育、延長保育 ・3歳差の兄妹を同じ園で見てもらえる ・3歳から預けることができ、年子を育てていたので助かりました。当時は働いていなかった ・バス送迎がある ・8：30から延長時間まで手厚く、先生方も優しく、子どもにも丁寧で安心できる ・融通が利くので助かっています <p>【イベント・園庭開放】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できる行事がたくさんあること ・自然にふれあえる機会がたくさんある ・こども園に併設された支援センターでのイベント ・園庭開放（2人） ・園庭開放で園の様子を実感することができてよかった <p>【楽しく過ごす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お友だちができて楽しく過ごしている ・毎日楽しそうに遊んでくれていて、親としても嬉しいです ・子どもが楽しく園に行くこと ・社交的になった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園独自の方針を大事にもしているが、保護者、子どもを尊重しているところ ・公立と私立のいいとこ取りで、対応が柔軟になりました。 ・片山保育園が民営化しましたが、おもちゃが新しくなったり、職員の質も向上したと感じています ・家から近い

③ 幼稚園

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・公立の幼稚園がない ・延長保育の時間の遊びを充実させてほしい ・コロナになってから行事が簡素化になった。運動会も1日に戻してほしい ・保育園と同じように夏休みも見てもらえると助かる ・休みや時間が保育園等と違いすぎて、とても大変。すべて有料のものは困る ・きょうだい割りとかあるといい ・夏休み、冬休み、不要です ・一時預かり等、もう少し低価格、もしくは無料でしてもらえると助かるし、利用しやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育があること ・延長保育、夏期休業中の預かり ・ひらがな、英語、数字などいろいろすぐできるようになった ・勉強はすぐしてくれるのですぐ助かった ・行事が毎月あり、子どもの一番カワイイ時期を見られてうれしい。昔ながらの運動会、1日みんなで弁当を食べたり、大切な時間を過ごせる ・少しは学びの場がある ・バスも給食もあり、少し厳しいですが、教育もしっかりやってくれて満足です ・バス通園である ・母親の就労に左右されない

④ コミュニティママ子育てサポート

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭にも色々とサポートがあってもいいと思う ・サポート会員が少ない ・電話だけでなく、メール、ライン等で予約もできると更に良いと思います ・利用料が高くて使えない ・価格が高い ・利用料が高いため、ハードルが高い ・緊急時に受け入れ可能だとありがたい。予約要なのは急なときは頼れない ・一時預かり等、もう少し低価格、もしくは無料でしてもらえると助かるし、利用しやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい雰囲気、祖父母が近くにいっても使ってもいい雰囲気 ・子どもを見ていて行き詰ったときに利用したい人が多いと思う ・リフレッシュ目的で利用していいことをもっと言っていていいと思う。値段がお手頃でいいと思う ・少しでも時間融通が利いてよかった ・急でも誰か探してくれる ・一人一人合った人材や遊び方を提供して頂ける。融通が利く（場所や時間変更も可能） ・通院しやすかった。先生がしっかり見てくれており、最後に子の様子を話してくれた ・自分の通院の際に利用し助かった ・腰を痛めたとき助かりました

⑤ 病児・病後児保育

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<p>【定員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数枠を増やしてほしい（4人） ・定員人数を増やしてほしい。利用したいときに利用できない ・定員を増やしてほしい。利用したいときにできなかった ・受け入れ人数、場所の拡充をしてほしい ・受け入れの人数が少ない。いつも予約が入っており使えない。事業の拡大、利用人数の増 ・受け入れの人数を増やしてほしい ・人数枠が少なく、キャンセル待ちが多い ・利用できる人が限られている。簡単には使えないものと考えている ・もっと預けやすくなってほしい。定員が少なくてほぼ満員で預けられない ・受け入れ人数を増やしてほしい。診断書をもらいに行くのが大変 ・コロナで枠が一人になって、いつもキャンセル待ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている人は安心すると思う ・利用できたときは助かった ・仕事に行くことができた ・仕事中、安心できた ・急な病気や病後、保育園へ預けられないとき、すぐ助かります。仕事はあまり休めないため ・どうしても仕事が休めないときはすぐ助かりました ・結局、利用できなかったことがない ・当日、子の病気が治り、キャンセルをしても快く受けて頂けるのは本当にありがたいです ・保育士、看護師の方の対応もよく、子どもも嫌がらずに預けることができた ・すぐ優しく対応してくれた。罪悪感なく仕事につけた ・先生方が子ども達に寄り添ってくれる。たくさん遊んでくれる ・子どもの体調面を細かく見てもらったこと

<p>【利便性、手続きの簡素化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し利用しやすくしてほしい（3人） ・ライン受付など、Webで申し込めるかどうか確認できるといい ・予約が埋まっているかをWebで確認したい ・ネット上で保育をお願いできるのかどうか確認できるようにしてほしい。電話で朝確認しないと利用できるかどうかわからない ・利用しようと思って電話をしたら、予約いっぱいだったので、枠を増やしてほしい。常連以外も利用しやすくなると良い ・事前登録や当日の人数制限など利用しにくい ・利用しにくい、手続き等 ・診断書を取得するのに、朝早く病院に行ってから預けるとなると、仕事に遅れる ・もっと簡単に柔軟にすぐに利用できるように変更してほしい。手続き利用までに時間がかかりすぎる ・休日に病気にかかると、通常のクリニックは休みで、総合病院では休日に診断書を書いてもらえないため、月曜日の預け入れができず大変困る ・熱が出た日に預けられない。気軽に預けづらい ・手続きが大変で利用しにくい。人数が少なすぎて利用できない。すぐ利用できるシステムにして下さい ・病院に行ってから診断表をなくしてほしい。当日にすぐ受け入れてほしい ・利用するまでの手順が多く、流れも複雑に感じる ・預ける時間が早いと預けやすい。利用したくても時間の関係で預けることができない ・以前より利用しにくくなった ・登録しているが、実際預けるとなると大変そうで面倒くさい ・利用を簡易的にしてほしい ・上の子のときに利用したが、持ち物や書類等、準備するものがたくさんあり、少し面倒に感じた ・医者証明を取るなど手間、仕事が休めないときにスムーズに負担なく預けられる方法にほしい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯の無償化を池田町内1ヶ所だけでなく、連携他市の施設も適用させてほしい。一世帯しか利用できないため、空いていないことが多く有償利用となることが多くある ・インフルエンザ等で園を休まなければいけないときなど、長期で休養が必要なときに利用しなかった ・無料にしてほしい ・池田町内に増やしてほしい ・初めて利用しようとしたが、対応が悪かったのでやめた 	
--	--

⑥ 保健センター

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物が古い（2人） ・建物を新しくしてほしい。特にトイレ、小さい子どもを連れて、親も子も利用しにくい ・施設が古かったため、トイレが寒かった ・トイレが古い ・照明が暗い ・館内を明るい感じにしてほしい。健診時間が長く感じる ・入った入口の暗さが、入りづらい。いろいろ相談したいのに場がよくない <p>【保健師等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数に比べて保健師の人数が多いと感じた。年配の人より若い保健師の方が共感してくれて話しやすかった ・子育ての相談に対して、知識を基にした助言がほしい ・対応が毎回適当 ・窓口に行ってもすぐに来てくれない。声をかけにくい ・健診のとき、意見を聞きたいとアンケートで答えたら、年配の女性に「私たちのときの方が大変で…」と今と昔を比べられ話をされた。個人の話聞かされ、小さい子どもとこれは何のためのアンケートなのか、本当に不快だった ・子どもの成長について悩んでいた訳ではないのに、「毎月様子を見ていこう」と押し付けられた感じがした。もう少し考えて、何でも相談していると思わないでほしい ・保健師さん同士が話していたとき、私のことを「この人」と言われた。辛口コメントの方もいて、その方にいつも当たりたくないと思う ・少し身長が低かったり、体重が軽いだけで、上から目線でいろいろと指図してくるのは嫌になるのでやめてほしい ・健康診断の対応が遅い <p>【サービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児検診がほしい ・今は予約が必要なため、予約制をなくし、いつでも利用できるようにしてほしい ・相談できる曜日が決まっているのが利用しづらい ・オンライン予約ができると行きやすい ・身体測定日をもう少し日を多くしてほしい ・土日祝で実施する機会を作してほしい。働いていると平日の参加は難しい ・土曜や少し遅い時間にも対応する日があったり、役場でも（水曜とか）対応できるとありがたい（予防接種の間診の再発行など） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどがわからない、広報にのせてほしい、子育てカレンダーのところ ・健診を午前中にしてほしい。または検診中は上の子を預かってほしい ・予防接種の費用の補助をもう少し大きくしてほしい ・子どもの健診が実際の年齢より、かなり遅いと思う ・子どもの定期健診で、別の兄弟、姉妹も連れて行く場合、別室で預かりがあると専念できる ・検診のとき、子どもの特性に配慮した順番や待ち合い場所 ・用事がない限り入りづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのことを相談でき安心した（2人） ・相談できる場があってよかった ・相談に親身になってくれる ・多くの職員の方々が親身になり、相談に乗って下さったのが良かった ・栄養相談ができてよかった ・子どもについて相談できた ・いつも窓口で優しく対応してくれま す ・色々聞いて良かった ・〇ヶ月健診 ・身体測定、栄養相談、個別に相談ができてよかった ・検診など丁寧にやっていただけ ・乳児の頃に体重を測りに行けてよかった ・保育園に入るまでの間、定期的に利用し、成長の具合と相談できたのが良かった ・乳幼児相談や身体測定ができるのでよかった ・子どもの身長、体重を毎週水曜日予約して測ってもらえてよかった ・水曜日に赤ちゃんの体重など測っていただけるので健康管理ができる ・子どもの身長と体重を測ってもらった。その際に子育てについて相談できた ・産前・産後、保健師さんの手厚いサポートは心強かったです ・様々なアドバイスが得られる ・いつも丁寧に対応して下さり、帰宅時には温かい気持ちになれます ・予防接種の予定を一緒に組んでもらえて助かった ・予防接種や検診など、丁寧に教えて下さりありがたいです ・母子手帳を受け取るときに、時間外でも対応してもらえてよかった ・子どもの成長や母乳のことに親身に相談に乗ってもらえる ・親切でありがたい ・様々なことが知れる ・びよびよは参加してよかった。その都度保健師さんと話せてよかった ・たくさんのママさんと友だちになれたこと

⑦ ことばの教室

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が少ない ・ 終了時刻になってもなかなか終わらず、帰宅時間が遅れ、小学校から帰って来る兄が家に入れず、外で待たせることになる。毎回いつも遅れる ・ 利用日数を増やしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達について相談できる ・ 子どもの発達の助けになっているから ・ 小学校以降の心構えをしっかりと教えて頂いた ・ 保育園ではできないことを、個別でやってもらえたり、子どももとても楽しそう

⑧ 子育て支援センター

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上の子が休みだと一緒に連れて行けない ・ せめて土曜日を開いてほしい。産後2ヶ月で復帰したため、平日に行けなかった ・ ヘルプマークについて職員の方もちゃんと知っていてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムが整ったので良かった ・ いろいろと相談できる ・ 子どもとの思い出作りになる場所です ・ どの先生も優しく、子育ての相談や雑談もできて、とてもスッキリします ・ 母子ともにリフレッシュできる。イベントが充実していてうれしい

⑨ 児童館

改善してほしいこと	利用してよかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季は、小学生の子どもが、下のきょうだいを連れ、親と来ていたとしても16時20分までしか利用できない。小学生だけ20分で帰されても家にも誰もいないため（下のきょうだいと共に親も児童館にいるので）、下の兄弟たちも20分で帰らなくてはならない。他の子は45分まで遊べる。親と来ている場合は最後まで利用できるようにしてほしい ・ 月曜日も開けてほしい。どこか一つの児童館でもいいので ・ ヘルプマークについて職員の方もちゃんと知っていてほしい ・ 小学生のマナーが悪いので、小さい子どもを連れて行きたくない ・ おもちゃの数を増やしてほしい ・ 希望としては日曜日もやってほしい。地元は月に1回だけの休みなので、休日も助かっていました（可児市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方は子ども達を一人一人しっかり覚えていて下さり、いつも笑顔で声かけ下さるので、子どもも安心して遊んでいます ・ どの先生も優しく、子育ての相談や雑談もできて、とてもスッキリします ・ イベントをたくさんしているので、子どもも喜んでいいる。コミュニティもとれてよい。先生とも子育ての話ができて嬉しい ・ 母子ともにリフレッシュできる。イベントが充実していてうれしい ・ 無料で子どもが楽しく遊べて助かります

⑩ その他

サービス名	改善してほしいこと	利用してよかったこと
放課後児童クラブ（八幡）	・ 部屋が狭くて、子どもがゆっくり過ごせない。常に騒がしくて落ち着かないと言っている	
図書館	・ 小さい子用スペースを用意してほしい。多少騒いでもいいように	
体育館	・ 日曜日に親子で利用できるフリースペースがほしい	・ ランチスペースがある
公園	・ 少なすぎ	
福祉	・ 充実した公園を作ってほしい	

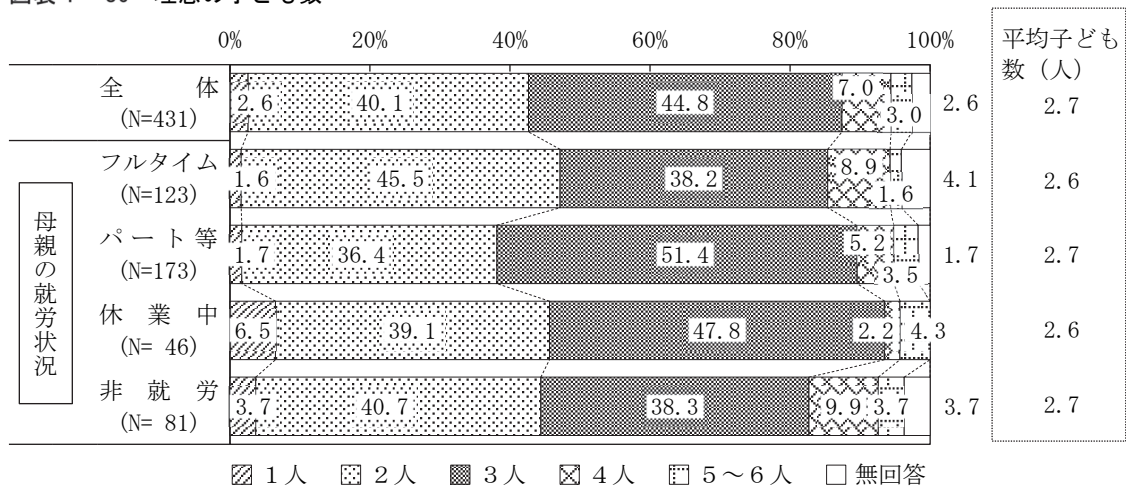
11 子育ての楽しさ・つらさ

(1) 理想の子ども数と実際の（現実を考える）子ども数

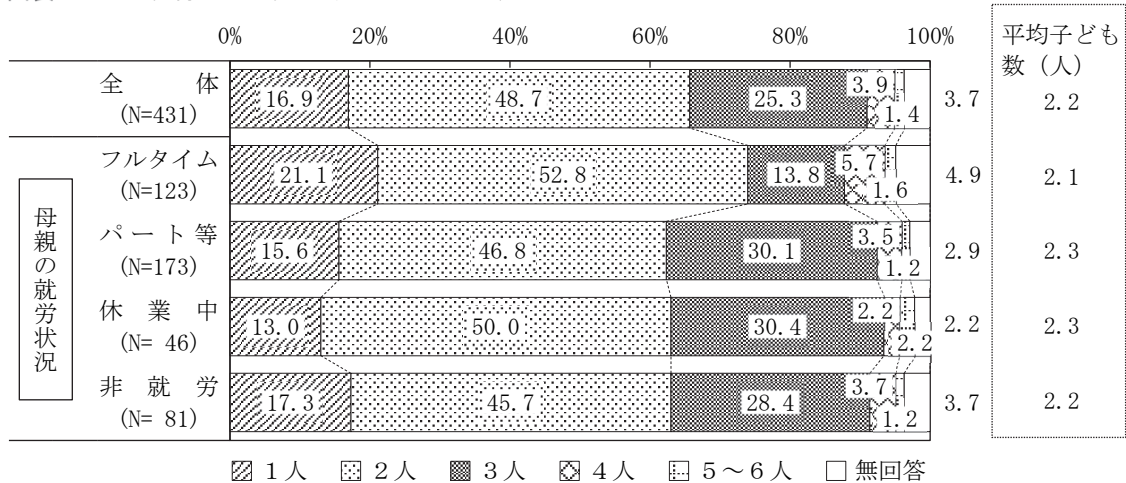
理想の子ども数は「3人」が44.8%と最も高く、次いで「2人」の40.1%となっており、両方で84.9%を占めます。平均は2.7人です。これに対して、実際の（現実を考える）子ども数は「2人」が48.7%、「3人」が25.3%、「1人」が16.9%などで、平均は2.2人となっています。理想の子ども数に比べると、実際の（現実を考える）子ども数は0.5人少なくなっています（図表1-86・図表1-87）。

なお、現在の就学前児童のいる世帯のきょうだいの平均は2.1人です。

図表1-86 理想の子ども数



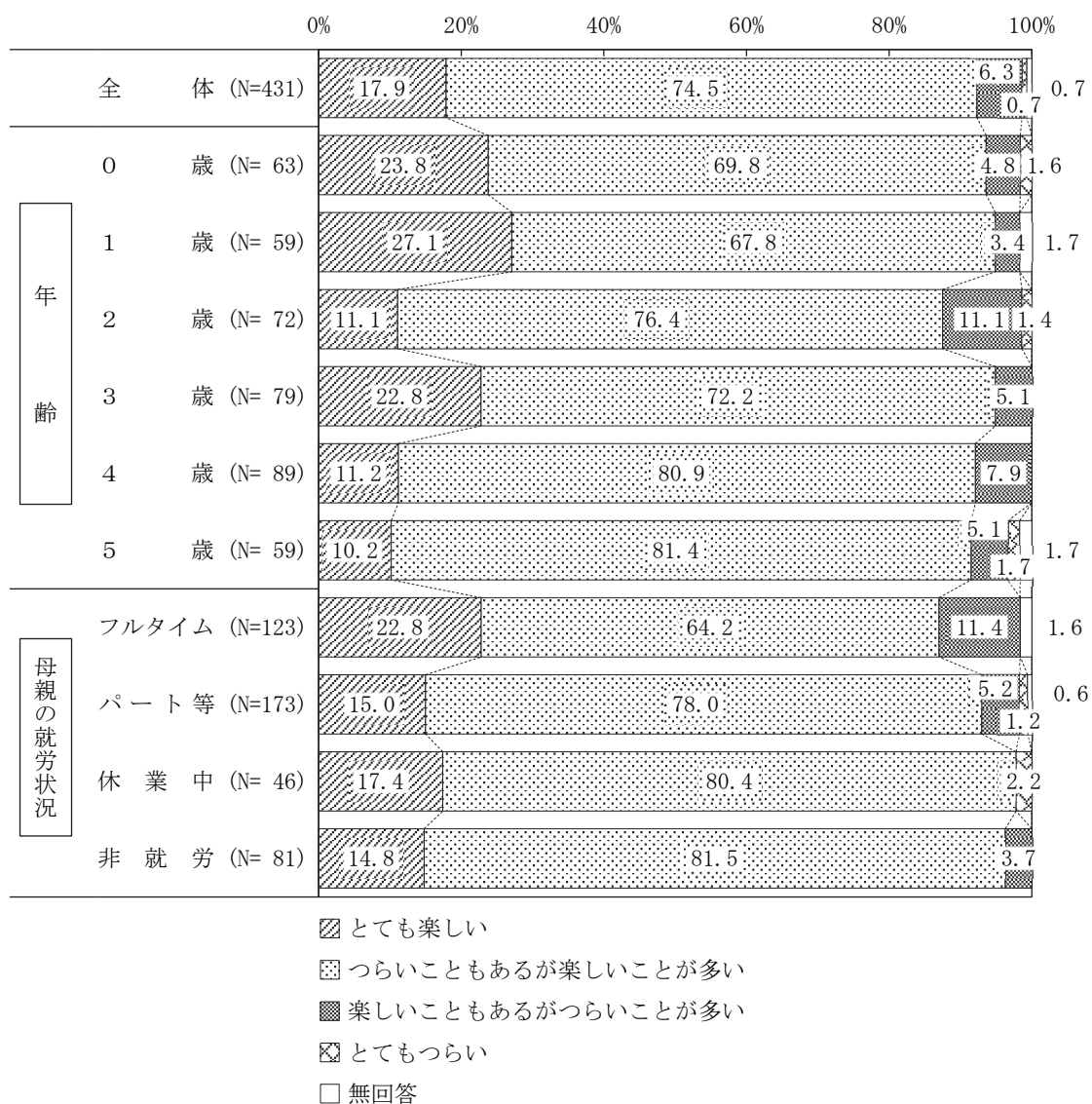
図表1-87 実際の（現実を考える）子ども数



(2) 子育ては楽しいか

「子育ては楽しいですか」という設問に対して、「つらいこともあるが楽しいことが多い」が74.5%を占めています。これに「とても楽しい」を加えた<楽しい>は92.4%、「楽しいこともあるがつらいことが多い」と「とてもつらい」を合計した<つらい>は7.0%です。<つらい>は、子どもの年齢別の2歳（12.5%）、母親の就労状況別のフルタイム（11.4%）が10%以上と比較的高くなっています。

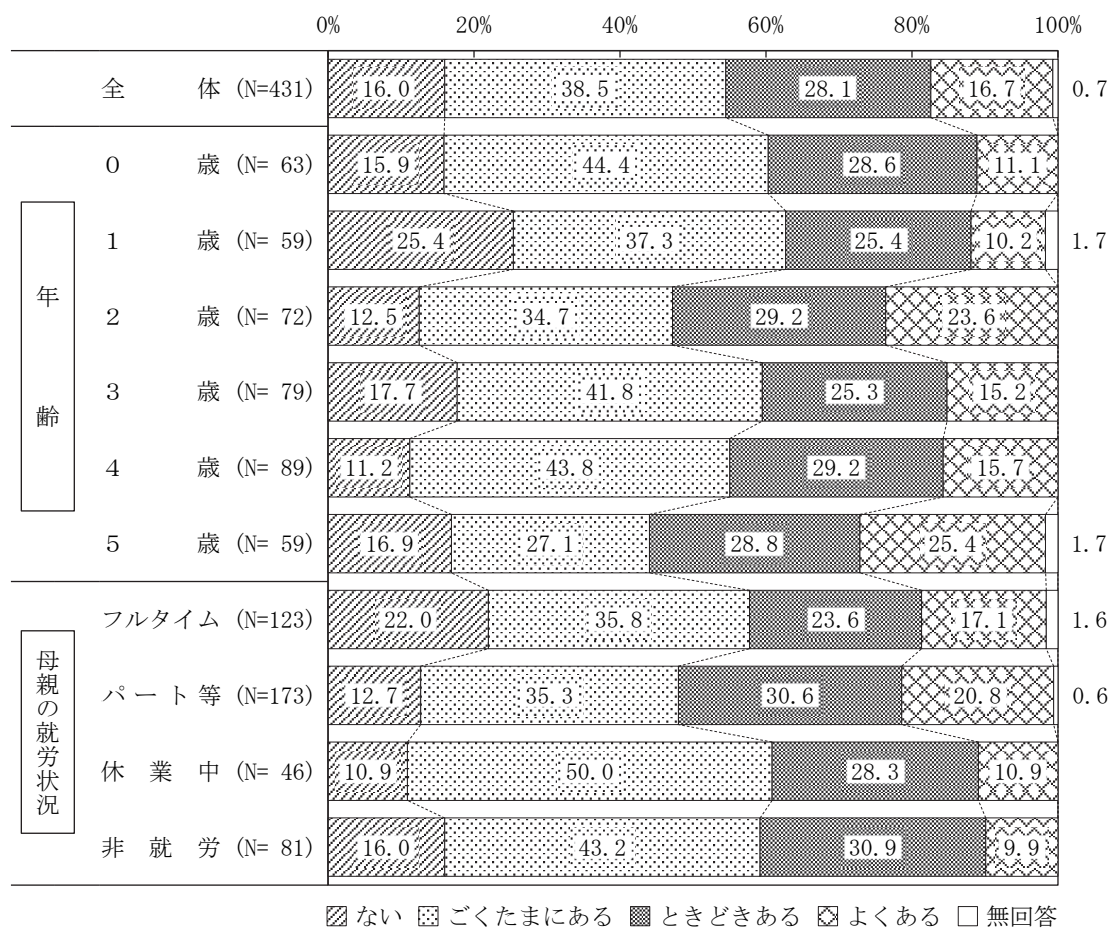
図表1-88 子育ては楽しいか



(3) 子育てに自信が持てなくなることがあるか

子育てに自信がもてなくなることがあるかたずねたところ、「ごくたまにある」が38.5%と最も高くなっています。「ときどきある」(28.1%)と「よくある」(16.7%)を加えた<ある>は44.8%です。<ある>が50%を超えているのは、子どもの年齢別の2歳・5歳、母親の就労状況別のパート等です。逆に<ある>が低いのは年齢別の0歳・1歳、母親の就労状況別の休業中で40%以下です。

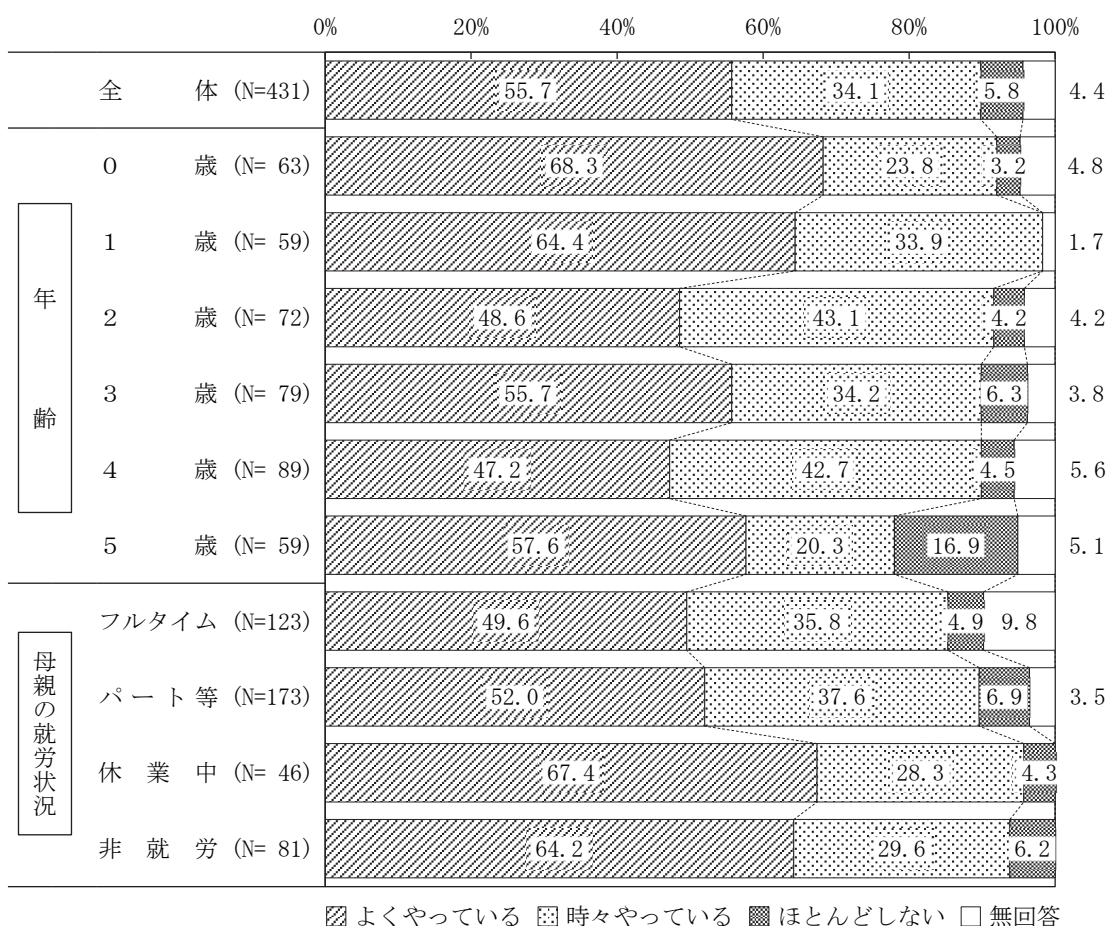
図表1-89 子育てに自信が持てなくなることがあるか



(4) 父親は育児をしているか

父親が育児をしているかたずねたところ、「よくやっている」が55.7%と最も高く、次いで「時々やっている」(34.1%)、「ほとんどしない」(5.8%)の順となっています。「よくやっている」が高いのは、子どもの年齢別の0歳・1歳、母親の就労状況別の休業中・非就労で60%を超えています。

図表1-90 父親は育児をしているか

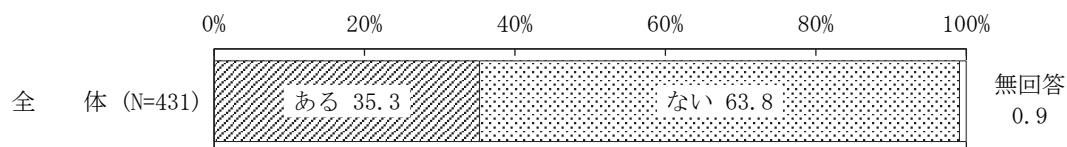


(5) 産後うつ

① 母親は産後うつを感じたことがあるか

これまでに産後うつを感じたことがあるかをたずねたところ、「ある」は35.3%となっています。

図表 1-91 母親はこれまでに産後うつを感じたことがあるか

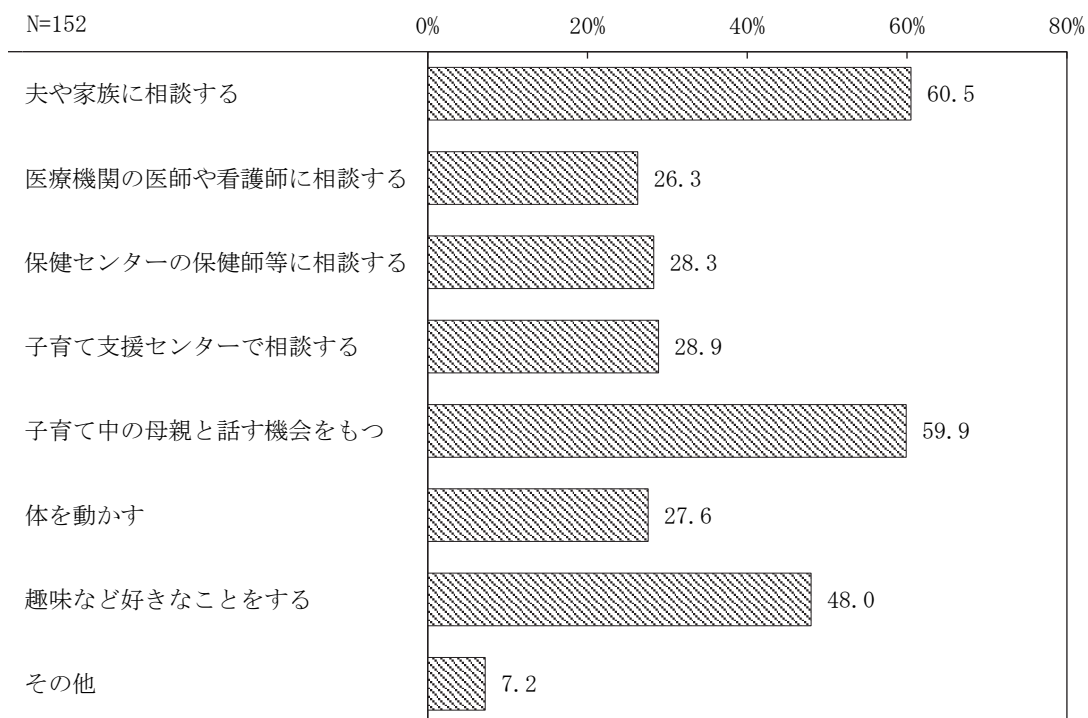


② 産後うつの対処法

これまでに産後うつを感じたことが「ある」と答えた人に、どのような対処法がよいか、または利用したサービス、あるとよいと思ったサービスなどについてたずねたところ、「夫や家族に相談する」(60.5%)、「子育て中の母親と話す機会をもつ」(59.9%)が約60%となっています。「趣味など好きなことをする」も40%以上の比較的高い割合です。

「その他」として、図表 1-93の内容が記載されていました。

図表 1-92 産後うつの対処法 (複数回答)



図表 1-93 産後うつの対処法（その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・家事代行サービスがあればいいなと思った ・食事の提供 ・うつの専門家によるサポート ・病院 ・ひとりになる時間が必要、外に出て一人で散歩したときが一番幸せだった ・自由時間確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の確保、子どもと離れてリフレッシュできる時間を作る ・家から出るのも嫌だから、家に来て相談に乗ってもらいたかった ・一時保育を利用する ・気軽に預けたい ・低額ベビーシッター
--	--

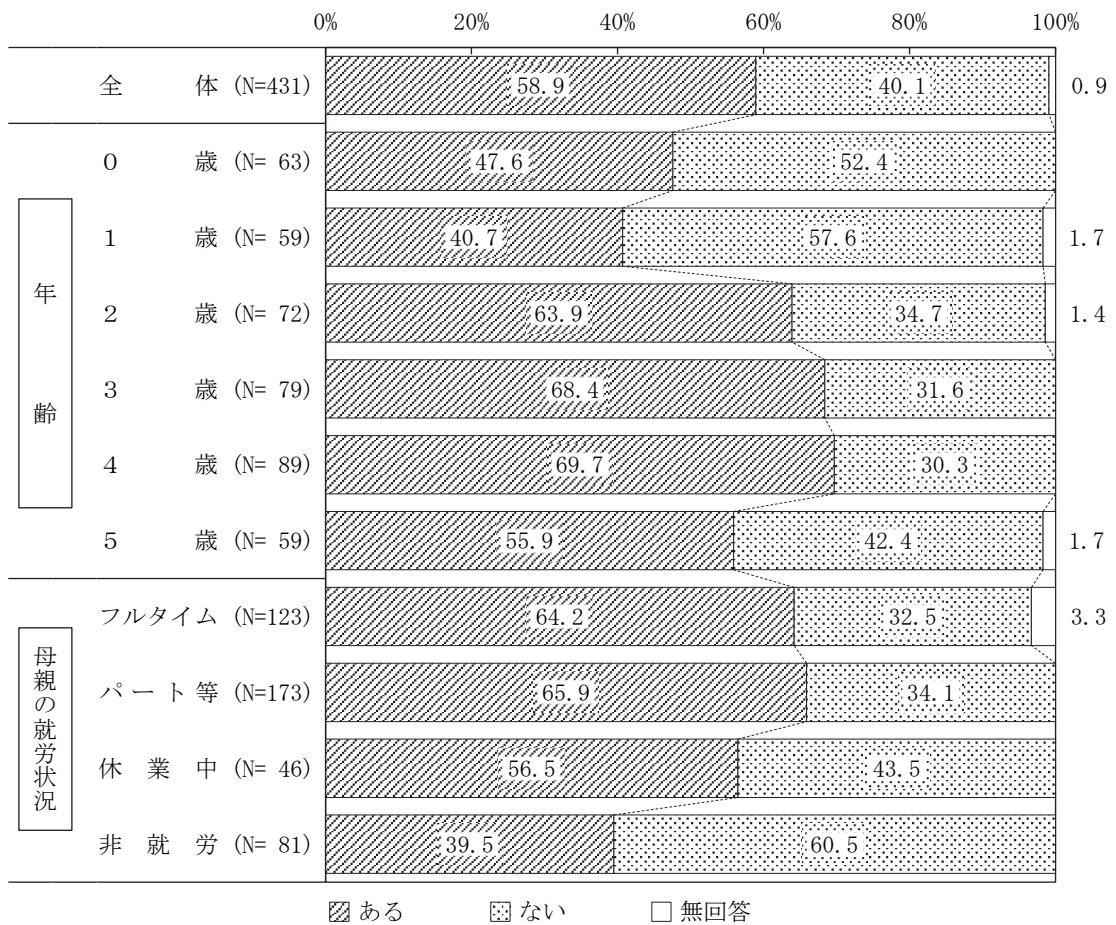
(6) 子どもへの暴力

① 子どもに暴力をふるったことがあるか

子育てのストレスなどから、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことがあるかたずねたところ、「ある」が58.9%、「ない」が40.1%です。

「ある」は、子どもの年齢別の3歳・4歳が70%近くの高い割合となっています。

図表 1-94 子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったこと



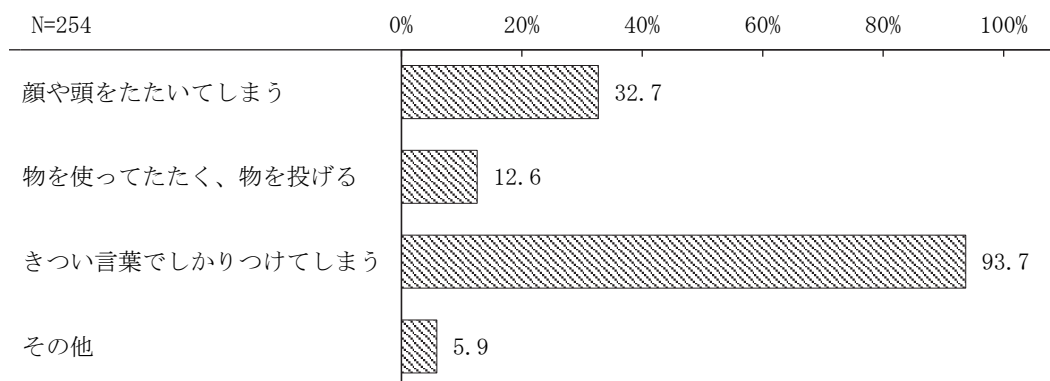
② 子どもへの暴力の内容

①で「ある」と答えた人に、具体的な暴力の内容をたずねた結果が図表1-95です。

「きつい言葉でしかりつけてしまう」を93.7%の人があげており、次いで「顔や頭をたたいてしまう」(32.7%)となっています。

「その他」として、図表1-96の内容が記載されていました。

図表1-95 子どもへの暴力の内容（複数回答）



図表1-96 子どもへの暴力の内容（その他、添え書き）

<ul style="list-style-type: none"> ・手をたたく（2人） ・おしりをたたく（2人） ・物に当たる（2人） ・足をたたく ・悪いことをした手や足をべしっとたたく ・たたきそうになってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・肩をたたいた ・腕を引っ張る ・突き放すよう強く言葉を言った ・無視する ・下の子をすごく重いおもちゃで殴ったから。車にワザと飛び出しをしたから。
--	--

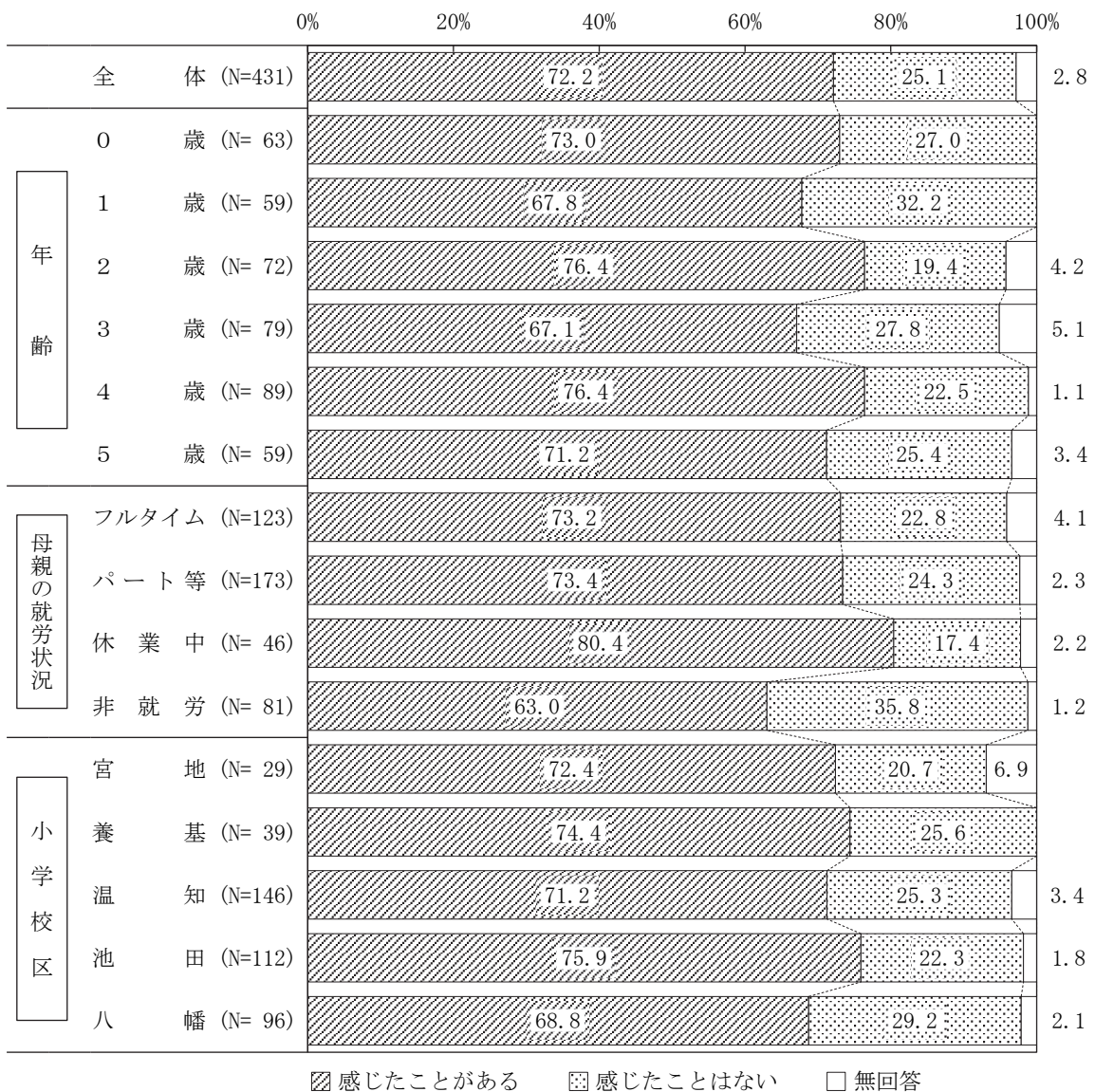
(7) 子育て支援を感じたことがあるか

地域、園、学校、職場、行政の関係施設などにおいて、子育て支援をしてもらっていると「感じたことがある」と答えているのは72.2%です。

「感じたことがある」は、子どもの年齢別の2歳・4歳で76%台と高くなっています。また、母親の就労状況別の休業中は80%を上回っています（図表1-97）。

支援してもらっていると感じたこととして、図表1-98の内容が記載されていました。

図表1-97 子育て支援を感じたことがあるか



図表 1-98 支援してもらっていると感じたこと

地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人が子どもをかわいがってくれる。気に掛けてくれる ・ 未就園児を遊ばせられる場がある。コミュニケーションが取れる場がある。市町村から出る手当て ・ 地区のお祭りなど ・ 育児しやすい地域だと感じる ・ 隣のおばあちゃんが子どもを見てくれたり、お手伝いに来てくれたりするので、とても助かっています
園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の先生に相談に乗ってもらえる（4人） ・ 悩み事を聞いてもらえる（2人） ・ 話を聞いて共感してもらえる（2人） ・ 公立保育園の先生のアドバイスはとてもありがたかった ・ 話を聞いてもらったり、相談に乗ってもらっています ・ 園で丁寧に様子等教えてもらえて、相談もしやすい ・ 保育園で子どもの相談に乗ってもらえて。力になってもらった ・ 園の先生方に子どもの相談がしやすく、とても良い環境で見えて頂いて感謝しています ・ 保育園では子どもの今後のことなど相談できる ・ 保育園で相談を聞いてもらえたり、成長を促してもらえる ・ 話をきちんと聞いてもらえた ・ 家庭での様子を聞いてもらえたとき ・ 先生たちとの会話 ・ 毎日の保育 ・ 保育園 ・ 保育園での学びが大きい ・ 保育園に入れたこと ・ 保育園に入りやすい ・ 保育園で見てもらえる ・ 子どもを保育園で見てもらえ、仕事に行けること ・ 保育園の存在、利用できていること ・ 毎日保育園で預かってもらえているので助かっています ・ 保育園に仕事のとき見ていてもらえる ・ 保育園ではよく子どものことを見ていただけている ・ 園で親身になって保育してもらえていること ・ 担任の先生の対応が丁寧。園の中で数多くの家庭でできない経験をさせてもらえた ・ 保育園の先生方が子だけでなく、親のことも気にかけて声かけして下さる ・ 園の先生方がよく見ていてくれる ・ 園で小さい子を預かってもらえていること自体、当たり前ではなく、大変ありがたいと思っています ・ 園で使う敷パットをプレゼントでもらえたり、仕事復帰前から子どもを慣れさせるために預かってもらえたりすること ・ 上の子のお迎えに行くと、たくさん声をかけてもらえる。気にかけてくれている ・ 一緒に成長を喜んでもらえたとき、できることが増えたとき、私一人の子育てではなく、園の環境や先生方の関わりのおかげだと感じています ・ やっていることや、子どもができたことなどしっかり伝えてもらえる ・ 家で教えていないことをできるようになっていたとき ・ 子どもの特性を見てもらった上で保育してもらえる ・ 園の先生が家での様子も気にかけてくれる ・ 園で子どもの成長を伝えてもらえる ・ 保育園での様子など教えてもらえたとき

	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を見て報告してくれる ・しっかり1日の様子を教えてもらえるとき ・子どもが1日の保育の中で、楽しかったことを話してくれるとき ・幼稚園で色々なことを学び、できることが増えた ・家では教えていないことができるようになったこと ・できないことができるようになっていく ・園を始め、色々な施設でお世話になります ・保育園でいろいろな面で支えてもらっている ・園でたくさん遊ばせて、様々な経験をさせてもらえ、伸び伸びと過ごしているからか、子どものストレスがなく、家庭で落ち着いている ・園でお迎えが間に合わなかったときに延長保育をしてもらえた ・保育園のお迎えが仕事で時刻より遅くなってしまっても預かってもらえて助かった ・園の送り迎えが自由 ・急な早朝保育に応じてもらえた ・保育園に希望時間預けてもらえること ・共感してもらえる。子どもの良いところを教えてくれる ・保育園の先生から、家では分からない子どもの様子を教えてもらえ、子育ての参考になる ・成長のサポートをしてくれる教室や、私用で利用してもよいと言って下さる保育園も近くにあったり、保健センターの方も親切 ・子どもをよく見て、感じたことを報告してもらい、改善方法など一緒に考えてくれる ・保育園、病児保育の存在は大きい ・0歳児（満1歳）からの受け入れがあること ・子どもの様子をよく見てくれていて伝えてくれる ・先生方にいつも声をかけてもらえて、子どもや自分に気に掛けてもらえている ・成長を共感してもらったり、教えてもらったり（園、病児サポートの方） ・子どもの成長と一緒に喜んでもらえるとき ・卒園した姉のことも気にかけてくれる ・園でしつけ、マナー、トイレトレーニングなどしてもらっている ・園の保育士さんに恵まれており助かっています ・子どもの年齢が小さい頃（2歳頃）、とても気を使ってもらえた ・バスによる通園
<p>職場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが急病の際、快くお休みや早退させてくれる（8人） ・休みを取りやすい職場（6人） ・職場で時短勤務ができていく（4人） ・職場で子どもの体調不良時に休みを取りやすい ・職場が子どもの病気や行事のときに休みを取らせてもらえる ・職場は子どもの都合に合わせて休ませてくれる ・子どもの体調不良など、休みが取りやすい ・子どもの体調が悪いとき休める ・子育てに関して職場の理解がある ・職場は子育てに大変理解があり、看護休暇が時間から取れることがありがたい ・子どもが病気で仕事を休むとき、看護休暇を使える ・看護休み、いつでも休みやすい ・仕事時間が遅くならないようにしてもらっている ・育休が取得できたこと ・相談に乗ってもらったり、職場は勤務調整してくれている ・自分が体調を崩したときに、職場の方がサポートしてくれた ・仕事に見ていてもらえる ・職場の託児所の利用ができること

行政	<p>【子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援センターで話を聞いてもらえる、育児の相談ができる（9人） ・支援センターでアドバイスをもらえる（3人） ・支援センターで楽しく話をしてもらえる ・支援センターを利用して話し相手になってくれた ・支援センターの先生が、子どもをかわいがってくれる ・池田町は子育てに手厚いと思う。出産や育児の手当、補助金もありがたい。 <p>【保健センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターでの健診や相談（5人） ・健診での相談、見守り ・〇ヶ月検診をやってもらえること ・保健センターも気にかけて声をかけてくれるし、健診前に問診票を送ってくれたり、電話で確認してくれるのも忘れなくて本当に助かります ・出産して1年は保健センターの方や子育て支援センターの支援に助けられた ・赤ちゃん訪問や、すすく赤ちゃん券をいただいたこと ・予防接種の確認や月例での成長を見てもらえたとき <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の利用（5人） ・池田児童館の先生方がすごく温かい。話をよく聞いてくれるし、子ども関わってくれ、心が和みます ・児童館は先生方が積極的に子どもに関わって下さる ・児童館で優しく見守ってもらえている <p>【発達支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室のサポート（6人） ・小学生の発達の相談、アドバイス（学校にて） ・発達支援 ・子どもの成長を見て、療育をすすめてくれたこと ・園の担任から、ことばの教室をすすめられ現在通っているが、子どもにとってプラスのことだと感じる <p>【その他サービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育に大変助けて頂いています ・コミュママに預けられたこと ・病後児保育、コミュママ <p>【経済的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費無償化（8人） ・保育料の無償化（5人） ・子育て給付金（4人） ・金銭面（3人） ・支援金（2人） ・医療費が無料（2人） ・児童手当、医療費の無料や相談施設がたくさんあり、気軽に相談できることにありがたいと思う ・幼稚園の無償化 ・無償化 ・ぎふっこカードでの割引 ・扶養手当をもらえる ・保険料の無償化等 ・出産時の8万円や予防接種の助成はすごくありがたいです ・出産の祝金 ・産後のすすく券やごみ袋などのサービス
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・出産時もらえたチケットはありがたかった ・生まれたばかりのときはクーポン券などもらえて助かった ・児童手当がいただけること ・児童手当 ・様々な補助金がもらえる ・金銭的なサポート ・母子家庭で母の医療費も免除してもらえる ・助成金や補助金 ・3歳から無償化
相談全般	<ul style="list-style-type: none"> ・相談に乗ってもらった（6人） ・相談できる場があること（2人） ・話を聞いてもらえる（3人） ・子どもの悩みを相談し、一緒に考え助言をしてもらえました ・子どものことで気になったことが相談できるし、サポートしてもらえた ・子どもについて親身に相談に乗ったり、調べてくれた ・子どもの成長を共有できたり、悩みを聞いてもらったとき ・相談に乗ってもらえるし、アドバイスがもらえる ・心配なことにアドバイスしてもらえた ・話しやすい方ばかり ・悩みについて相談すれば、ちゃんと聞いて解決策を教えてくれる ・園、保健センター、支援センター、児童館等で実際に相談に乗っていただいたり。子どもが楽しく過ごせるような環境を常に考え、場を作っていたいただいているところに支援を感じています ・子育てのアドバイスをしてもらえて、相談話をしやすい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休制度 ・トイトレに関して ・温かく迎えてくれる ・各種イベント ・とても親切に対応してもらえると、分かって下さる人がいるなあとホッとする ・赤ちゃん訪問で成長と一緒に喜んでもらったことが嬉しかった ・いつも見てもらえている ・一緒に子育てしているように感じる ・子ども優先で対応してもらえるところ ・寄り添った対応をしていただけている ・子ども一人一人に合わせた対応をもらえていること ・アレルギーに対して親身になって対応して下さるところ ・成長と一緒に喜んでもらった ・トイレトレーニング等の練習 ・なんとなく感じている ・いろいろ（2人） ・うまく言えない

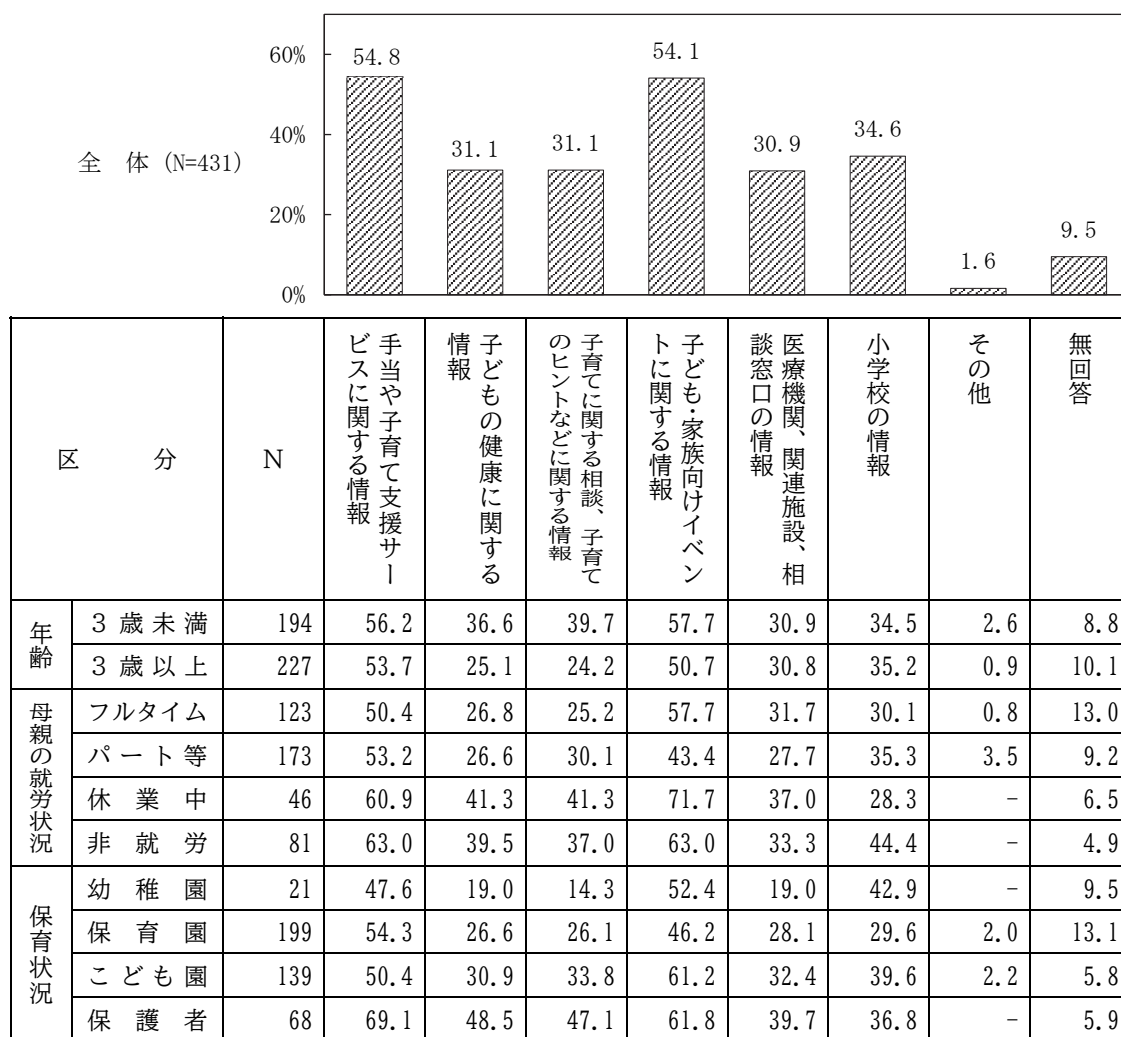
(8) 子育てに関する知りたい情報

子育てに関することで、もっと知りたい情報としては、「手当や子育て支援サービスに関する情報」「子ども・家族向けイベントに関する情報」の2項目が50%を超えています。子どもの年齢別にみると、「小学校の情報」以外は3歳以上より3歳未満の方が高くなっています。母親の就労状況別にみると、フルタイム、パート等に比べて、休業中、非就労の割合が全般的に高くなっています（図表1-99）。

「その他」として、図表1-100の内容が記載されていました。

図表1-99 子育てに関する知りたい情報（複数回答）

単位：Nは人、他は%



図表1-100 子育てに関する知りたい情報（その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをがんばりすぎて息詰まる人のケア ・母親の息抜きになる場所、方法について ・療育のこと ・医療機関について。土日や休日の緊急ダイヤルなどがほしい。どこに連れて行っていいかわからない。歯科などの情報もほしい。子どもが安心して行けるクリニック 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長段階でタブレット or PCなど、どのくらい使いこなせるようになるのか、先のことが知りたい ・保育園の給食のレシピが知りたい ・通学路 ・もう少し登録とか手間のかからない支援サービスを知りたい
--	--

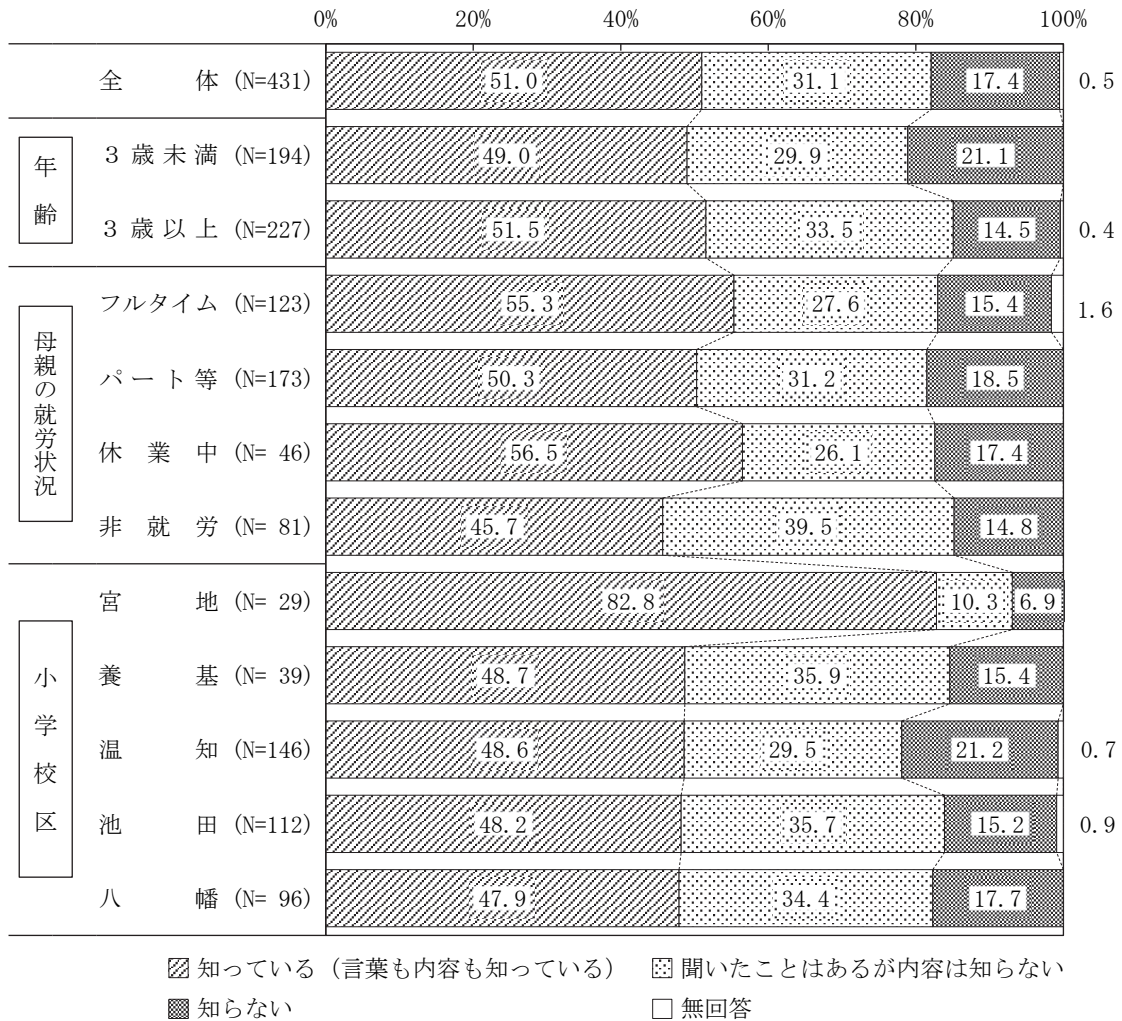
12 新しい事業、重点施策等

(1) 子ども食堂の認知度

子ども食堂について「知っている（言葉も内容も知っている）」のは51.0%です。

「知っている」は、小学校区別の宮地が82.8%と高くなっています。

図表 1-101 子ども食堂の認知度



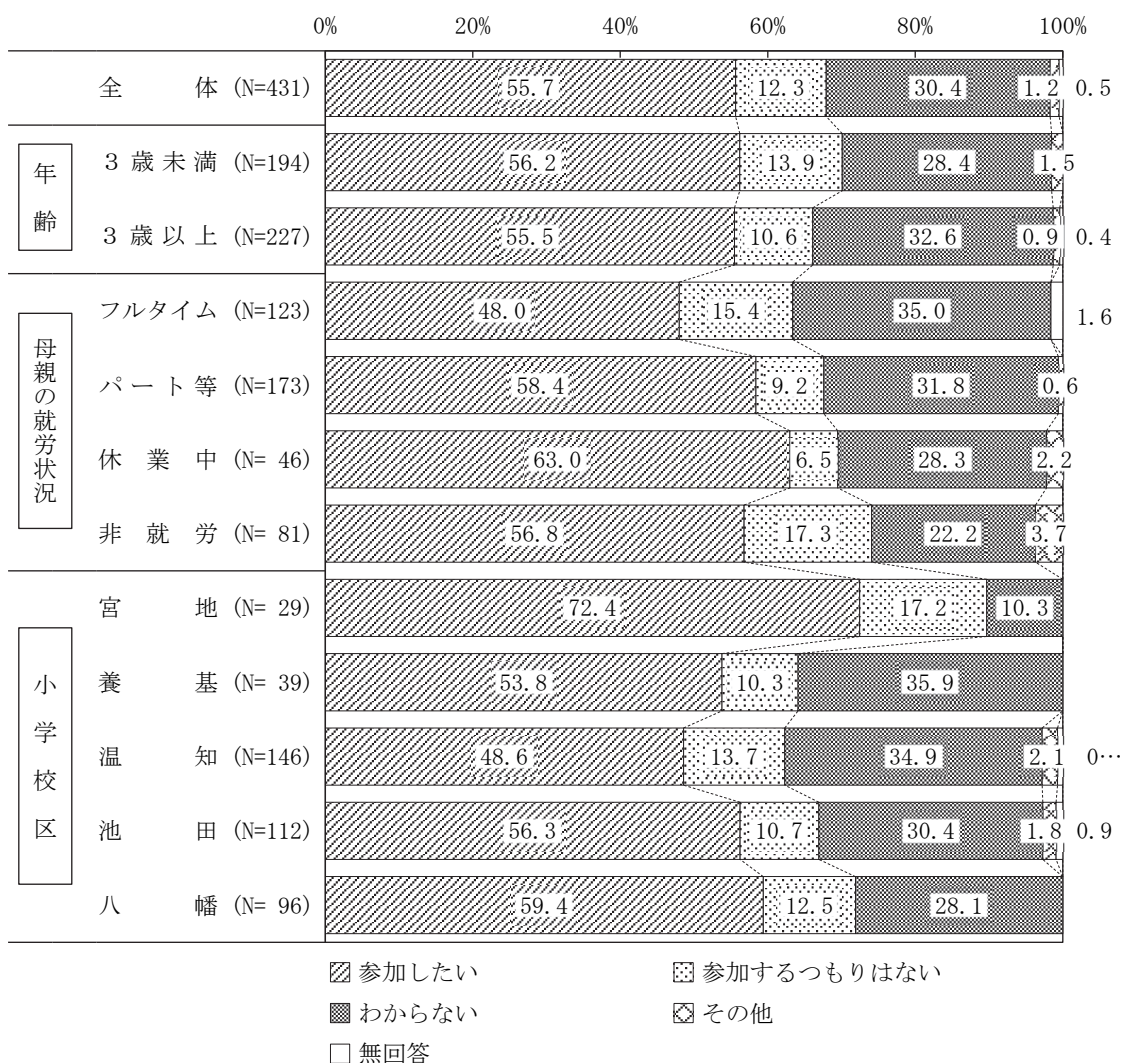
※子ども食堂は地域の子どもたちに無料または低額で食事を提供する取組です。その始まりは貧困家庭の子どもへの支援といわれますが、現在は、全ての子ども、高齢者を含めるなど、地域づくりや食育（共食）の一環として全国に急速に広がってきています。月に1～2回程度の開催が多くなっていますが、開催回数、参加者、開催場所、運営方法などは様々です。町内では、「こども食堂みやじ」「子ども食堂みどり」「寺子屋ひろば」が活動しています。

(2) 子ども食堂の参加意向

身近なところで子ども食堂が開催されたら、参加してみたいと思うかたずねたところ、「参加したい」は55.7%となっています。「参加したい」は、母親の就労状況別の休業中、小学校区別の宮地が高くなっています。

「その他」として、「アレルギー対応であれば参加したい（2人）」「アレルギーがあるので難しい（2人）」「参加したいが、そもそもの情報がなさすぎる」が記載されていました。

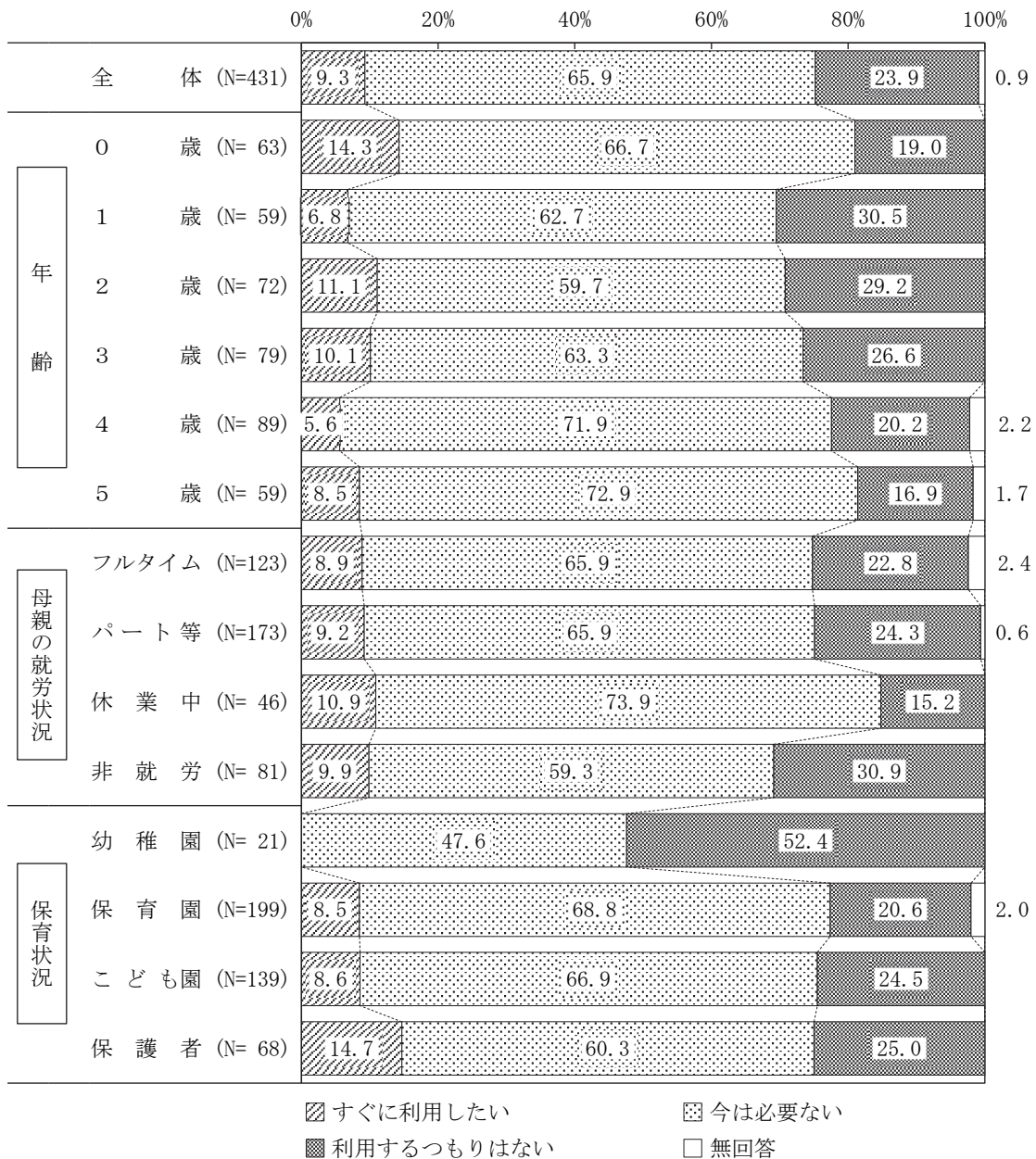
図表1-102 子ども食堂の参加意向



(3) 子育て世帯訪問支援事業

家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を支援員が訪問し、家事・育児等の援助を行うサービス（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいかたずねたところ、「すぐに利用したい」は9.3%となっています。子どもの年齢別の0歳、保育状況別の保護者の利用意向が14%台と比較的高くなっています。

図表1-103 子育て世帯訪問支援事業の利用意向



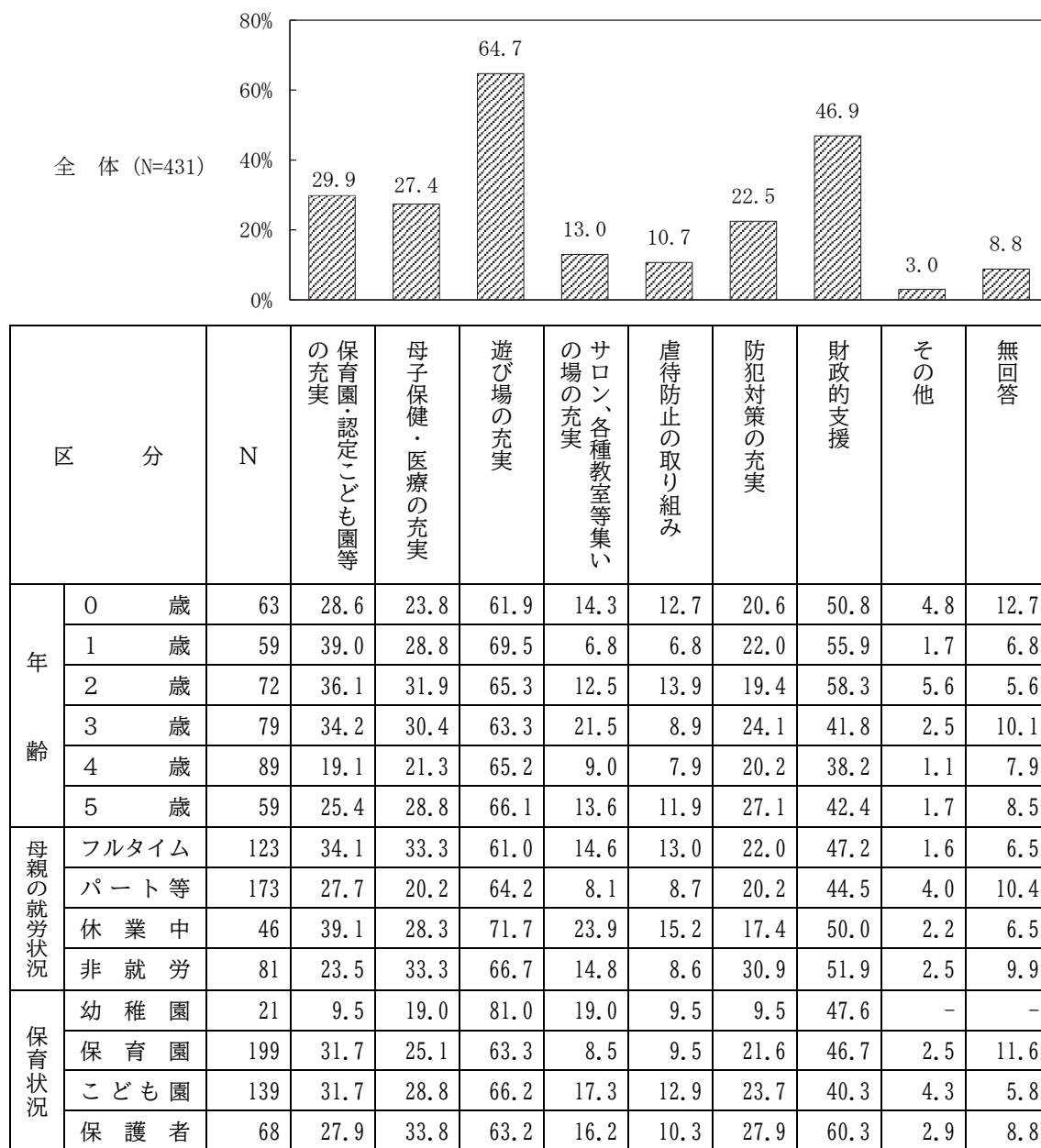
(4) 重点的に取り組んでほしい施策

行政に重点的に取り組んでほしいと思う子どもに関する施策としては、「遊び場の充実」が64.7%と最も高く、「財政的支援」も40%台の比較的高い割合です(図表1-104)。

施策の具体的な内容として、図表1-105の内容が記載されていました。

図表1-104 重点的に取り組んでほしい施策(複数回答)

単位：Nは人、他は%



図表1-105 重点的に取り組んでほしい施策(具体的内容)

保育園・認定こども園等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料について ・産休のお母さんたちはほとんどが途中入園のため、池田こども園のように、いつでも入園可能にもらえる、と、選べる保育園が増えるからよい ・英語の授業をもう少し取り入れてほしい ・子どもの数が少なく、同世代で遊ぶ機会がない。保育園に誰でも入園できるようにして、
----------------	---

	<p>子どもの社会形成ができるようにしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の駐車場の線が見にくい ・ 保育園で働く保育士の人数を増やし、安心して園に預けられるようにしてほしい ・ 子どもの数に対しての先生の充実した人数 ・ 保育士さんを増やす ・ 保育園等に長く預けさせて頂いているので、保育士さんへ手厚いサポートをしてほしい ・ 保育園の預けられる時間をもっと早い時間からにほしい ・ 公立保育園を残してほしい。民営化しても町が関与しますと言っている、実際は責任問題になるので口を出せないという池田町の対応の話を聞いて、不信感しかありません ・ 公立保育園（養基）、保育園裏に門がないので、セキュリティ対策をしてほしい
<p>母子保健 ・ 医療の 充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども専門の病院があるとよい（アレルギーイン神戸のような） ・ 小児科（クリニック）を池田町に作ってほしい ・ 池田町に小児科がない。それなのに子どもへ知識を持った先生がいますよ、と保健センターで言われる。予防接種を受けた際、副反応が出たら「小児科へ行って下さい」と言われるのはなぜですか？ ・ 町内に小児科があると相談しやすい。特に予防接種。何を打てばいいかわかりづらい。町外在住のときは小児科でスケジュールを組んでもらっており、抜けがなかったけど、引越してきてから打ち忘れが増えた ・ 町内に小児科専門の医療機関を作ってほしい ・ 近くに小児科が少ない ・ 池田町にも皮膚科があったらいいと思う ・ 皮膚科がほしい（大垣まで行っている）。産婦人科がほしい ・ インフルエンザ予防接種助成の拡大（2回目にも助成金を出してほしい） ・ 病気が流行すると、病院の予約も取れず大変困っています ・ 子どもが嫌がらない治療 ・ 母子医療の全額負担を受けられる収入制限をなくしてほしい
<p>遊び場の 充実 (公園・児童館等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園が少ない、増やしてほしい（19人） ・ 大きな公園がほしい（6人） ・ 大型遊具が充実した公園を増やしてほしい（3人） ・ 公園を充実させてほしい（2人） ・ 大型の公園（瑞穂市や本巢市のような）の増設 ・ 八幡小校区に公園がほしい ・ 本巢や揖斐のような公園がもう一つくらいほしい、水遊びもできるような ・ きれいな公園がほしい ・ 公園など小学生の遊べる場が少ない ・ 公園がほしい、身近にない ・ 遊具が新しく、大きめの公園がほしいです ・ 公園や遊具などの充実。他町まで行かないと十分に遊ばせられない ・ 公園の遊具を増やしてほしい ・ 池田公園に少しでも遊具がほしい ・ 南部公園に遊具を増やしてほしい ・ 遊具が充実している公園。小さい子どもと大きな子が別々で遊べるとよい。瑞穂市のサンコーバレットパークのような ・ 公園の遊具をきれいにしてほしい ・ 公園の遊具を新しくしてほしい ・ 自然のある遊び場（公園）がほしい ・ 広い遊び場を開設したい ・ 池田には大きな遊ぶところが1つしかない

<p>遊び場の 充実 (公園・児童館等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる場所を増やしてほしい ・公園に駐車場やトイレ、自動販売機が充実していると助かります ・公園の遊具が古いので、新しくしてほしい ・公園が老朽化している ・池田町のスポーツ公園は暗い、トイレも汚い。神戸町のふれあい公園や揖斐の清流公園のような充実した公園を作ってほしい。町外の公園へ遊びに行くしかない ・地域ごとの小さい公園の老朽化への対策 ・壊れそうな遊具はすぐに新しいものにしてほしい。安全に遊べるように ・各公園を衛生的にキレイにしてほしい（オムツ替えスペース、子どもも届く手洗い場等） ・新しい公園（安全） ・公園のトイレが暗くて怖い ・公園の整備があまりされていない ・遊具の整備、新設 ・公園の整備をしてほしい。雑草除去や遊具の塗装。危険遊具（壊れかけている）の交換など ・公園、広場の整備 ・遊具の安全性 ・公園の整備。1～2歳が遊べる場がないので、神戸や揖斐に行きます（SNSでも人気）。スポーツ公園は暗い。近所の公園も遊具がだんだんなくなっていく。砂利だと遊びにくい。遊具がないのならせめて砂利はやめてほしい ・みんなが集まれる公園や広場が近所にあるといい ・子どもが遊べる場所が近くにあるといい ・近くに公園がなくて、車か小学校に行かないと遊具がないです。小さくてもいいから公園がほしかったです ・池田町は公園が少ない。スポーツ公園はあるが、小学生の大きい子などがいると危険もある。たくさん公園や広場があれば、もう少し分散すると思う ・スポーツ公園の名物すべり台、せっかくなのできれいにしてほしい ・各地域の公園が古い、少ない。あっても子どもがいない。遊具がない ・近くに公園がほしい ・家の近くに歩いて行ける公園がない ・歩いて行ける距離の公園の遊具が少なく、また、おおぞら保育園の子ども達も遊びに来るので（それ自体が嫌なわけではないですが）、もっと公園があると嬉しいです ・公園が利用しにくい場所（スポーツ公園）なので、町の中心に新しい公園があるとよい ・子どもがのびのびと笑顔で楽しく育つ環境づくり。設備が整った公園、雨の日でも屋内で遊べる場所 ・子どもが自由に思いっきりボール遊びのできる公園をたくさん増やしてほしいです ・遊びやすい公園を作ってほしい。多子でスポーツ公園に行くと、真ん中のローラー滑り台で子ども達が見渡せず、見失うことがある。年齢も様々で、興味を持つものや、できる遊びも違うため、親一人で何人かの子どもを見守るのは少し不安になる公園。スポーツ公園に遊具やベンチを増やし、使いやすい公園にしていこうと取り組んで下さっているのはわかります ・山や川に近い池田町ならではの遊び場があると良い。ボウケンノモリみたいなどころ、もちろん事故対策もしっかりと ・町内の公園がなく、いつも車で町外の公園や遊び場へ行っています。充実した遊び場を作ってほしいです ・公園は町外に行くことが多いです。子どもが楽しめる場所がもっとあると嬉しいです ・新しい公園、町民プールがあると嬉しいです ・楽しく遊べる公園 ・ゆめパークやふれあい公園に行くことが多いので、池田町にも公園を作ってほしい。霞間ヶ溪は蚊が多いし、冬は池田山の陰になって寒い
----------------------------------	--

- ・子どもが安心安全に遊べる公園がほしい
- ・子どもに自転車の練習をさせたいが、どこでやれるかわからない
- ・宮地に公園、児童館がない、少ない
- ・子どもが大人に何を言われることなく遊べる環境
- ・町営プール
- ・未満児遊具を増やしてほしいです
- ・保育園に入園前の子たちが遊べる環境がほしい
- ・遊具の充実、小さい子ども向け遊具のある公園がない。他の町へ行って遊んでいる
- ・1歳ぐらいの子どもでも遊べる遊具のある公園を作ってほしい。全体的に遊具が古いので新しいものにしてほしい
- ・公園の遊具を小さい子どもでも遊べるものを増やしてほしい。スポーツ公園とかにも作ってほしい
- ・小さい子が遊べる公園がなさすぎる。古い、危ない
- ・公園でも1歳の子が遊べるような遊具を増やしてほしい。今はもっと大きくなると遊べないものが多いと思う
- ・1～2歳でも遊べる公園がもっとほしい
- ・0歳～1歳ぐらいの遊び場はほとんどないと感じる
- ・池田町内に公園はたくさんありますが、手入れがされていなかったり、6歳までの小さい子が楽しめる場所が少ない
- ・公園を増やしてほしい。小さな子どもでも遊べる遊具など、気軽に歩いて行ける距離。
- ・ちょうどよい大きさの公園が町外にしかない。小さな子どもも安心して遊べる、広すぎない大きすぎない公園
- ・使いやすい公園があると助かる
- ・小さい子どもも安心して遊べる公園を作ってほしい。子連れOKやキッズスペースのある施設を充実させたい
- ・公園や室内で遊べる施設がもっとあるとよい
- ・室内で遊べるところがほしい。大野のばすてはうすのような
- ・休みの日に児童館以外の屋内で遊べる場所が町内にほしい
- ・室内の遊び場
- ・室内の遊び場（真夏、真冬に利用できるもの）
- ・室内で遊べるところがほしい
- ・雨の日でも楽しく遊べるような室内施設がほしい
- ・雨天でも利用できる遊具施設、公園の充実
- ・室内遊び、ゲームなどが増えている中、もっと子ども達に全力で遊んでほしい。室内でも遊具が充実しているなど。スマホやTVゲームを減らしていきたい。公園、室内遊具のある場所を増やしてほしい
- ・室内遊び場がほしい。木を使ったおしゃれな、有料でも可
- ・知育系遊具を増やしてほしい
- ・安全に遊べる全天候型の施設
- ・お金がかからず遊べる室内の施設
- ・休日に室内で遊べるところができるといい
- ・暑い日や雨の日に、幼い子が安心して思い切り体を動かせる遊び場がほしい。託児もできる、ママの習い事（運動や料理教室など）などがあるとよい
- ・雨天や寒い時期でも子が体を存分に動かせる施設希望。土曜は児童館があるが、日祝の午前が困る
- ・遊び場が山の方なので寒い
- ・遊び場が少ない
- ・大型施設（AEONとか）、ファミレスとかが池田町にほしい
- ・学校でしか遊ぶ場が放課後にないが、時間（チャイム）が早い
- ・日曜日に開いている児童館が一つでもあるとうれしいです

遊び場の充実 (公園・児童館等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは遊びも立派な教育です。例えば福井県にある「福井県こども家族館」のような乳幼児が安心して遊べる交流施設、地元の歴史や特産が知れる「あそび体験ゾーン」など。他県からも思わず何度も足を運びたくなる、観光施設にもなりうる場所を作れば、人の流入、移住、雇用、町民の健康、すべてが叶うと思います。よく子どもたち3人とこの話をします。保健センターや子育て相談員やコミュニティサポートセンターの役目も担うかと ・公園は大きい子どもが危ないことが多く、小さい子どもは遊ばせづらい。特に休日。休日にも支援センターや児童館をやってほしい ・土日もやっている支援センターがあるといいなと思う
サロン、教室等集いの場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・老人（高齢者）と子どもなどを含めた地域交流の場などがほしい ・母親の子育ての相談できる場をもっと増やしてほしい。（同じ子どもの年齢の親同士） ・コロナもあり、子ども達の親さん達と話せる場もなく、ママ友と呼べる人がいない。もっと同じ年の子どもを育てている人と話せる場があればよいと思う。子どもの可能性を伸ばせるような教室があるとよいと思う ・選択肢の増えそうな内容の教室 ・障がいを持つ親の交流の場 ・小学生対象のイベントが多いが、園児の年代のイベントが少ない ・親子で通える習いごと等 ・教室が保育園でできると、そのまま預けて教室に参加できる
虐待防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・私立の園にもしっかり調査してほしい ・子どもが犠牲になるのは辛い。ニュースがすべてではないが、毎回同じことの繰り返しで、もっと子どもを救えるのではないかと思う。未来ある子どもを守ってほしい ・虐待のニュースは見ていて心が苦しくなる。防犯も含めて、子どもが安全に過ごせることを願う ・家庭内だけでなく、長時間子どもを預ける場でも虐待があるので、もっと親が見えるようにしてほしい。親の前では全然違うことがある
防犯対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・暗くなると危ないため、街灯を増やしてほしいです ・外灯が少なく、夕方、夜など暗くて危険 ・外灯やカメラ ・民家になると外灯が少なく怖い ・道などに防犯カメラを増やして、パトカーによるパトロールをもっと増やしてほしい ・施設周り、登下校道に防災カメラ ・不審者情報がよく聞こえるので、見回りなど ・通学路の見守り ・通学路の整備 ・小学生の通学路、交通量が多いところに押しボタン式の信号を付けてほしい ・安全に通学できるよう、道路に歩道を作してほしい ・先日、自宅庭に犬のフンがされていて、いつも子どもたちが遊んでいる砂場の中だったし、かなりびっくりした。とても腹ただしく、防犯対策をしなればと思った
財政的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無料化（2人） ・教育費用がかからなくなるといい（揖斐川町みたいに） ・授業料無料 ・小中学校の学費免除 ・未満児の保育料を無償化 ・保育料（未満児）の金額を安くしてほしい ・保育料の減額 ・保育料（第2子より無償or減額） ・第2子以降の保育料の完全無料化

- ・小中高の学校入学時、必要なものの支援や補助金。多子家庭への保育利用料完全無料
- ・低価格、もしくは無料で子どもに関することをしてほしい
- ・小さい時より、中学、高校等、大きくなるときに財政的な支援がほしい
- ・住民税非課税世帯だけでなく、一般世帯も苦しいので、給付等の支援を行ってほしい。令和6年以降のコロナワクチンも子どもは助成してほしい
- ・任意予防接種の補助金拡大
- ・児童手当について
- ・不妊症に対する支援が県だけでなく、町としてあるべきだと思う
- ・少子化対策
- ・少子化に歯止めをという割に手厚いフォローが見られない
- ・父子家庭に対してもっと財政支援を所得に関係なく、もっと支援してほしい
- ・体操服が高い。母子の健康診断をもっと安くしてほしい（ワクチンなど）
- ・税金ゼロか、子育てに取り組んでほしい。塾も定額にしてグローバル化に強くしてほしい。大学まで支援してほしい
- ・子どもへの手当を増やしてほしい
- ・非課税世帯以外にも支援してほしい
- ・児童手当増額
- ・児童手当以外にも財政的支援をもっと増やしてほしい。母子家庭ではないが、経済的に苦しい生活をしているため
- ・現金支給してほしい。オムツごみなど子育て中はおみが増えるので、ごみ袋を無料で支給してほしい
- ・出産一時金でもそうだが、結局のところ病院にかかるお金で手元には残らない。少子化というならもっとやるべき政策はあるはず
- ・金銭面での子育て支援（クーポンではなく）
- ・子育て世帯への金銭的支援（サービス）
- ・物価高なので財政的支援をしてもらえたら助かります
- ・おむつやミルクなど薬局で使えるクーポンなどがあると嬉しい
- ・値上げでミルクやおムツ代が高騰しているので、財政の支援がほしい
- ・オムツ月1配布とか（1歳まで）、子ども用の防災グッズを配布してほしい
- ・多人数家族に対する金銭的支援
- ・2、3人目の子どもに対する財政的支援の拡充（3人目がほしいが、ふみきれていない）
- ・育休中の慣らし保育期間（復帰前）も保育認定してほしい。1号でもよいので。復帰後に慣らし保育は現実的に不可能。だから前倒して保育園に入れるが、一時保育扱いで高額になってしまう
- ・子どもが多い家庭ほど何かしらの援助があるといい
- ・3歳以上の給付が少ない。入学祝金など少しでも足しになるもの
- ・給付金をもっと増やしてほしい
- ・金銭的に苦しいと、子育ても苦しくなってしまう。子育てを楽しみたいのに、お金がなく、子どもを産めない、仕事ばかりになってしまう、ということにならないよう、ミルク、オムツにお金がかかる時期だけでよいので、定期的に赤ちゃん券を配布して頂けると助かります
- ・他の自治体（確か名古屋市）では産後10万円程度の支援があると聞いたことがあるので、池田ももう少しあると…
- ・子育て給付金や商品の提供
- ・お金がかかるため手当を増やしてほしい
- ・子育てにはお金がかかり、多くの支援があればあるだけ助かります
- ・毎月、子どもの用品や食費にお金がかかる。毎月数万円でも支援してほしい
- ・収入に関わらず、他市町村のように、子1人につき〇万円等の財政支援
- ・給付金等
- ・必要なものの支給（追加等は支払う）

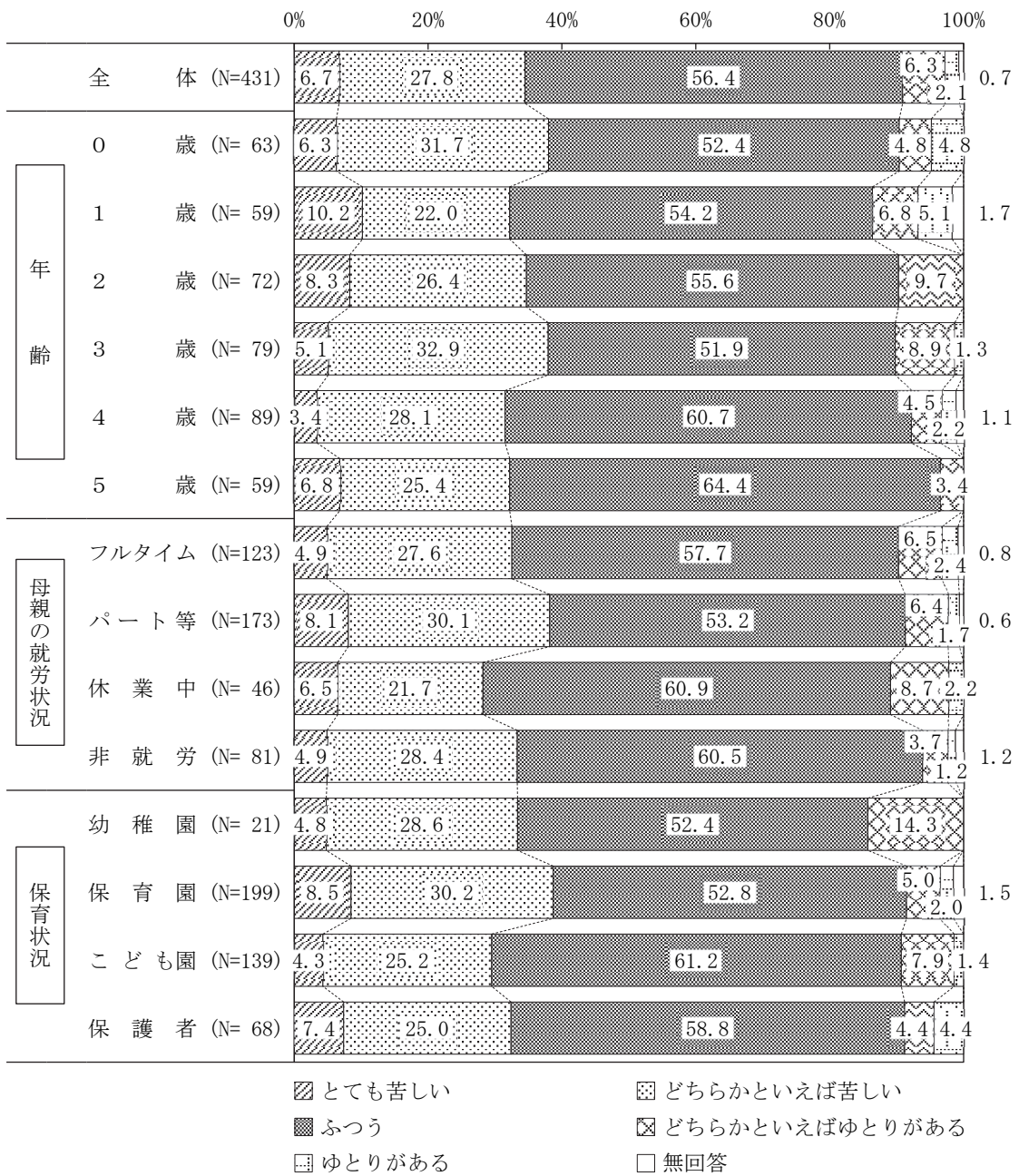
<p>財政的支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園・学（小中高）のときに、大きなお金がいるため支援などがあればよい。もっと充実させてほしい ・経済は物価高騰、今までのようには生活できなくなった。親がどんなに働いても税金でまかななくなる ・児童手当や低所得者への支援をもっと考えてもらえるとありがたいです ・もっと金銭面のサポートがあると本当に助かります。物価が高くなる一方で、本当に家庭は苦しくなる ・小学校前までは子どもは体調を崩しやすく、その度に仕事を休むことになり、収入が減ってしまう。産休中だけでなく、毎月の支援の方が助かるし、金額も上げてもらいたい ・子どもの成長と共にかかるお金（すべての子どもが必ず必要になるものへの）の支援。例）ランドセルのお金など ・ベビーシッター費用の補助 ・スポーツなどの習いごとをさせたいが、月々かなり費用がかかるので、町で補助が出ているいろいろなことにチャレンジできる環境にしてほしい ・子どもの習い事支援（給付金） ・子ども3人を親（祖父母）の援助なしで育てていかなければならないと思うと、常に経済的な不安がある。扶養から外れて働いても、子育てとの両立で収入は増えず苦しい ・経済的に厳しい ・地域によって差があるため、移住を考えることが多い。自治体の費用も地域で違う ・岐阜県内でも支援内容がそれぞれ違う ・都会と田舎で育った双方の子ども差を感じさせない教育を受けられること。2人兄弟であっても大学進学における支援は受けたい。子ども2人も大変だと思う
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に困っていないが、その後の学童を充実させてほしい。特に宮地小校区では利用者も少ないので、長期休暇中だけでも他の校区の学童を利用できる等考えてほしいです。子どもが楽しく学童で過ごしてくれると仕事復帰も安心です ・父子家庭には職場でもっと優遇してもらえよう呼び掛けてほしい。仕事時間、手当等 ・小学校や中学校の宿題がなくなり、部活がなくなり、先生方の働き方改革をされているようですが、その分の親の負担がとても大きくなってきています。習い事などに頼ることも多くなり、正直習い事への補助金がほしいと思うほどです ・養老鉄道を残してほしい。通学が不便になるため ・LGBT法案についての不安。子ども達が安心できるように、そして親も。トイレ、プール遊び、配慮しなければならないことが多い ・自立して生活できるような支援と、急な用で困ったときに利用できるサービスを充実、周知してほしい ・ごみ捨て当番など、地域の当番の削減。6：50～7：30頃まで、捨て場で見守りをするのは働く子育て世代には厳しい。意味があるのか？ 消防団等も ・強制参加の自治体行事が多すぎる。小さな子どもを連れて、夜20時過ぎまで1～2時間も大人の集まりに行かなくてはいけないのは辛い。シニア世代が子育て世代の時間や労力を当てにしている。昔のやり方は通じないです ・子育てしやすい環境の充実。周りでも本当は3人産みたいけど、経済的なことを考えると…という話を聞く ・母子家庭の収入に対しての手当をなくし、一律にしてほしい。働き損に感じる ・不登校やヤングケアラーに対する支援を充実させたい。自分達だけで抱え込まずに、もっと外部と連携しながら支援を強化させるとよい。訪問看護や在宅医療などをもっと活用する。早めの対応をしないと手遅れになることも ・チェーン店を作してほしい（2人）

13 生活の状況等

(1) 暮らしの状況

現在の暮らしの経済的状況をどのように感じているかたずねたところ、「ふつう」が56.4%を占めています。「とても苦しい」「どちらかといえば苦しい」を合計した<苦しい>は34.5%、「どちらかといえばゆとりがある」「ゆとりがある」を合計した<ゆとりがある>は8.4%です。<苦しい>は、子どもの年齢別の0歳・3歳、母親の就労状況別のパート等、保育状況別の保育園が38%台と高くなっています。

図表1-106 暮らしの状況



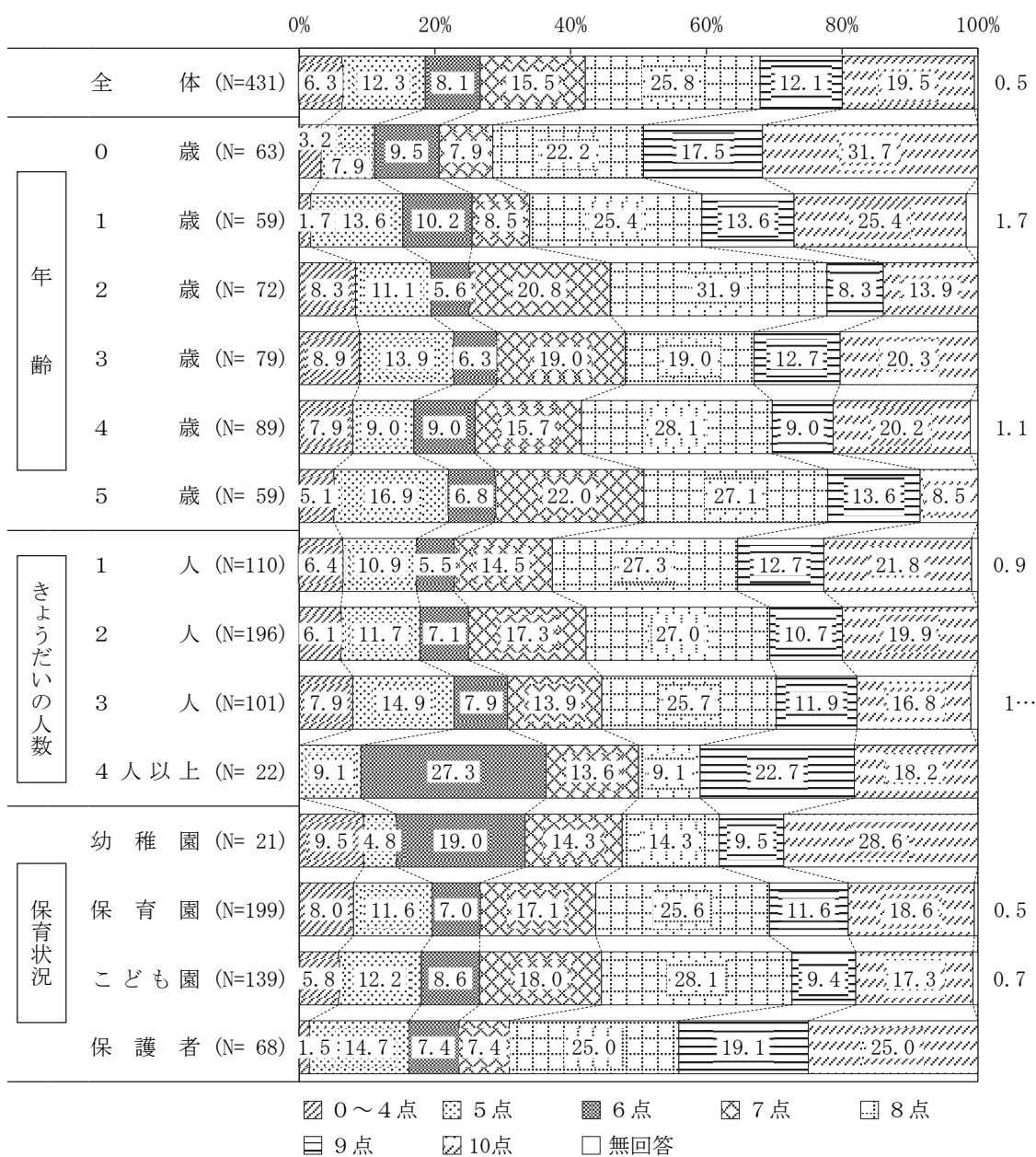
(2) 幸福感

図表1-107は、「あなたは、現在どの程度幸せですか。『とても不幸』を0点、『とても幸せ』を10点として、ご記入ください」という主観的な幸福感を問う設問に対する回答です。

「8点」が25.8%と最も高くなっています。仮に<幸せ>を6点以上とすれば81.0%、7点以上とすれば72.9%となります。

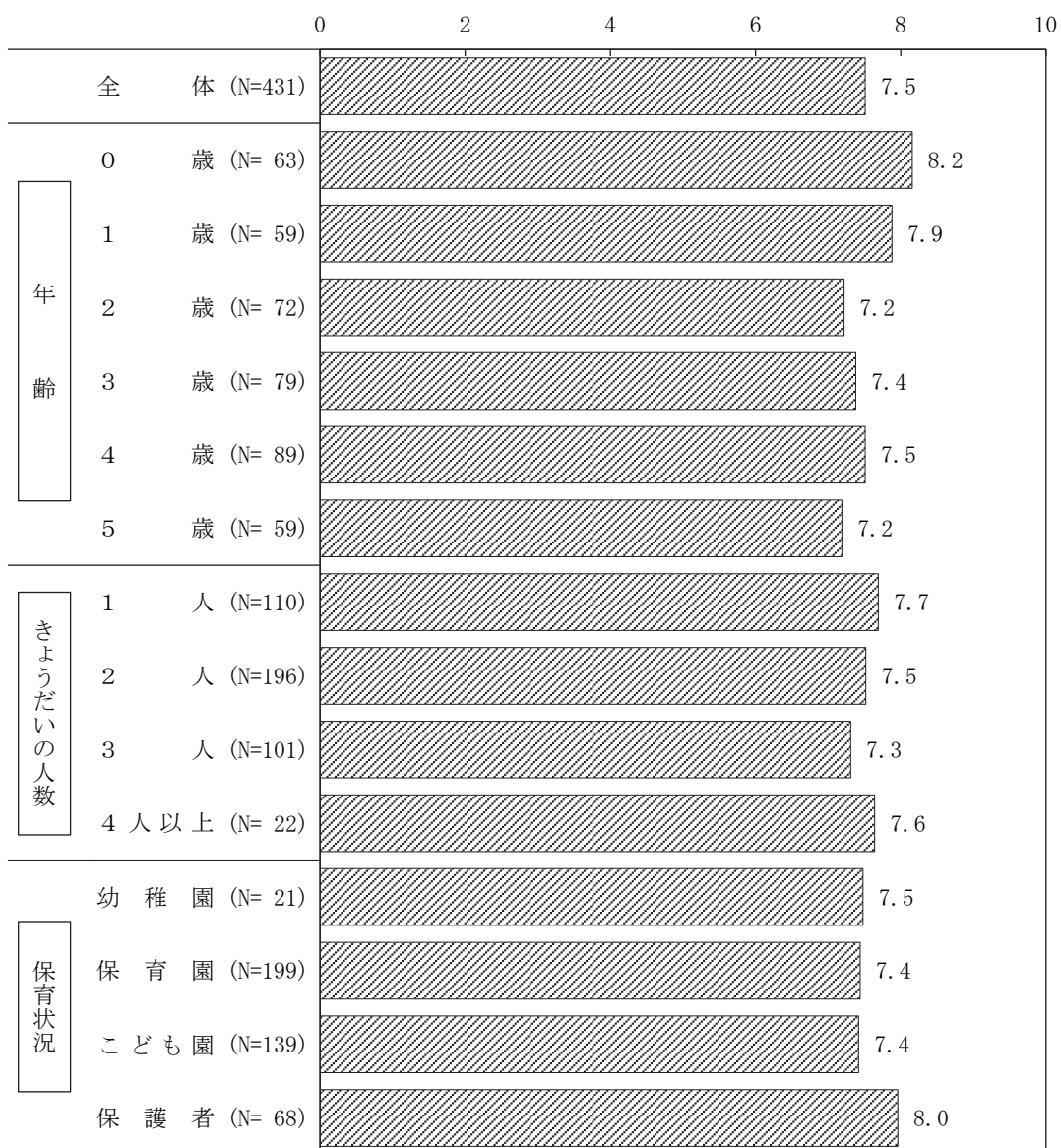
子どもの年齢別にみると、0歳の「10点（とても幸せ）」が31.7%と、他の年齢に比べて高くなっています。

図表1-107 幸福感



幸福感を平均点で見ると、全体では7.5点となっています。平均点が高いのは、子どもの年齢別の0歳、保育状況別の保護者で、8点以上です。点数が比較的低いのは、年齢別の2歳・5歳、きょうだいの人数別の3人で、7.2~7.3点となっています。

図表1-108 幸福感の平均点



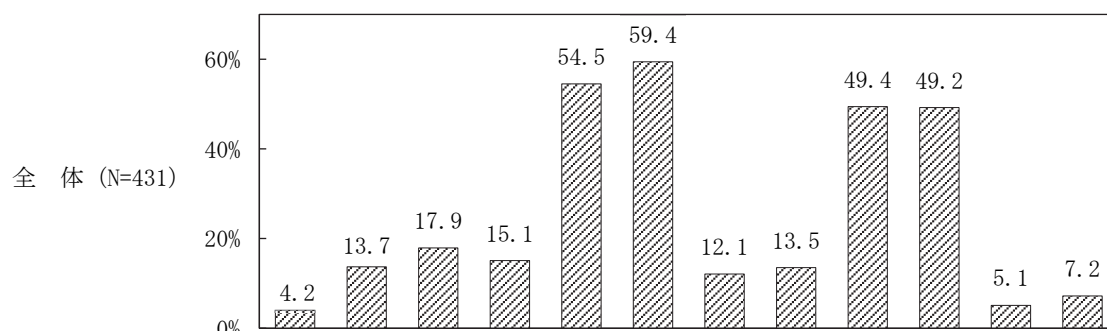
(3) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関連して、起きたことや困ったこととしては、「家族・友人などに会う機会が減った」「外出の頻度が少なくなった」が50%を上回っています。「子ども本人が感染した」「同居家族が感染した」も49%台の比較的高い割合となっています（図表1-109）。

「その他」として、図表1-110の内容が記載されていました。

図表1-109 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答）

単位：Nは人、他は%



区分		N	子どもが精神的に不安定になった	検査やワクチンを受けるのに苦労した	利用していた保育園等が利用できなくなった	サロンのような施設が利用できない、しづらなくなった	外出の頻度が少なくなった	家族・友人などに会う機会が減った	仕事ができなくなった	経済的に苦しくなった	子ども本人が感染した	同居家族が感染した	その他	無回答
年齢	0 歳	63	1.6	19.0	11.1	22.2	57.1	50.8	4.8	12.7	30.2	46.0	4.8	11.1
	1 歳	59	1.7	8.5	8.5	18.6	62.7	69.5	8.5	15.3	44.1	45.8	5.1	6.8
	2 歳	72	2.8	9.7	12.5	15.3	51.4	62.5	6.9	8.3	45.8	37.5	4.2	8.3
	3 歳	79	3.8	8.9	15.2	19.0	53.2	69.6	15.2	16.5	55.7	46.8	6.3	6.3
	4 歳	89	6.7	16.9	27.0	11.2	52.8	52.8	14.6	11.2	56.2	52.8	3.4	4.5
	5 歳	59	8.5	20.3	32.2	6.8	54.2	50.8	22.0	18.6	62.7	64.4	6.8	6.8
保育状況	幼稚園	21	-	9.5	4.8	23.8	47.6	57.1	23.8	4.8	47.6	38.1	9.5	9.5
	保育園	199	4.0	10.1	21.6	9.5	53.3	57.8	15.6	14.1	51.3	45.7	5.0	8.5
	こども園	139	6.5	18.0	19.4	14.4	53.2	61.2	9.4	13.7	54.7	55.4	4.3	3.6
	保護者	68	1.5	17.6	8.8	29.4	63.2	60.3	2.9	13.2	33.8	51.5	4.4	10.3

図表 1-110 新型コロナウイルス感染症の影響（その他）

- ・お姉ちゃん（小学生）の学力低下
- ・仕事が忙しくなった。
- ・自分（母）だけ感染したので、子どもだけで生活した。上の子が家事や下の子たちの育児をしていた
- ・子ども同士で会うことがなく、関わり方がわからないまま入園した
- ・妊娠、出産してすぐコロナがひどかったため、面会の規制、他者との交流ができず、産後うつになった
- ・公園が閉鎖され、子連れで行き場がなくなり、とても辛かった
- ・遊ばせる場所がなかった
- ・ウイルスはマスクでは防げないのに、強制される世の中におかしさを感じた（ワクチンも同様）。もっとしっかり情報をとるべきでは？
- ・父、母が感染した
- ・池田町感染者放送のせいで、犯人探し（感染者）をされ、親族の仲が悪くなり、家族がとても深く傷ついた
- ・濃厚接触者となり、行動が制限されたこと
- ・子どもが感染した後、父親が2日遅れで発症したため、保育園の先生から父親の療養期間が終わるまで出て来ないでほしいと言われた。保育園で拾ったのに
- ・少しの咳などにも皆敏感になっているので、すぐ幼稚園を休ませることになり、仕事がほぼ続けられなくなった
- ・外出時に感染するのではないかと不安。消毒などの感染対策が大変で精神的ダメージ
- ・過剰対策だと思います
- ・風邪気味だと保育園側よりすぐ休ませる雰囲気や対応があり、仕事を休む日が普段より増えた
- ・感染拡大防止を理由に身内が子育てに非協力的になった
- ・園の行事が減ってしまった
- ・エッセンシャルワーカーの子どもだけの受け入れと言われたときは驚いた（保育園等）
- ・小さな子どもの副反応がこわくて、ワクチン接種に踏み込めない
- ・体調が悪くなりやすくなった

14 意見・要望等

(1) 子育て支援全般

- 他の市町村に比べ、幼稚園や保育園に入れやすい。選択の自由があり、ありがたく思っています。支援センターや児童館をうまく利用すれば、育児の情報が得られるため、育児支援の場所が多いのも嬉しいです。(3歳)
- 以前大垣に住んでおり、その当時の大垣よりも赤ちゃん券やオムツ処理等、とても助かっていると感じています。その魅力を町外の人に感じてもらえると、移住や永住する人も増えるんじゃないかなと思います。池田で子育てするメリット(行政、自然豊か)等、もっと発信していいと思います。(0歳)
- 子育て前に新築して、池田町民となりました。こんなにも子育て支援が充実しているなんて、と満足感でいっぱいです。他市町の子育て支援施設も利用しておりますが、やはり池田町内の先生方の声かけは光るものがあり、大変助かっております。個人的には1歳6ヶ月健診の言葉遅れの指摘がありがたくも辛いものがありました。(1歳)
- 今後も子どもへの手厚い支援があればぜひ利用したいです。(0歳)
- 卒園式と卒業式の日がちが一緒でした(入園式と入学式の間違いでしたらすみません)。子どもの晴れ舞台ですので、どちらかの式に参列できないのは悲しいです。池田町内にある園や学校のみだけでも日がちが被らないようにしてもらいたいです。(0歳)
- 池田町独特の家庭への給付金を配る事業を行うべき。池田町全体で自治会を即時撤廃するべき、全く必要なし。池デジの給付回数と金額を増やすべき。(1歳)
- 育休について。母である私が第一子を出産した平成30年、及び第二子の令和2年で、夫の職場では育休が認められない雰囲気があるようでした。私が現在勤務する職場では「男性も育休を取得して当然」という認識があります。かたや夫の方では依然として変わらない様子です。(2歳)
- 父親が強制的に育児に取り組まなくてはいけないような、子どもと一緒に会いたいのがあれば、育児に関心が持てるのかなあとと思いますが、普段はママが見ているご家庭が多いと思いますので、健診は父親がいくとか…。パパさんが育児をするご家庭も多くなってきてはいると思いますが。(4歳)
- 習いごとができる場を増やしてほしい。公園を作ってほしい。チェーン店を増やしてほしい。(4歳)
- 父親側も育休を取得したい人は多いと思うが、実際は取りづらい。池田町としての斡旋があると嬉しい。既存の支援事業は母親のためでしかないし、母親も本当に頼りたいの

は父親だと思う。(4歳)

○女性が育休とか取ると、どんなに仕事をがんばっていても評価が下がるし、子育ては基本お母さんがやって、父親は手伝っているという感じがまだまだ根強いです。子育てしながらがんばっている母をもっとサポートしてほしいです。男女平等になるように、小さい頃から小学校とか教育で考え方を考えてほしいです。(5歳)

○今のところ保育園は土曜保育もあるので何とかなっているが、来年から小学校にあがり、土曜日両親ともに仕事の日、子どもの預け先がなく困っています。小学校のうちは預けられるところがあればありがたいです。コミュニティママの利用も考えていますが、1日当たりの金額を考えると高く、働く意味を考えてしまいます。仕事を辞める、パートにするなど働き方を減らさざるを得ない状況です。保育園のように金額を気にせず利用できる制度を作っていたらと思います。(5歳)

○子どもが安心して成長ができる町づくりをお願いしたいです。(1歳)

○自分の用事(仕事、病院、美容室など)で外出したいとき、預かってもらえる機関があるのはとても助かりますが、家族以外の人に預けると子ども自身が嫌がるため、預けたくても預けられず困る問題もあります。どうしようもなく、答えの出ない問題なんです。預けたくてもダメな場合の困り事として記入しました。(3歳)

○小学校入学時の購入する物について。子どもが日常的に使用する「790円の引き出し」ですが、池田町内の園に通う子は卒園記念でもらえるとありました。うちの娘のように、町外の園に通う子には購入するようになっています。住民票は池田町にあって、町外の園に通う子だけ購入するというシステムに不満を感じます。同じ池田町に住んでいて、池田町の小学校へ入学するのに、他の園に通っているというだけで、購入を求められるのはなぜですか。入学する皆にできない財政なら、やめるべきだと思います。どの子ども同じように対応してほしいです。娘がよそ者扱いされないか心配です。(3歳)

○自立、共生をサポートし、どんな環境の人でも幸せを感じられる世の中にみんなですていきたいです。行政として、町民に働きかけることも大切かと思います。(4歳)

○地区の当番を減らしてほしい。他の市町村ではゴミ捨て場に当番が立つことはない。ゴミ捨てのケースなど出すことはあるが。朝、長時間しぼられるのは子育て中、働いている人には難しい。不要な習慣は減らしてほしい。消防団の出不足金も半ば強制では？(0歳)

○子どもと一緒に参加できるイベントが少ないと思います。(5歳)

(2) 保育園・幼稚園・認定こども園

- 保育中は基本よく見ている担任の指導が望ましい。たまにしか見ていない他の先生、又は園長先生による普段の生活に対しての指導は控えてほしい。(2歳)
- いつも保育園の先生方にはよくしていただいています。保育士さんの人数確保をして、より良い保育を目指してほしいと思います。(4歳)
- 突然保育園が民営化したりすると、池田町に対して不信感が募ります。小学校もいきなり廃校したりするんじゃないかなど、安心して子どもを育てられない。アンケートに対しての答えをしっかりとめてほしい。(3歳)

(3) 子育て支援センター

- 保育園に入園していない子どもにとって、支援センター、児童館は他の同年代の子ども達とふれあえる場になっていて、とてもいい刺激になっているようです。毎月イベント等もあり、私自身も気分転換ができています。運営をありがとうございます。(0歳)
- 0歳の子を育てていると室内でしか遊ばず、支援センターはとてもありがたい施設です。土日小さい子のみが遊べる(安全なので)支援センターのような場所があると嬉しいです。(0歳)

(4) 病児・病後児保育等

- 岐阜市などにある産後の宿泊できる産後ケアがあると、とても助かるなと思いました。(0歳)
- 休日の急病、夜間など、わかりやすい案内や、利用しやすい環境を整えてほしい。(一)
- 上の子のときに比べて、下の子は周りにすぐ預けられないため、子育て支援など使わせていただいています。共働きのため、特に病児保育や園にはとてもお世話になっています。先生方や病児保育の方にはいつも声をかけてもらったり、成長を一緒に見てもらえ頼もしいです。(3歳)

(5) 保健・医療

- 休日診療が池田の病院であると嬉しい、西濃厚生病院が遠い。(2歳)
- 母子手帳アプリの導入。(2歳)
- 池田町にも小児科クリニックがほしい。内科で小児科も掲げているところはあるが、全然診れていない。結局、町外に通っている。(2歳)

(6) 児童館・図書館

○児童館の充実や、気軽に相談できる保健センターなど、一人で抱え込まず、施設を利用して子育ての相談できる場があるのは嬉しい。手当も充実していると感じているが、もう少し手当があると、心にゆとりが持てる気がする。(0歳)

○児童館を利用しているが、先生たちはほぼ職員室から出て来ないのはなぜ？ 相談とか、お話しできたらと思うが、まったくおらず。3~4人はいるはずなのに。何をしているの？ 保育園を普段利用しているが、土曜日でも児童館でお弁当を持って食べられたらいいと思う。外も寒くなってきたので。平日のみと言われてしまったので残念でした。(3歳)

○児童館(図書館)や子育て支援センターがすべて日曜、月曜休みなので、施設ごとに休みをずらしてもらえたりするとありがたいです。また雨の日などに屋内で遊べる施設があると嬉しいです。(0歳)

○長男が振替休みで月曜が休みの場合、町内の遊び場へ行きたいが、児童館はすべて休みだし、支援センターは未就園児しか行けない。どこも遊ぶ場がない。せっかくたくさん児童館があるのだから、毎週月曜どこか1つの児童館だけでも開けてほしい。その代休で開けていた1つの児童館は次の火曜など閉館でもよいので、それか未就園児の下の子がいる場合は、上の子も一緒に支援センターに来てほしいなどしてほしい。(0歳)

(7) ひとり親家庭への支援

○シングル世帯の支援、または町としての何かしらの情報などの取り組みを積極的にしてほしい。(2歳)

○母子家庭にはいろいろ支援はあるが、父子家庭への対応、支援をもっと所得制限を緩くして対応してほしい。病児・病後児保育を柔軟にすぐ利用できるように変更してほしい。(3歳)

○母子(父子)家庭の概念を考え直してほしい。母子家庭の支援の仕方、児童手当等もっと市民の意見をちゃんと聞いてほしい。(3歳)

(8) 産後ケア、多胎児家庭・多子家庭への支援

○産後の家事代行サービスがあるとうれしいです。産後ケアの説明を産前にしっかりしてほしいかったです。産後ケアのできる宿泊施設(本巢市や大垣市のように)があるとうれしいと思いますが、お産のできる施設がないので難しいでしょうか。池田温泉に泊ま

れたりしたらうれしいのにな。(0歳)

○双子育児つらい。(2歳)

○子どもが多い家庭(例:子ども4人以上)には、保育園、小学校のPTA等、役員免除してほしい。仕事、子育て(平日、土日も習い事)で忙しくて、子どもが多いと想像以上に忙しく、時間がないことをもっとわかってほしい。(4歳)

(9) 障がいのある子ども等への支援

○友人で発達障がいのお子さんがいて、日々色々な悩みがあり、孤独を感じている人がいる。集まれる場所があればいいのと思う。(2歳)

○ことばの教室の送迎は親が行わないといけません。これでは仕事を休みにしないとけなくて、毎回は休みが取れないので、町で送迎してくれたら通わせやすいと思います。(5歳)

○療育、通級でお世話になりとても助かりました。(4歳)

○発達に遅れがある、困り感の強い子への支援を充実させてほしい。(5歳)

(10) 公園などの遊び場

○スポーツ公園を池田町の一番の公園にすると決めたのでしたら、今一度大きく手を加えて頂けたら嬉しいです。(4歳)

○町内に大きな公園施設がほしいです。本巢や穂積にも新しくできているような場があると嬉しいです、ぜひ。(4歳)

○公園を増やしてほしい。(1歳)

○新しく遊具を増やしてほしい。(0歳)

○経済的な補助もすごくありがたい。けど、もっと遊ぶ場が充実してほしい。外で体を使って遊ばせたい。家で日中一人で育児していることが一番辛い。外食やテイクアウトもしたい。キッズスペースやおむつ交換台がある施設がもっと増えたら嬉しいです。(0歳)

○近隣市町村のように公園も新しくなるといいです。(0歳)

○北池野地区に住んでいます。前まではコミュニティセンターでのボール遊びができましたが、今は近隣住民の方からの苦情で出来なくなりました。高学年になれば学校や児童館まで一人で行けますが、上の子は1年生なので、友だちと遊ぶにも一人では行かせられません。歩いて行ける公園もこの地区にはないので、この地区で子どもが自由に遊べる場所があったらいいなと思います。(0歳)

-
- 公園だけでなく、パレットピア大野のところにある室内で遊べるようなところがほしいです。ザ・ビッグに併設されている森のわくわくの庭など。(1歳)
 - 各地区で管理されているはずの公園が、雑草だらけで利用できず、悲しかったことがあります。(2歳)
 - 池田町の公園が少ないし、狭いし、木も少ないのでそれを改善してほしいです。(4歳)
 - 公園を充実させてほしい。(2歳)
 - 池田町にも0歳児から遊べる施設がほしい。(0歳)
 - コミュニティセンターでコミュニケーションを取るよりも、よく行く近所の子ども同士や親同士がコミュニケーションを取れる公園や屋内施設を各地区に作るべき。公民館や神社など老人が集う場所しかないため、学校帰り、親が就労している間、子ども達は危険な場所で遊んでいるのを目にします。土日は公園がないため、近隣の市町へ出かけます。子育て世帯が親も安心して充実して過ごせる場所を民間と協力して増やしてほしい。ここに長くは住めないです。(2歳)

(11) 教育・学校

- 池田町の教育事情をもっと危機感を持った方がよいと思います。都会のような最先端の教育方針を取り入れたところで、周りの環境が都会とは全く違います。学校側の負担軽減も重々わかりますが、今の池田町の改革は、今後良い方向へ行くとはなかなか思いません。ゆとり時代の子どもよりひどくなる予感です。(一)
- 低年齢(5歳くらい)から定期的に(最低1年に1回)、専門講師を招いて性教育を開始するようにしてほしい。18歳でいきなり性の知識を身に付けようと思っても難しい。小学校でいじめ予防プログラムを実施してほしい。大阪府吹田市すいたGREENスクールプロジェクト参照。(3歳)
- 修学旅行が無料になるといい。(0歳)
- PTA活動を外注にしてほしい。共働きや未就園の子がいたり、夜に集まったりなど負担が大きい。(1歳)
- 子ども会、PTAの強制参加の雰囲気はなくしてほしい。それ自体があることはいいと思うが、あくまで任意組織だということを再認識させてほしい。いろんな家庭の事情で組織に入らない家庭もあるので、入ってない家庭の悪評をつけたり、子どものイジメにつながるようなことはやめてほしい。(2歳)
- 養基地区は池田中学校まで遠く、街灯がついている道も多くなり通学が心配です。距離

だけで考えれば、揖斐川中学校の方が近く、歩いて通える子もいます。町は違いますが、家から近く安心して通える学校を自由に選択できるようにしてほしいです。同様に小学校も校区に関係なく、町内で選べるようになるとよいです。(5歳)

○給食の添加物を気にしてほしい。農薬の量なども。(2歳)

○小学校等のフリースクールがあればうれしいです。池田町にあると助かります。(5歳)

(12) 子育て環境・安全

○街灯を増やしていただきたいです。(1歳)

○人が集まるチェーン店が池田町にほしいです。ココス、丸亀、マックなど子どもと行きやすいお店。(3歳)

○子どものものを気軽に買えるしまむらや西松屋が近くにほしいです。(1歳)

○池田町は子どもを育てやすい環境にしようと考えて下さっていることがとてもありがたいです。(0歳)

○もう少し子どもを育てやすい環境にしてほしい。(2歳)

(13) 相談・情報提供

○土日月曜日は児童館が休みで行けず、大野町のぱすてるはやっているので連れて行くが、そこに集中するためかなり密で、感染の危険があり不安。町内でもどこか遊ばせられる場を提供してほしい。幼稚園がこれほど有料だらけとは知らず、役場に事前相談していたときに保育園との違いなど、ちゃんと話してほしかった。今さら転園できない。色々お金がかかっているから。(1歳)

○保育園や小学校のこと、子育ての支援のことなど、もっと情報がほしい。知らないまま適切な時期を過ぎてしまわないように郵便などでお知らせをもらいたい。インフルエンザの予防接種は全額補助してもらいたい。子どもは別のところで生まれて、途中で池田町に引っ越してきたが、予防接種や子育ての支援、保育園の情報等、わからないことばかりで転入の手続きのときにもっと手厚く教えてもらいたかった。(2歳)

(14) 経済的支援

○すべての支援。子どもを預けたいときはたくさんあるが、お金をかけてまで預けようとは思わない。児童手当や給付金を増やしてもらえればもっと楽になると思う。(1歳)

○物価高騰で生活が苦しくなった。生活支援金(子育て支援)として援助してもらえると

助かる。(1歳)

- 子どものいる家に池田町ゴミ袋の配布をしてほしい。大量のゴミが出ます。すぐに大きくなり、要らなくなるものも増えていくので粗大ゴミを捨てる無料券を年1回でいいから配布してほしい。大垣市は充実している。(4歳)
- 乳児がいるとオムツのゴミが増えるので、ゴミ袋代を安くしてほしい。(0歳)
- 子育て世帯に対する財政的支援を充実させてほしい。(1歳)
- 財政的支援をちゃんと考えていただきたい。(0歳)
- 子育てしやすいよう経済的支援をもっとして下さい。(1歳)
- 子どもは毎日車に乗ってお出かけしたがりです。池田町からショッピングモールや遊具の充実した公園に行こうと思うと、なかなかガソリン代もかかります。もしもガソリン代をサポートしてくれるような支援がありましたら、大変助かります。(1歳)
- お金がほしい。出産費用無料になれば、子どもを産む気になる。補助金が上がったけど、それに伴って婦人科も高くなっているのをどうにかしてほしい。(0歳)
- 未満児も保育料無料をやったらいいのにと思っています。(2歳)
- 経済的支援がもっと必要、子育てには本当にお金が必要。後々のことにはなるが、小学校とかはランドセル→リュック等を支給等の支援もほしい。園児、児童が少ないところは今後どうしていくのかを考えて教えてほしい。(1歳)
- 子育て家庭が使える協賛店の割引クーポンがあると家計が助かる。(2歳)
- 毎月数万円でも支援してほしい。

(15) 少子化対策

- 子どもの人数が急に少なくなって不安に思う。子ども会や役員など、今までのやり方を変えていかなければいけないと思う。(4歳)
- 全体的に不満はないですが、子どもの数の減少が目立ってきているようですので、子どもを産みたくなる政策、子育て世帯が住みたくなる政策をお願いしたいです。(4歳)
- 子どもが一人でも多人数でも同じ支援であれば、人数が多い方が苦しくなるのは少子化に直結することなので、人数によって支援が増えるような仕組みにしてほしい。(0歳)
- 現在は子どもが1人で、そこまで困ることはないですが、2人目妊活中で仕事もできず、通院もあり、そのようなサポートもほしいと日々感じています。生まれた子に対する支援はどの町もやっていることです。子どもを望んでいる人に対する政策があると、池田町に住みたいと思う人は多いと思います。大垣市でAMH検査(卵巣予備能検査)など

の助成があります。結婚を池田町でし、子どもを望んでいる人に早めに検査を安くしてもらうことで、今後子どもが増える町になると思います。不妊治療の助成も岐阜県の上限10万には全く収まりません。町としての支援もぜひ進めてほしい。(3歳)

○国に対してですが、子ども3人家庭のみ大学費用が無償化されるのは不公平だと不満に感じています。(5歳)

○3人目の子育てへの支援をもっとしてほしい。(3歳)

○子どもをもう1人産みたいと思えるような財政的支援や、安心できる環境を整えてほしい。(4歳)

(16) 計画・アンケートについて

○今回の調査、二人以上子どもがいる家庭に郵送する際、必要分だけ送ればよいと思う。

費用ももったいないが、ムダな作業になるし、家庭でも捨てる手間が増える。(0歳)

○このように現状を探る調査は非常に有意義かと思います。(0歳)

○育児はもちろん大変なこともゼロではないし、本当に困っている方もいるのは分かっています。何でもすぐに「うつ」に結びつけるような産後のアンケートなどは個人的には疑問を感じます。そういった対応も国や行政には考えてみてほしいです。楽しく育児をしている身からしたら、あまりいい気がしないです。(0歳)

○「問34 教育・保育事業が利用できなかったときの対処法」で、日数など年間数えきれないほどあります。それをカウントすることは難しい。(1歳)

○アンケートでは答えにズレがどうしても出てくると思います。本当に利用したかったが利用できなくなった、なんて最悪なことにならないように、すべてのこれから子どもを持つと思われる方にも聞いて、どういうものが必要なのかを知ってから計画してほしいです。(5歳)

○こちらの調査の「問6 お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか」について意見があります。「項目4 緊急時もしくは用事の際」とありますが、だいぶレベルが違うように思います。近い方の祖父母も片道車で2時間の距離があり、本当に緊急のときは頼らざるを得ませんが、少しばかりの用事ではなかなか依頼できません。(2歳)

○同じ内容のアンケートに、二度も答える必要性が理解できません。すでに小学生の子どもに回答済み。本気で子育ての支援を考えて下さるのであれば、ムダを省いてほしいです。とても負担で困ります。(一)

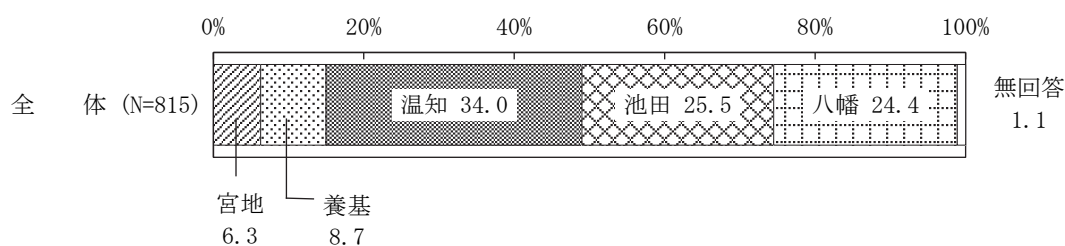
第2章 小学生保護者調査

1 子どもと家族の状況

(1) 小学校区

住んでいる地区（小学校区）は、「温知」が34.0%と最も多く、次いで「池田」（25.5%）、「八幡」（24.4%）、「養基」（8.7%）、「宮地」（6.3%）となっています。

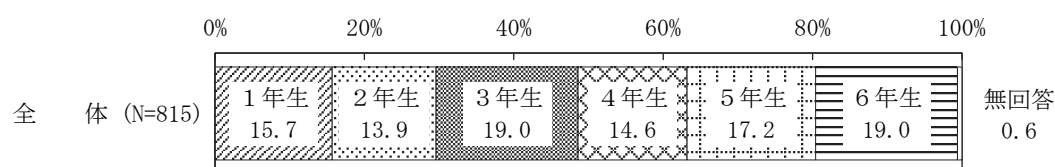
図表2-1 小学校区



(2) 子どもの学年

対象となった子どもの学年は、「3年生」「6年生」が19.0%と高く、次いで「5年生」（17.2%）の順となっています。「1年生」「2年生」「4年生」は13~15%台です。

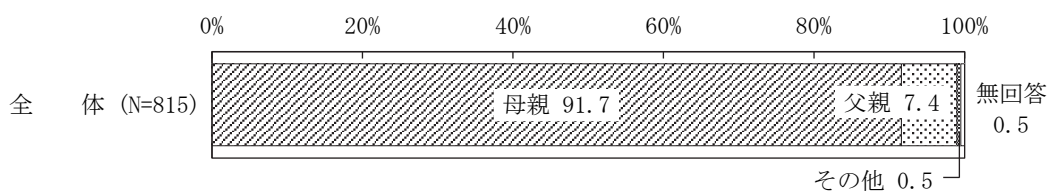
図表2-2 子どもの学年



(3) 調査票の回答者

調査票の回答者は、「母親」が91.7%を占めています。

図表2-3 回答者

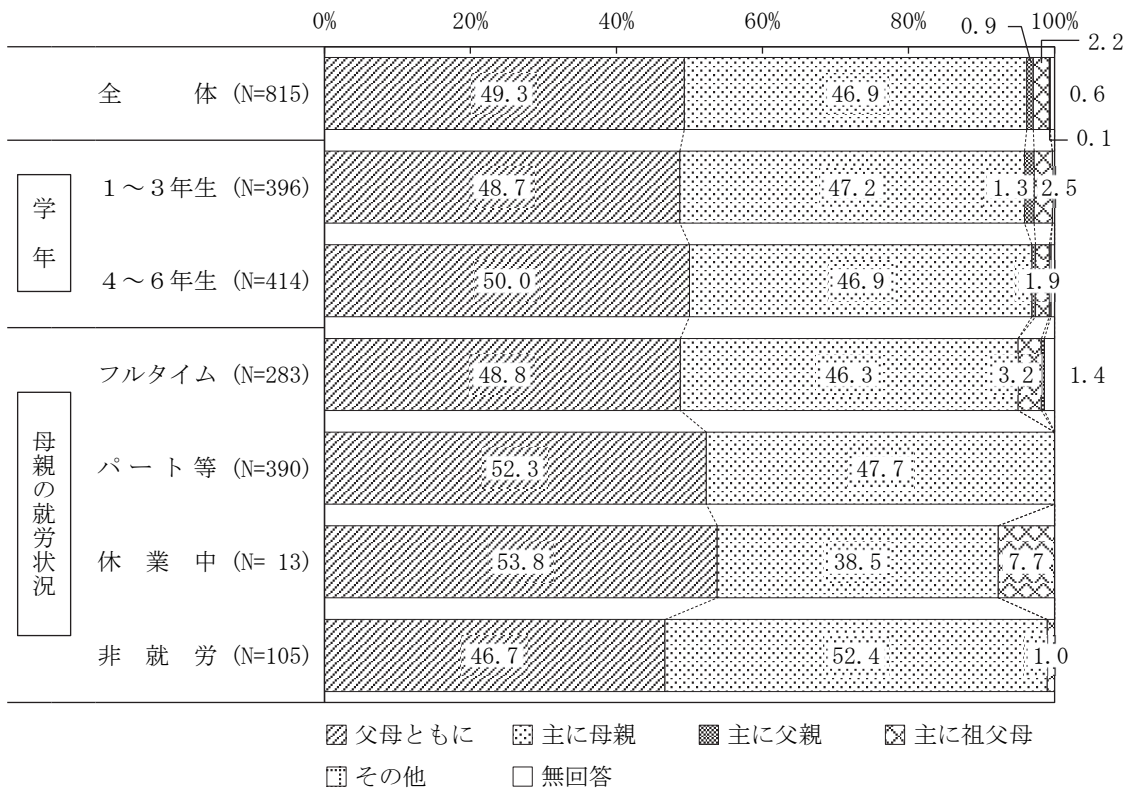


(4) 主に子育てをしている人

子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」が49.3%と最も高く、次いで「主に母親」(46.9%)となっており、両者で96.2%を占めています。「1～3年生」「4～6年生」ともに「父母ともに」が「主に母親」を上回っています。

母親の就労状況別にみると、非就労は「主に母親」が最も高く、そのほかは「父母ともに」が最も高くなっています。

図表2-4 主に子育てをしている人

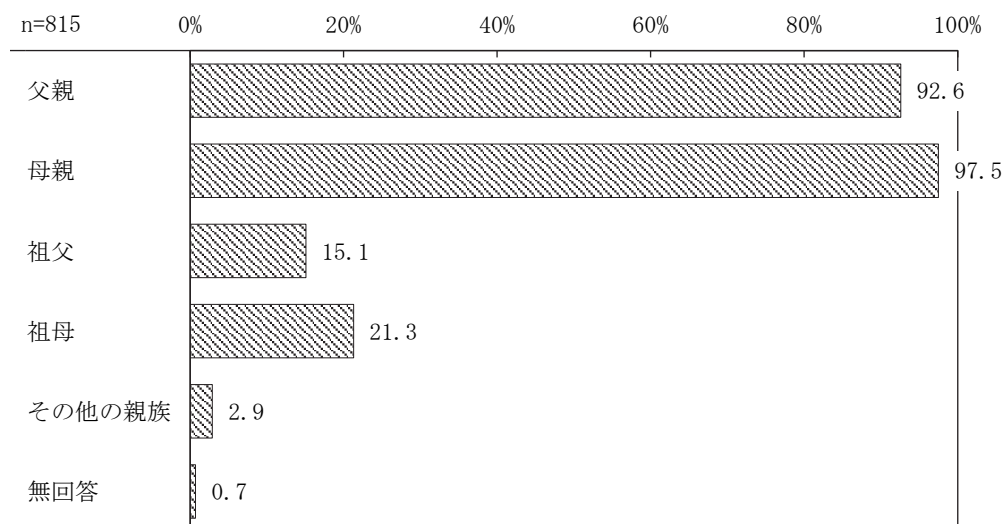


(注) 全体以外の1%未満は省略。

(5) 同居家族

同居家族は図表2-5のとおりです。なお、世帯構成別では、ひとり親世帯は3.8% (31世帯)、親と子の二世帯世帯は(ひとり親世帯を除く)70.9%、三世帯世帯などのその他の世帯は24.5%、無回答は0.7%となっています。

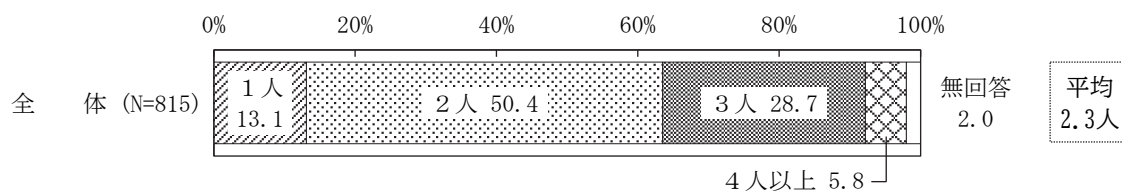
図表2-5 同居者(複数回答)



(6) きょうだいの人数

きょうだいの人数は「2人」が50.4%と最も多く、次いで「3人」(28.7%)、「1人」(13.1%)、「4人以上」(5.8%)の順となっています。平均は2.3人です。

図表2-6 きょうだいの人数



2 子どもの育ちをめぐる環境

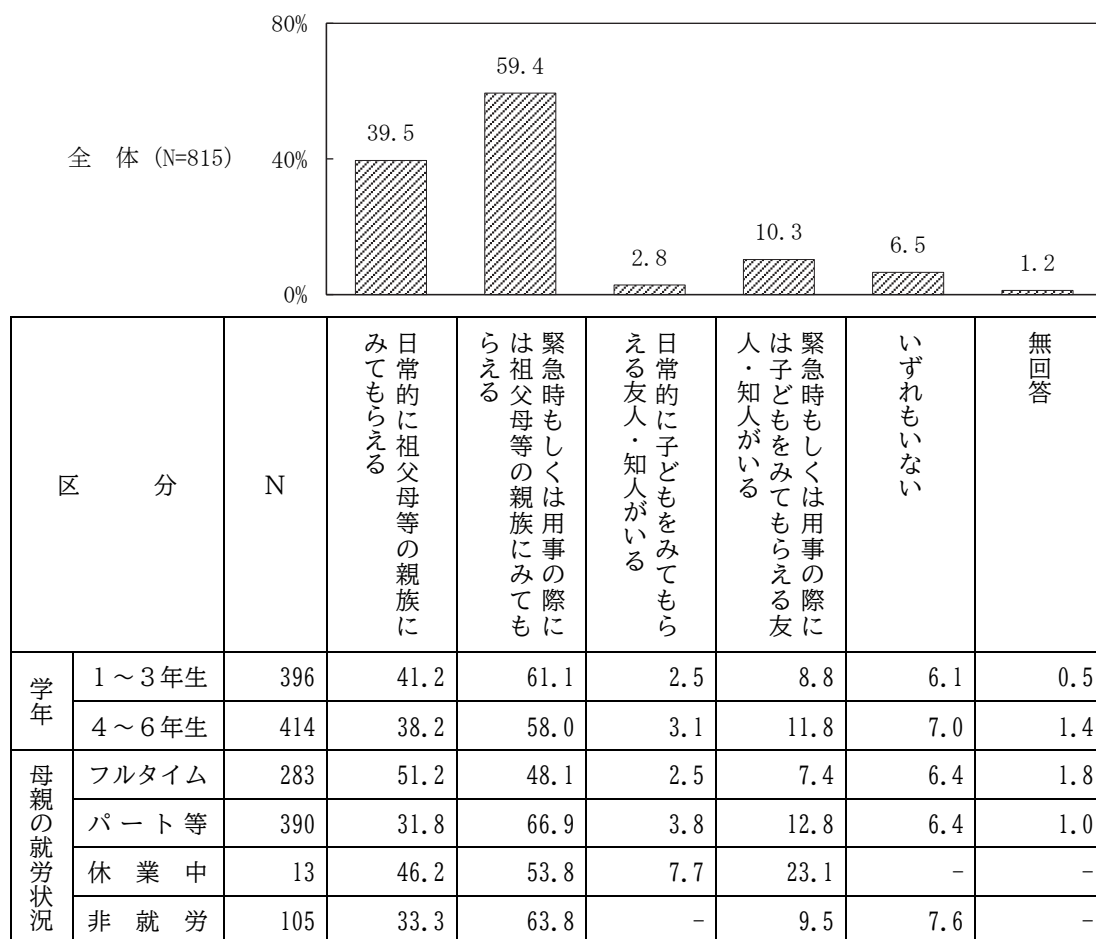
(1) 子どもをみてる人はいるか

「日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか」という設問では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となっています。「いずれもない」が6.5% (53人) あります。

母親の就労状況別の「フルタイム」は、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が50%以上と他より高くなっています。

図表2-7 子どもをみてる人がいるか（複数回答）

単位：Nは人、他は%

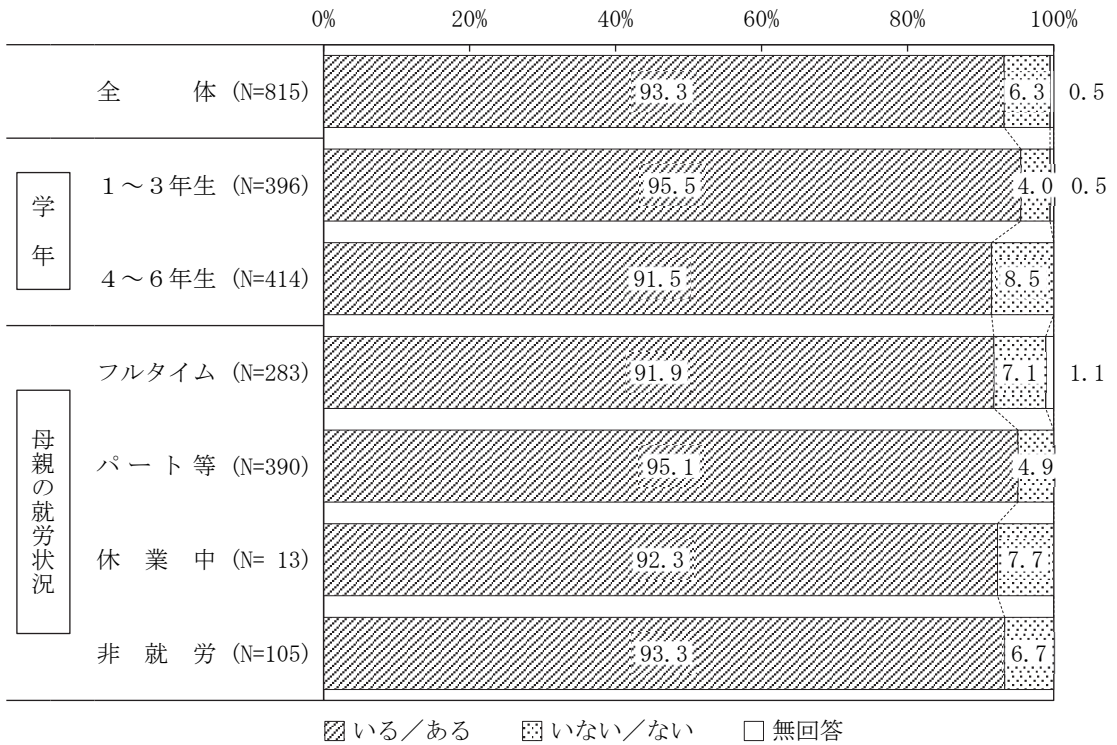


(2) 相談相手

① 子育ての相談相手はいるか

回答者の93.3%が子育ての相談を気軽にできる相手が「いる／ある」と答えています。

図表2-8 相談相手の有無



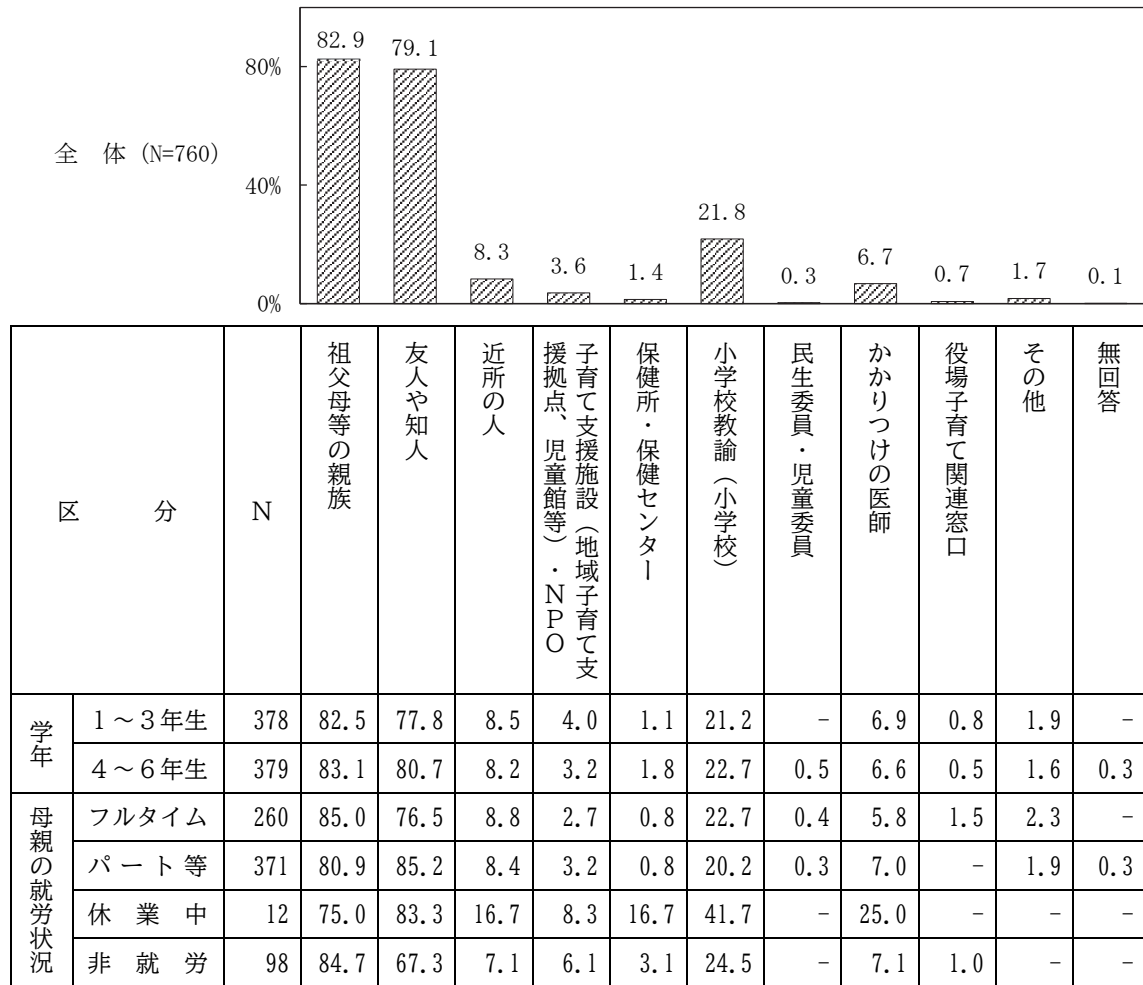
② 相談相手

前問で子育てに関する相談相手が「いる／ある」と答えた人の相談先は、「祖父母等の親族」(82.9%)と「友人や知人」(79.1%)が高く、次いで「小学校教諭(小学校)」(21.8%)などとなっています。

「その他」として、図表2-10の内容が記載されていました。

図表2-9 相談相手(複数回答)

単位：Nは人、他は%



図表2-10 相談相手(その他)

<ul style="list-style-type: none"> ・職場の人(5人) ・習い事の先生(2人) ・ことばの教室(2人) ・療育 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブチームのコーチ ・学童の先生 ・母の友人
--	--

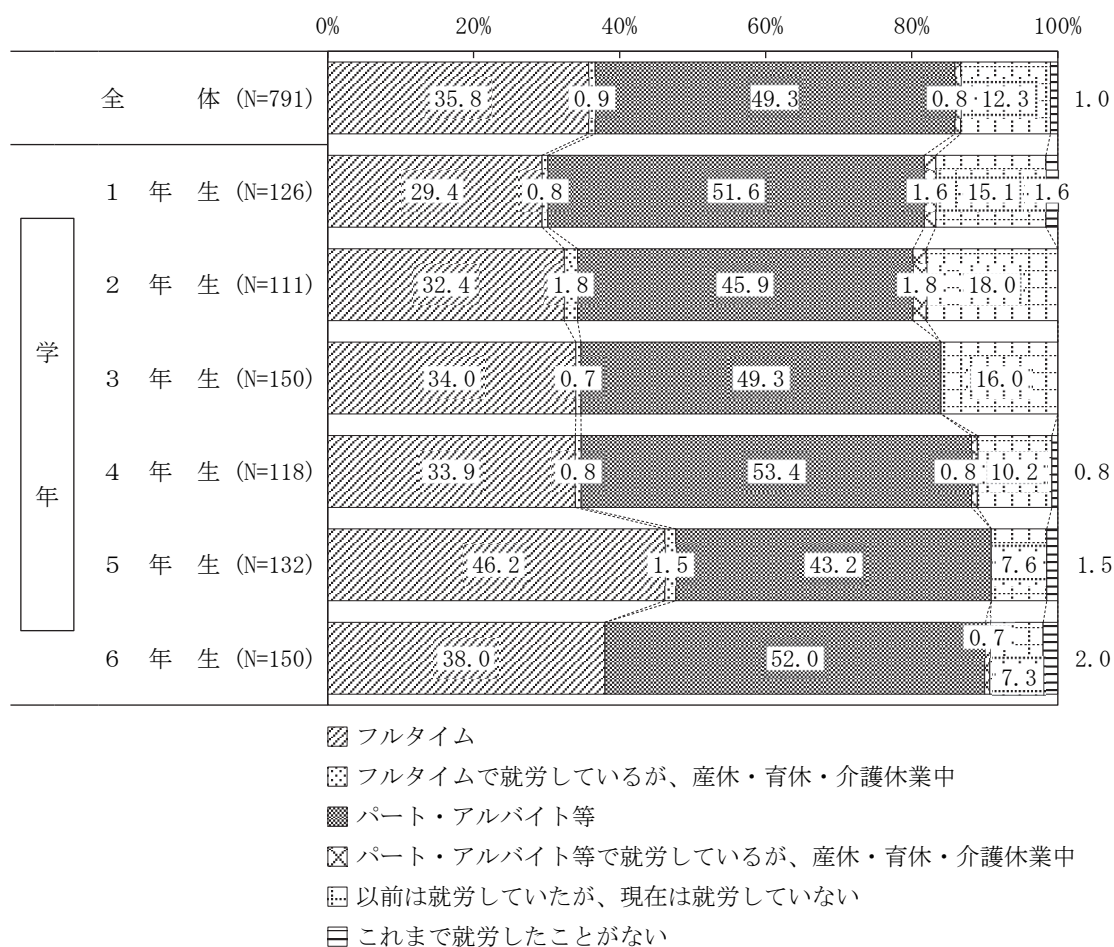
3 保護者の就労状況等

(1) 母親の就労状況

① 母親の就労状況・形態

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等」(以下「パート等」といいます)が49.3%を占め、次いで「フルタイム」(35.8%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(12.3%)などとなっています。

図表2-11 母親の就労状況・形態

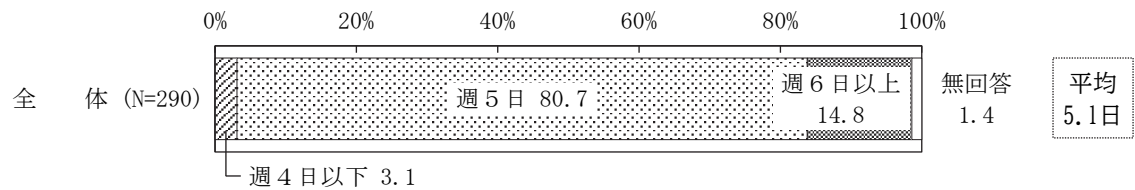


② 母親の就労日数と就労時間数

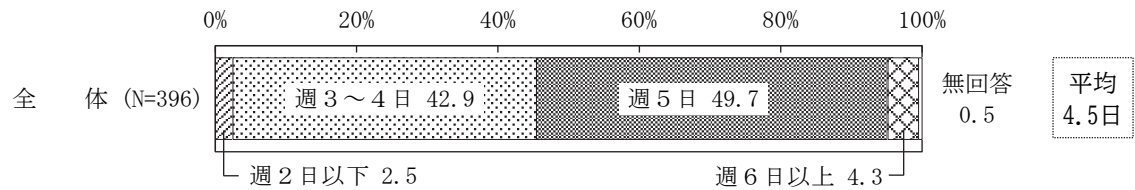
前問で就労していると答えた人に、1週当たりの就労日数および1日当たりの就労時間数（産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況）をたずねた結果が図表2-12および図表2-13です。フルタイムは、1週当たりの平均就労日数が5.1日、1日当たりの平均就労時間数が8.1時間であり、パート等は、1週当たりの平均就労日数が4.5日、1日当たりの平均就労時間数が5.4時間となっています。

図表2-12 母親の1週間当たり就労日数

【フルタイム（休業中を含む）】

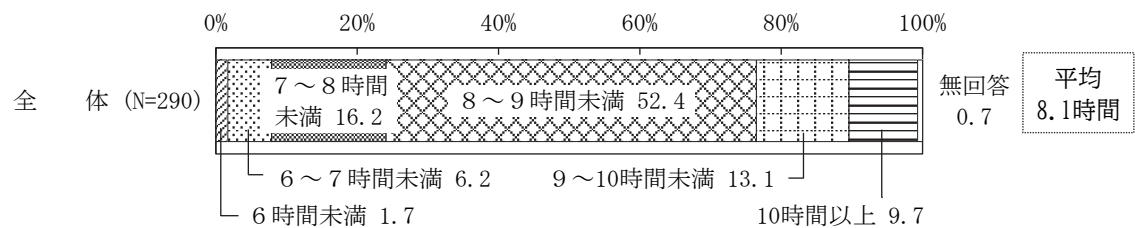


【パート等（休業中を含む）】

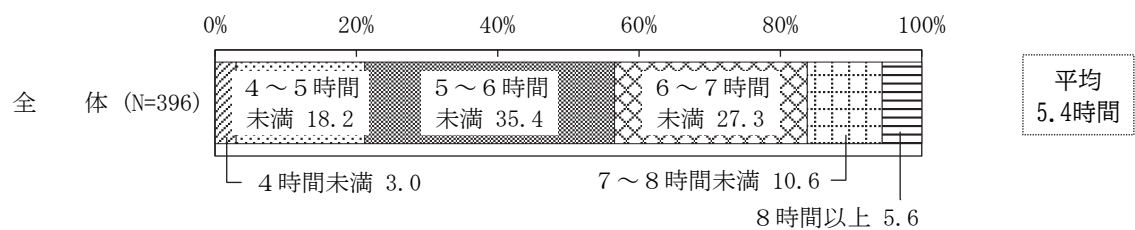


図表2-13 母親の1日当たり就労時間

【フルタイム（休業中を含む）】



【パート等（休業中を含む）】

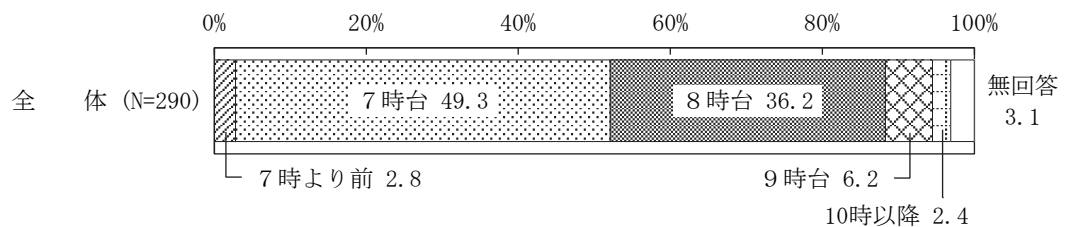


③ 母親の家を出る時刻と帰宅時刻

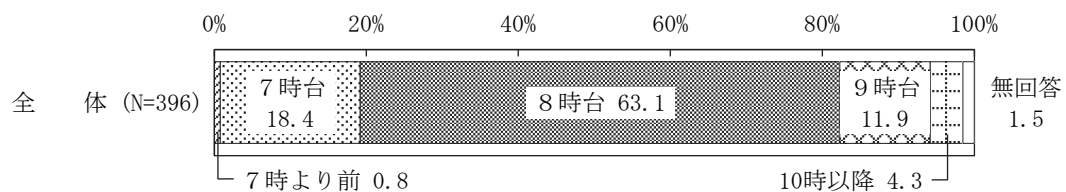
図表2-14、図表2-15は、図表2-11で就労していると答えた人に、家を出る時刻と帰宅時刻（産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況）をたずねた結果です。フルタイムは、家を出る時刻が「7時台」（49.3%）と「8時台」（36.2%）で大半を占めており、帰宅時刻は「18時台」（42.8%）が最も高くなっています。パート等は、家を出る時刻は「8時台」（63.1%）が高く、帰宅時刻は、＜14時台以前＞（28.1%）、「15時台」（28.0%）、「16時台」（23.7%）、＜17時以降＞（18.7%）と様々です。

図表2-14 母親の家を出る時刻

【フルタイム（休業中を含む）】

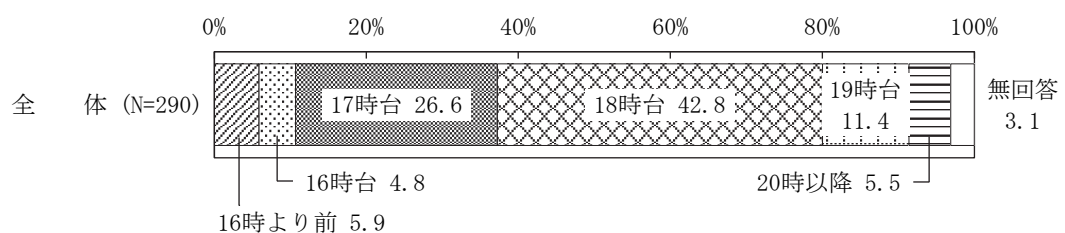


【パート等（休業中を含む）】

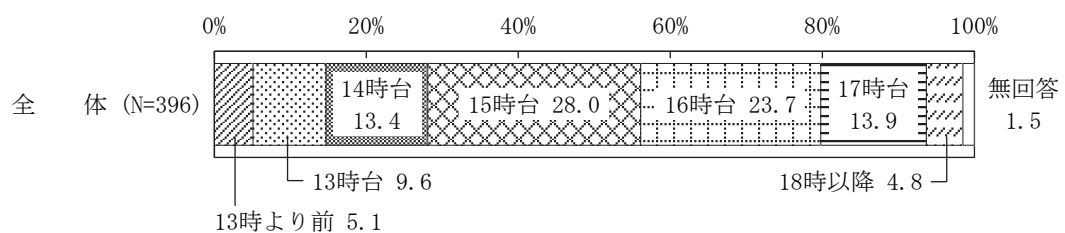


図表2-15 母親の帰宅時刻

【フルタイム（休業中を含む）】



【パート等（休業中を含む）】

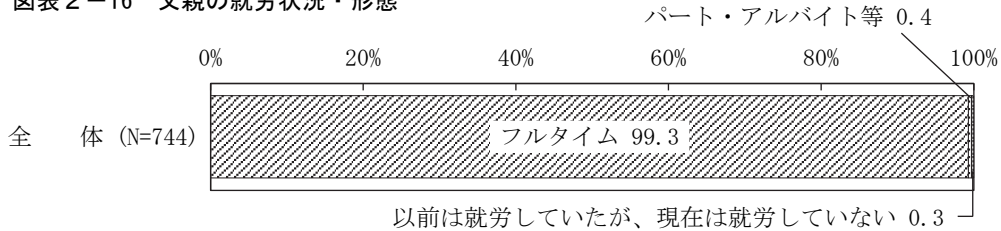


(2) 父親の就労状況

① 父親の就労状況・形態

父親の99.3%が「フルタイム」で働いていると答えています。

図表2-16 父親の就労状況・形態

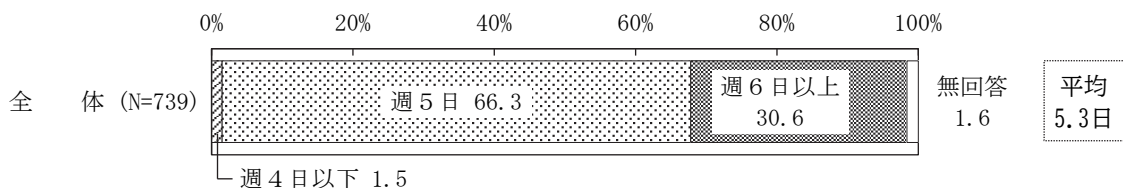


② 父親の就労日数と就労時間数

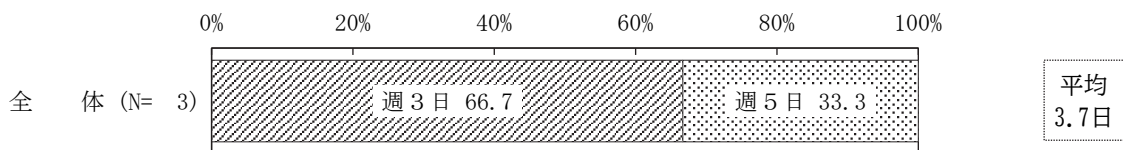
図表2-17、図表2-18は、前問で就労していると答えた人に、1週当たりの就労日数および1日当たりの就労時間数をたずねた結果です。「フルタイム」で働いている人の1週当たりの平均就労日数は5.3日、1日当たりの平均就労時間数は9.5時間です。

図表2-17 父親の1週間当たり就労日数

【フルタイム（休業中を含む）】

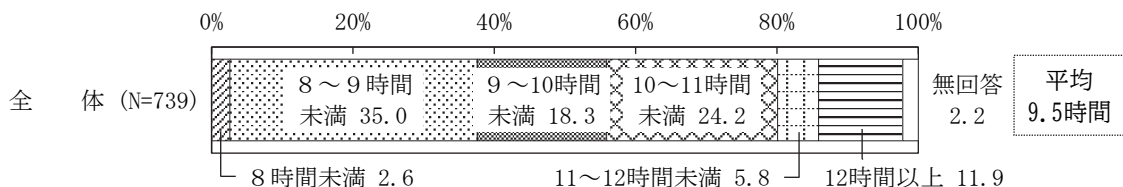


【パート等（休業中を含む）】

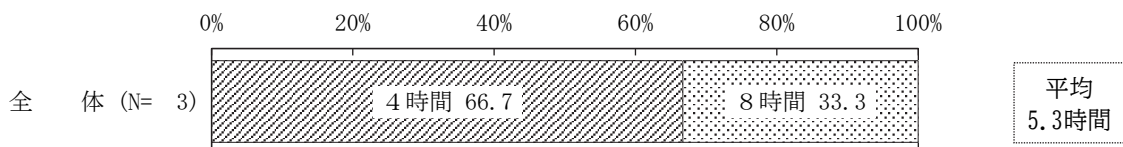


図表2-18 父親の1日当たり就労時間

【フルタイム（休業中を含む）】



【パート等（休業中を含む）】

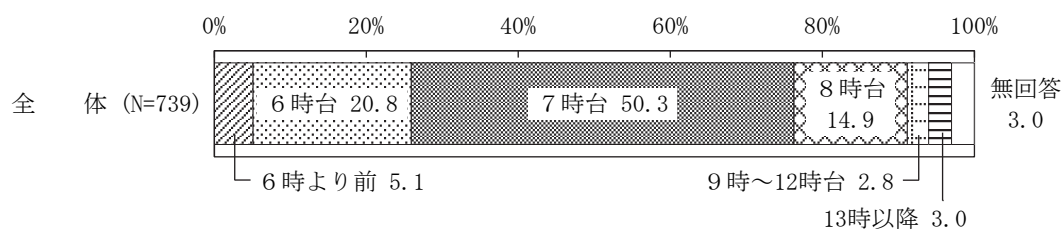


③ 父親の家を出る時刻と帰宅時刻

図表2-19、図表2-20は、①で「フルタイム」で働いていると答えた人に、家を出る時刻と帰宅時刻をたずねた結果です。家を出る時刻は「7時台」が最も高く、帰宅時刻は<18時以前>「18時台」「19時台」「20時台」<21時以降>が16～23%台と様々です。

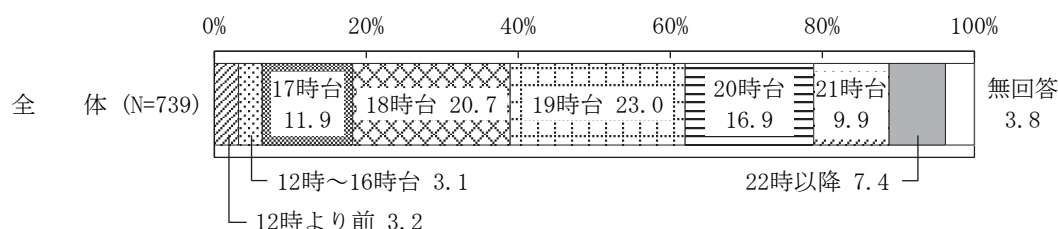
図表2-19 父親の家を出る時刻

【フルタイム（休業中を含む）】



図表2-20 父親の帰宅時刻

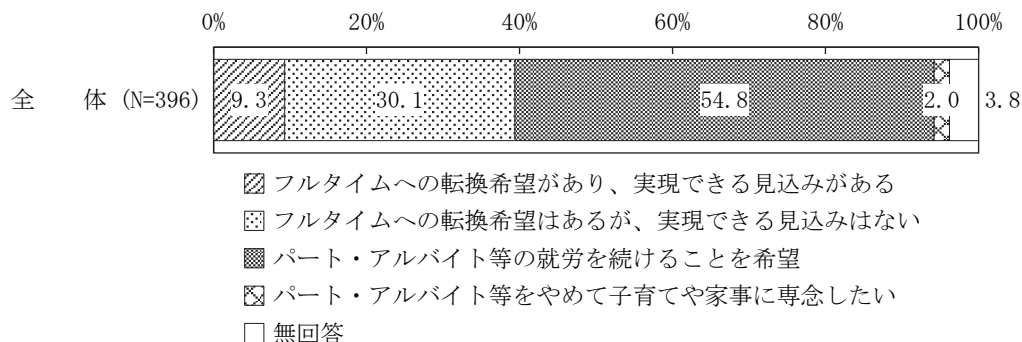
【フルタイム（休業中を含む）】



(3) 母親のフルタイムへの転換希望

パート等で就労していると答えた396人の母親のフルタイムへの転換の希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.1%となっており、合計した<転換希望がある>は39.4%です。

図表2-21 母親のフルタイムへの転換希望

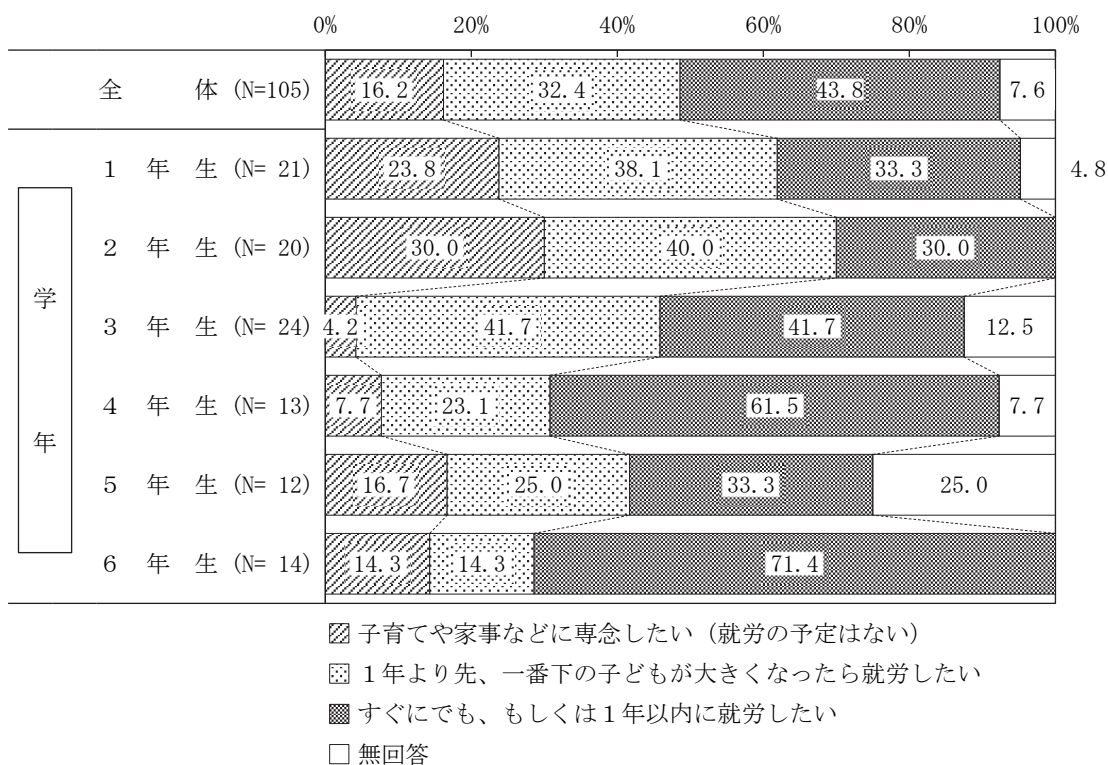


(4) 働いていない母親の就労意向

① 働いていない母親の就労意向

現在、働いていない105人の母親の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が43.8%、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」が32.4%となっており、合計した就労意向は76.2%となっています。「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は16.2%です。子どもの学年別にみると、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」は1～3年生が高く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は4年生・6年生が60%を超えています。

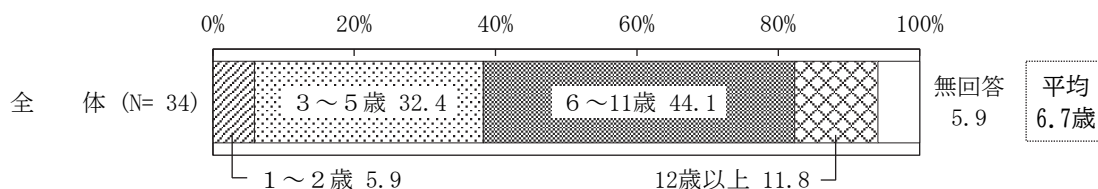
図表2-22 働いていない母親の就労意向



② 子どもが何歳になったら就労したいか

①で「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら就労したい」と答えた34人の母親に、子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「6～11歳」が44.1%と最も高く、次いで「3～5歳」が32.4%となっています。

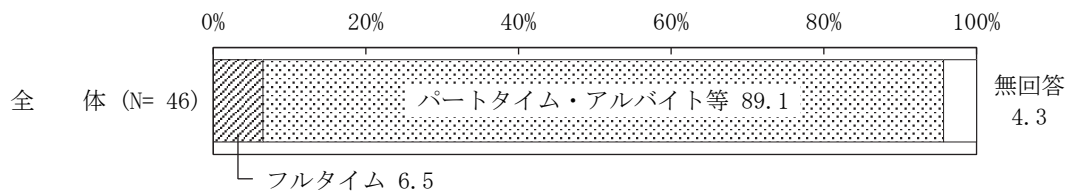
図表2-23 子どもが何歳になったら就労したいか



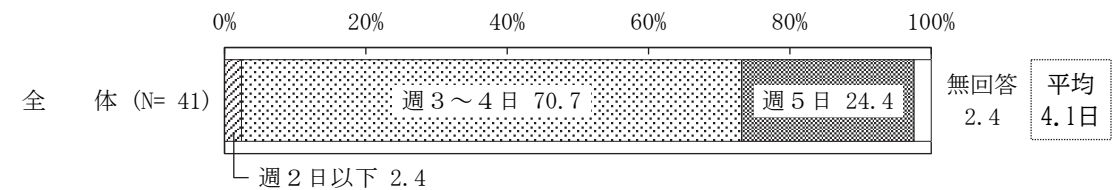
③ 希望する就労形態・日数・時間

①で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた46人の母親の希望する就労形態は、89.1%が「パート・アルバイト等」です（図表2-24）。また、パート等と答えた41人の就労希望日数は、「週3～4日」（70.7%）が最も高くなっています（図表2-25）。1日当たりの就労希望時間は、「5時間未満」「5～6時間未満」「6時間以上」いずれも30%台と様々であり、平均は5.1時間です（図表2-26）。

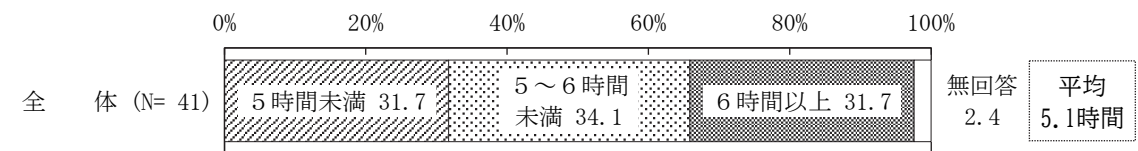
図表2-24 就労希望形態



図表2-25 パート等の就労希望日数



図表2-26 パート等の就労希望時間



4 放課後等の子どもの居場所

(1) 平日の放課後の過ごし方

① 1年生から3年生

平日の放課後の過ごし方をみると、1・2年生はいずれの時間帯も「保護者や祖父母等（と一緒にいることが多い）」が最も高く、3年生は14～16時は「小学校（にいたることが多い）」が最も高く、16時以降は「保護者や祖父母」が高くなっています。そのほかでは、1・2年生の14～18時の「放課後児童クラブ（に行っている）」、2年生の16～18時の「学習塾や習いごと（に行っている）」が20%以上です。

図表2-27 放課後の過ごし方（1年生～3年生）

単位：Nは人、他は%

学年	時間帯	過ごし方										
		小学校にいたることが多い	保護者や祖父母等と一緒にいることが多い	家できょうだい、友人など子どもたちだけで過ごしている	学習塾や習いごとに行っている	放課後児童クラブに行っている	児童館、図書館、公民館など公的施設にいる	地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	公園など野外で遊んでいる	家でひとりで過ごしている	その他	無回答
1年生 (N=128)	14～16時	15.6	35.9	7.0	0.8	25.0	4.7	-	1.6	-	3.1	6.3
	16～18時	1.6	51.6	10.2	8.6	20.3	2.3	0.8	-	-	1.6	3.1
	18～20時	-	85.9	0.8	6.3	-	-	0.8	-	-	-	6.3
	20時以降	-	89.8	1.6	1.6	-	-	0.8	-	-	-	6.3
2年生 (N=113)	14～16時	17.7	38.1	7.1	-	21.2	5.3	-	4.4	0.9	1.8	3.5
	16～18時	0.9	45.1	3.5	20.4	20.4	4.4	-	2.7	-	-	2.7
	18～20時	-	90.3	0.9	2.7	0.9	-	0.9	-	-	-	4.4
	20時以降	-	92.0	1.8	1.8	-	-	-	-	-	-	4.4
3年生 (N=155)	14～16時	34.8	24.5	7.1	-	15.5	2.6	-	5.2	3.2	1.3	5.8
	16～18時	-	49.7	6.5	12.9	16.1	0.6	-	5.8	3.2	0.6	4.5
	18～20時	-	83.9	1.3	6.5	-	-	0.6	-	-	-	7.7
	20時以降	-	89.7	-	2.6	-	-	-	-	-	-	7.7

② 4年生から6年生

4年生から6年生の放課後の過ごし方をみると、14～16時は「小学校」、16時以降は「保護者や祖父母等」が最も高くなっています。そのほかでは、5・6年生の16～18時の「家できょうだい、友人などと子どもたちだけで過ごしている」が25%以上と比較的高くなっています。「放課後児童クラブ」の利用は、学年が上がるにつれて低くなっており、5年生は2.1%、6年生は0.6%にとどまっています。

図表2-28 放課後の過ごし方（4年生～6年生）

単位：Nは人、他は%

学 年	時間帯	小学校に いることが 多い	保護者や 祖父母等と 一緒にいる ことが多い	家できょう だい、友人 などと子 どもたち だけで過 ごしてい る	学習塾や 習いごと に行っ ている	放課後 児童ク ラブに 行っ ている	児童館、 図書館、 公民館 などの 施設に いる	地域の スポーツ クラブ や子ど も会活 動など に参加 してい る	公園な ど野外 で遊ん でいる	家でひ どりで 過ごし ている	その他	無回 答
4 年 生 (N = 119)	14～16時	51.3	17.6	10.1	-	6.7	3.4	-	5.0	0.8	0.8	4.2
	16～18時	0.8	45.4	14.3	17.6	7.6	1.7	-	5.0	2.5	0.8	4.2
	18～20時	-	83.2	1.7	8.4	-	-	0.8	0.8	0.8	-	4.2
	20時以降	-	91.6	0.8	1.7	-	-	0.8	-	-	-	5.0
5 年 生 (N = 140)	14～16時	44.3	18.6	12.9	-	2.1	1.4	-	3.6	6.4	1.4	9.3
	16～18時	0.7	45.7	25.0	7.9	1.4	2.1	0.7	5.7	5.0	0.7	5.0
	18～20時	-	77.1	2.1	8.6	-	-	1.4	-	0.7	-	10.0
	20時以降	-	82.9	0.7	3.6	-	-	1.4	-	1.4	-	10.0
6 年 生 (N = 155)	14～16時	51.0	14.2	14.8	-	0.6	-	-	5.8	9.0	0.6	3.9
	16～18時	-	40.6	25.8	13.5	0.6	0.6	-	11.6	4.5	-	2.6
	18～20時	-	70.3	3.9	16.8	-	-	4.5	-	-	0.6	3.9
	20時以降	-	87.1	2.6	3.2	-	-	2.6	-	0.6	-	3.9

(2) 土曜・休日の過ごし方

① 1年生から3年生

土曜・休日は、午前・午後・夕方以降を通して、「保護者や祖父母等」が最も高くなっています。そのほかでは、2・3年生の午前中の「地域のスポーツクラブや子ども会活動（などに参加している）」、2年生の午後の「公園など野外で遊んでいる」が10%以上と比較的高くなっています。

図表2-29 土曜・休日の過ごし方（1年生～3年生）

単位：Nは人、他は%

学年	時間帯	小学校に いることが 多い	保護者や 祖父母等と 一緒にいる ことが多い	家で きょうだい、 友人などと 子どもたち だけで過 している	学習塾や 習いごと に行ってい る	放課後 児童クラ ブに行っ ている	児童館、 図書館、 公民館な ど公的 施設にい る	地域の スポーツ クラブや 子ども 会活動 などに 参加し ている	公園な ど野外 で遊ん でいる	家で ひとり で過ご してい る	その他	無 回 答
1年生 (N=128)	午前中	-	75.0	2.3	3.9	-	1.6	5.5	4.7	-	0.8	6.3
	午後	-	71.1	2.3	6.3	-	2.3	3.1	9.4	-	-	5.5
	夕方以降	-	89.1	1.6	0.8	-	0.8	-	-	-	1.6	6.3
2年生 (N=113)	午前中	-	64.6	1.8	8.8	-	3.5	13.3	3.5	-	-	4.4
	午後	-	72.6	1.8	8.0	-	1.8	0.9	10.6	-	-	4.4
	夕方以降	-	93.8	1.8	-	-	-	-	-	-	-	4.4
3年生 (N=155)	午前中	0.6	60.0	3.9	9.7	-	1.9	14.2	1.3	1.9	0.6	5.8
	午後	0.6	72.3	3.2	5.8	-	1.9	2.6	4.5	1.3	0.6	7.1
	夕方以降	-	91.0	0.6	1.3	-	-	-	-	-	-	7.1

② 4年生から6年生

土曜・休日は、午前・午後・夕方以降を通して、「保護者や祖父母等」が最も高くなっています。その他では、4年生から6年生の午前中の「地域のスポーツクラブや子ども会活動」が15%以上と高くなっています。

図表2-30 土曜・休日の過ごし方（4年生～6年生）

単位：Nは人、他は%

学年	時間帯	小学校に いることが 多い	保護者や 祖父母等と 一緒にいる ことが多い	家で きょうだい、 友人などと 子どもだけ で過ごして いる	学習塾や 習いごと に行ってい る	放課後 児童クラ ブに行っ ている	児童館、 図書館、 公民館な ど公的施 設に在 る	地域の スポーツ クラブや 子ども 会活動 などに 参加し ている	公園 など野 外で遊 んでいる	家で ひとり で過ご してい る	その他	無 回 答
4年生 (N=119)	午前中	-	68.1	0.8	5.0	-	1.7	16.8	0.8	0.8	-	5.9
	午後	0.8	63.9	4.2	9.2	-	1.7	6.7	5.9	0.8	0.8	5.9
	夕方以降	-	91.6	-	0.8	-	-	0.8	-	0.8	-	5.9
5年生 (N=140)	午前中	-	56.4	5.0	7.9	-	-	17.1	0.7	2.9	1.4	8.6
	午後	1.4	59.3	9.3	6.4	-	0.7	5.7	5.0	1.4	2.1	8.6
	夕方以降	-	81.4	1.4	2.9	-	-	2.1	-	0.7	1.4	10.0
6年生 (N=155)	午前中	-	63.2	4.5	7.1	-	-	17.4	1.3	2.6	0.6	3.2
	午後	-	60.0	11.0	7.7	-	0.6	7.7	7.1	1.3	1.9	2.6
	夕方以降	-	87.7	3.2	3.9	-	-	1.3	-	-	-	3.9

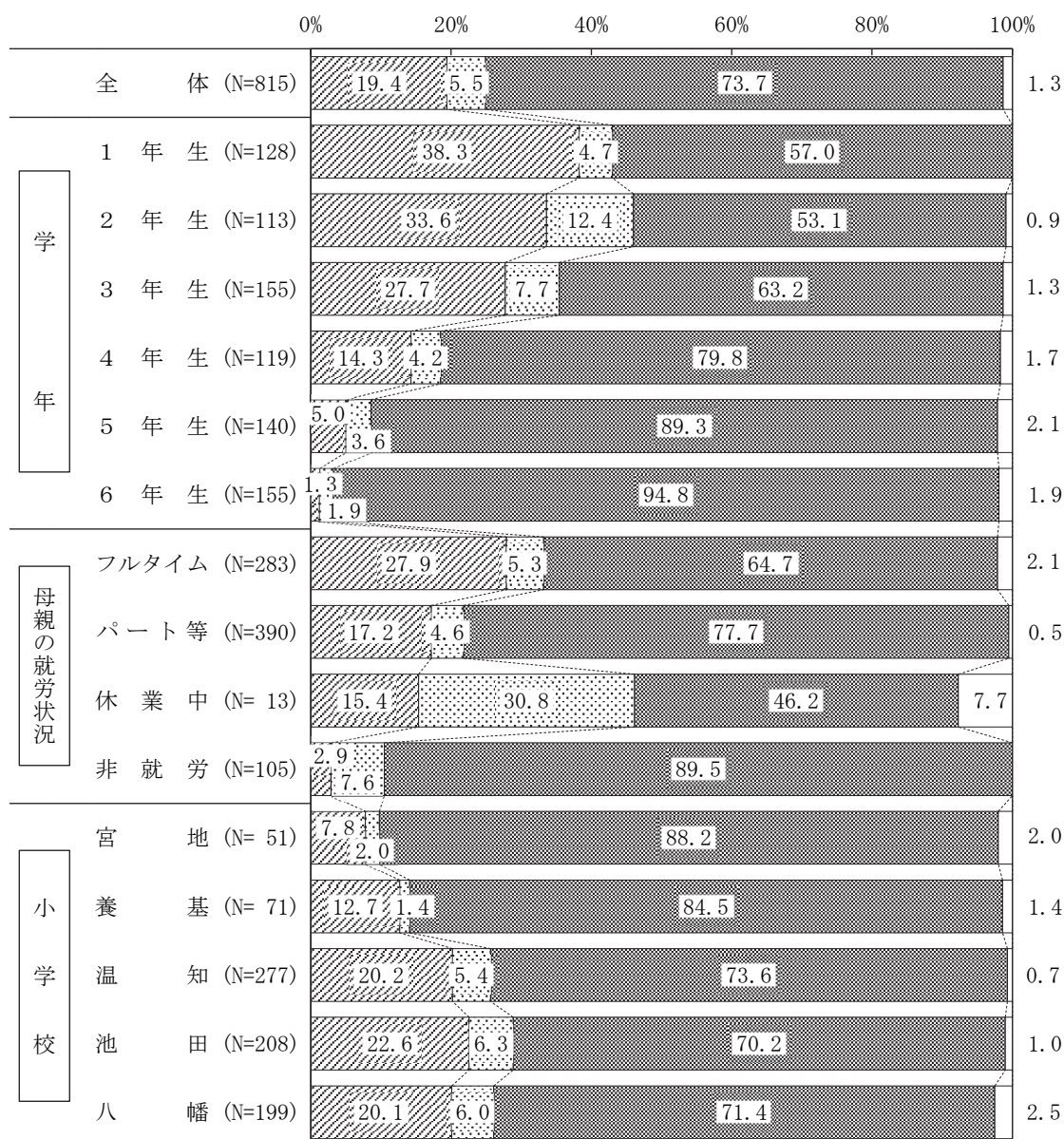
5 放課後児童クラブ・池田っ子チャレンジ教室

(1) 放課後児童クラブの利用状況

① 放課後児童クラブの利用の有無

放課後児童クラブの利用率は、1年生が最も高く、学年が上がるにつれて低下しています。母親の就労状況別のフルタイム、小学校別の池田、温知、八幡の利用率が20%以上と高くなっています。「利用していないが、できれば今後利用したい」は、2年生、休業中が10%以上と高くなっています。

図表2-31 放課後児童クラブの利用の有無



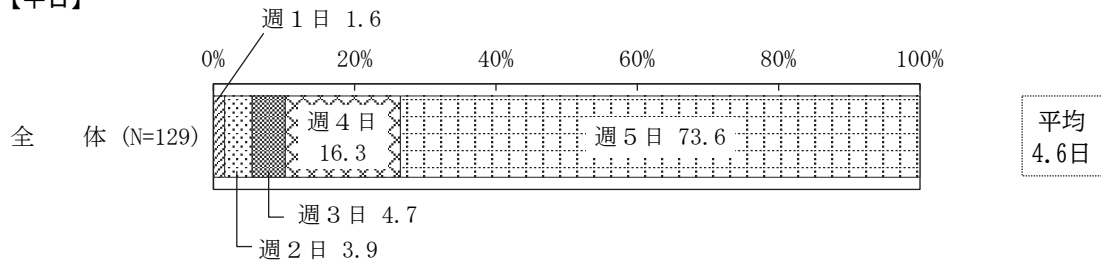
- 利用している
- ▨ 利用していないが、できれば今後利用したい
- 利用していないし、今後も利用する必要はない
- 無回答

② 放課後児童クラブの利用日数

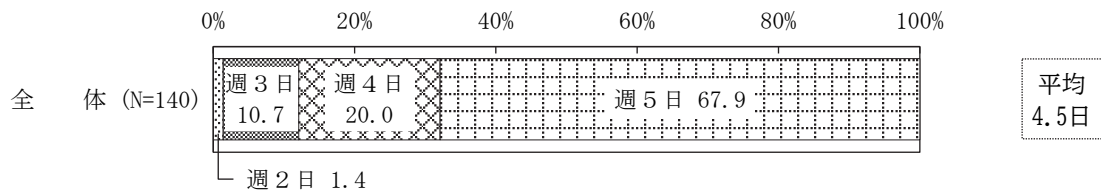
放課後児童クラブを「利用している」人の平日の利用日数は、「週5日」(73.6%)、「週4日」(16.3%)などとなっており、週平均利用日数は4.6日です。夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用児は140人いて、「週5日」が67.9%と高くなっています。長期休暇期間中の週平均利用日数は4.5日です。

図表 2-32 放課後児童クラブの利用日数

【平日】



【長期休暇期間】



(2) 放課後児童クラブの利用希望日数・時間等

① 放課後児童クラブの利用希望日数

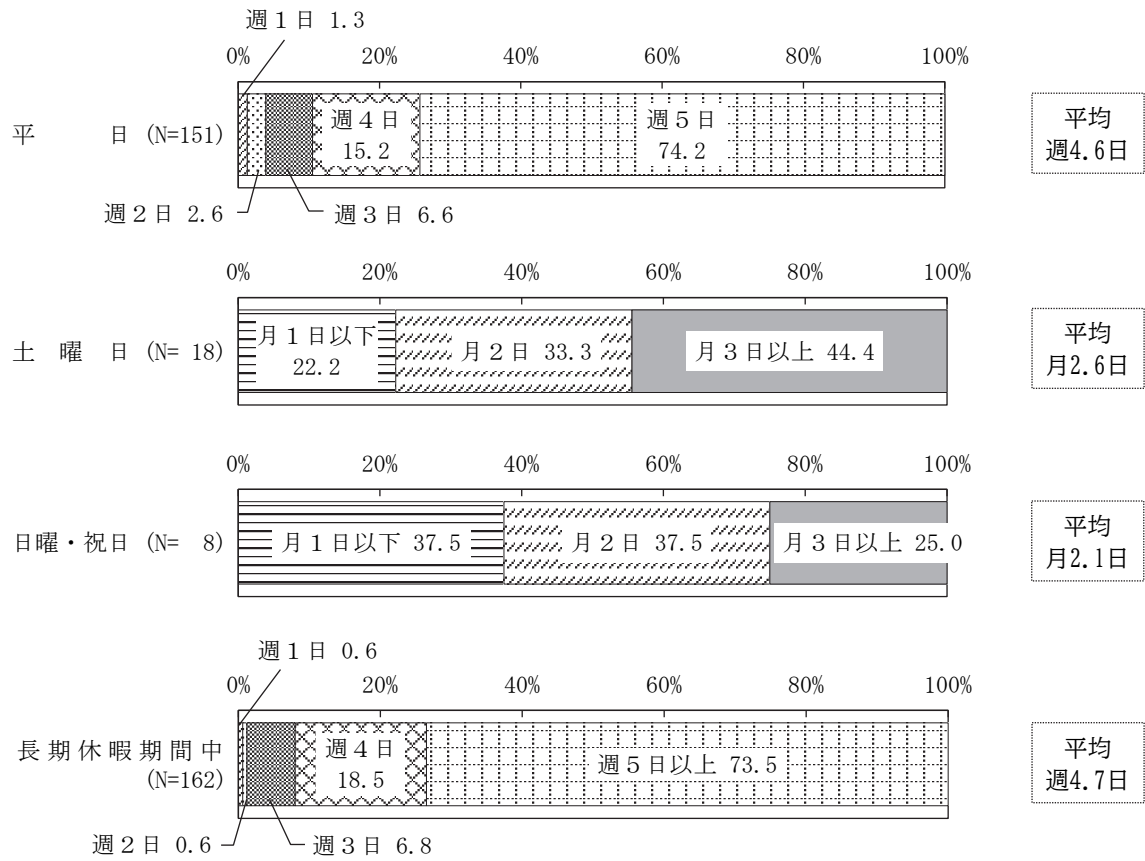
(1)の①で「利用している」または「利用していないが、できれば今後利用したい」と答えた人の利用希望日数は、図表 2-33のとおりです。

平日は「週5日」が高く、週平均利用希望日数は4.6日です。

土曜日の利用希望は18人、日曜・祝日の利用希望は8人となっています。

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望は162人あり、その73.5%が「週5日以上」を希望しています。

図表 2-33 放課後児童クラブの利用希望日数

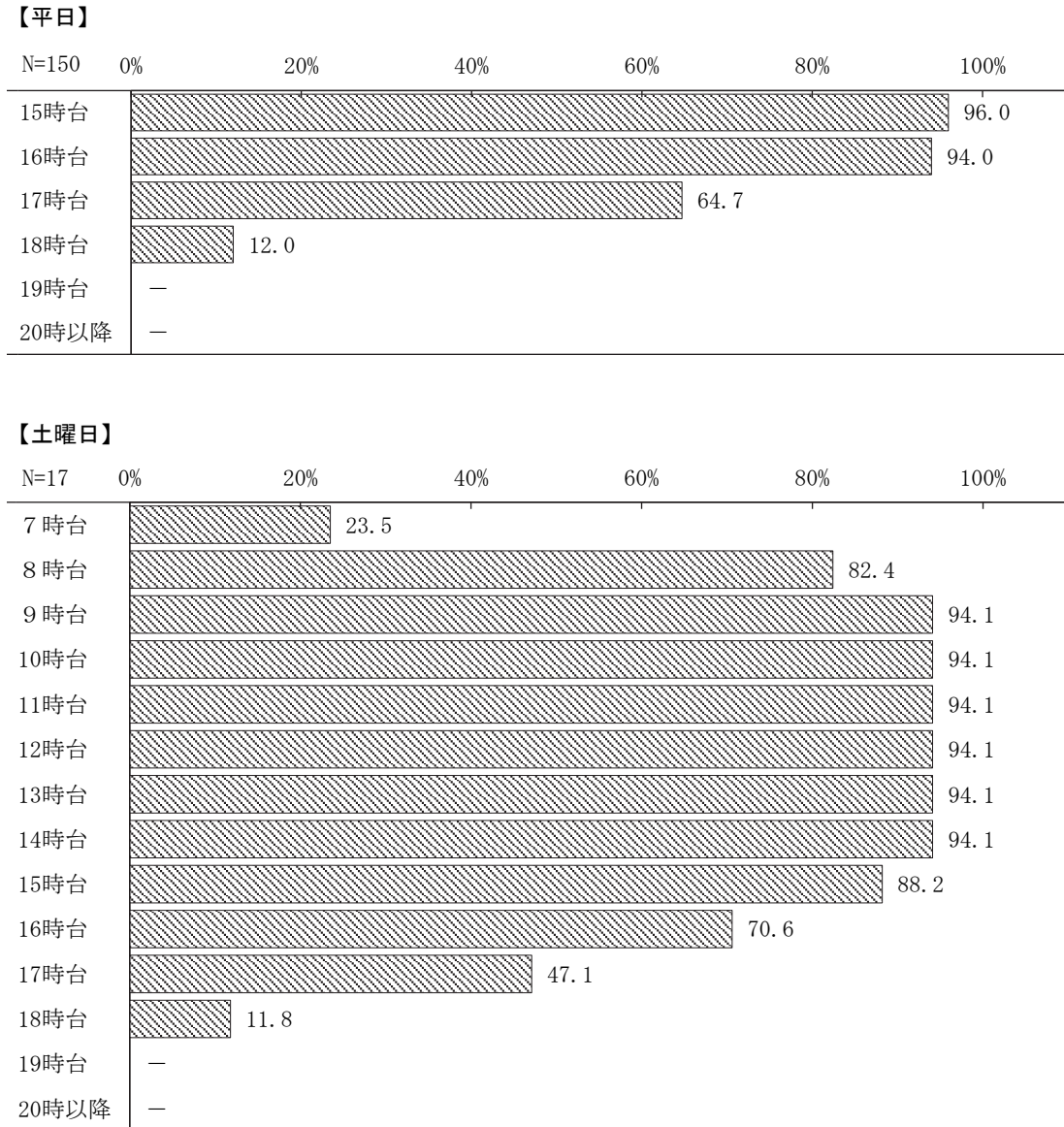


② 利用希望時間帯

利用希望時間帯は、平日が放課後から17時台を中心としており、19時以降の希望はありません。

土曜日は、8時台から16時台を70%以上の人があげています。

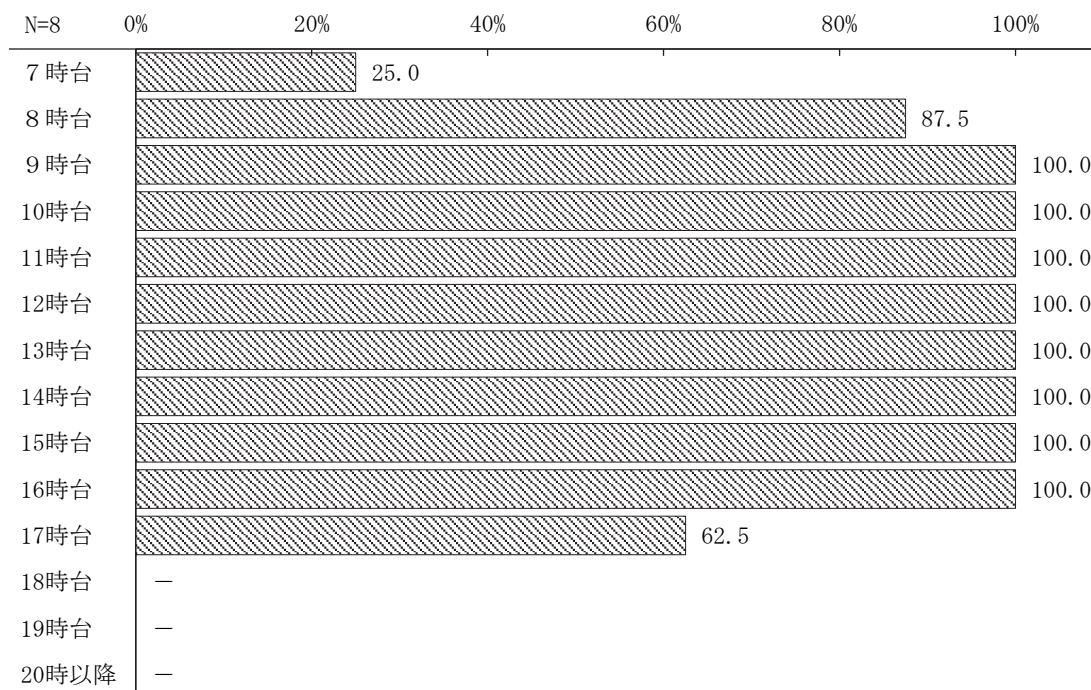
図表2-34 放課後児童クラブの利用希望時間帯



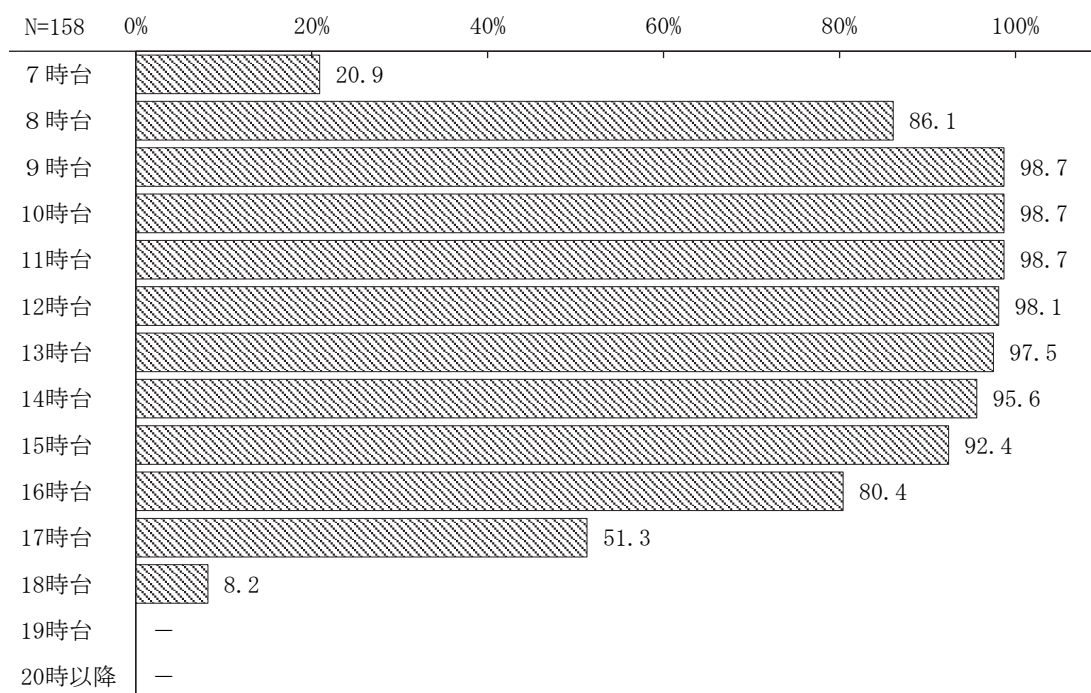
日曜・祝日の利用希望は8人と少なく、その80%以上の人が8時台から16時台を希望しています。18時以降の希望はありません。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、平日の放課後より多く、その80%以上が8時台から16時台を希望しています。

【日曜・祝日】



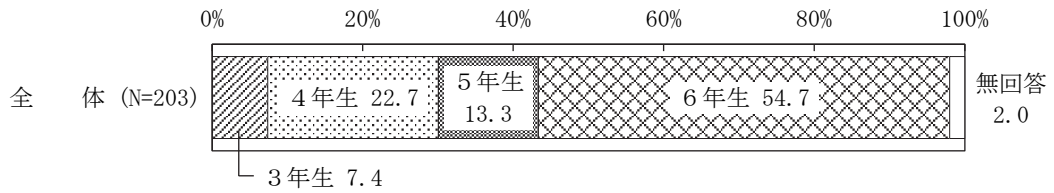
【長期休暇期間中】



③ 利用希望学年

放課後児童クラブの利用希望学年は6年生までが54.7%と高くなっています。

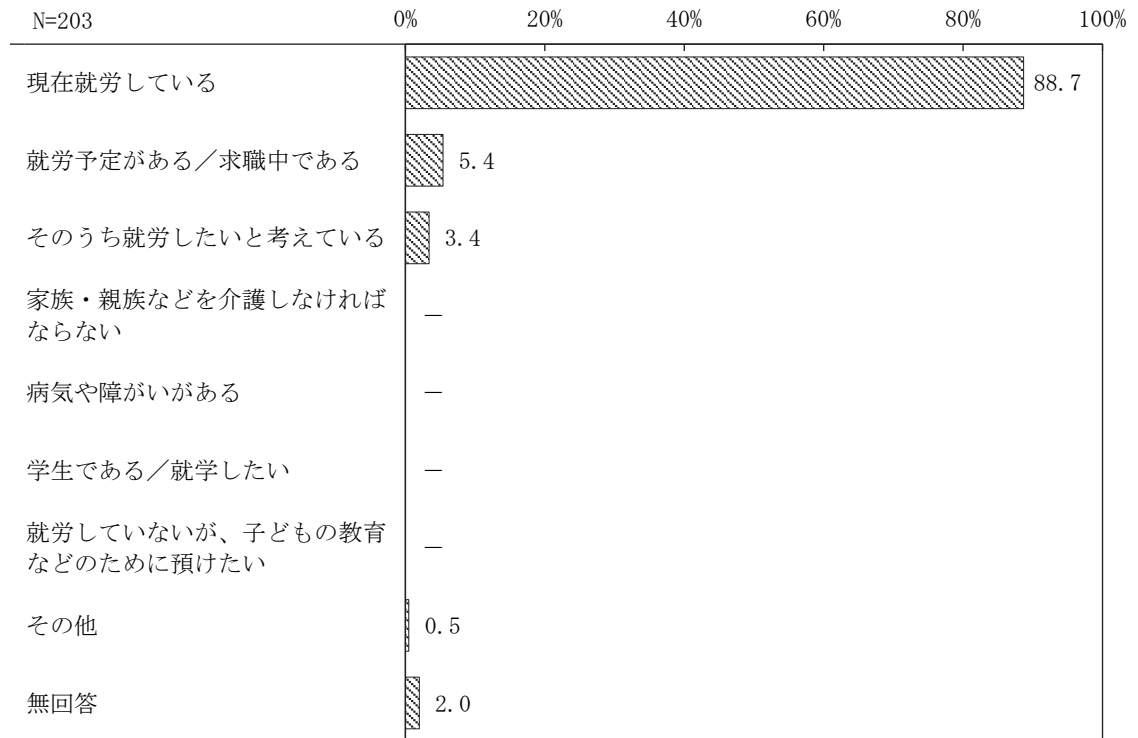
図表 2-35 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか



④ 放課後児童クラブの利用理由

放課後児童クラブを利用している、または今後利用したい主な理由としては、「現在就労している」が88.7%を占めています。

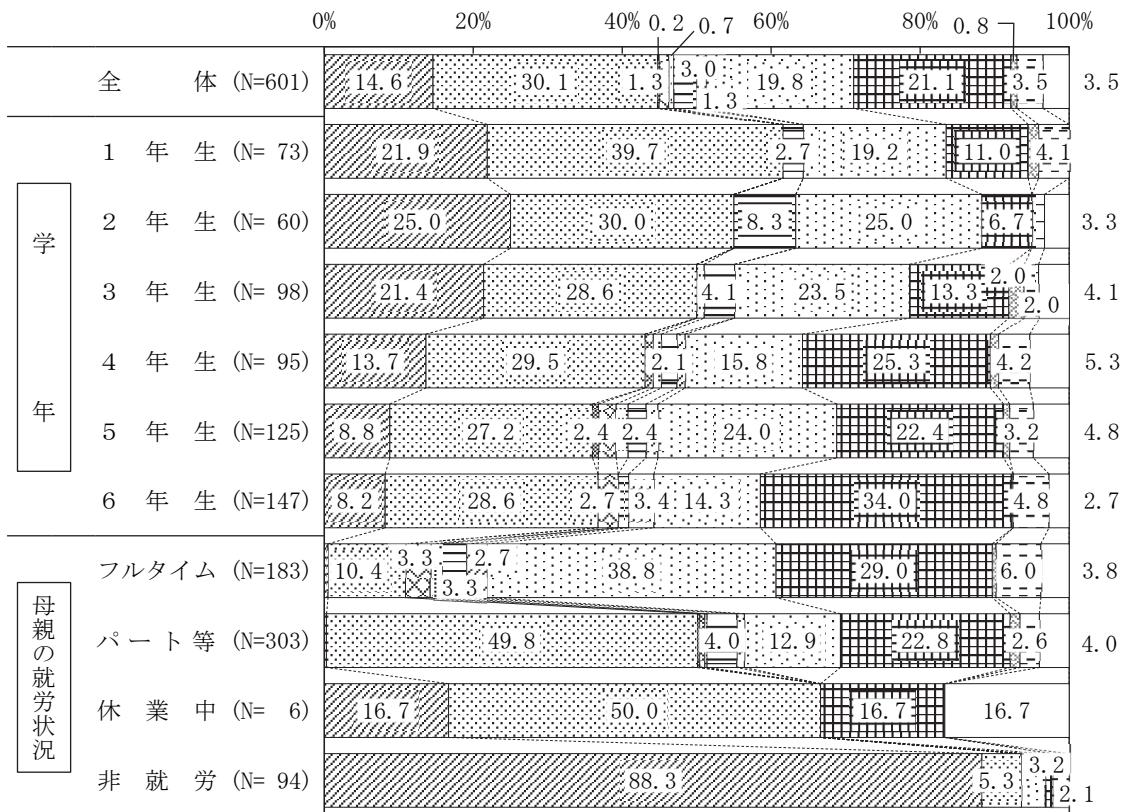
図表 2-36 放課後児童クラブの利用理由



(3) 放課後児童クラブを利用しない主な理由

放課後児童クラブを「利用していないし、今後も利用する必要はない」と答えた人の利用していない主な理由は、「就労しているが、子どもの下校時刻には家にいるから」(30.1%)、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(21.1%)、「就労しているが、祖父母等の親族が預かってくれるから」(19.8%)、「現在就労していないから」(14.6%) などとなっています。「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」は、6年生で高くなっています。

図表 2-37 放課後児童クラブを利用しない主な理由



- ☐ 現在就労していないから
- ▨ 就労しているが、子どもの下校時刻には家にいるから
- ▩ 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
- ▧ 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
- ▦ 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間と合わないから
- ▤ 就労しているが、利用料がかかるから
- ▣ 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
- ▢ 就労しているが、祖父母等の親族が預かってくれるから
- 就労しているが、短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 就労しているが、他の施設に預けているから
- ▤ その他
- 無回答

(注) 1 「就労しているが、放課後児童クラブが近くにないから」という選択肢には該当がなかった。
2 全体以外は2%未満を省略。

「その他」として、図表2-38の内容が記載されていました。

図表2-38 放課後児童クラブを利用しない主な理由（その他）

<ul style="list-style-type: none">・ 6年生だから家にいられる（短時間は）・ 家で母が仕事している（2人）・ 妻が家にいるので・ 主人が在宅勤務のため・ 自営で家にいる・ 習い事があるから・ 閉所時間に間に合わないから・ 迎えが大変・ 仕事場で子どもに宿題をしてもらっている・ 就労しており下校時刻に間に合わないが友人宅で預けている	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもが行きたがらない（2人）・ 高学年なので行きたがらない・ 高学年のため、預けにくい・ 小3まで優先とあったから・ 子が嫌がる。先生が嫌と・ 以前利用した時、対応がイマイチだった・ 対応の悪さ・ 評判が悪いから・ 金銭的に余裕がない
--	--

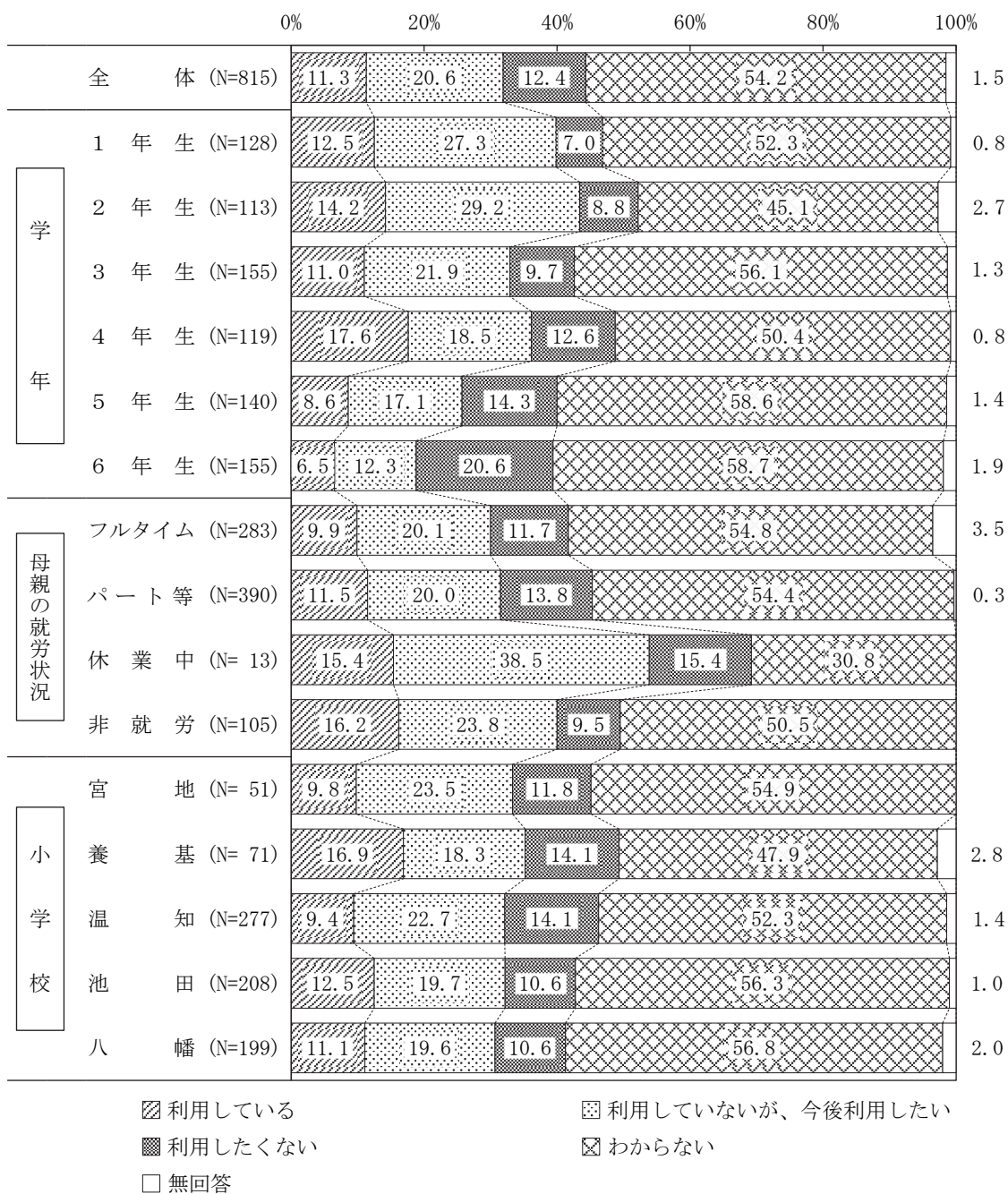
(4) 池田っ子チャレンジ教室

① 池田っ子チャレンジ教室の利用の有無

池田っ子チャレンジ教室については、「利用している」(11.3%)と「利用していないが、今後利用したい」(20.6%)を合計した<利用意向>は31.9%となります。

<利用意向>が高いのは、学年別の2年生、母親の就労状況別の休業中・非就労で40%以上となっています。

図表2-39 池田っ子チャレンジ教室の利用の有無

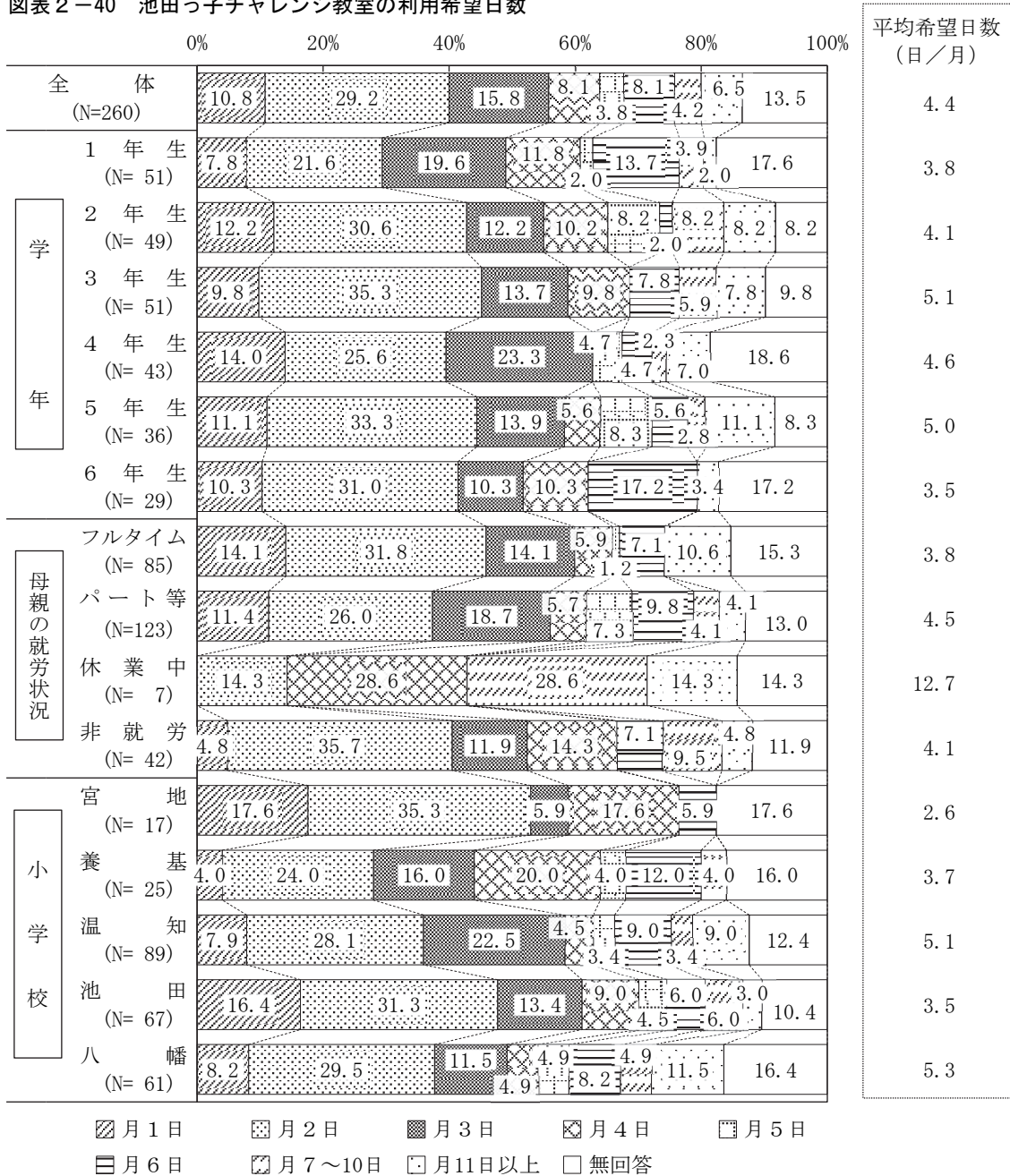


※「池田っ子チャレンジ教室」とは、すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。

② 池田っ子チャレンジ教室の利用希望日数

池田っ子チャレンジ教室の利用希望日数は、「月2日」が29.2%と最も高く、次いで「月3日」「月1日」の順となっています。1か月の平均希望日数は4.4日、概ね週1日となっています。

図表2-40 池田っ子チャレンジ教室の利用希望日数



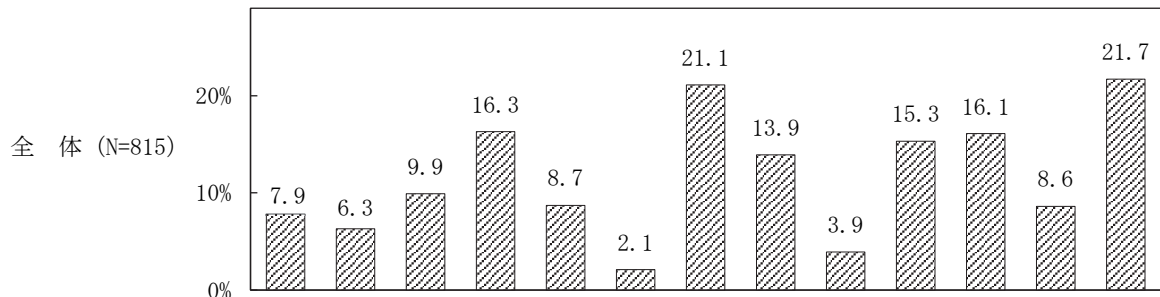
③ 池田っ子チャレンジ教室についての考え

『池田っ子チャレンジ教室』について、あなたのお考えをお聞かせください」という設問に対しては、「参加させたいが、児童館等へ行く余裕や送迎等の人的余裕がない」が21.1%と最も高く、「スポーツ系プログラムを増やしてほしい」「どちらかといえば、『休日コース』の方を充実させてほしい」「家での宿題や塾、習い事などを優先させたい」も15%以上の比較的高い割合です。

「その他」として、図表2-42の内容が記載されていました。

図表2-41 池田っ子チャレンジ教室についての考え（複数回答）

単位：Nは人、他は%



区分	N	考え													
		参加させたいが、児童館等へ行く余裕や送迎等の人的余裕がない	「放課後児童クラブ」があるので特に必要性を感じない	参加させたいが、塾や習い事などがあるために難しい	参加させたいが、児童館等へ行く余裕や送迎等の人的余裕がない	地域住民との交流活動系プログラムを増やしてほしい	文化芸術活動系プログラムを増やしてほしい	スポーツ系プログラムを増やしてほしい	勉強・学習系プログラムを増やしてほしい	開催時間を今よりも増やしてほしい	開催回数を今よりも増やしてほしい	その他	無回答		
学年	1～3年生	396	8.3	8.8	10.1	19.7	11.1	2.5	22.5	11.6	5.3	11.9	17.7	6.6	21.0
	4～6年生	414	7.5	3.9	9.9	13.0	6.5	1.7	19.8	15.9	2.4	18.4	14.5	10.6	22.7
母親の就労状況	フルタイム	283	6.4	6.0	7.1	12.4	7.4	1.8	26.5	15.2	5.7	12.4	16.6	7.1	25.1
	パート等	390	9.0	6.7	11.3	18.5	7.4	2.3	19.2	15.6	3.6	16.4	14.4	11.3	17.4
	休業中	13	15.4	-	7.7	15.4	23.1	-	-	7.7	-	23.1	23.1	-	30.8
	非就労	105	8.6	7.6	13.3	21.0	16.2	2.9	16.2	7.6	-	18.1	23.8	3.8	23.8
小学校	宮地	51	3.9	2.0	2.0	13.7	11.8	-	19.6	7.8	-	13.7	17.6	17.6	21.6
	養基	71	12.7	11.3	12.7	11.3	12.7	-	31.0	9.9	2.8	11.3	12.7	8.5	22.5
	温知	277	5.4	7.9	9.7	18.8	10.1	2.9	17.7	11.6	5.8	16.6	16.2	7.9	19.9
	池田	208	10.1	5.3	10.6	16.8	7.2	2.9	19.2	21.2	3.8	13.9	15.9	6.7	25.0
	八幡	199	8.0	4.5	11.1	15.6	6.5	1.5	25.1	12.1	2.5	17.1	16.6	8.0	20.1

図表 2-42 池田っ子チャレンジ教室についての考え（その他）

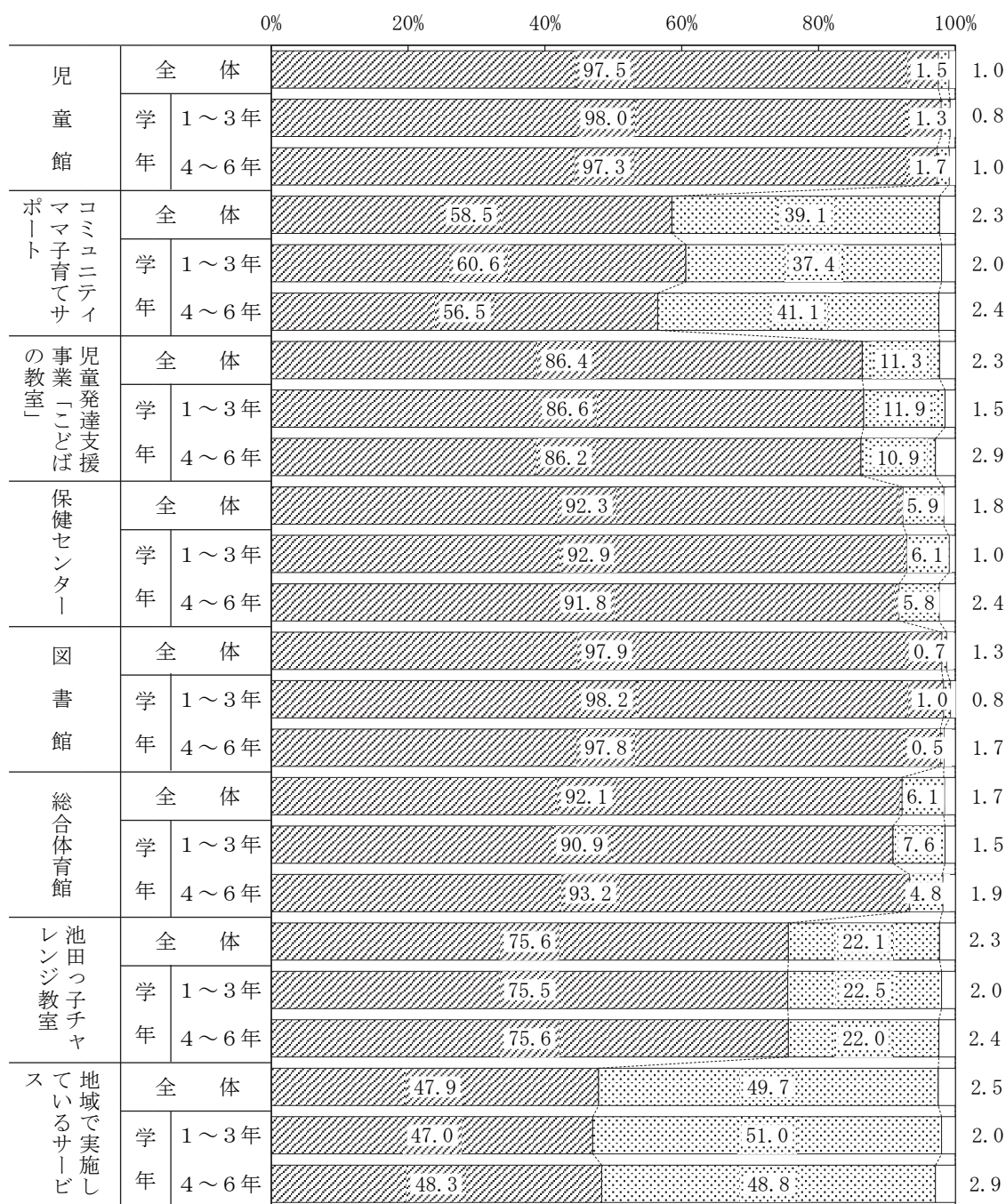
<ul style="list-style-type: none"> ・今のままで良いと思う（2人） ・子どもが楽しめる時間であればよい（2人） ・以前利用したが、金額のわりに安っぽい作品だった ・時々参加させて頂いている。高価ではないが、もう少し安価になると助かります。どんなものをやるか等、アンケート希望等あるといいのでは？（一回くらいはアンケートがあった気もするが、こまめにやるとさらにいいと思う） ・親も一緒にできると、もっと楽しめそう ・学校からプリントの配布が遅いと、募集期日前に到着順なのか、用紙を出しに行っても受け取ってもらえず断られます。人気で人数が多いのであれば抽選にして、みんなが平等に利用できるよう対応を考えてほしいです。同じ人ばかりが利用されている様に感じます ・学校で行ってもらえて、児童クラブから参加してまた児童クラブへ戻れるなら利用できるが、それ以外だと平日は無理。休日コースはあまりいい内容がない ・月に数回2時間程度、中央公民館等で行っている教室は、午後がいい ・休日コースの午後の時間がありがたい ・休日コースの申し込みに行くと早い者勝ちの状態で断られることが多い。人数が多いのなら平等に抽選にするなどの対応をしてほしい。結局同じ人ばかりが利用しているように感じます ・休日コースは利用しているが、平日コースにどう参加するのかよく分からない ・休日に行われているものに、子どもが興味あれば参加している。今後も実施して欲しい ・休日にスポーツ系プログラムがほしい ・放課後は宿題後に家でゆっくり過ごしたい ・本人に興味があるものがあれば利用したいです ・来年度以降は中学生になるので特に希望なし。休日コースはよく利用しています ・料理教室に参加したいが、土曜日の午前中だけで少年団の時間と被るので、他の翌日や時間にも開催してほしい ・子どもが参加してみたいと思うプログラムを友達と参加しています ・参加したいが、親が仕事のため、送迎できない ・親が仕事のため、連れて行ってあげられない ・仕事で参加する事が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕がない ・低学年の頃は利用していたが、もう行こうと思わなくなった ・手続きが手軽になると良い。LINEなど・夏休みにあると良い。自由研究や作文を教えてもらえるとういと思う ・年1回の学校区でやっている教室は案内を見たことがないのでお知らせをしっかりとしてほしい ・平日早い時間からしか開催していないので参加できない ・子どもが興味を持っていない ・本人が行きたがらないので利用していない ・本人が行きたくないと言う ・子どもがやりたがらない ・子どもが慎重なのでなかなかいけな ・子どもに参加したいと言われたことがないので、利用したことはないです ・特に興味がない ・行く時間がないので必要としていない ・家でゆっくり過ごさせてあげたい ・利用者が少ない ・必要ない ・詳しく説明してほしい（2人） ・池田っ子チャレンジ教室がどういう物か分かっていないので知りたい ・池田っ子チャレンジ教室のことを詳しく知らない、わからない ・池田っ子チャレンジ教室を知らない ・学校で実施していることを知らない ・どのような教室か知りたい。時間や内容によっては参加したい ・どのようなことをしているのか、いつ行っているのか知らない ・どんな活動をしているかよくわからない ・知らない ・存在を知らない ・休日コースしか知らなかった ・そもそも池田っ子チャレンジを知らない ・参加したことがないからわからない（3人） ・わからない（2人）
--	--

6 子育て支援事業等の利用状況

(1) 子育て支援事業等の認知度

子育て支援事業や施設等で認知度が高いのは、「図書館」(97.9%)、「児童館」(97.5%)、「保健センター」(92.3%)、「総合体育館」(92.1%)などです。比較的認知度が低いのは、地区公民館などを活用して「地域で実施しているサービス」(47.9%)、「コミュニティママ子育てサポート」(58.5%)です。

図表2-43 子育て支援事業等の認知度（「知っている」）



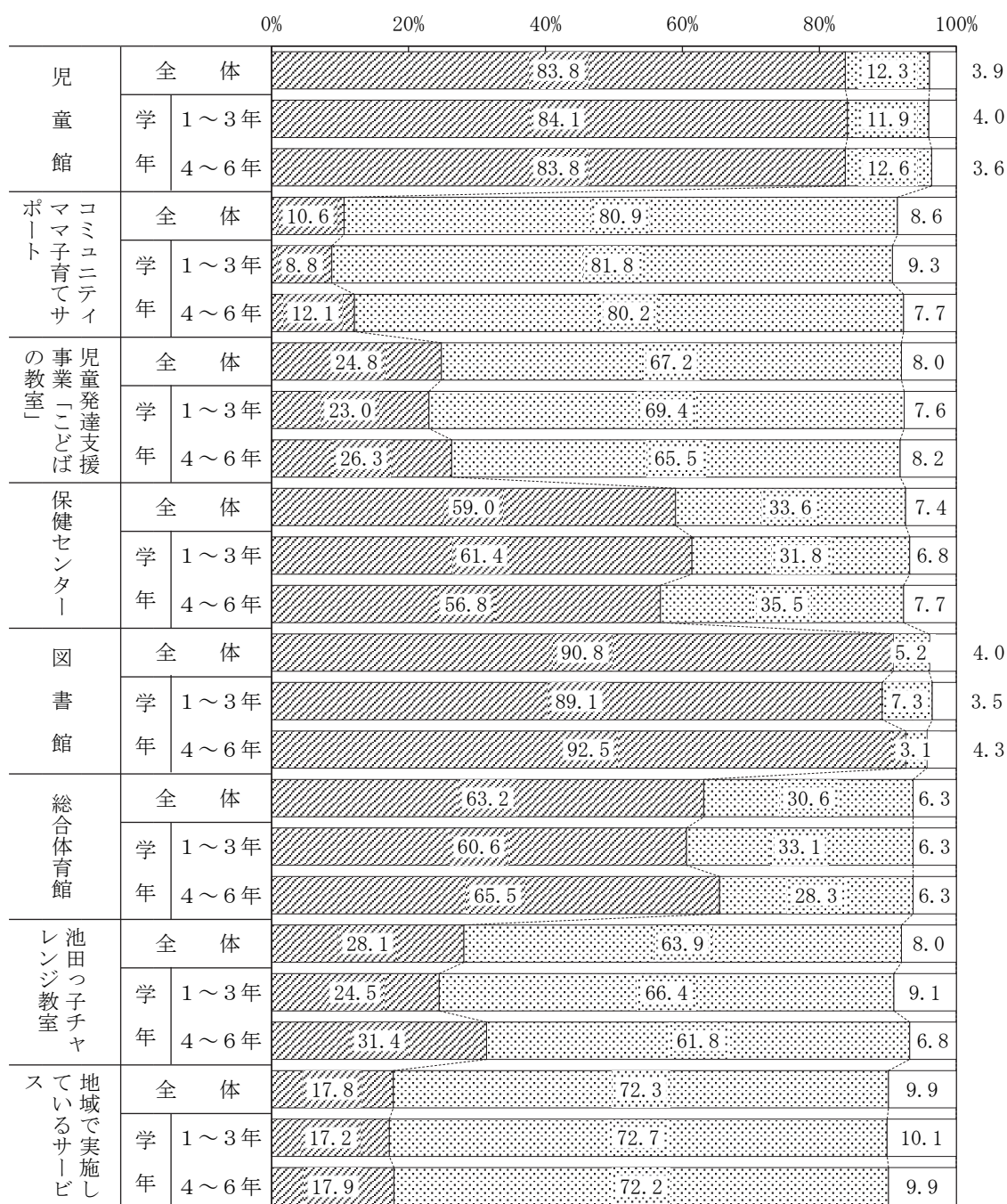
■ はい □ いいえ □ 無回答

N=全体 815 1~3年 396 4~6年 414

(2) 子育て支援事業等の利用経験

利用経験が高いのは、「図書館」(90.8%)、「児童館」(83.8%) などです。利用経験が低いのは「コミュニティママ子育てサポート」「地域で実施しているサービス」で10%台です。「児童発達支援事業『ことばの教室』」「池田っ子チャレンジ教室」も20%台です。学年別にみて最も差があるのは「池田っ子チャレンジ教室」であり、4～6年生が1～3年生を6.9ポイント上回っています。

図表2-44 子育て支援事業等の利用経験（「これまでに利用したことがある」）



■ はい □ いいえ □ 無回答

N=全体 815 1～3年 396 4～6年 414

(3) 子育て支援事業等の利用意向

(2)の利用経験より利用意向が高くなっているのは、「コミュニティママ子育てサポート」「池田っ子チャレンジ教室」「地域で実施しているサービス」で、そのほかのサービスは利用経験を下回っています。学年別にみて差があるのは「児童館」「池田っ子チャレンジ教室」であり、1～3年生が4～6年生を16～17ポイント上回っています。

図表2-45 子育て支援事業等の利用意向（「今後利用したい」）

		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
児童館	全体	63.8					25.6	10.6
	学年 1～3年	72.7					17.4	9.8
	学年 4～6年	55.3					33.6	11.1
コミュニティママ子育てサポート	全体	12.3	76.8					10.9
	学年 1～3年	14.9	75.3					9.8
	学年 4～6年	9.7	78.5					11.8
児童発達支援事業「こどもばの教室」	全体	9.7	79.6					10.7
	学年 1～3年	13.4	76.5					10.1
	学年 4～6年	6.0	82.9					11.1
保健センター	全体	30.7	58.3					11.0
	学年 1～3年	32.8	55.8					11.4
	学年 4～6年	28.3	61.1					10.6
図書館	全体	86.4					3.6	10.1
	学年 1～3年	86.4					4.3	9.3
	学年 4～6年	86.5					2.9	10.6
総合体育館	全体	58.9					31.3	9.8
	学年 1～3年	63.9					27.0	9.1
	学年 4～6年	54.1					35.3	10.6
池田っ子チャレンジ教室	全体	44.7					45.2	10.2
	学年 1～3年	53.0					36.9	10.1
	学年 4～6年	36.7	53.1					10.1
地域で実施しているサービス	全体	33.6	55.8					10.6
	学年 1～3年	35.1	54.3					10.6
	学年 4～6年	31.9	57.5					10.6

■ はい ▨ いいえ □ 無回答

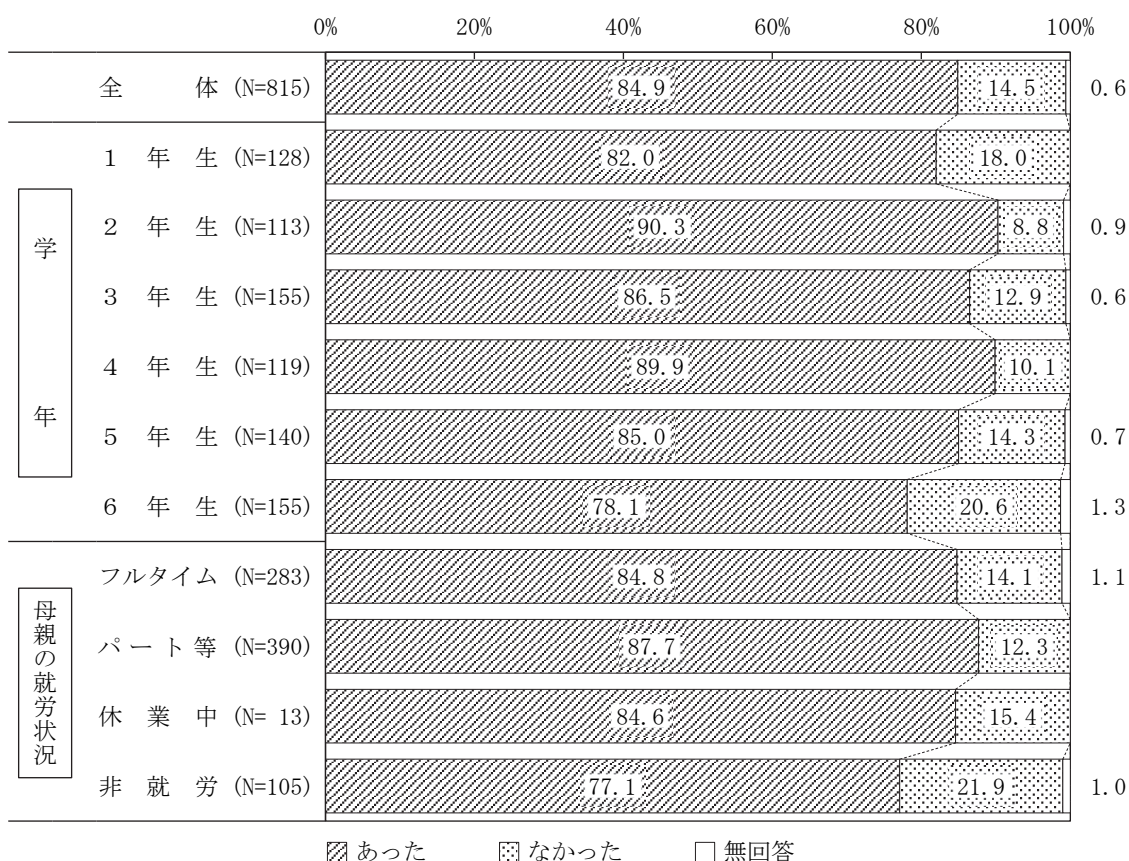
N=全体 815 1～3年 396 4～6年 414

7 子どもが病気の時の対応

(1) 子どもが病気等で学校を休まなければならなかったことの有無

この1年間に、子どもが病気等で学校を休まなければならなかったことの有無については、「あった」が84.9%、「なかった」が14.5%です。

図表2-46 子どもが病気等で学校を休まなければならなかったことの有無



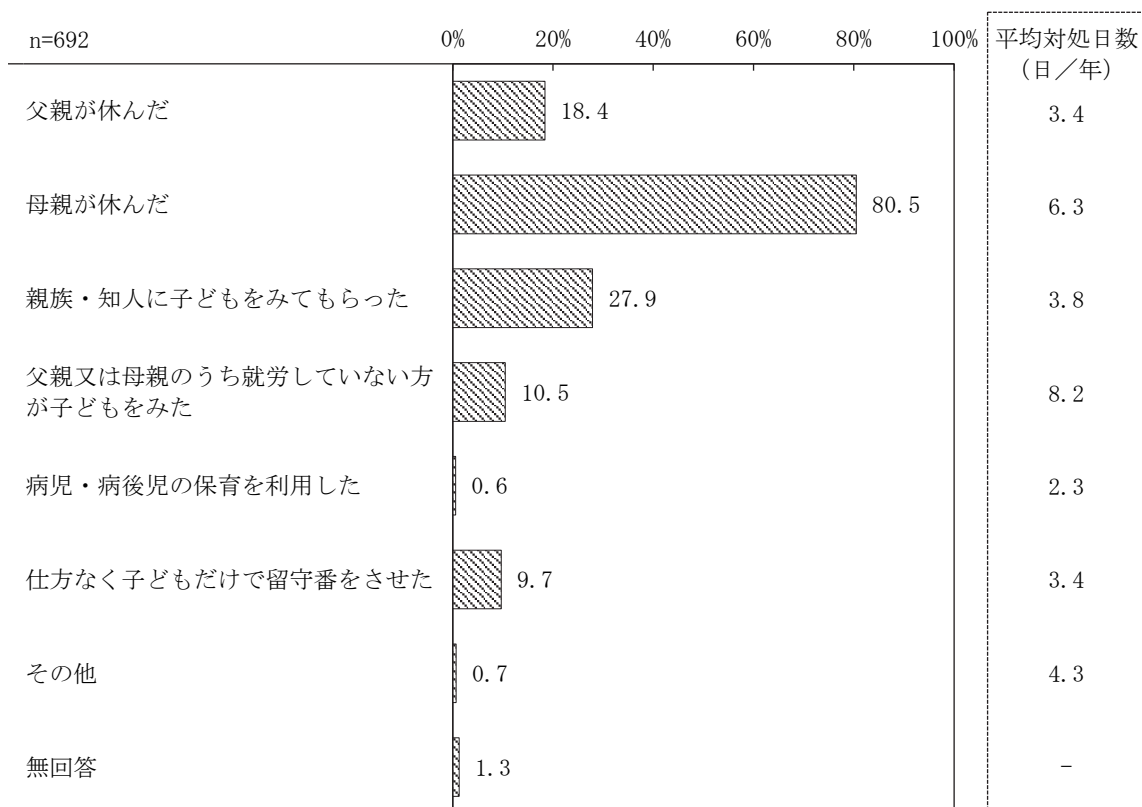
(2) 子どもが病気等で学校を休んだ場合の対処方法

この1年間に、子どもが病気等で学校を休んだ場合の対処方法については、「母親が休んだ」が80.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(27.9%)、「父親が休んだ」(18.4%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(10.5%)の順となっています。「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は9.7%、「病児・病後児の保育を利用した」は0.6%です。

対処が必要だった年間の日数の平均を対処方法別にみると、「母親が休んだ」は6.3日、「親族・知人に子どもをみてもらった」は3.8日、「父親が休んだ」は3.4日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は8.2日となっています。

「その他」として、「在宅ワークで家にいた」「父親は不定休や在宅勤務のため」「父親・母親がちょうど休みの日だった」「どちらかが仕事が休み」の内容が記載されていました。

図表2-47 子どもが病気等で学校を休んだ場合の対処方法（複数回答）



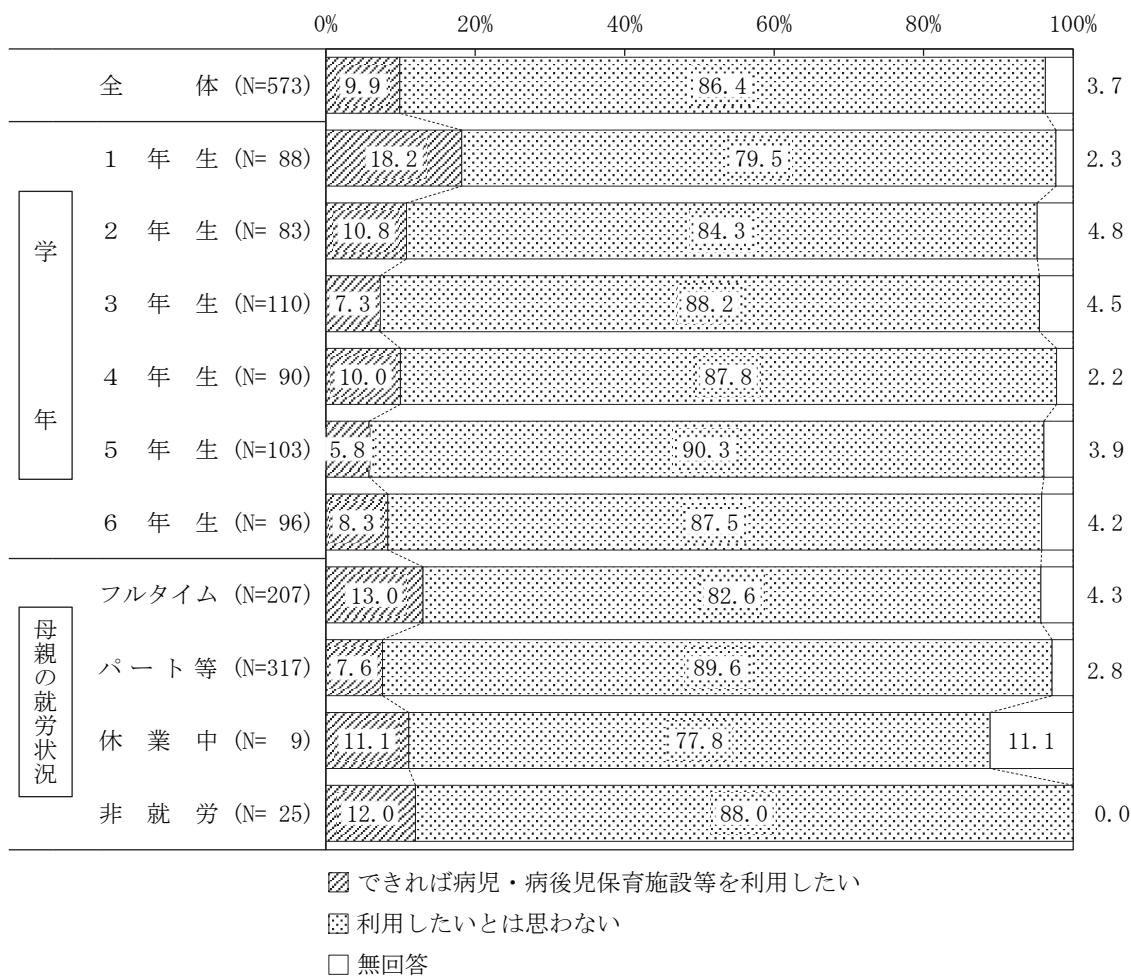
(注)「ベビーシッターを利用した」「コミュニティママ子育てサポートを利用した」という選択肢には該当がなかった。

(3) 子どもが病気等で学校を休んだ場合の施設の利用意向

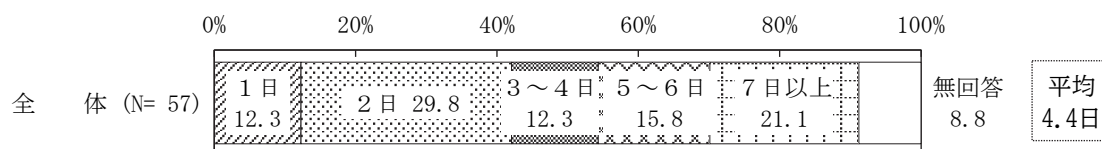
子どもが病気等で学校を休んだ時、親が仕事を休んで対処した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答したのは9.9%です。学年別にみると、1年生の利用意向が18.2%と高くなっています（図表2-48）。

施設に預けたいと思った平均日数は4.4日です（図表2-49）。

図表2-48 子どもが病気等で学校を休んだ場合の施設の利用意向



図表2-49 施設に預けたいと思った日数（日／年）

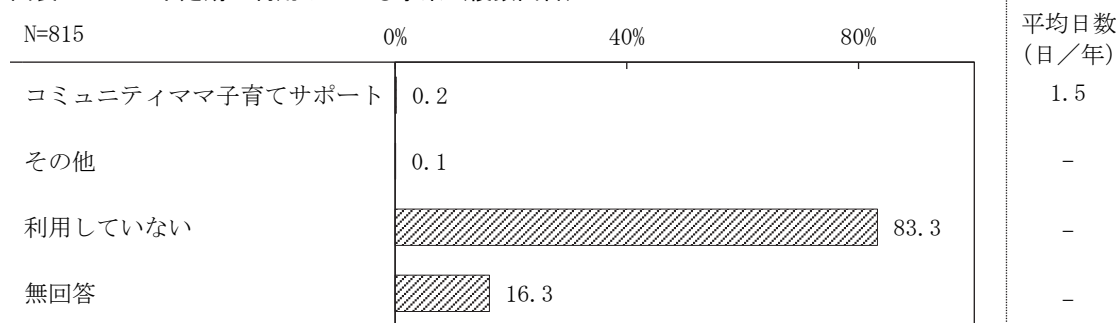


8 不定期の事業や宿泊を伴う一時預かり

(1) 不定期に利用している事業

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業としては、「コミュニティママ子育てサポート」を0.2%（2人）、「その他」を0.1%（1人）があげていました。

図表 2-50 不定期に利用している事業（複数回答）



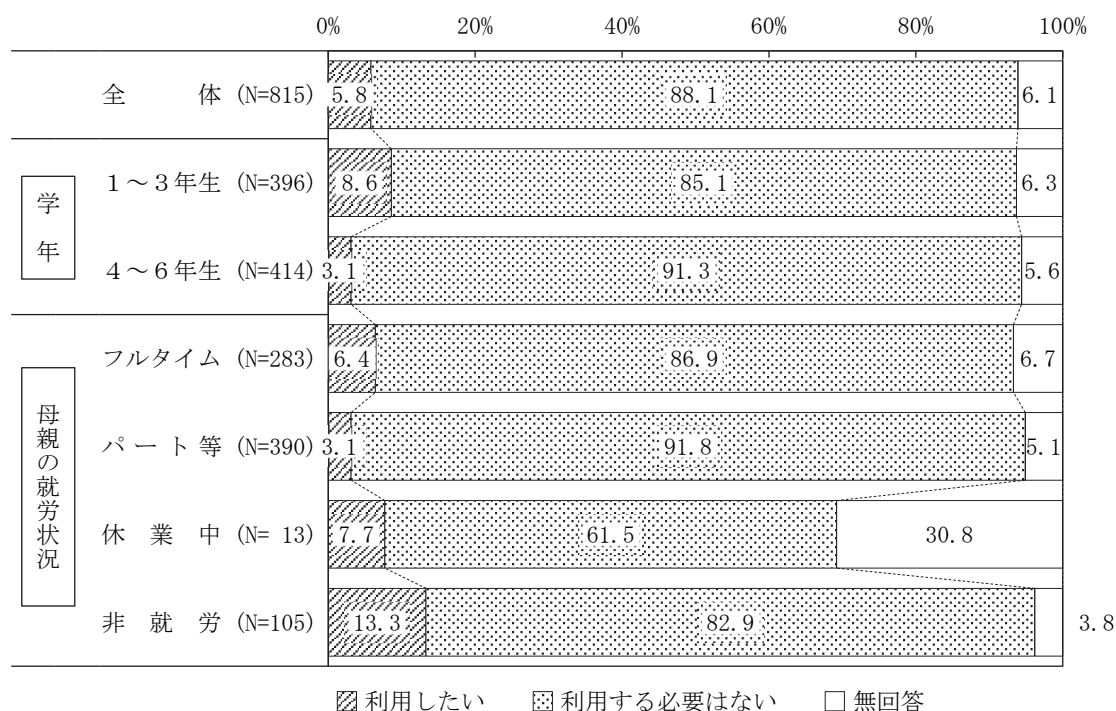
(注)「夜間養護等事業：トワイライトステイ」「ベビーシッター」という選択肢には該当がなかった。

(2) 不定期の預かり等の事業の利用意向

① 不定期の預かり等の事業の利用意向

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、預かり等の事業を利用する必要があると思うかたずねたところ、「利用したい」は5.8%となっており、学年別の1～3年生、母親の就労状況別の非就労の利用意向が比較的高くなっています。

図表 2-51 不定期の預かり等の事業の利用意向



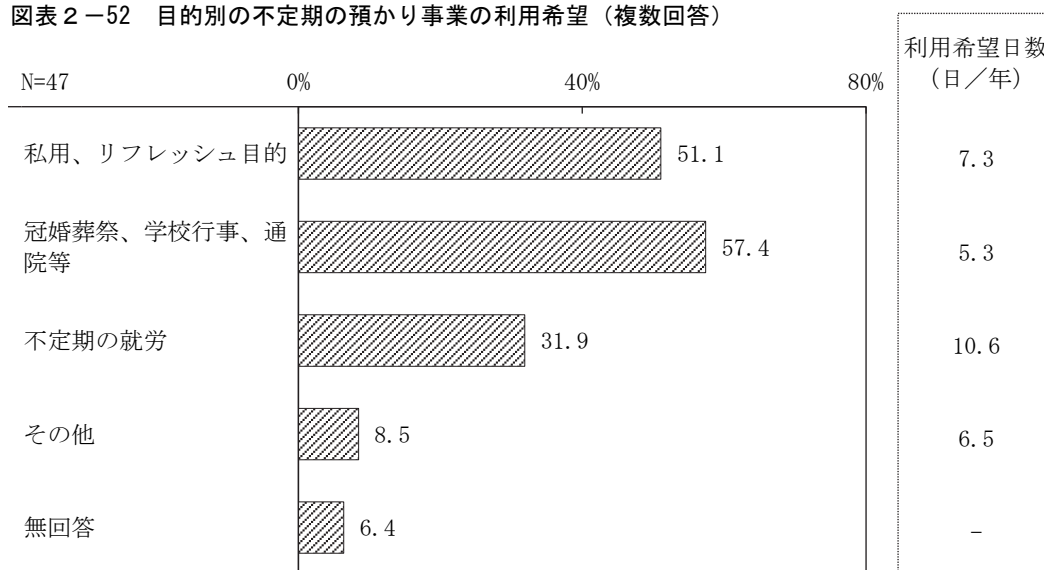
② 不定期の預かり等の事業の利用目的

①で「利用したい」と答えた47人に利用目的をたずねたところ、「冠婚葬祭、学校行事、(子どもや親の)通院等」(57.4%)、「私用、リフレッシュ目的」(51.1%)、「不定期の就労」(31.9%)などとなっています。

各目的別の1年間の利用希望日数をみると、「冠婚葬祭、学校行事、通院等」が5.3日、「私用、リフレッシュ目的」が7.3日、「不定期の就労」が10.6日となっています。

「その他」として、「自分(親)の通院、入院(3人)」「万が一のとき」が記載されていました。

図表2-52 目的別の不定期の預かり事業の利用希望(複数回答)

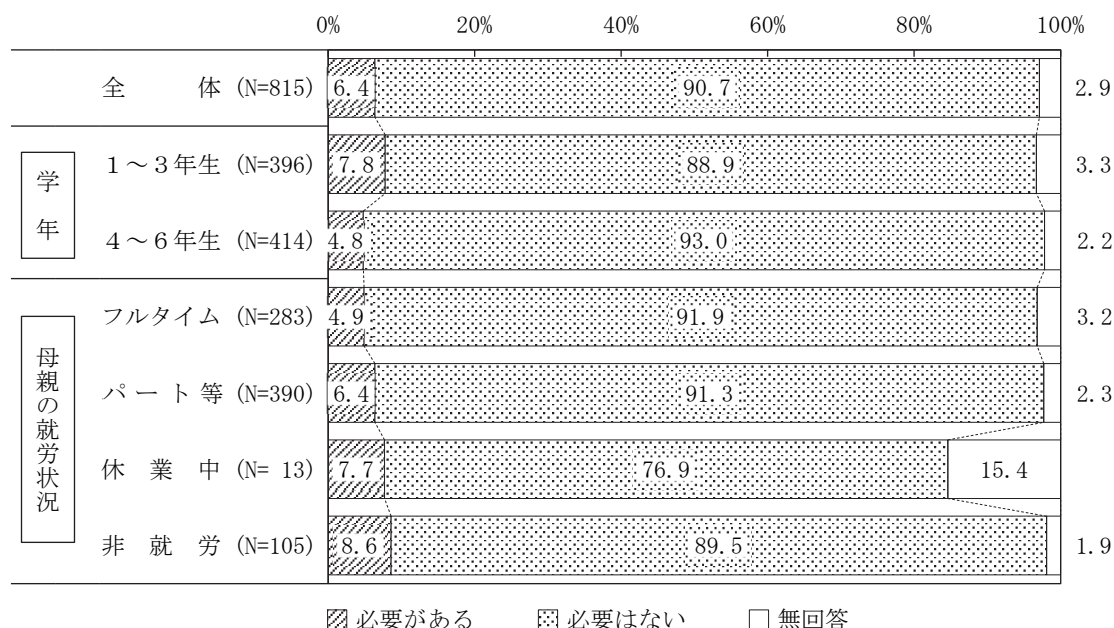


(3) 宿泊を伴う一時預かり

① 子どもを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思うか

保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(きょうだい含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うかたずねたところ、「必要がある」は6.4%です。

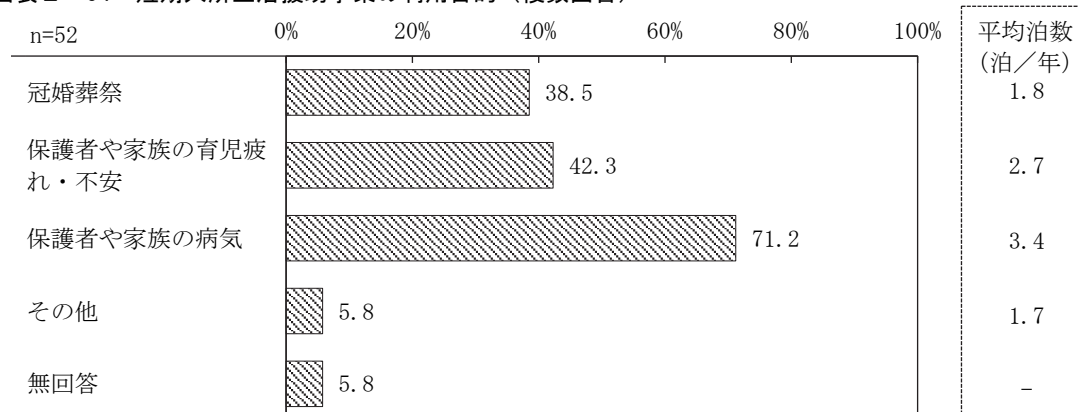
図表 2-53 子どもを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思うか



② 短期入所生活援助事業の利用目的

保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけでみてもらわなければならなかった時の対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が71.2%と高くなっています。必要な平均泊数は、「保護者や家族の病気」が3.4日、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が2.7、「冠婚葬祭」が1.8日となっています。「その他」として、「姉のスポーツ遠征のため(2人)」「老人会のイベント」が記載されていました。

図表 2-54 短期入所生活援助事業の利用目的(複数回答)



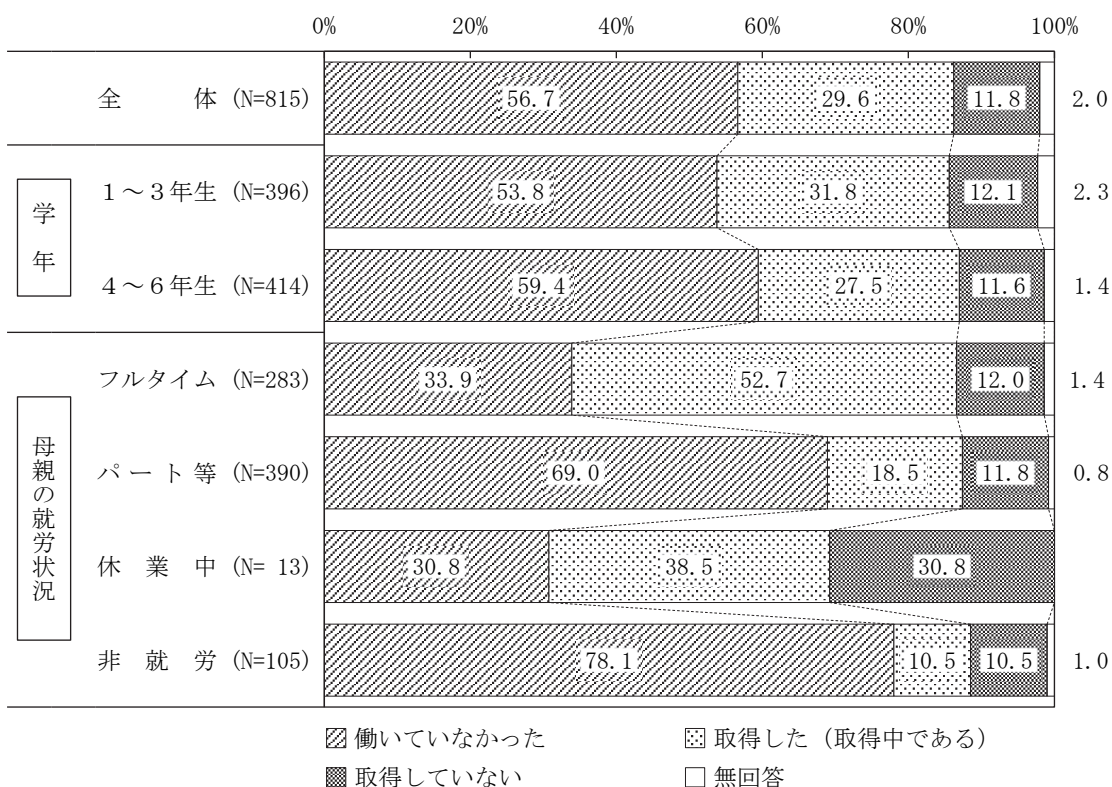
9 育児休業制度

(1) 育児休業の取得

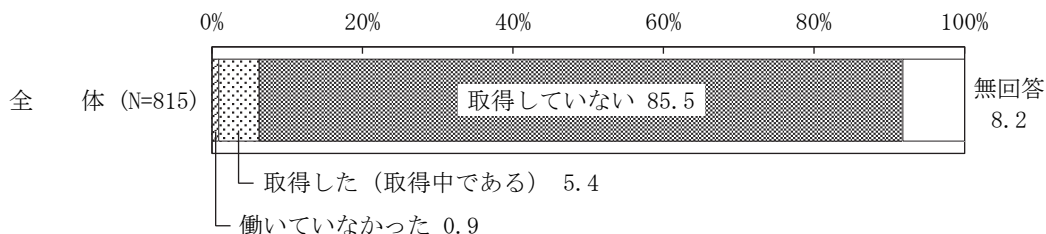
子どもが生まれた時、育児休業を「取得した」母親は29.6%ですが、「働いていなかった」母親が56.7%います。母親の就労状況別にみると、「取得した」はフルタイムでは52.7%となっています（図表2-55）。

育児休業を「取得した」と答えた父親は、5.4%（44人）です（図表2-56）。

図表2-55 母親の育児休業の取得状況



図表2-56 父親の育児休業の取得状況

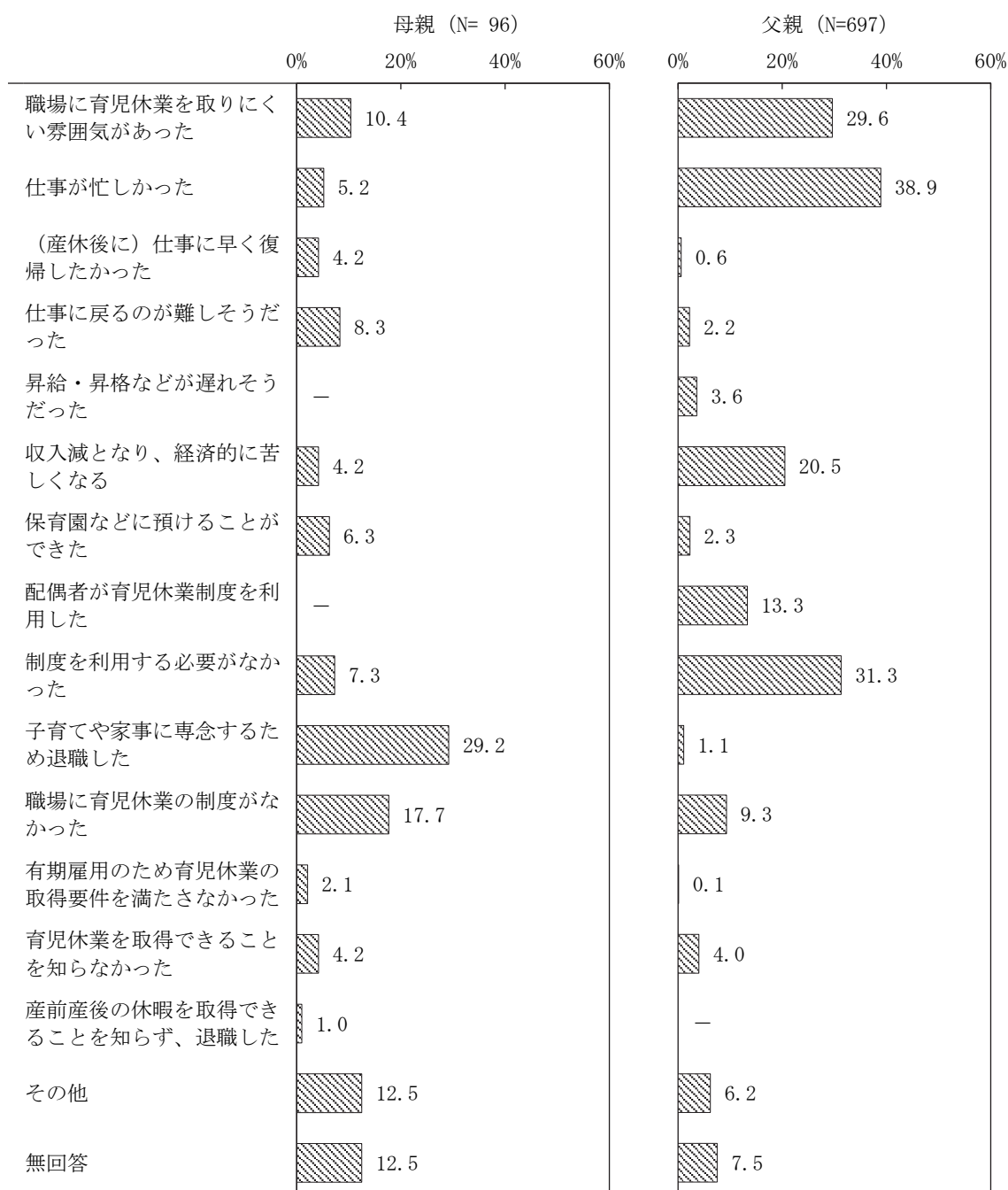


(2) 育児休業を取得しない理由

(1)で育児休業を「取得していない」と答えた人の取得しない理由としては、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(29.2%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(17.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(10.4%)の順となっています。父親は「仕事が忙しかった」(38.9%)、「制度を利用する必要がなかった」(31.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(29.6%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(20.5%)などが高くなっています。

「その他」として、図表2-58の記述がありました。

図表2-57 育児休業を取得しない理由（複数回答）



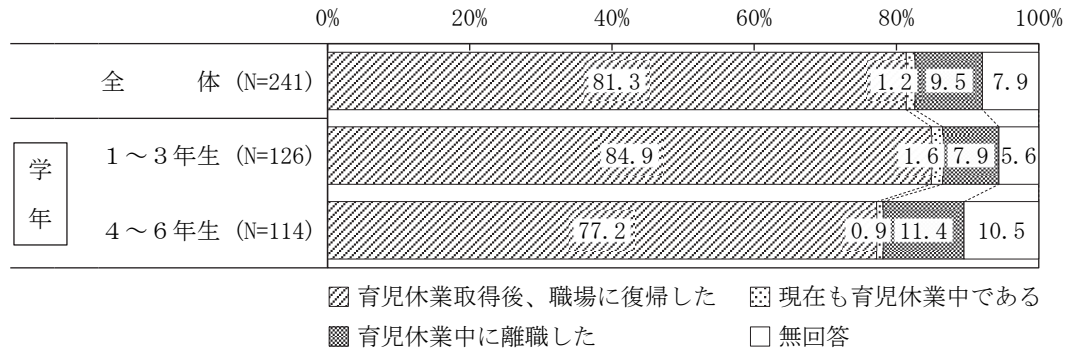
図表 2-58 育児休業を取得しない理由（その他）

母 親	父 親
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自営業（3人） ・ 自営のため人に頼ることが出来なかった ・ 母親の勤務先が実家だったため、父親が育児休業の必要がなかった ・ 母の実父の自営の手伝い ・ 育児休業の制度があるのに前例がないと自主退職させられた ・ 勤務先の倒産 ・ 仕事していない ・ すぐ仕事を始めた ・ 内職をしていた ・ 妊娠がわかった時、つわり等がひどく、辞めざるをえなかった ・ パートだったため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自営業（9人） ・ 自営業なので割と都合がつけやすいため育休の必要がない ・ 自営業のため、その制度が無い ・ 自営業のため休めない ・ 自営のため人に頼ることが出来なかった ・ 自宅で仕事をしていた ・ 母親の勤務先が実家だったため、父親が育児休業の必要がなかった ・ 育児休業を希望したが、できなかった（3人） ・ 取得できる職場ではない。育休制度がよくわからない ・ 職場より周知されていなかった ・ しっかり稼いでほしかったから（2人） ・ 3交代のため、家にいる時間が多く、育休取得の必要性を感じなかった ・ 他の休暇をとった ・ 会社で取得している人がいない ・ 子育ては、平日は私だけで十分でした。休日助けてもらえれば満足出来ました ・ シングルマザーでした ・ その習慣がなかったから ・ パートだったから ・ 母がするものだと思っている ・ 夫にも取得をお願いしたいと思っている ・ 家のことなどできないのに、いてもらっては母にとってストレス ・ 育児休業に対する認識が低かった ・ 父親が育児休業をして、何かやってもらおう、もらいたいとの具体的なビジョンが、その時に無かったため、取得してもらわなかった。親と同居していたため、母親の協力で十分だと感じた。第2子の際は、生まれた時は父親の職場には制度が無かったと思う（今も無いと思う） ・ 仕事が好きだから ・ 念頭になかった ・ 休む気全くなし ・ 休めません ・ 両親のサポートがあったので必要なかった ・ 必要と感じなかった（3人）

(3) 育児休業取得後の職場復帰（母親）

(1)で育児休業を「取得した」と答えた241人の母親のうち、81.3%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えています。

図表2-59 育児休業取得後の母親の職場復帰

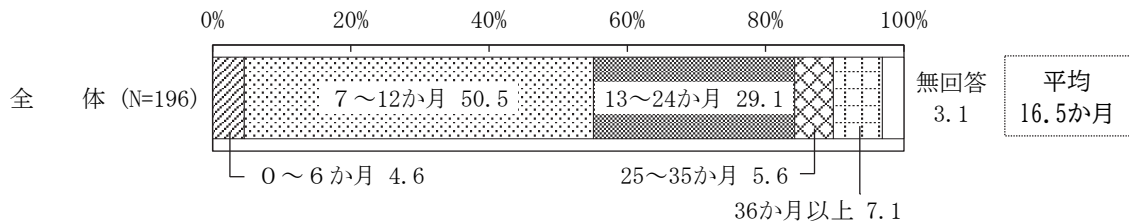


(4) 育児休業取得期間と取得希望期間（母親）

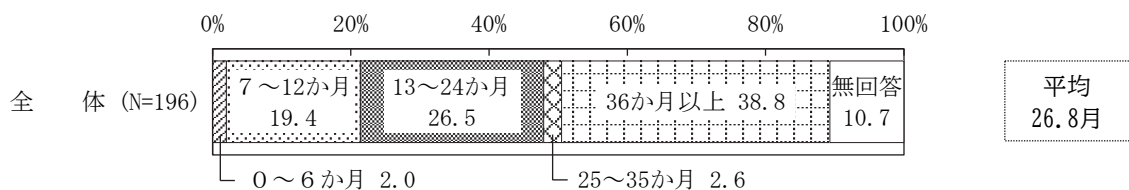
(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた母親に、子どもが何歳何か月のときに職場復帰したか、また、何歳何か月のときまで育児休業をとりたかったのかたずねた結果が図表2-60です。母親の実際の取得期間は「7～12か月」が50.5%、「13～24か月」が29.1%などとなっており、取得希望期間は「36か月以上」が最も高くなっています。また、母親の実際の平均取得期間が16.5か月であるのに対し、平均取得希望期間は26.8か月となっており、子どもが1歳または2歳で職場復帰をしている母親が多いが、できれば子どもが3歳位までは仕事を休んで子どもの面倒をみたいという母親が多いということです。

図表2-60 育児休業取得期間と取得希望期間（母親）

【育児休業復帰時の子どもの月齢】



【希望月齢】

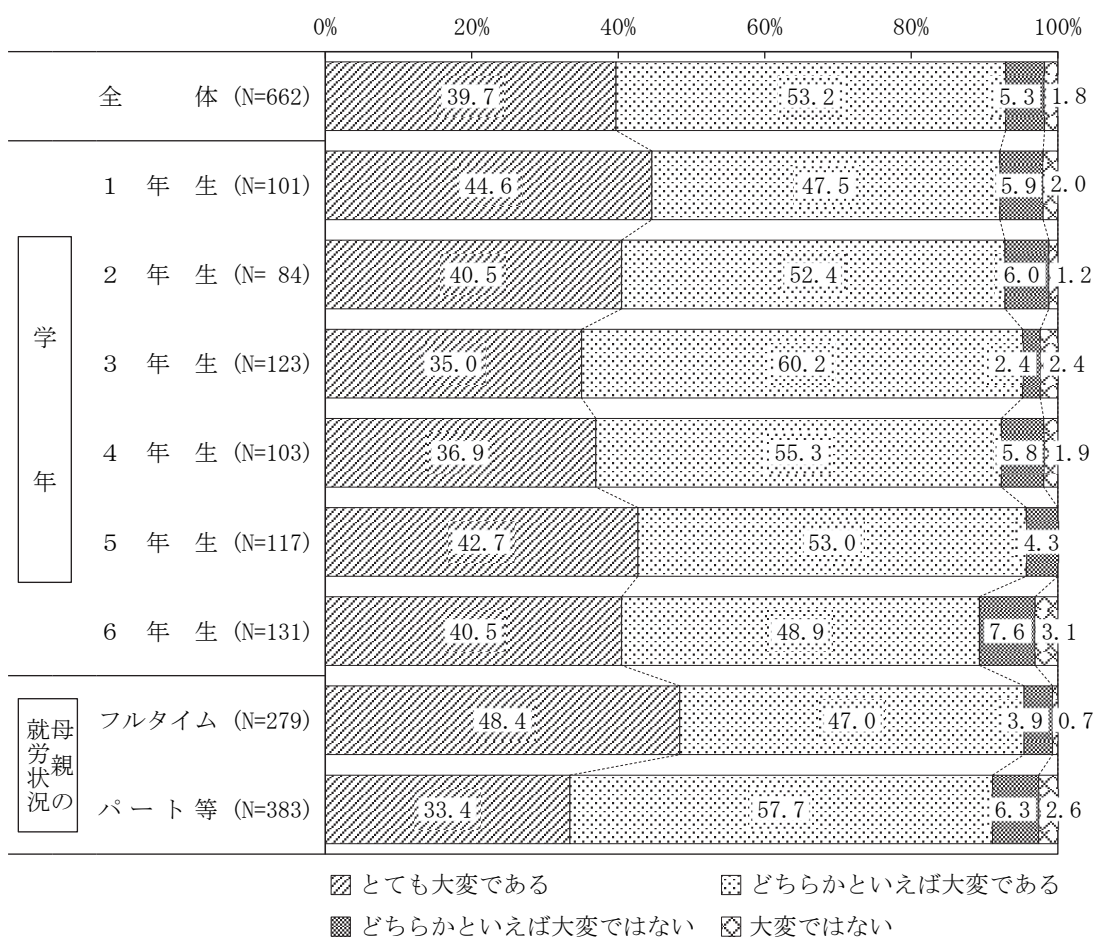


(5) 仕事と子育ての両立

子育てをしながら就労している人に、仕事と子育ての両立が大変と感じているかたずねたところ、「どちらかといえば大変である」が53.2%、「とても大変である」が39.7%となっています。

属性別にみると、「とても大変である」が高いのは、学年別では1年生、母親の就労状況別ではフルタイムです。

図表2-61 仕事と子育ての両立は大変か（回答者のみ）



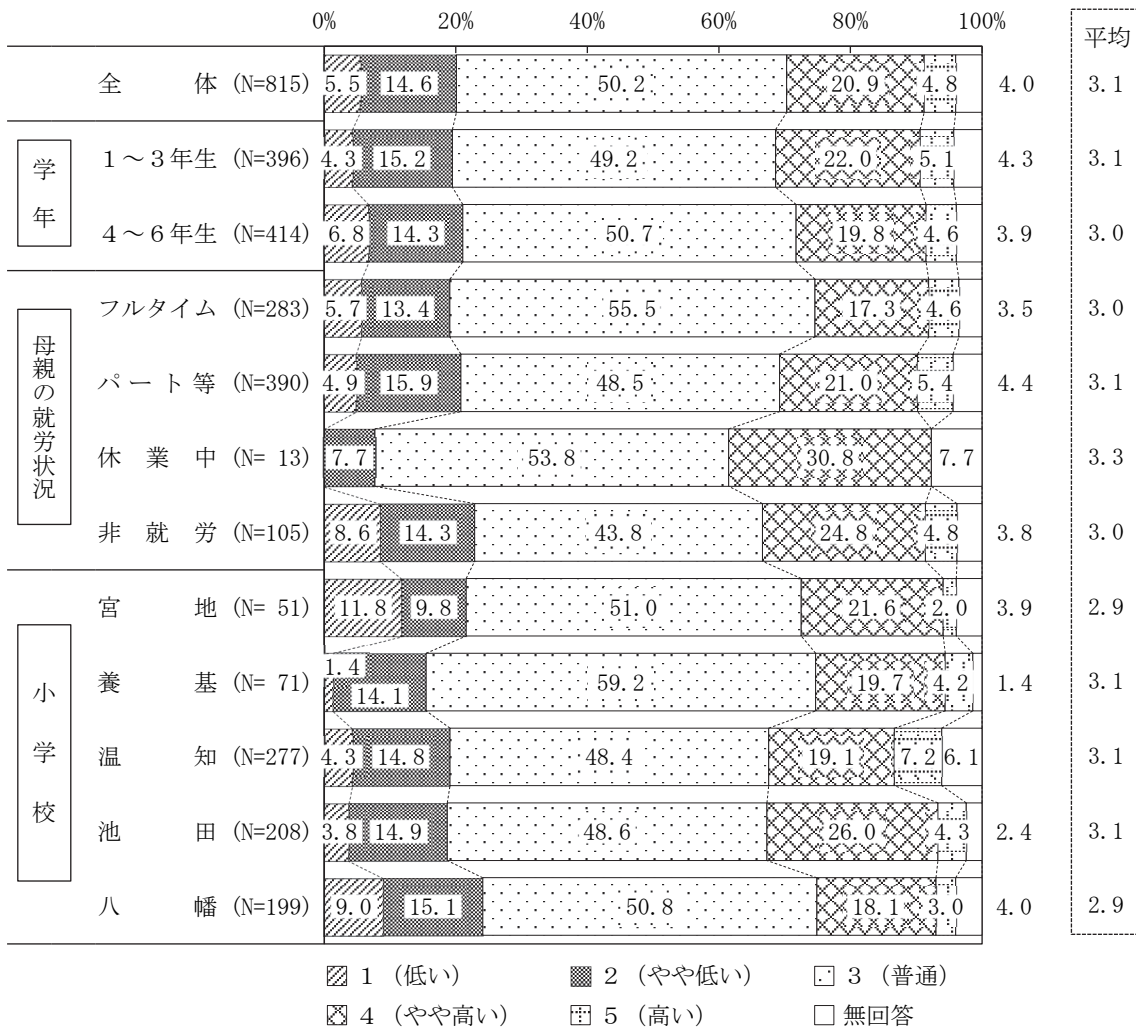
10 子育て支援事業の評価等

(1) 子育ての環境や支援への満足度

地域の子育ての環境や支援への満足度について、「1（満足度が低い）」から「5（満足度が高い）」で評価をしていただいた結果が図表2-62です。「3（普通）」という評価が50.2%と最も高く、次いで「4（やや高い）」(20.9%)、「2（やや低い）」(14.6%)となっており、平均は3.1です。

小学校別にみると、宮地、八幡の平均が2.9と低くなっています。

図表2-62 子育て環境や支援への満足度



(2) 改善してほしいサービス・よかったサービス

現在通学している学校や、利用している子育て支援事業などについて、改善してほしいこと、利用してよかったことを自由に記載してもらいました。

① 学校

改善してほしいこと	よかったこと
<p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の確保 ・教師の生徒に対する言葉遣い ・先生の質、支援対応（言葉使い） ・先生の負担軽減 ・担任によると思うが、他の児童や前任の小学校と比較して話されることが多くあるようです。それをやめてほしい ・先生が自分が好きすぎて生徒を見てなさすぎ ・先生同士の連携が全くない ・先生によって子どもたちへの対応にムラがあり、子どもや親も疑問不信に思うほど。口が悪い先生 ・常時いる男性の先生が少ないと思います <p>【学力・授業・指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと教育の改革をし過ぎている。（3年生以上）宿題がなくなり、やらなくなっている事が多い。小学生1、2年生で積み上げて来た学習方法が全て台無しになっている ・改革ばかりで、本当に子どものためになっているのか、一度立ち止まって考えてほしい ・学習に関して、先生一人では対応しきれないので支援員を増やす ・学習方法（宿題の指導） ・学習面。もっと丁寧にしてほしい。サポートの先生の態度や言葉遣い ・学級閉鎖や休みが多い日にもかかわらず、オンライン授業がなく、問い合わせたのに返事がなかったという話をいくつか聞きました ・家庭学習の充実(宿題をなくすなら池田町全体で差がないように) ・従来の、毎日先生から宿題が出るスタイルに戻すべき ・宿題がない（少ない）。子どもが自主的にやるのは難しい ・宿題がなくなり、家庭学習へと変わってしまったが、学校側が自分たちで意欲的に取り組めるような、学習のラインナップをもっと提供してほしい。改革することが、素晴らしい！では、全然ちがう！ もっと子どもや親の声を聞いてほしい ・宿題がない ・宿題がなくなり、学力の個人差が不安 ・常時、参観できると良いのでは ・水分補給の時間をもっとほしい。遊びの時間も大事。サポートの先生の言葉遣い 	<p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生たちには本当にお世話になっていると思っています。いろいろな考えの親さんがいる中でとても大変な仕事だと思っています ・毎朝校長先生が立ってくださっている ・学校の先生は何でも聞いてくれて相談にのってくれる ・温知小、低学年（1、2年）の先生方には、本当にいつも学習のサポート、生活面のサポートと細かく指導していただいていると思います ・子どもが安全に楽しく学校生活を送る事が出来る様、先生方がよく支援して頂けている ・勉強以外のこともお世話になって、丁寧に子ども達を見てくださっている ・話を聞いてくれる ・校長先生が身近になった ・学校全体で児童を見守ってくれている姿勢が伝わり、嬉しく思う <p>【学力・授業・指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をよく見ていただいている（2人） ・校外学習が増えた（2人） ・子どもが楽しめる環境づくり ・子どもの発達について相談しやすく、親身になってくださる先生がいる。適切なアドバイスをしてくれる ・新しい取り組みを進めて頂けたこと。早めの対応をして頂けたこと ・本を沢山読むように促してくれる ・授業参観がこまめにある ・少人数で皆仲が良い ・少人数のため子どもたちをよく見てもらえる ・少人数のため手厚い対応をしていただける <p>【障がい者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学級が多い ・支援級で自由にさせてもらっている

<p>【タブレット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット(ランドセル)が重すぎる ・タブレット重過ぎる。教科書置き勉にしても変わらない。結局、予定表としてしか使っていないなら、家に置いておかしてほしい。毎日持って行く意味が分からない ・タブレットが重たい ・タブレットが重たい。持ち帰りが多く子どもの負担 ・予定を確認するためだけのタブレットの持ち運びは、やめてほしい ・タブレットの活用 ・授業がタブレット(PC)ばかりで集中しない <p>【連絡・情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席等による連絡帳でのやりとり。(分団人数が少ないので)休み中毎日学校に連絡帳をもってもらい、帰りは家に届ける。家も1軒1軒離れている。このやりとり、子どもに負担をかけている気がする。休みが1日、2日なら良いが、風邪等で1週間休みだと毎日は大変。アプリで連絡か保護者が連絡帳を取りに行くのはどうでしょうか？ ・すぐーで欠席連絡ができるようにしてほしい ・懇談をリモートにしてほしい ・もう少し学校での様子を知りたい ・大きな事故やケガ、子ども同士のトラブルなど公表してほしい(大きなケガのときは救急車を呼んでほしかった) ・ケガをしても先生によって連絡がない場合がある <p>【いじめ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに対する対応 ・いじめ問題に対する対応、先生方の増員(見守りをする人) ・いじめがある <p>【障がい者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学校を作してほしい。通級で他行に行くのは大変 ・通級の定員が少ない。支援学級を断ると通級も利用できない <p>【服装】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー差別を助長する、男女で色の指定されたジャージ ・中学等の制服(スカート、ズボンの強制の廃止) ・上靴の指定 ・規定服は毎日着なくてもよくしてほしい。交通安全上も明るい服(低学年)の方が良い。体操服には名前も大きく書いてあって、防犯になってない <p>【PTA・学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会長の選出方法 ・PTA活動等保護者の負担軽減 ・PTA活動や役員の仕事 ・PTA活動を簡易的にしてほしい ・PTA縮小化 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な子に配慮してもらえる ・通級指導教室が学校内にあった事(先生が同じで安心感がある) ・特別支援について手厚いと感じます ・とても良い環境 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化(3人) ・緊急で引き渡し下校になった場合にすぐ行けなくても子どもをみていていただけるようで有り難いです ・下校時、見守り隊の方が付き添ってってくれるので安心 ・集団での生活を経験できる ・すぐーで欠席連絡できるようになったこと ・習い事での賞を全校生徒の前で表彰してくれる ・文化祭が楽しみだそうです ・廊下も広いし、トイレは洋式で綺麗で、教室も大きく開いてとても良い ・校庭の鯉の池が綺麗になった
---	---

- ・ P T A 役員選出。P T A の入会が強制的になっていること。本来は強制的ではない組織だと思います。子どものために協力する気持ちはありますが、子ども会と共に子どもの数や世帯数が減っている中で、選出が負担になっていると思います。P T A じゃなくても方法はあると思います。正直に申し上げて、なくてもよい役や係があると思います。もっと数や仕事を減らすとかできないものでしょうか
- ・ 子ども会等、地域の役員など親が出ていく場が多い（保護者会）
- ・ 子ども会や P T A の役の見直し。子どもの人数に対して不公平。役が多すぎる
- ・ 強制力がないのに、勝手に P T A に加入していることが納得いかない。仕事に大きく差し障りがあるので止めてもらいたい。町からお金が出るならやりたい人はいると思う。P T A がある事で家族との時間が減る
- ・ 本部役員の選出。子どもが少なく親の負担が大きい
- ・ 役員・学級委員など親の負担が多い。子どもが少なくなってきてクラスが 1 クラスはキツイ。ゆとりがほしい
- ・ 役員等の負担軽減
- ・ 役員をやらされた際夜子どもを置いて出かけないといけないことがある
- ・ 学校の行事で仕事を休まなくてはいけない日は早く知りたいです

【登下校・安全】

- ・ 帰りを早くするのをやめてほしい（2人）
- ・ 1、2年生のみの下校（週に2回あります）
- ・ 通学路に歩道がほしい
- ・ 登下校の見守りをしてほしい(時々で良いので)
- ・ 登下校は1列とかの交通に不安を感じる。あまりにも配慮がなさすぎ。3列とかは危険である。外部からの侵入気配に対して気付けない。危機感のなさに不安を感じる
- ・ 下校時、1人になるので、もっと見届けをしてほしい
- ・ 下校時刻が以前より早くなったため、職場での勤務時間等の環境を変えなくてはいけなくなったので、以前のように戻してほしい
- ・ ランドセルが重い。学校の通学路遠い、あぶない（バス等はない？）
- ・ 通学中の無責任

【校舎等】

- ・ プールの更衣室も使用出来る様にして欲しかった
- ・ プールの工事。スタサプの運用。公費で
- ・ 遊具を増やしてほしい
- ・ 体育館の建て直し
- ・ 校内・トイレをきれいにしてあげてほしい
- ・ 施設が古すぎる。プールが不衛生（使っていない期間、鳥の生活スペースに）

【統廃合・クラス分け】

- ・ 統廃合
- ・ 児童数減少により、不安があります

<ul style="list-style-type: none"> ・地域に小学校は残してほしい ・山梨県のように、25人学級の導入。突然廃校にしないでほしい ・クラスが35人以下でも2クラスにしてほしい ・子どもの人数でクラスを決めるのではなく、2クラスにしてほしい。子どものトラブルや先生の負担を減らすために必要な配慮だと思う <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間が短いので早食いで食べ方も行儀悪くなった。落ち着いて食べられる環境をつくってほしい ・放課後の危険な遊び方が気になる ・中学の部活がなくなるのがツライ ・夏休み ・引き渡しが頻繁にあるのでやめてほしい ・要望を聞く気がない ・児童の服の質 	
---	--

② 放課後児童クラブ

改善してほしいこと	よかったこと
<p>【指導員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の子どもたちへの接し方 ・指導者の研修 ・先生によって子どもたちへの対応にムラがあり、子どもや親も疑問不信に思うほど。口が悪い先生 ・人手不足、質 ・人手不足。人数を増やして ・時々先生の態度がキツイときあり、悲しくなりました ・ケガの詳細の説明がなかった ・保育園と違って、親と先生のコミュニケーションが少ない（口数） <p>【預かり時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所する時間を、延長してほしい ・時間をのばしてほしい ・長期休暇時の始業時間がもう少し早いと嬉しいです ・夏だけでなく、冬休み、春休みの早朝預かりを7:30にしてほしい ・夏休み遊べる時間が3部制で2時間位しかなかった。コロナのこともあり、仕方ないかもしれませんが ・夏休みだけ早朝が7:30、春休み、冬休みは7:45、全て7:30に統一してほしい。仕事に遅刻するため。その違いが何故？ 冬の方が雪が降り交通事情が悪いことが多い。遅刻するため、結局行かせられなく、子ども達だけで1日過ごすことがある <p>【土曜日の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日を毎週利用できるようにしてほしい。池田町は 	<p>【指導員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切に対応していただけたこと ・先生が親身になって対応してもらっていたこと ・子どもをよく見てくれている ・しっかり1人1人見てもらえること ・先生方が子どもをよく見てくれている（2人） ・先生方が子どもをよくみてくれて助かります ・先生方がとても丁寧に優しく見守って下さっていること ・先生が優しく子どもも喜んで過ごしてくれている ・先生たちが温かい(子にも親にも) ・先生達が皆さん温かい。子どもが喜んで行ってくれる ・先生の対応がいい。相談にも乗ってくれる ・先生も親身になって接して下さる方ばかりで、とても助かっています ・優しい先生方ばかりで安心して預けられるため、働ける ・子どもたちのことをよく考えてくれている分、苦勞が多そう <p>【活動内容・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題をする時間がある ・イベント等があり楽しそう

<p>まだ違うかもしれないですが、他の町は特支の学級の子は受け入れてもらえないと聞きました。池田町はそんなことがないと信じています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日利用したい <p>【利用条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生が利用できてないので夏休みだけでも利用できるという ・5、6年生も利用したい ・5年生だからという理由で長期の休暇期間の利用ができない ・高学年も受け入れてほしい ・6年生まで利用可能にしてもらえるとよい ・6年生を卒業するまで預かってほしかった ・親の帰りが18:30を過ぎる場合、6年生までお願いしたい（2人） ・高学年にも対象枠を増やしていただきたい ・昔のように、6年生まで利用できるようにしてほしい ・利用できる範囲（高学年）を増やしてほしい ・預かりの児童数を増してほしい ・希望者は制限なく利用できるように ・仕事以外でも預かってもらいたい ・祖父母が体調不良等で預けられる人がいないときに預かってほしい ・近くに祖父母がいると入れない <p>【手続き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18:00過ぎて迎えに行くときに紙に書くのが面倒 ・毎月延長届を記入しないといけないこと ・早朝届等、役場へ出しに行かなくてはいけないこと <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年になってくるともう少し勉強に充てる時間を増やしてほしいようです ・まずは宿題を済ませてから遊ばせてほしい ・勉強も見てもらいたい。放課後児童クラブでは、タブレットの勉強はできないのだが、タブレットの宿題が今後多くなるので、宿題があれば許可してほしい。狭いので拡充を ・夏祭りに何個応募しても当たらず子どもががっかりする <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴れたり態度の悪い子は学校や親に連絡すればいいと思う ・問題のある子の退室 ・意地悪な子をちゃんと注意してほしい ・子ども間のトラブル対応 ・子どもたちへの注意をもっと厳しくしてもよいと思う ・うるさい 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどしていただいて子どもも楽しく過ごせている ・イベントや制作等もして過ごさせてくださっている。 ・いろいろなイベントや製作等して下さり、楽しく過ごせるようにしてくださっている ・季節ごとにイベントしていただいだけ、先生方がとてもよく子どもを見て下さっている ・季節毎の行事があり、子ども達は楽しく参加している。信頼して預けられます ・行事毎の活動をしてくれる ・子どもたちのためのイベントなど企画して下さる ・定期的にイベントがあること ・いつも助かっています。学習も遊びもイベントもできること <p>【預かり時間等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇でも多くの日数、7:45～預かってくださること ・早朝預かり ・早い下校のときも預かってくださる <p>【長期休暇の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休みに預けられるのは、本当に助かります ・長期休みのみでも預かってもらえること ・共働きにはありがたい、長期休暇は特に助かる ・夏休み、冬休み等預かってもらえて助かった ・必要ならば高学年でもあずかってくれる（夏休み中） ・私の仕事が午後からでも、夏休みなどは、朝から預かってくれるので助かった ・仕事上、長期の休みのときは子どもを安全に預かってもらえて本当に助かりました。子どもも楽しく通えたとし、生活リズムも良かったのでありがたかったです <p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日安全に見てもらえるので安心して預けられる。遊ぶ道具が前より増えた ・安心して預けられる ・安心して仕事ができる。他の学年との関わりができる ・子どもを安全に過ごさせてもらった ・時々子どもの様子など伝えてくれて安心する ・1人で留守番させるのが不安なので、すぐ助かっています ・学校の隣にあり、子どもが安全に利用しや
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいじめに遭い、小学2年生で行かないと言われました。3年生から留守番させることになってしまいました <p>【おやつ・お弁当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇（夏休み・冬休み）のおやつ準備を無しにしてほしい ・長期休みのお弁当作りが大変なので、週1回でもお弁当を出してもらえるとありがたい ・長期休みのときの弁当宅配等、利用できるの良い ・長期休みのとき弁当宅配が頼めると良い。早帰り（13:00下校など）のときも預かってもらえると良い（長期休みのみ利用者） <p>【利用料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏・冬・春休みは日額で預けられると助かります。特に冬・春は勤務日数が少ないとお給料が少ないのに学童の利用料が高いので預けるのをあきらめざるを得なかったです ・夏休みなども利用した場合の費用が高い ・夏休みの料金が安い ・毎月の金額が高い（兄弟で入れていると）おやつ代も+される <p>【施設・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修。トイレが古い ・施設の老朽化 ・人数のわりに狭すぎる。もっと広い場所にしてほしい ・部屋の広さ、w i - f i 環境、高学年の学習時間。タブレット学習が出来ないこと（宿題） 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭も広く子どもにとっても良い ・友だち同士で遊べる（安全に） ・働いている間、面倒を見てもらえる <p>【楽しい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がすごく仲がよくて先生もよく見てくださっている。子どもが行きたがる ・子ども同士でたくさん遊べる ・寂しい思いをしない ・楽しく行けている ・低学年はよく利用し、子ども達も楽しそうだった(姉) ・子どもの個性を認めてくださり、信頼している。友だちとも楽しく過ごしている。児童クラブを楽しみにしている ・友だちが沢山できたこと <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16:30まで料金がかからないのは、ありがたい ・毎日よく見てもらえてありがたい
---	---

③ その他

サービス名	改善してほしいこと	利用してよかったこと
児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間を以前の時間帯に戻してほしい ・1人だけ言い方もきつく子どものことを嫌いに見える方がいる。もう少し優しく接してほしい ・先生によってあたりはずれが多い。特定の先生が「あれはダメ、これはダメ」と否定的な注意ばかりで子どもも親も気が滅入る ・もう少し1人1人を見てほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に見てもらえるので安心 ・学校では遊べない遊具等がある ・遊びや友だちと関わる場の提供。児童館の先生が見ていて下さり安心 ・安心して遊ばせられる ・夏祭りのイベントや制作 ・毎日楽しそうです。違う学年の子とも楽しそうに遊んでいます
池田っ子チャレンジ教室	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが平等にチャレンジできるよう、先着順でなく抽選にしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段作れないアクセや料理が親子でできた
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分で行ける公園がほぼない（養基）。作ってほしい 	
ことばの教室	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児のみなので就学してから相談・利用できる事業所が分かりにくい 	

子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の存続は絶対なのでしょうか？なくても学校、地域のコミュニティがあるのでよいとも思います。役員が負担です ・親の負担(夜の会議、一部の子どもだけ参加するキャンプ、半強制加入) 	
育成会	<ul style="list-style-type: none"> ・親の負担(夜の会議、一部の子どもだけ参加するキャンプ、半強制加入) 	
コミュニティママ	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼した日時にサポーターが来なかったことが何度もある(電話して、キャンセルとなった) 	
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・先生によって子どもたちへの対応にムラがあり、子どもや親も疑問不信に思うほど。口が悪い先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの目線で遊んで、接してくださる。一緒に遊んでくれる
少年団	<ul style="list-style-type: none"> ・親の負担減 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力作り
トワイライトステイ	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜日をお願いできるといい 	
夏休み児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年も入れてほしい 	
病児・病後児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の利用量、利用前のかかりつけ医の受診、昼食(弁当) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回遊べる日があり、預けなければいけないときでも、子どもが知っている場所となり、安心して過ごすことができた ・預かって下さることはもちろん、しっかり状況を報告して下さった
放課後等デイサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子向けに事業所を増やしてほしい(閉所となるため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてくれる
ゆにばーさるスポーツクラブ池田		<ul style="list-style-type: none"> ・未満児の頃の親子運動教室から体育クラブ・ボールクラブ・ダンスと現在も利用しています。運動を続けられる場がある事はありがたいです
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・お役所体質 	
本郷地区	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる公園が無い 	
中央公民館で開催されている各教室		<ul style="list-style-type: none"> ・無料や材料費だけでいろいろな経験ができる ・無料、材料費のみで参加でき様々な体験ができる

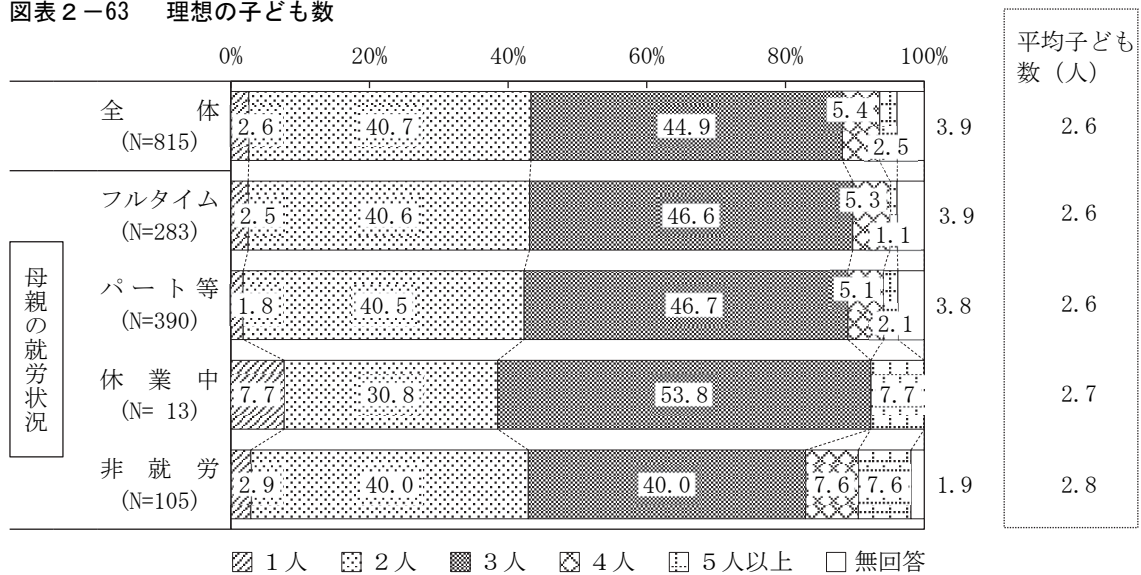
11 子育ての楽しさ・つらさ

(1) 理想の子ども数と実際の（現実に考える）子ども数

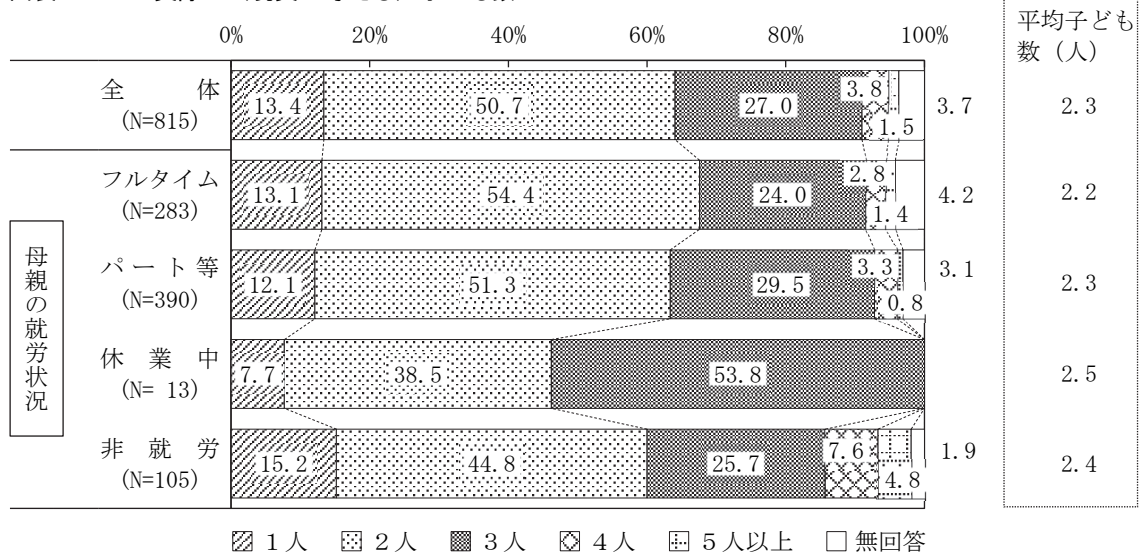
理想の子ども数は「3人」が44.9%と最も高く、次いで「2人」の40.7%となっており、平均は2.6人です（図表2-63）。これに対して、実際の（現実に考える）子ども数は「2人」が50.7%、「3人」が27.0%、「1人」が13.4%などで、平均は2.3人となっています（図表2-64）。理想の子ども数も、実際の（現実に考える）子ども数も、フルタイム、パート等に比べて、わずかながらも休業中、非就労が多くなっています。

なお、現在の小学生のいる世帯のきょうだいの平均は2.3人です。

図表2-63 理想の子ども数



図表2-64 実際の（現実に考える）子ども数



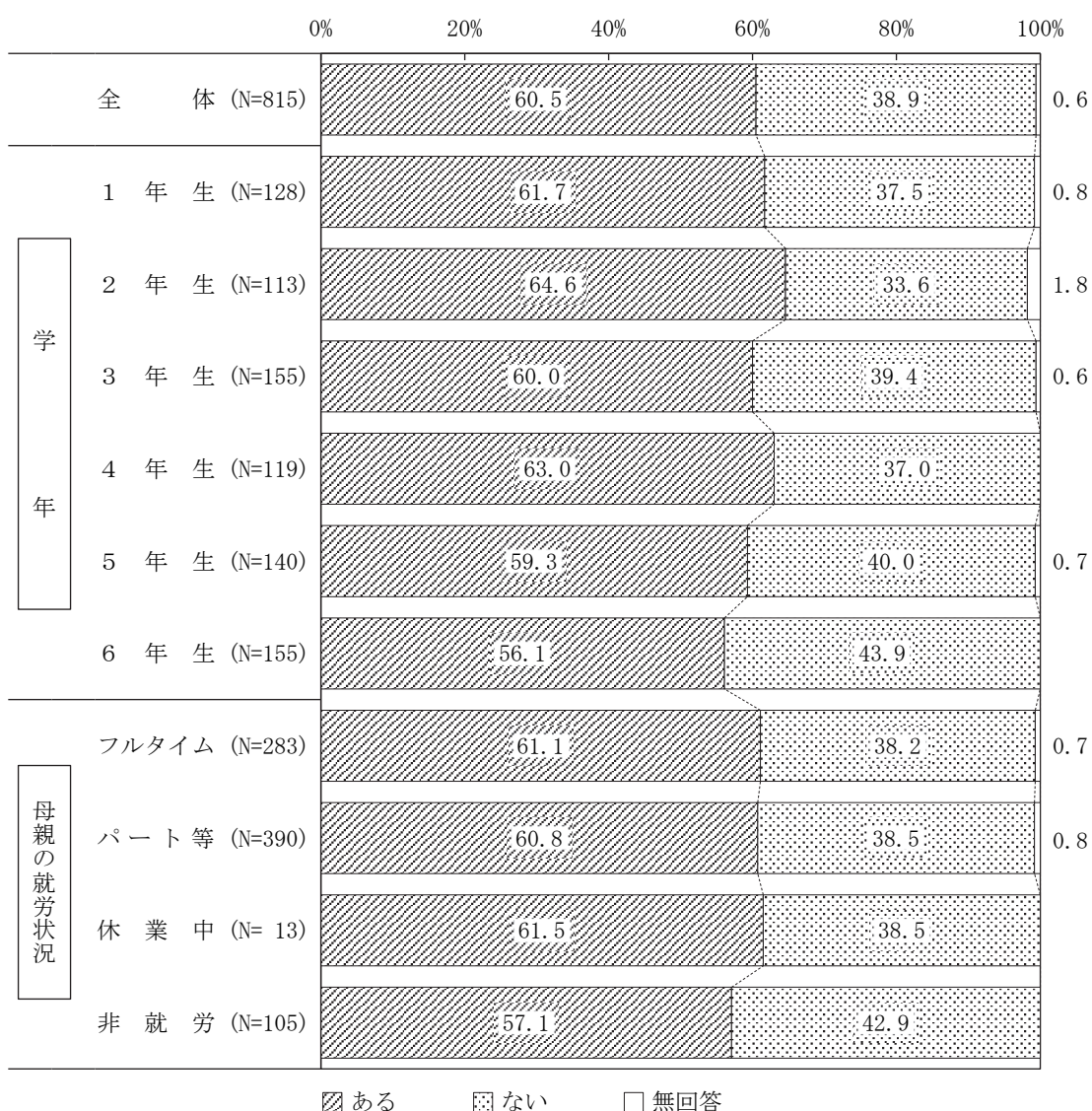
(2) 子どもへの暴力

① 子どもに暴力をふるったことがあるか

子育てのストレスなどから、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことがあるかをたずねたところ、「ある」が60.5%、「ない」が38.9%でした。

学年別にみると、「ある」は、2年生が最も高く、6年生が最も低くなっています。母親の就労状況別では、非就労が最も低くなっています。

図表2-65 子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったこと

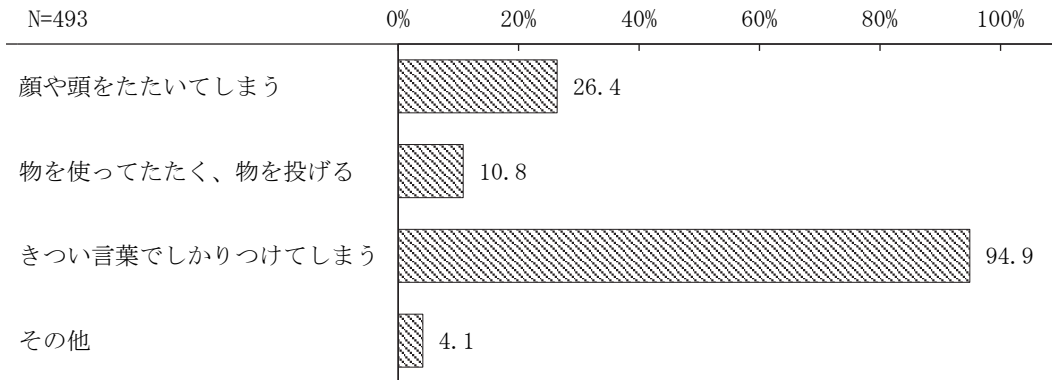


② 子どもへの暴力の内容

①で「ある」と答えた人に、具体的な暴力の内容をたずねたところ、「きつい言葉でしかりつけてしまう」を94.9%の人があげており、次いで「顔や頭をたたいてしまう」(26.4%)となっています。

「その他」として、図表2-67の内容が記載されていました。

図表2-66 子どもへの暴力の内容（複数回答）



図表2-67 子どもへの暴力の内容（その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・今はない、小さい頃、上の子に ・腕を引っ張る ・大きな音を出して怖がらせてしまう ・おしりを蹴る ・おしりをたたく ・尻をたたく ・手足やお尻 ・顔や頭以外をたたいてしまう ・身体をぼんとたたく ・食べ方が悪いときにつねる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物にあたってしまう（2人） ・机をたたいて威嚇する ・別室にこもる ・物を置くとき、ドアを閉めるときなどに大きな音を出し怖がらせてしまう ・その場から距離をとる ・直前でとどまる ・我慢する ・こらえてます ・一旦距離を置く
---	---

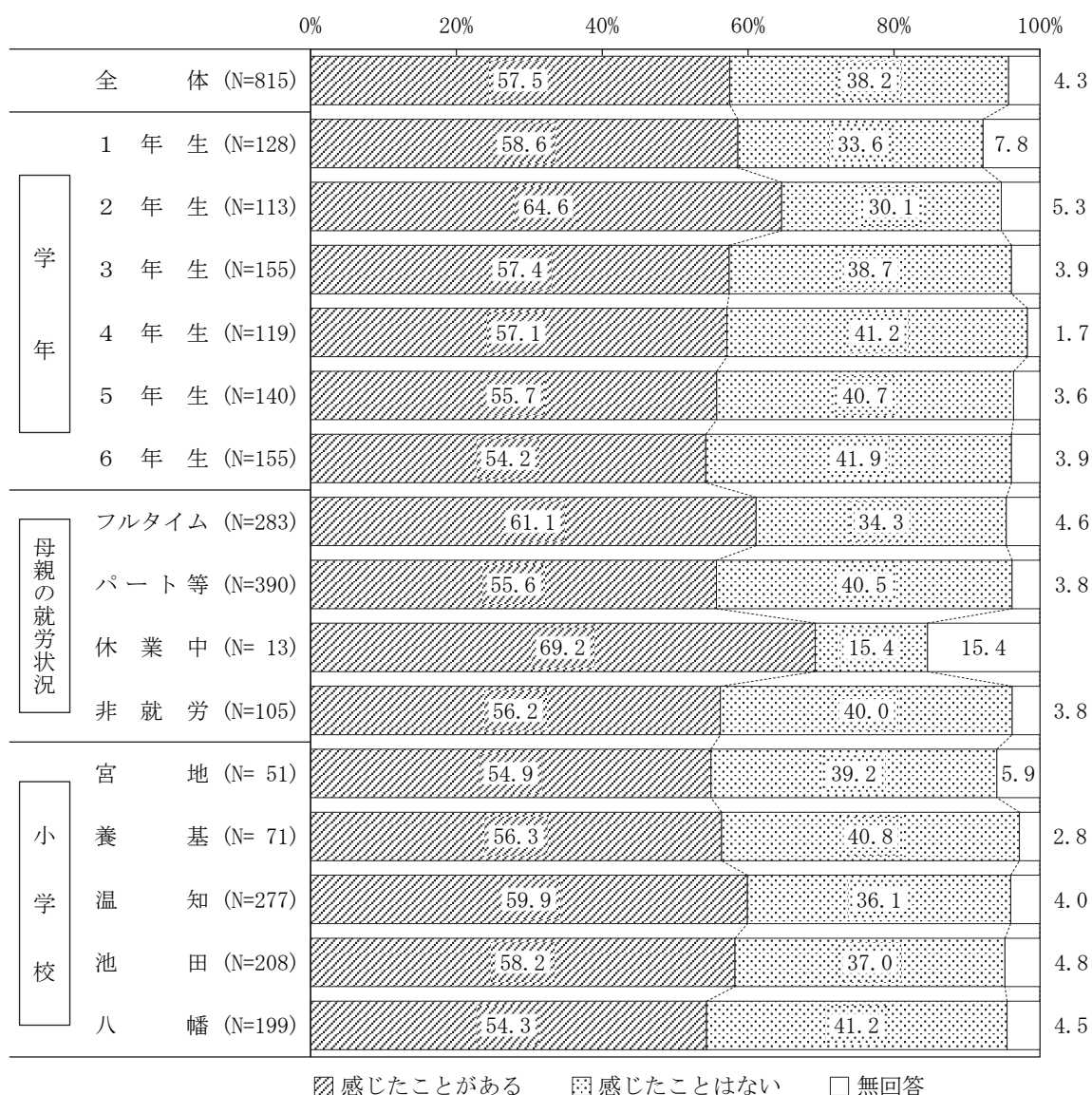
(3) 子育て支援を感じたことがあるか

地域、園、学校、職場、行政の関係施設などにおいて、子育て支援をしてもらっていると「感じたことがある」と答えているのは57.5%です。

「感じたことがある」は、学年別の2年生、母親の就労状況別の休業中で60%以上と高くなっています。

支援してもらっていると感じたこととして、図表2-69の内容が記載されていました。

図表2-68 子育て支援を感じたことがあるか



図表 2-69 支援してもらっていると感じたこと

区 分	支援の内容
財政的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化（8人） ・負担金（給食費等）がなくなって助かっている ・保育・給食の無償化 ・給食費の負担、子ども手当 ・無償化等（2人） ・医療費が無料（8人） ・保育園無料 ・保育園や給食の無償化 ・コロナでの給食費無・児童手当 ・子ども手当（4人） ・児童手当、医療費無料や相談施設がたくさんあり、気軽に相談できるありがたい ・児童手当がもらえる ・児童手当など子どものための支援 ・児童手当の支給、児童館の利用、イベント参加 ・児童手当や給食費無料などをしてもらって助かります ・支援金をもらったとき ・入学金がもらえた ・金銭的援助 ・金銭的支援(祝い金・給食費など) ・お金をかけずに支援が受けられる ・ぎふっ子カード（3人） ・給付金 ・給付金等 ・親子食堂(子ども食堂) ・3人以上子どもがいると無料になる（保育料や病児保育等）のありがたい
保育サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・園。過剰に問題視せず、話を聞いてもらえて安心できた ・延長保育（2人） ・延長保育の負担金の援助 ・早朝、延長保育が受けられたこと ・一時保育の利用 ・預かり保育がある。育児相談の窓口が多い ・預けられたこと ・仕事の都合でお迎えが遅くなってしまったときも預かってもらえたこと ・園、学校での子育てのアドバイス。話を聞いてもらえるだけで助かりました ・園・学校がいろいろ支援してくれる ・園、学校での様子を伝えてもらえている ・もっと子どもが小さい未就園児の頃は保育園の預かり保育やコミママを利用しましたし、助かりました ・上の子を病院に連れて行くときに、下の子(当時0歳)を預かってもらえたこと(有料) ・園でお迎えの時間が間に合わなかったときに、延長保育をしてもらえた ・園の先生に子育てについてアドバイスしてもらえた ・園や学校に行って、楽しそうに帰ってきたとき ・園や学校の先生などに子育ての相談をすると親身になって聞いてくれました ・公立保育園の先生が小さい頃から性格発育をしっかり見てもらえて、アドバイスももらえてありがたかった

	<ul style="list-style-type: none"> ・働いていなくても保育園に入れたこと ・働いている間、学校、学童クラブ、児童館、保育園等子どもに勉強を教えてください、保育してくださり、いろいろな方々に成長を助けていただいて休みの日もイベントや教室に参加させてもらい、楽しませてもらったり、家庭ではできない経験をさせてもらえてる ・バスで通園ができるのでありがたいです ・保育園、学校、児童クラブ、子どもをしっかり見てくださっています ・保育園に預かってくれて、先生と子育てを一緒にしてもらっている気がする ・保育園に行っている時間に1人の時間をとることが出来た ・保育園の先生に相談にのってもらえた（2人） ・保育園の先生に話を聞いてもらえたこと ・保育園の先生の温かさ ・保育園の送迎時に先生に話を聞いてもらえたこと（支援センター、児童館の先生にも） ・保育園のとき、ことばの教室に行くととても助かった ・保育園のときに、子どもの相談など出来て、助けられたと感じたことはあります。送迎で毎日先生と顔を合わせるので、話す機会があってよいです ・保育園のときの担任の先生や、学校の担任の先生の子への対応 ・保育園や地域の方が親身になって対応してくれた ・「お兄ちゃんおねえちゃん元気？」等、兄弟の近況を気にかけてくれる ・学校に行けないとき、園で遊ばせてもらえました ・よく相談に乗ってもらえた（学校・園） ・ひまわり ・病児保育ひまわり ・コミュニティママ子育てサポート（3人） ・病児・病後児保育、学童を利用したとき
放課後児童クラブ（学童保育）	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブで子どもの成長、学力、友人付き合い等のサポートをよくしてもらえた ・学童で学習、友人との付き合い方等サポートいただけた ・学童では相談に乗ってもらえるし、職場では働く母親が多いので行事や諸々理解してもらえる ・学童には助けられている ・学童のおかげで安心して仕事ができている ・学童の先生が支えてくださった（温知） ・学童の先生方が子どもをしっかり見てくれている ・長期休暇中に学童を利用させてもらった。とても助かった ・毎日楽しく学童へ行っているので、嬉しく感じている ・学童
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校（2人） ・学校で穏やかに過ごせるだけでもありがたい ・学校で子どものことについて相談できる ・学校で子どもの成長の手助けをしていただいている ・学校で親身に相談にのってもらえた ・学校の先生方が一緒に子どものことを考えてくれていると強く感じる ・学校の先生に話を聞いてもらえたこと ・学校の先生によくしてもらっている ・学校や言葉の教室で相談すると、的確なことを教えてもらえた ・学校や保育園の先生 ・学校や保育園の先生が親身になってくれる

<p>学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校とても良い担任で子どもをよく見てご指導下さる ・小学校の先生から何かあるとお電話を頂き、この子のことを本当に考えてくださっていると感じ、ありがたいです。登下校の見守りボランティアの方々、毎日ありがとうございます ・担任の先生に相談出来、子どもの学校での様子が聞けたとき ・先生のが本当に大好きのように、家でも学校の話をよくしてくれます ・学習、生活上のルール、遊び、運動 ・学習内容を考えてもらったとき ・学習面、子ども達との交流等（2人） ・相談に乗ってくれた（学校、園） ・ほほえみ教室。話を聞いてもらえたこと
<p>職場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・急な休みに対応してくれる。休みやすい（3人） ・子どもの急な体調不良などでこころよく欠勤させてもらえる ・アドバイスしてもらえる。病気のととき休暇を取得できる ・育休 ・育児休暇も取得出来、体調が悪ければ休暇を取得することも出来るため ・子どもが体調くずしたときにすぐ休みをもらえるところ ・今の職場は、子どもの行事や体調不良でも、休みやすい環境にある ・学校行事等があれば優先して休みが取れるので職場の理解ありがたい ・急な子どもの病気での休みやすい環境（職場） ・急な早退・遅刻・欠勤などを快く認めてくださる点（職場にて） ・急な休みや早退がしやすい ・行事に参加するため仕事を休ませてもらえる ・職場→急病の際のお休みや早退 ・職場→子どもの急な体調不良にもスムーズに休ませてくれる ・職場…子どもの急な病院受診もすぐ行かせてもらえる ・職場で気にかけてもらえる ・職場で子連れ出勤ができること ・職場で子どもの病気、用事等では休める様に配慮してもらっている ・職場で子どもの病気などでお休みがもらえたこと ・職場での子どもの急な体調不良への対応が早い ・職場では、現在も時短で働かせてもらっている。が…給与は時短分しかいただけない ・職場では子どもの病気のとときには柔軟に対応してくれる ・職場で部分休業（時短勤務）を取らせてもらっている ・職場に学童まで預かってもらえる保育所がある ・職場に休み希望を事前に聞いてもらえる ・職場の理解があり、子どもの都合などでも休みやすい ・職場は子育て支援に力を入れていて、子どもを預けられず連れて出勤を希望すれば許可してくれる ・子どもの体調が悪くなり急に仕事を休むことになっても嫌な顔をされることはない ・子どもの体調時に（職場）休みを取りやすい ・子どもの体調不良時は休みや早退がしやすい（職場） ・子どもの体調不良時は優先して休ませてもらえる ・子どもの小さいとき面倒を見てもらえた ・子どもの都合で休ませてもらったりする ・子どもの突発的な発熱でお休みをいただいたこと ・子ども優先で、仕事を休ませてもらえる ・子ども優先で仕事のシフトが決められる ・子どもを連れていける職場環境

	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は子どもの体調で休みやすい。通学のボランティアの方がいる ・事情で子ども同伴で仕事に行ったとき ・子が体調を崩したとき、行事のときに休みがとりやすい ・子連れ出勤ができた ・コロナで休まなければならないときに会社から給与が支払われた。とても助かった ・子どもが夏休み中は職場に連れていける ・パートでも帰りやすい環境 ・休みが取りやすい（仕事） ・休み易い。職場の理解有 ・休みを快くとらせてくれる職場。 ・時間が遅くならないようにしてもらっている ・職場においても子育てに専念出来る環境を整えてもらった（休み易くして下さった）
児童館・遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館（2人） ・児童館で遊ばせてもらえる（行事わくわくがある） ・児童館で行事があると遊べる ・児童館で先生とのコミュニケーションで楽になったことがありました ・児童館の先生はやさしい人が多い（きびしくて、子どもが泣いてしまうこともある） ・児童館利用し、相談や話し相手になってくれたこと ・未就学のとき、児童館の先生に話を聞いてもらって助けてもらいました ・地域の行事に参加させていただいたこと。児童館もたくさん利用させて頂きました ・支援センター・児童館などの子どもも大人も交流できる施設があること ・子ども同士が遊べる施設はとてもありがたい ・遊ばせる場がある ・イベント ・子ども会で土日に催し物を計画して下さって、とてもありがたい
放課後児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ等 ・児童クラブ、1歳からの保育園預かってもらったこと ・児童クラブが本当にありがたい ・児童クラブが利用できる ・児童クラブで子どもの良いところも悪いところも教えてもらったこと ・児童クラブに預かってもらっている ・児童クラブにはいつも感謝しています。本当に助かっています ・児童クラブの先生が、毎日楽しく過ごせるようにいろいろ考えてくださっていて、子どもが寂しいと思わないようにしてくれる ・放課後児童クラブ ・放課後児童クラブではしっかりと健康管理をしていただき助かっている。また、楽しく安全に過ごせるように工夫してくださっていて感謝しています ・近所の方に子どもの成長を褒めてもらったことがある。見守ってくれている。学校や児童クラブで子どもの様子を教えてくれる
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターでお世話になりました ・子育て支援センターで他の方と交流できる ・支援センター・児童館・保健所・病児保育「ひまわり」で沢山サポートしていただいた ・支援センターや児童館には、大変お世話になっています ・小さい子を連れて安心して行ける場所があった。子育て支援センターをよく利用した ・就学前、支援センターや児童館で人と話をすることで子育ての不安が和らぎました ・子育て支援センター、児童館の先生に子育て相談ができ、安心して育児を楽しめた ・子育て支援センター

<p>発達支援・障がい児支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室、通級、本当に子どものことを考えてくれてありがたい ・ことばの教室で親だけではない目線で多角的に子どもを見守っていただいた ・ことばの教室に通えたこと(下の子) ・ことばの教室へ通えた ・ことばの教室の先生方には沢山助けられました ・特に保育園。ことばの教室に大変お世話になった ・言語訓練へすすめて頂いたこと ・知的障がいがあるが、他の子と同じように行事に参加させてもらい、手伝ってもらえたこと ・支援学級では個人に合わせて手厚く対応していただけてありがたい。成長できて嬉しく思います ・支援クラスや通級を利用している(2人) ・通級などのサポート ・学校で通級に通い指導してもらっている ・学校の先生(特に通級)が話を聞いてくれる ・デイの事業所さんの心遣いがありがたかった ・下の子が放課後デイに通っているの、本当に助かっている
<p>保健センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターで相談に応じてもらったこと ・保健センターでのアドバイス。支援センター、児童館での関りで気持ちが楽になった ・新生児のときに保健師さんにお世話になりました ・健康相談等してもらえる ・検診の際に、サービスや施設(ことばの教室)を紹介してもらえた ・子どもが小さいとき、保健センター等で子どもの成長等で沢山支援してもらえた
<p>登下校の見守り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の見守り ・登下校時の見守りして下さるおじいさん、おばあさん ・登下校の際、ボランティアの方に見守りをやってもらっている ・登下校のボランティアで歩いて下さる方。給付金 ・登下校の見守りボランティアの方々には大変お世話になり、感謝しています ・登下校を安全に出来る様、協力して下さる方がいる ・朝の登校の見守り ・分団の見守り ・子どもの安全について ・学校登下校時の見守り隊 ・学校に行くときにボランティアさんが見ていてくれる ・見守り隊、近所の方々の声掛け ・見守り隊。学校中の様子 ・見守り隊の方が家まで付き添ってくれる ・地域のお年よりが見守ってくれている ・近所の通学ボランティアさんがとても親切でしっかり見守っていただけていること ・地域のボランティアさんが毎日登下校を見守ってくれている ・ボランティアの方々が子どもの安全を見守って下さるので安心できます ・地域の方の登下校時の見守りにも感謝している
<p>子育て相談全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのアドバイスや話を聞いてもらえたこと ・子育ての相談にのってもらえた ・カウンセリング等適切に勧めていただいた ・心のケア等 ・皆相談に乗ってくれる

	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ相談に乗ってもらっている ・心配事や悩みを親身になって聞いてくださる方がみえてありがたかった ・心配なことなど教えてもらえる ・全部 ・相談出来る ・相談できる場所(人)がいる ・相談にのってもらえた(子育てのこと) ・相談にのってもらえた(7人) ・どんな相談や希望にも対応してもらえたこと ・悩みを聞いてもらえたとき ・話聞いてもらえて子どものことを褒めてもらえる ・話を聞いてアドバイスをしてくださる(2人) ・話を聞いてくれる(5人) ・子どものことを心配してもらえること ・子どもの進路についての相談
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前は沢山サポートしてもらっていたと思う ・就労中に子どもを見てもらえたこと ・地域の子ども会活動 ・地域のなごみ会の方との交流、学校の先生に相談・子どものトラブルと一緒に向き合ってもらえた ・子どもの様子が少しでも違うと、報告してくれる(2人) ・子どもを見てもらえる ・子どもが楽しく安全に過ごせるようにいろいろ考えていただいていると思います ・子どもが小さいとき、面倒を見てもらえた ・子どもと離れる時間(1人の時間) ・子どもにも親にもコミュニケーションをとってもらえた ・子どもにも問題行動があったとき、迅速に親身になって対応してもらった ・コミュニケーションを取ってもらえたこと(母も子にも) ・日々感じているし、助かっています ・通報の利用 ・迎えの時間が遅くなっても快く預かってもらえる ・役員をして、具体的に何をしているか分かりました ・有給の取得、学校相談 ・両親が仕事で見ることができない間、保育や学習等子どもに関わっていただき、共に子育てしてくださっている。1人で子育てすることは出来ないもので行政には本当にお世話になり感謝している。イベントの開催等、子どもに楽しい経験をたくさんさせていただいている ・利用はしないが案内をしてもらえているから ・子育て支援…もっとしてほしいのが願い ・他の親御さんが一緒になって子どもを応援してくれる ・母子家庭のため ・毎日思っています。私1人では絶対育てることはできません ・なんとなく

12 新しい事業、重点施策等

(1) 子ども食堂

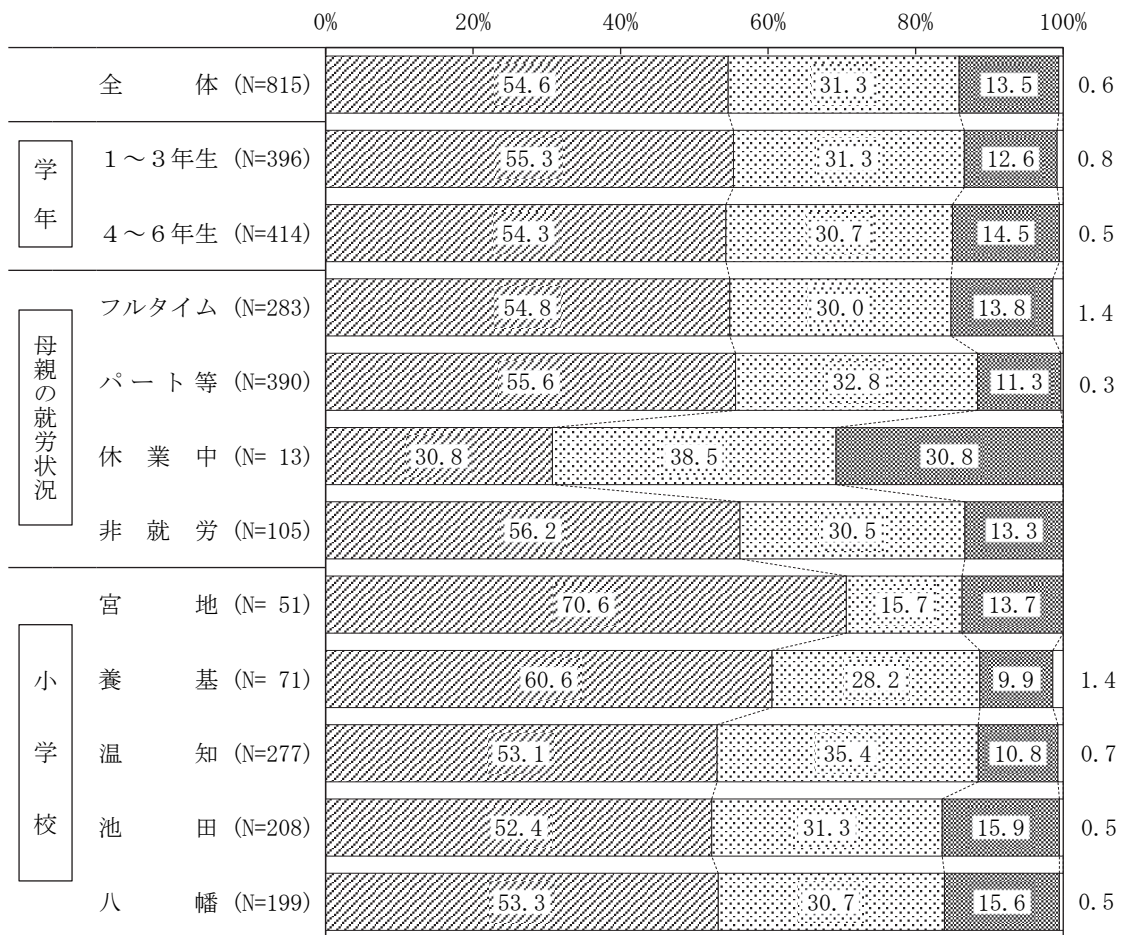
① 子ども食堂の認知度

子ども食堂について「知っている（言葉も内容も知っている）」のは54.6%です。

「知っている」は、小学校区別の宮地、養基が60%以上と高くなっています。

「知らない」が高いのは、母親の就労状況別の休業中です。

図表2-70 子ども食堂の認知度



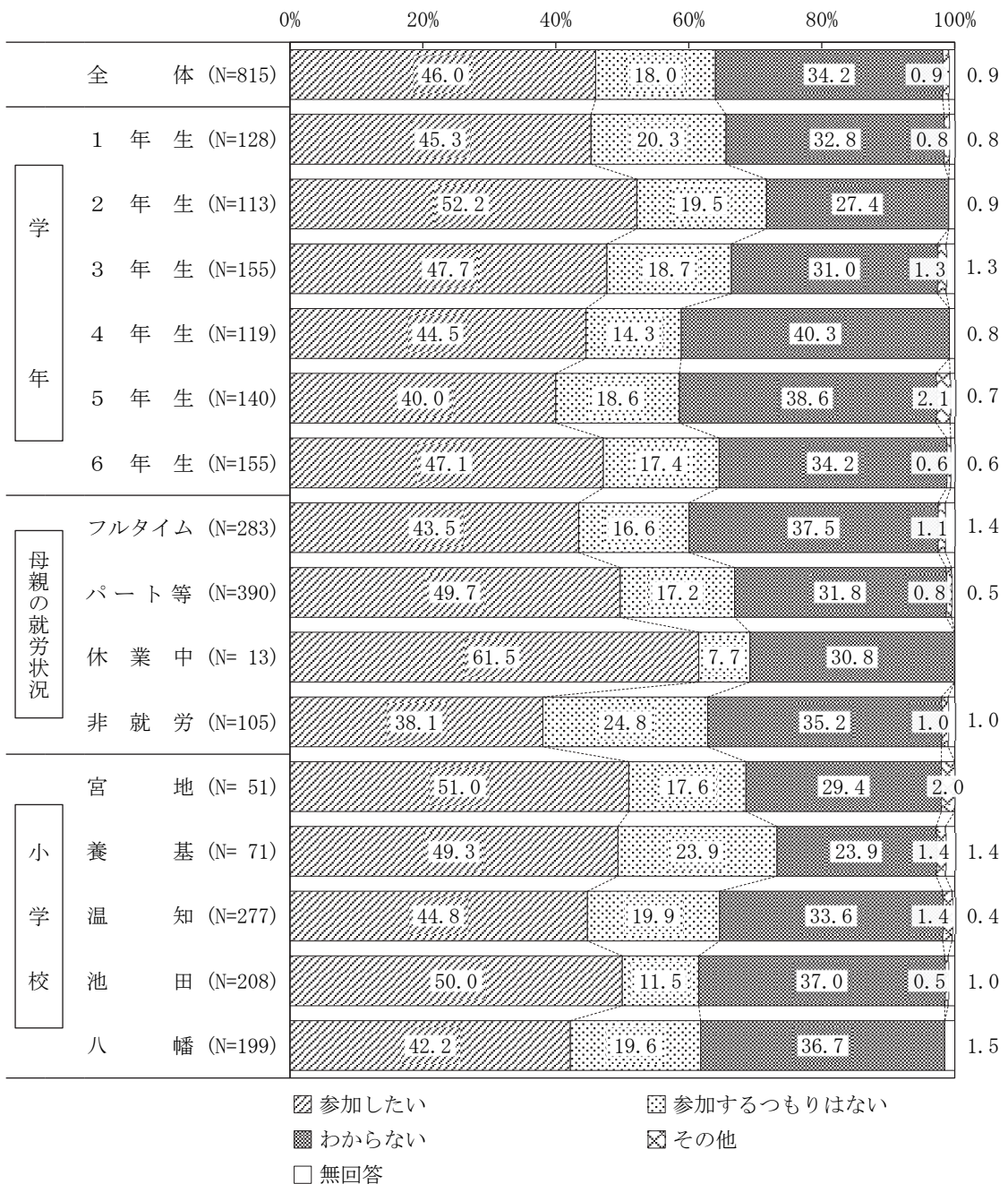
知っている（言葉も内容も知っている）
 聞いたことはあるが内容は知らない
 知らない
 無回答

② 子ども食堂の参加意向

身近なところで子ども食堂が開催されたら、参加してみたいと思うかたずねたところ、「参加したい」は46.0%となっています。「参加したい」は、学年別では2年生、母親の就労状況別では休業中、小学校別では宮地、池田が50%以上と高くなっています。

「その他」として、「子どもが行きたいなら参加したい」「子は参加した」「参加したことがある」「困ったら参加したい」「アレルギーがあるのでいけない」「イメージが悪い」の内容が記載されていました。

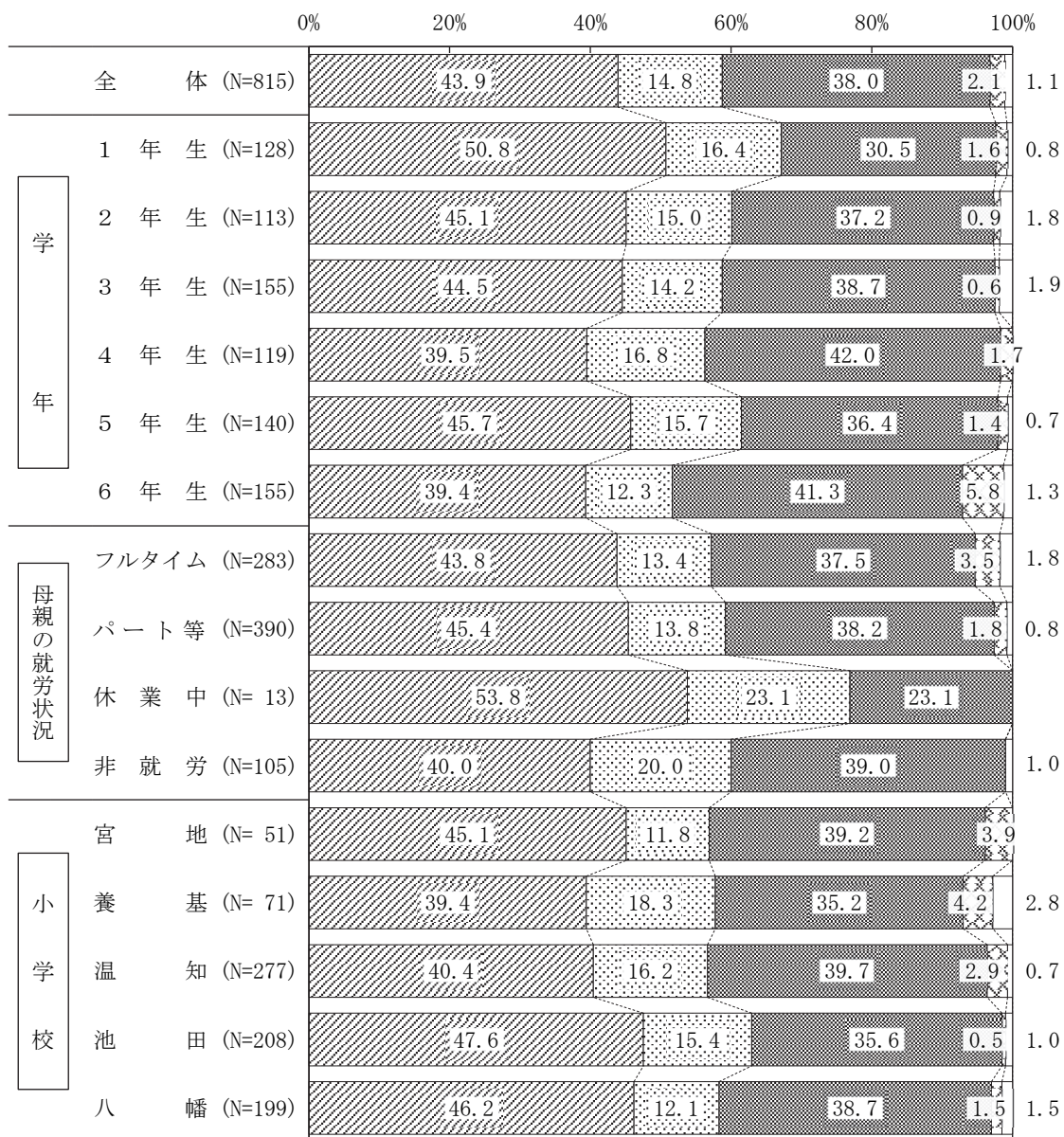
図表2-71 子ども食堂の参加意向



(2) 学習支援（寺子屋など）

身近なところで学習支援（寺子屋など）が開催されたら、参加してみたいと思うかたずねたところ、「参加したい」は43.9%となっています。「参加したい」は、学年別の1年生、母親の就労状況別の休業中が50%以上となっています。

図表2-72 学習支援（寺子屋など）の参加意向



■ 参加したい □ 参加するつもりはない ■ わからない ⊗ その他 □ 無回答

※学習支援(寺子屋など)は、教師OB等のボランティアによる小中学生などを対象とした学習支援活動。町内では、1か所、第2・4土曜日に、保護者が送迎できる小中学生を対象として開催されています。

図表2-73 学習支援（寺子屋など）の参加意向（その他）

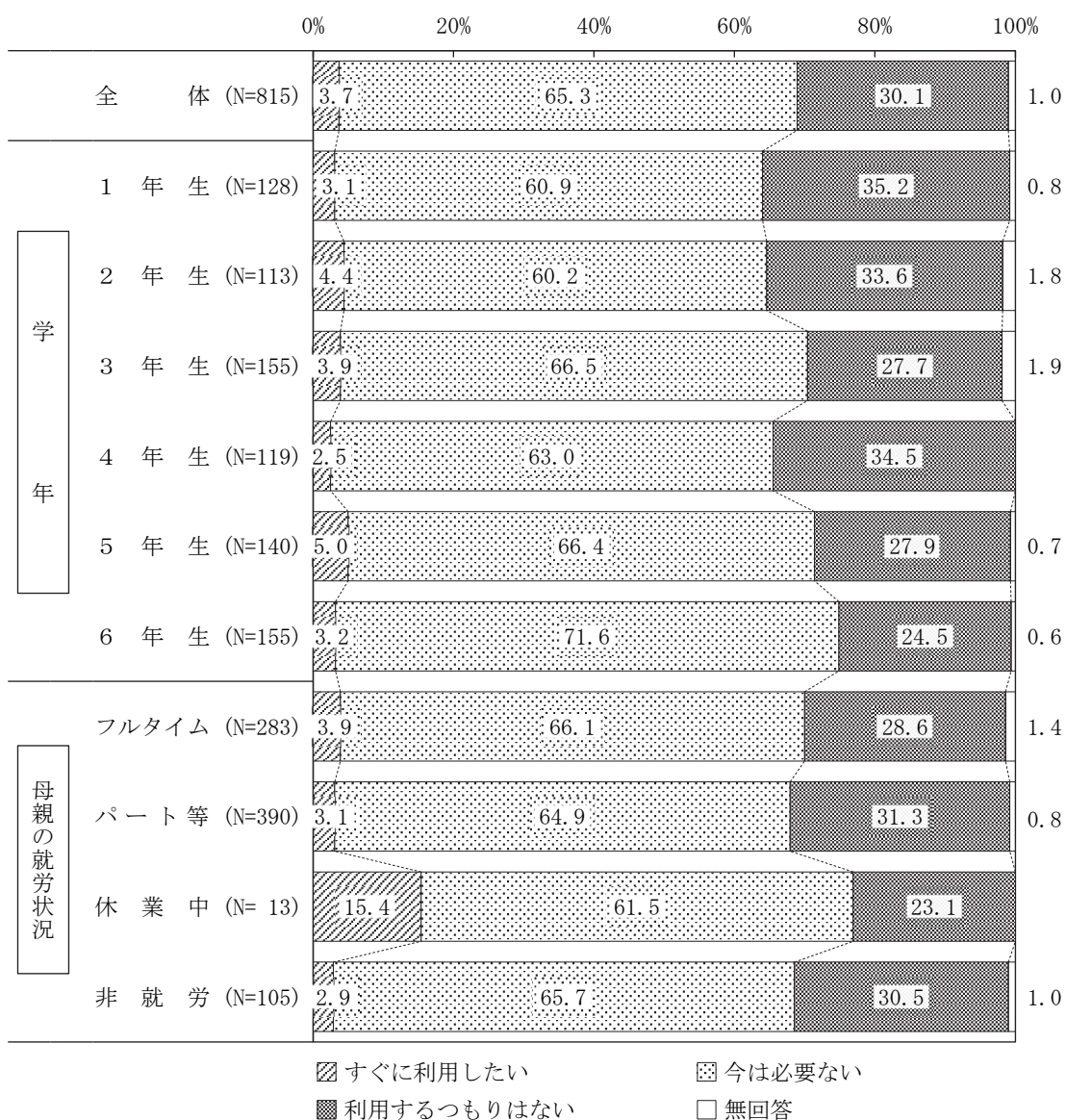
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが行きたがらない（6人） ・子どもが行きたいと言えば参加させる（3人） ・子どもへ質問してください。利用するのは子どもだと思いますが ・参加させたいが本人次第 	<ul style="list-style-type: none"> ・子は参加した ・時間が合えば参加したい ・支払いが無ければ参加したい ・知っているが土日は少年団がある ・内容によっては参加してみたい。無料であれば
--	---

(3) 子育て世帯訪問支援事業

家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がある家庭を支援員が訪問し、家事・育児等の援助を行うサービス（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいかたずねたところ、「すぐに利用したい」は3.7%です。

母親の就労状況別の休業中が15.4%（2人）と割合は高くなっています。フルタイムは3.9%（11人）、パート等は3.1%（12人）と、割合は低いものの人数は多くなっています。

図表2-74 子育て世帯訪問支援事業の利用意向



(4) 重点的に取り組んでほしい施策

行政に重点的に取り組んでほしいと思う子どもに関する施策としては、「いじめ対策」が52.6%と最も高く、「遊び場の充実」(49.9%)、「財政的支援」(44.5)も40%以上の比較的高い割合です。

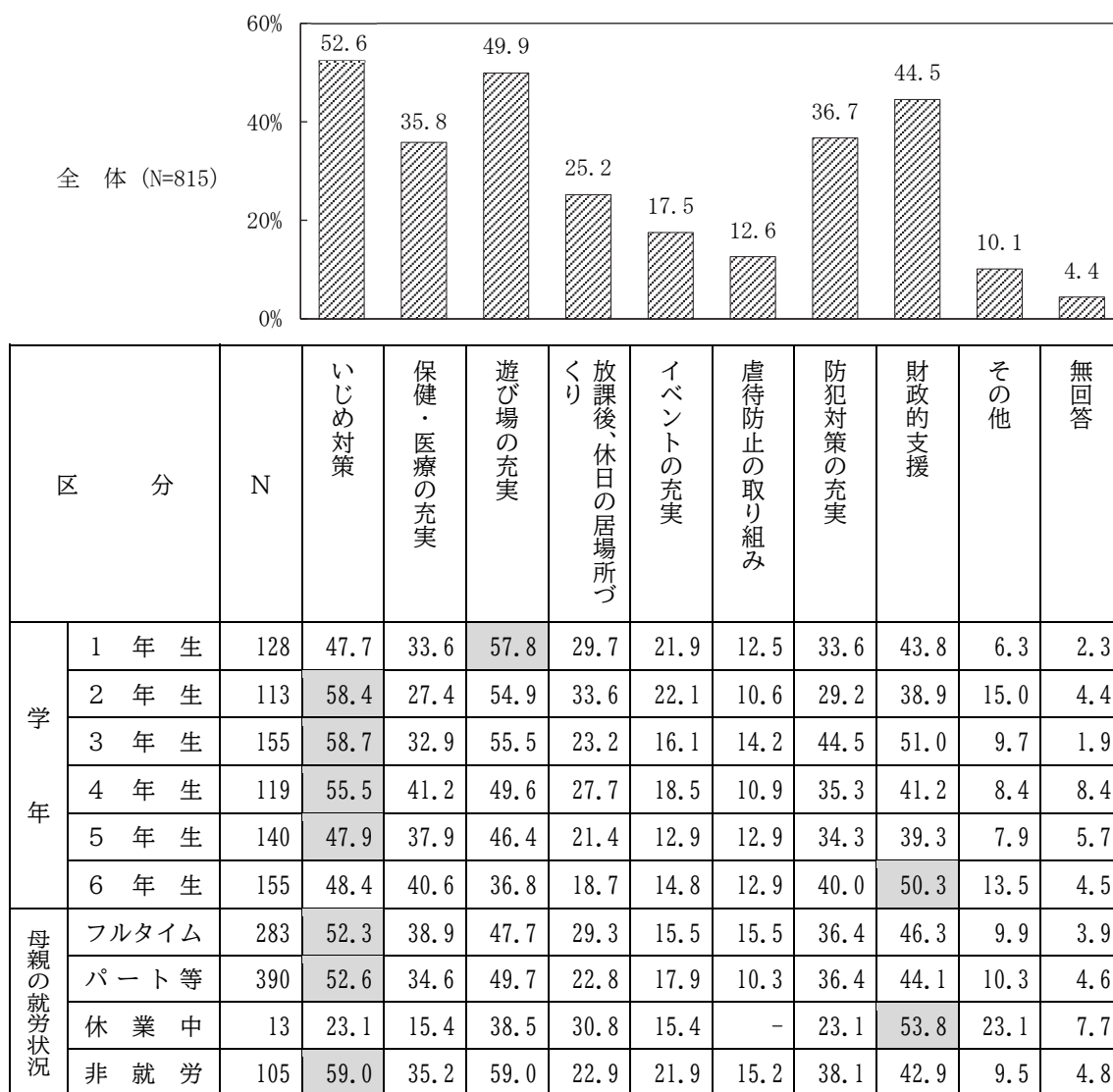
学年別にみると、2～5年生は「いじめ対策」が最も高く、1年生は「遊び場の充実」、6年生は「財政的支援」が最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、休業中以外は「いじめ対策」が最も高く、休業中は「財政的支援」が最も高くなっています。

施策の具体的な内容として、図表2-76の内容が記載されていました。

図表2-75 重点的に取り組んでほしい施策（複数回答）

単位：Nは人、他は%



図表 2-76 重点的に取り組んでほしい施策（具体的内容）

区 分	具体的内容
遊び場の充実 (公園等)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない。公園や遊び場を増やしてほしい（7人） ・近所に子どもの遊び場がない ・公園、ボールを使って遊べる広場があるとよい ・遊びやすい公園がほしい ・ボールを使って遊べる場所が少ない ・公園等、児童館以外、外で安心してあそべる場所を作してほしい ・公園等子どもの遊ぶ場所がない ・公園の整備、予算はどこもないが民間への協力、依頼 ・公園は草だらけ遊具も少なく遊ぶには大きい所だと混む ・運動施設（陸上競技場）の充実 ・安全に遊べる場所がもう少しあると良いなと思う ・心を開放できる空間づくり、吐き出せる場所、カウンセラーとの距離を縮める ・子育てと仕事が、もっと両立しやすい制度 ・子どもが遊べる施設の充実 ・子どもが遊べる施設を増やしてほしい ・子どもだけで遊べる安全な場所 ・子どもの遊べる公園が少ない（無い）（本郷地区） ・楽しい公園の少なさ。老人優先の町にしか見えない ・地域の公園が少ないので、子どもが放課後遊べる公園が増えたらいいと思う ・地域の小さな公園の遊具は危険がたくさんです。新しいのにかえていただきたい（藤代） ・近くに公園があるが、近所の方からうるさいと言われ、外で遊べない ・近くの公園で遊ぶと「うるさい」と苦情を言う大人がいて子どもたちは安心して遊べない（池野駅前ミニ公園） ・近場に遊び場がない。近所で遊んでいるだけで近所の人に怒られることがあり…かといって近くに遊ばせる場所がない ・遊具を増やしてほしい ・ボールで遊べて、自由に走り回れる公園や広場が沢山ほしい ・昔はもっと公園があった。どんどんなくなっている ・古い公園を新しく ・バスケットコートを作してほしい ・バスケットゴールやサッカーゴールが少ないので外で遊べる場所を作してほしい。小学校の運動場等でもありがたい ・コロナ初期、大人は外に出ているのに公園は立ち入り禁止。子どもの楽しみを奪って自分たちだけ楽しんでいる大人って何なんだ ・池田山でもっと遊べるアスレチックやイベントがあるといいなと思う ・遊べる所が少ない。トラブルの陰湿さがこわい
児童館、居場所の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜にも児童館を利用できたら助かります ・宮地は児童館がないので屋内で集まれる場所がほしい ・児童館の夏まつりは子ども目線でとても喜んでた。各教室（公民館での）もいろいろ企画ありがとうございます。子どもが楽しめるイベントが多いと魅力的だと思います ・児童館の夏祭りが子ども目線でとても喜んで帰ってきた。ありがとうございます。子どもが楽しめるイベントが多いと魅力的だと思います ・児童館の利用時間を長くしてほしい（日曜もやってほしい） ・児童館を年中無休（年末年始以外）にしてほしい ・祝日が仕事の親もいるため何か居場所があるといい ・働かなければ生活できない。放課後過ごせる場所が必要。高学年になっても自宅で子だけで過ごさせるのは不安しかない

<p>児童館、居場所の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・塾に通う代わりに放課後などに学校で分らない学習を教えてもらえる場所があったら…と思うこともある（先生ではなく、大学生や退職した方々に） ・中学生の放課後の居場所 ・学校以外の居場所。フリースクール（2人） ・寺子屋
<p>スポーツ、イベント等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活に代わる地域スポーツ活動。指導者の充実(きちんとした報酬を与えて仕事としてやってもらえると良い) ・池田町のスポーツ少年団のコーチ不足について危機感を持ってほしい。子どもの親がコーチをやっているスポーツが多いです。ですが子ども数も少なくなり、この先コーチが不在でスポーツができなくなることが出て来そうで心配です ・スポーツ少年団のコーチ不足について、もっと向き合ってほしい。子どもがスポーツを学びたくても、コーチがいなければできません。この先のことをもっと考えてください ・少年団、部活動に対しての活動支援、ボランティア人員増、保護者の負担が多く。スポーツを諦めさせるしかない ・池田っ子チャレンジ教室の内容をもっと増やしてほしい。運動系や合唱関連 ・今は冷暖房が学校もあたり前となり、長期休みの親の負担が大きい。休み明けのたるさなど。休みを減らし、学校での寺子屋的な学習場、交流場を作ってはどうか。電気代や家庭負担の減少になると思うし子どもたちも友人に会えて過ごすほうがよいと思う
<p>学校・教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のスキル向上 ・常時参観 ・引っ越してきたばかりですがあまり先生がいないとよく聞きます。子どもの人数が少ない分関わる時間が多いです。良い先生を増やしてほしい ・中高生の学習に関する支援 ・PTA組織のあり方を教育委員会で検討願います。共働きで役員に当たることが母親にとって苦痛です。役にできるのは9割以上が母親です。大体どの親もそう言われます。進んで引き受けて下さる方はごく稀です。PTAでなくても子どもの学校生活に親として協力できる方法は他にもあると思います。財政的支援も大切だと、喜ばれる方も多いとは思いますが、役員の負担がなくなると心理的にも時間的にも余裕があると思います。小さな子どもを家に残して役員会に夜学校に行き、仕事を調整するのは負担です ・学校にいじめ・嫌がらせについて相談しても話を聞いて指導しました風で終わってしまう。学校外部に繋がる専門の方の常駐、または、教育委員会へ話しやすい仕組みづくり ・いじめ、学校内での犯罪防止のため学校内の防犯カメラの設置 ・いじめをする子は再教育をちゃんとしてほしい ・家庭やいじめられている子本人へ任せすぎ。いじわるをしている側へ厳しく指導すべき ・授業、学級の中を異常に乱す子どもは、同じクラスにしてほしくない。通級や特支の支援レベルの子が通常のクラスにいるのは、どうしてなのかな？ と参観等で、そういう子を見かけた時に疑問に思った ・特にいじめ問題をもっと深刻に考えてほしい。(学校以外のことも含め)
<p>放課後児童クラブ（学童保育）の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生から学童を利用できなくなったことが理解できない！ ・小学校高学年になった際、学童には入れるようにしてもらいたい（不安があるため） ・高学年から学童に入れなくなる（本人が行きたがらない？）と、自宅に残すのが不安なので、放課後学習やスポーツができるような大人の目がある場所があると良い(子どもだけだとめ事も心配なので)
<p>防犯・安全対策の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない。街灯を増やす（4人） ・朝や帰りの登下校の見届けが難しい（帰りは学童だがゆくゆくは下校させたい）。防犯や安全対策が充実していると安心できる ・夜は暗くて歩けない ・通学等で自転車を使用するが、道路が整備されておらず不安。危険だと思っている ・今は、共働きの家庭も多く、子どもと過ごす時間が少なく、心配なことも多いので、防犯対策を充実してもらえると安心できる（交通安全等も）

	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間のパトロール ・下校時に1人になる子もいるため、そのような子が1人にならないよう見守りをする方法が何かあるとよいと思う ・下校時の横断歩道等、特に危険な所の見守り者を増やしてほしい。(ボランティアでなくて、賃金が発生してもしっかり見てもらいたい) ・下校時の児童の見守り、ひとり親(要支援)家庭への積極的な関わり ・地区の児童数が少ないため防犯対策してほしい ・監視カメラ、大学の授業料などへの無利子の奨学金制度 ・通学時にボランティアの人がついてきてくれるときもあればないときもある。ないなら教えてほしいし、遠いので1年生を一人で歩かせるのは親としてとても不安です ・通学中に事が起きやすい印象。その改善? ・通学路、横断歩道の信号設置 ・通学路に防犯カメラを設置してほしい(不審者対策)。安心安全に子育てができる町づくりをしてほしい ・通学路の危ない交差点に横断歩道がほしい。もしくは信号機 ・通学路の歩道が必要です ・登下校時に仕事等の都合で見守れない親の代わりに見守っていただいて、道の危険個所の見直し、改善をしていただけると嬉しいです ・登下校の見守り、特に下校時間 ・登下校の見守り ・パトカー等によるパトロールを増やしてほしい。防犯カメラ等も増設。今後カギっ子になったときに、1人で長い時間家に居させるのは不安。街灯も増した方がいい ・変な人が多い世の中になってしまったので、子どもが安心して登下校、公園で遊べるようになってほしい ・防犯カメラの設置。劣化している塀や建物の撤去 ・家の近くの空き家があり、衛生的にも犯罪の面でも、小さい子がいるので心配です ・子ども達が安全に登下校できる様に街灯や信号機の設置をしてほしい。
福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・学校等と役場の職員の方の意見をしっかり合せてほしい。対応が雑すぎる。知識のなさで物を言い、「育てにくい子」などの差別用語を専門用語のように今でも使っている健康福祉課の女性がいる。言われてびっくりした ・保育士さんの給与を上げていただきたい。先生方にはとても感謝しているので ・保育士のスキルアップ(公立、私立共に) ・虐待のニュースを見る度、胸が痛みます。子どもを守れない親から守ってほしいです ・ひとり親への支援が弱い ・母子家庭に金銭的支援をもっとしてほしい ・母子家庭の人の状況をわかってほしい
医療・保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に小児科専門機関があるとよい(2人) ・小児科がない。産科など子どもの病院がないのでつくってほしい ・皮膚科がない。皮膚科をつくってほしい(2人) ・町内に皮膚科ができてほしい。現在は、遠方の皮膚科に行かなくてはならず、非常に不便を感じています ・病院が少ない。小児科、ひふ科が少ない ・コロナのワクチン接種の枠が少なくて予約が取れずに打てなかった。大人は打てても子どもに打てない理由がわからない
財政的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇時の食事。水道代の無料化。給食費の無料化 ・医療費の無償の期限延長 ・インフルエンザワクチンの助成は助かりました!このような政策をお願いします ・英検の補助金を高校生迄延ばしてほしい。道路整備 ・学費(進学への支援)

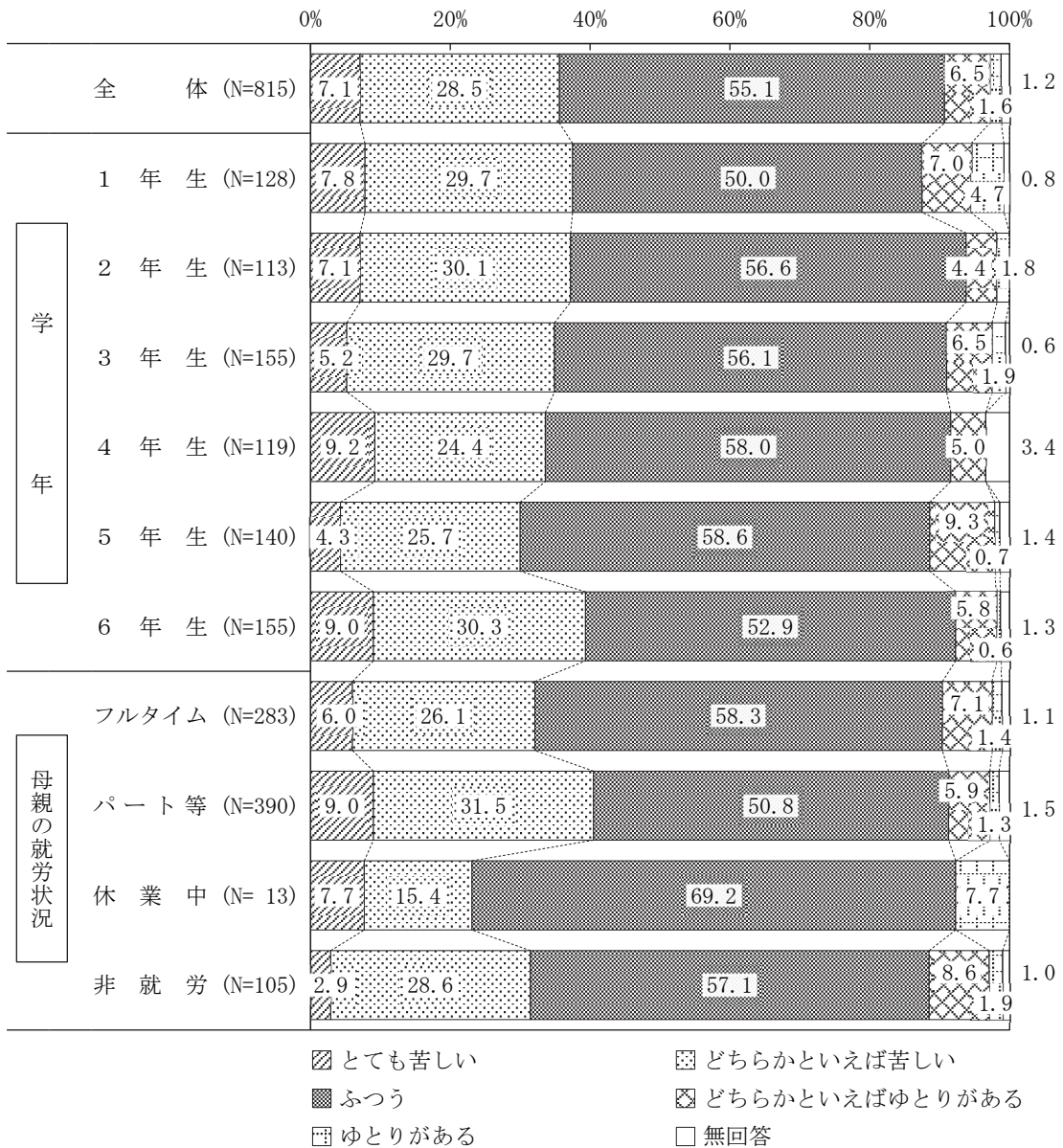
<p>財政的支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学費・給食費無料化 ・給食費の無料がありがたかったので今後もお願いしたい ・給食費無償はとてもありがたいです。医療費も高3迄無償を続けてほしいです ・給食無料とても助かっています。続けてください ・教育費の負担を軽減。高校の無償化など。私立だと所得制限で何も補助がなく大変 ・高校、大学などの授業料の支援 ・子育て支援に力を入れてほしい。特に財政面 ・子どもが多いほど、何かしら金銭的援助がほしい ・子どもが多いほど何かしら援助ほしい ・子ども手当の金額アップ ・子どもの数に応じての金銭的支援 ・子どもは大きくなるほど出費が増えるため ・子どもへの補助金を増やしてほしい。制服、学用品、学費など ・子どもが大きくなるとお金がかかるが、小さい子もいると働きたくても働けないから・出産祝金等、出産に関しては改善され財政的支援も増えたが、小学生・中学生はさらに金銭的に負担が増えた。夏休み中の水道代無料化等、給食費の無料化等 ・生活・学習に関わることを金銭的に充実させてほしい。医療費など経済面の充実(給食費無料は助かりました)。教員数・保育士増員希望 ・低所得だけでなく、中間層にも支援してほしい ・物価が上がっているので生活がきびしいです。子どもに習い事もたくさんさせたいので、お金を配ってほしいです ・子どもが大きくなるほど食費、塾等の学習費が増える。子ども手当等を継続してほしい ・無償化 ・年収制限をなしにしていきたい ・高校以降の授業料の支援・免除、国の3人目世帯のうち3人全員は不公平。3人目からなら分かるが、2人世帯は損。不妊で1人しか授けられない人もいる ・国は第3子ばかりを支援しようとしている。子ども2人の家庭も余裕はない。子ども人数に限らず子育て支援をしてください！ ・子ども1人にかかる金額が多いので少しでも補助してほしい ・子ども3人育てていくには、教育資金がとてまかかります。子ども達に格差が生まれないう様をお願いしたいです ・子どもを育てる環境は同じであるため、収入に応じて(高所得者など)差をつけることはやめてほしい ・低所得に入らないが、所得が減って物価も高くなっているが全く支援がない。高い税金ばかり払っている
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・揖斐川町みたいに海外への短期ホームステイの機会があるといい。池田町が支援してくれて、子どもの経験を増やしてあげたい ・母親世代の(消防・役員等)行事の削減 ・不登校、通勤に関わる住居確保(単身になった場合、母子が残された場合) ・ネットワークIT、パソコン環境の充実 ・もっと子どものことを考えて見てほしい ・問題だらけの池田町、町長、議員…不信感です ・老人より子どもに！ 団塊をみるのは若い子だ ・池田町の長期的な少子対策や子育て支援の計画をもっと町民に伝えてほしい ・そもそも子どものことを考えていない ・収入アップ ・労働賃金の改定 ・現在の状態で満足しています(2人)

13 生活の状況等

(1) 暮らしの状況

現在の暮らしの経済的状況をどのように感じているかたずねたところ、「ふつう」が55.1%を占めています。「とても苦しい」「どちらかといえば苦しい」を合計した<苦しい>は35.6%、「どちらかといえばゆとりがある」「ゆとりがある」を合計した<ゆとりがある>は8.1%です。<苦しい>は、学年別の6年生、母親の就労状況別のパート等が39~40%台と高くなっています。

図表2-77 暮らしの状況



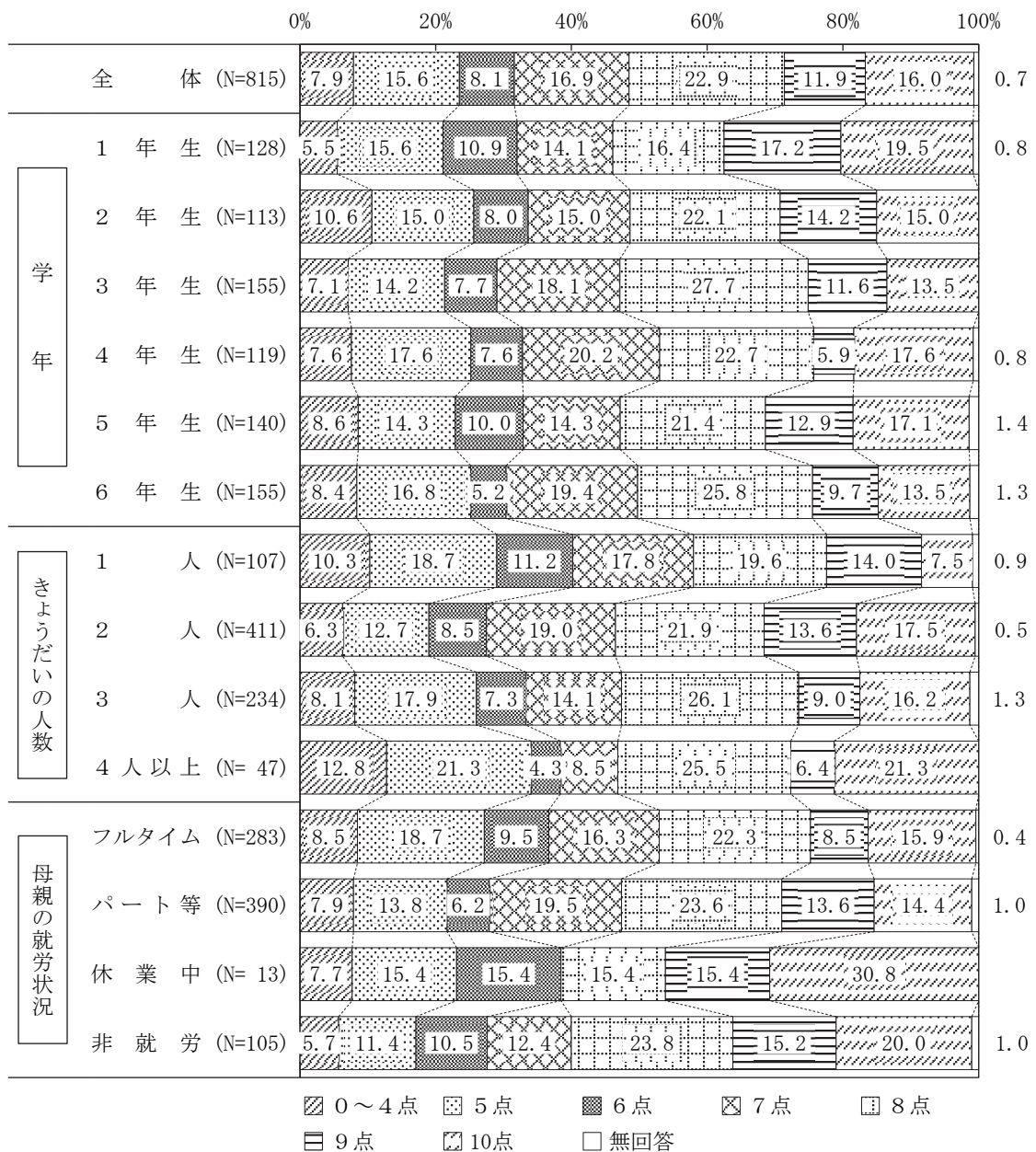
(2) 幸福感

図表2-78は、「あなたは、現在どの程度幸せですか。『とても不幸』を0点、『とても幸せ』を10点として、ご記入ください」という主観的な幸福感を問う設問に対する回答です。

「8点」が22.9%と最も高くなっています。仮に<幸せ>を6点以上とすれば、<幸せ>は75.8%、7点以上とすれば67.7%となります。5点以下は23.5%です。

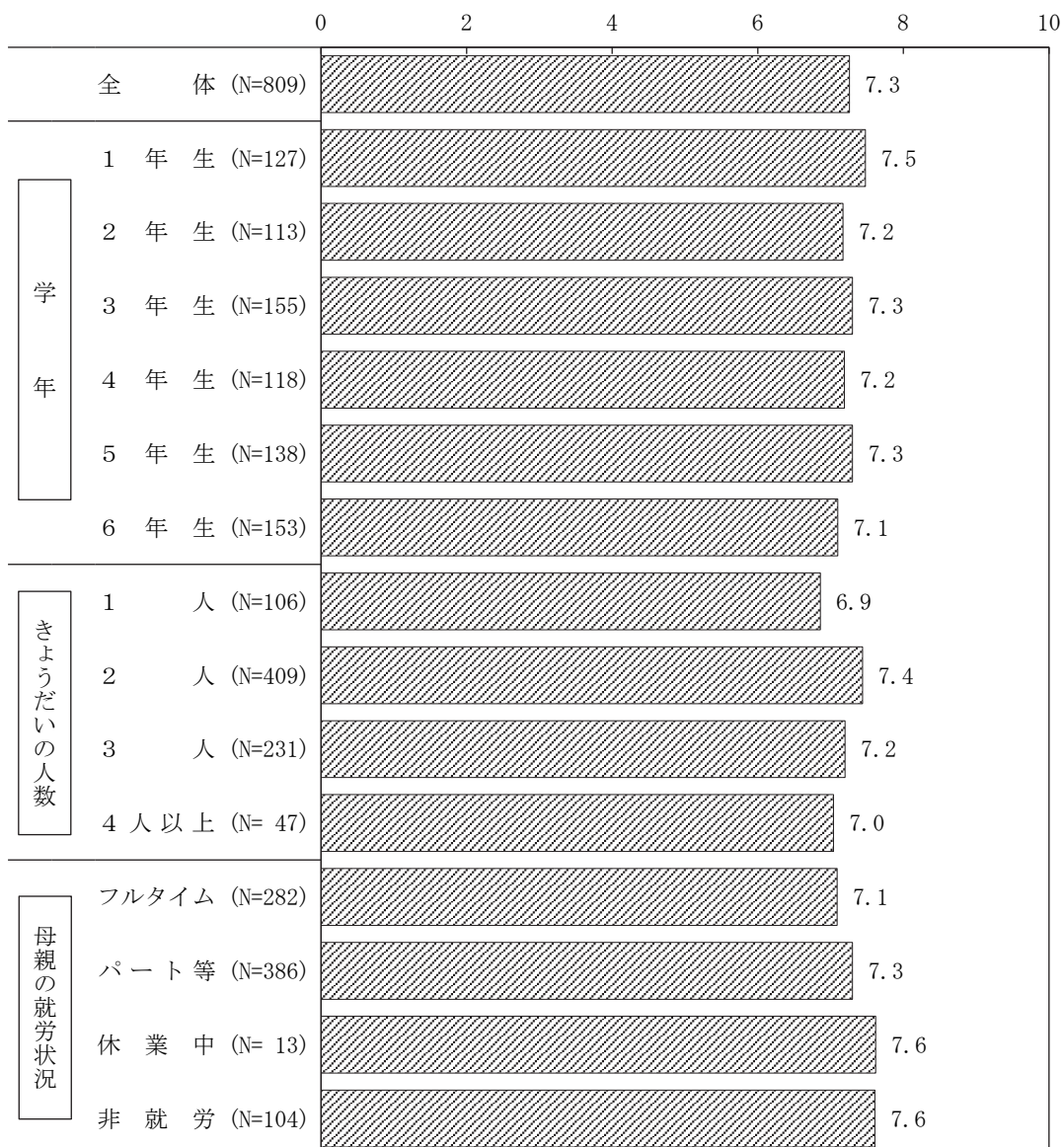
母親の就労状況別の休業中は、「10点（とても幸せ）」が30.8%と他に比べて高くなっています。

図表2-78 幸福感



幸福感を平均点で見ると、全体では7.3点になっています。平均点が高いのは、学年別の1年生、母親の就労状況別の休業中、非就労で、7.5点以上です。点数が比較的低いのは、学年別の6年生、きょうだいの人数別の1人と4人以上、母親の就労状況別のフルタイムで、6.9~7.1点となっています。

図表2-79 幸福感の平均点



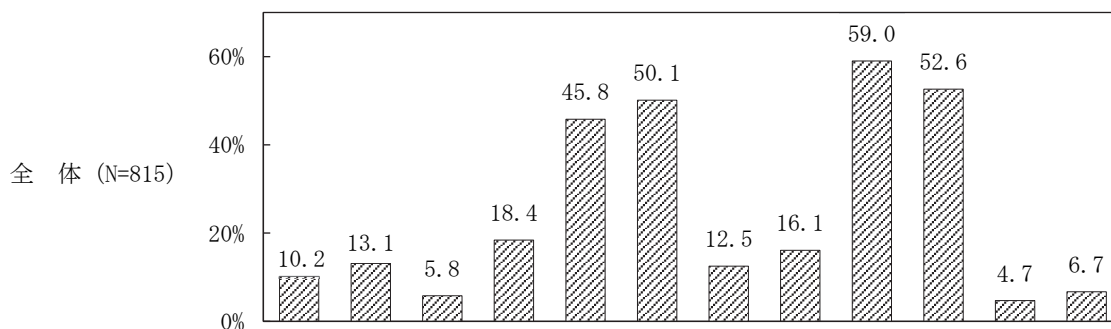
(3) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関連して、起きたことや困ったこととしては、「こども本人が感染した」が59.0%と最も高く、「同居家族が感染した」「家族・友人などに会う機会が減った」も50%を上回っています（図表2-80）。

「その他」として、図表2-81の内容が記載されていました。

図表2-80 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答）

単位：Nは人、他は%



区分	N	子ども本人が感染した	同居家族が感染した	家族・友人などに会う機会が減った	外出の頻度が少なくなった	クラブ活動等ができな い、しづら い	放課後児童クラブが利 用できなくなった	検査やワクチンを受け るのに苦労した	子どもが精神的に不安 定になった	その他	無回答		
		学年											
1年生	128	5.5	7.8	5.5	12.5	49.2	49.2	15.6	16.4	64.1	54.7	5.5	3.9
2年生	113	11.5	15.0	5.3	11.5	50.4	63.7	10.6	11.5	60.2	48.7	6.2	7.1
3年生	155	12.9	12.3	7.1	16.8	45.2	52.9	16.8	16.1	62.6	60.6	3.2	5.2
4年生	119	8.4	16.0	5.0	16.8	44.5	47.9	15.1	14.3	60.5	52.9	6.7	10.1
5年生	140	10.0	11.4	6.4	25.0	46.4	44.3	8.6	17.1	52.1	45.7	2.1	7.1
6年生	155	11.6	15.5	4.5	25.8	40.6	44.5	9.0	19.4	54.8	51.6	5.2	7.7
母親の就労状況													
フルタイム	283	8.5	9.5	10.6	21.9	39.2	47.0	10.6	14.1	59.4	51.2	5.3	6.0
パート等	390	12.1	14.9	4.1	19.2	47.7	50.5	16.7	19.7	60.5	56.4	5.4	6.2
休業中	13	-	15.4	-	23.1	46.2	53.8	23.1	23.1	69.2	76.9	-	-
非就労	105	8.6	17.1	-	7.6	56.2	55.2	2.9	8.6	52.4	42.9	1.9	9.5

図表 2-81 新型コロナウイルス感染症の影響（その他）

- ・ 夫が単身赴任のため、自分が感染したときに、熱があり体調が悪くても子どもの食事等、家事、育児をしなくてはならず、大変であった（2人）
- ・ 小学生以下の予防接種日が限定されていて受けづらい。授業が遅れる、親の仕事の都合で翌日の副反応が心配で思うように接種できない。長期休暇、金曜日、夕方の時間帯等が受けやすい家庭が多いと思いますが
- ・ PCでのオンライン授業で助かった部分もあるが、現在休んでも使われないのが不満である
- ・ 池田町の物資提供を受けましたが、肝心な食料とかがなく、割りばしやプラのスプーンやフォークをもらっても嬉しくなかった
- ・ お陰様で、特にない。マスクは大変だった
- ・ 夫が家で仕事をできるようになり1人の居場所や時間がなく(子どもも学校、幼稚園が休みになり)精神的に辛かった
- ・ 学校、保育園が休みになり、実家に子ども達を預け、仕事に行った
- ・ 学校が休校になり仕事は休めないが子どもだけが家にいて困った
- ・ 学校等の行事が減って、子どもが残念そうだった
- ・ 感染した人が気まずい雰囲気になることがどうかと思った
- ・ 感染者を町内放送やHPで公表されたが、具体的過ぎて、とても不快
- ・ 気にしてない
- ・ 休校中、母子喧嘩が絶えなかった。
- ・ 経済がとても不安定になった。社会のあり方が変化した
- ・ 健康な子ども達がいつまでもマスクをしていること
- ・ 子ども同士で遊ぶ機会がほとんどなかった。マスクで顔が見えず、表情がわからない
- ・ 子どもの活動が制限された。研修や修学旅行が縮小された。マスク生活を強要された
- ・ 子どもを部屋に隔離するのが、お互いにすごくストレスだった。他の同居家族にうつさないように、とてもピリピリしていた。2度と感染したくないです
- ・ コロナ対応をしていたとき（病院）疲れた
- ・ こんな質問をまだすること自体がナンセンス。もう終わったことを蒸し返さない方がいい
- ・ 仕事が忙しくなった
- ・ 仕事を休むと収入が減ってしまうので苦しいです
- ・ 持病の治療が遅れた
- ・ 自分も感染した
- ・ 自分も職場から感染したため
- ・ 消毒など気にすることが増え心が疲弊した
- ・ 少しの体調の変化に敏感になるようになった
- ・ 祖父母が感染が怖いからと子どもを見てもらえず役場に放課後児童クラブを利用したいと相談したが、何で確認したのか「近くに身内の方がいますよね？ 協力してもらってください」と断られ、放課後児童クラブが利用できない、仕事ができない状況となった
- ・ 他人との関わり方が変化して、なかなか以前のように戻らない
- ・ 父親が異常に厳しいため、家庭内がほぼ崩壊。子どもも父親を嫌って現在も続いている
- ・ 濃厚接触になったことを役場に相談（言わなければいけないときだったので）したらその対応の人が、自分の子ども、友人に広めてその人たちやSNSで誹謗中傷をうけた
- ・ 母が医療従事者のため、予防でピリピリしている。感染すると怒ってしまう
- ・ 人との繋がりが希薄になることで子どもが学校や分団に慣れるのに時間がかかった
- ・ 病院で陽性が判明しても、スマホで登録し、何の支援もなく、家族全員にうつり、買い物にも行けず、すご〜く困りました
- ・ 病気に対しての周りの方の目が気になるようになった
- ・ 病児サービスを利用していたが、コロナで行けない。病院へ行って利用する手間が多く気軽に行けない
- ・ 本来体験できることができなくなった。友だちとの距離を気にして、思いっきり遊べない

14 意見・要望等

(1) 子育て支援全般

- 3人子どもがいてかかる子育て費用は同じなのに、同時に在籍していないと減るおかしな制度をどうにかしてください。仕事も子育ても大変なのに年子で産めと…？本当にひどいと思います。(5年生)
- 所得制限をなくしてほしい。(3年生)
- 1番は、生活が苦しい。物々交換等、あったらと思う。フリマ(服、子ども服、日用品、靴)が年に3回あったらと思う。(3年生)
- 池田町は子育てしやすい町だと思います。最低でも現状維持して頂けたらいいなと思います。(6年生)
- 少数の意見にも目を向けてほしい。多数決ならいつまで経っても子育て支援を必要とする人が支援されない状況になると思う。(2年生)
- まだ子育ての途中ですが、子どもが生まれてから恵まれた環境で子育てでき、いろいろな方から支援を受けて今があることはありがたく、感謝したいと思います。今後自分の子どもが子育てする頃も沢山支援が受けられる世の中であってほしいと願います。(孫育てにも恵まれます様に…。)(3年生)
- 学校やクラブ活動もたくさんの苦勞と先生方のがんばりでなり立っていることがあるので感謝すると共に、また、学校と子どもの関係もかわってきているように感じます。それは家庭と子どものあり方もそうです。児童館の先生に対する言葉や態度のよくない子がいます。注意しても無視。親が大人になりきれず放置してしまっているところもあります。今一度見直すことが必要では？ 家庭に向けて、行政から「社会に出たら必要なこと」として、言葉の使い方大事、態度大事って発信していただくこともしていただけたら、情けないですが必要なかな…と感じます。(3年生)
- 子育てアンケートに幅があり過ぎです。小1～小6年生では生活も違ってきますし、こうだった、こうしてほしい声はもっと前から聞いてほしかったです。コロナになって中1の子がいる家庭は学童に預けられませんでした。就労先にも苦勞しました。どの家庭にも平等とは行きませんが、何が必要なのかを考えてもらいたいです。未来ある子ども達が幸せになることを願って作っていくのが大人の責任ではないですか。(6年生)
- 私たちが子を出産してからさらに子育て支援が拡充していることに素晴らしいなと思っています。これから産まれてくる子どもたち親の方々にさらによりよい環境にな

っていくことを望みます。給食費の予算を上げてほしい（物価高騰で大変な中、子どもたちにたくさんよいものを食べてほしい）。学校でお湯が使用できるようにしてほしい。長期休みの学童の弁当提供（有料、希望者のみでも）。（3年生）

○自分は恵まれていると思っていますが、同じ様に子どもの友だちもそうかと聞かれるといろいろあると思います。子どもの格差がない町にしていきたい。（5年生）

○選択にあるほどの支援も無いため、日にちや時間が合わず諦めている。あきらめているうちに子どもも大きくなり必要がなくなる。（6年生）

○池田町内にある園や学校だけでいいので、入学式と入園式、卒業式と卒園式等のお祝い事の日程が一緒にならないように調整をしてもらいたいです。（お願いの相談先が間違っていたらすみません。）（1年生）

○明石市を参考にしてほしい。（3年生）

○幼児・未就園児に対しての子育て支援は改善しているように思いますが、小・中学生の子育ては楽にはならず、別の意味で時間もお金も手もかかります。小・中学生の支援を手厚くしてほしいです。（6年生）

○幼児・未就園児に対しての子育て支援は手厚くなったと感じますが、小・中学生の子育ては別の意味で手がかかります。子どもが大きくなるにつれ、支援が薄くなっていくように感じます。（4年生）

○女性も男性も部分休業（時短勤務）が取れる職場を推進してほしい。（1年生）

○池田町は住みやすくとてもよい町だと思います。イベントも積極的に開催されていて、よい町づくりを意識していることが伝わって来ます。親はフルタイム等、共働きでストレスが溜まり易いので、子どもだけでなく、親のリフレッシュできる場所や相談できる人がいるとよいですね（土、日、祝等）。（2年生）

○保育士の質をあげてほしいです。安心して預けたいので。（6年生）

○ベビーシッターやトワイライトステイというものがあることをこちらで初めて知りました（子ども食堂・寺子屋も）。もう少し広めてもらえるといいと思います。（2年生）

(2) 放課後児童クラブ

○6年生まで学童を利用できるようにしてほしい。子どもだけで留守番させないといけないのは不安すぎる。利用金額が上がったとしても利用するので大至急何とかしてほしい。（2年生）

-
- フルタイムで働いていると、放課後、子どもだけで留守番になってしまうため、できれば送迎付き(家から施設まで)の放課後預かってもらえる場所があるといいです(帰りは迎えに行けます)。(5年生)
 - 夏休みや冬休みの児童クラブの利用ができないため、日中1人で家で過ごさせることに不安を感じる(近隣に頼れる大人はいません)。長期の休みのときだけでも利用ができるようにしてほしい。(5年生)
 - 学童夏と冬休み、スタート時間遅く使いにくいです。(4年生)
 - 放課後クラブがあるから、仕事が続けられています。先生方も温かく子どもも喜んで行きます。6年生まだ利用したいです。女の子なので1人にするのは心配です。長期休暇は7:30始まりにぜひしてほしいです(全て)。これで子ども1人にせずに済みます。よろしくお願いします。(3年生)

(3) 保健・医療

- 子どもが休日や夜中に熱やケガをしてもすぐに行ける病院がない。休日診療の当番のところに行っても子どもを診られる先生がいらない。急に預けられる場所がほしい。(2年生)
- 小児科だけの病院・クリニックもあったら嬉しい(病院の待ち時間が長すぎる)。(4年生)
- 町内に優れた病院が少ない。
- 予防接種(子ども・大人も)インフルエンザは一回目接種を無料にする。大人も1回目は助成してほしいです。子どもが感染してしまうと特に母はうつる可能性大です。なのでこんなにも感染が広がると思います。その点神戸町はそういったのは充実していると思う。大人は3,500~4,000円はするので打つのに少し考えてしまいます。もっと気軽に摂取できるように…。(3年生)

(4) 児童館・図書館

- 八幡児童館はきれいですが、外に出て遊べる場所がないので残念です。(3年生)
- 児童館の先生たちは頑張ってくれていますが態度の悪い子もいます。何回言っても変わらない子もいます。学校ももう少し連携をとったりして親御さんに指導していただく必要もあるのでは? と思います。(1年生)
- 図書館の利用時間が短い。(4年生)

(5) ひとり親家庭への支援

- 一般家庭と母子家庭を一緒にしてほしい。(6年生)
- 母子家庭ですが(別居中)6年生でも学童に入らせてもらえて校区外からも通学を許可してもらえて大変ありがたかったです。全体的な対策も必要ですが個々の事情やニーズに応じて柔軟に対応していただけるととても心強く、子育てや仕事にも前向きに取り組めます。(6年生)

(6) チャレンジ教室、イベント

- 子どものチャレンジ教室など、土・日曜日の午前や昼頃なので、参加したくても少年団があって参加できない。15:00頃から始まるとありがたいです。(2年生)
- 子どもが参加できるイベントは日曜にしてほしい。祝日は仕事のため、参加できない。(4年生)
- 子ども同士で楽しめるイベントが多いと喜びます。(5年生)
- 親から離れて子ども同士で楽しめるイベントがあると、行かせてみたいです!(3年生)
- 池田っ子チャレンジ教室、美術、芸術等を増やしてほしいです。(1年生)

(7) 障がいのある子ども等への支援

- LD(学習障害)に特化した療育があるとありがたいです。(5年生)
- 校区外にしか特別支援級が無いので、送り迎えが必要。学童を利用したくても発達っ子にはハードルが高いです。しかし、発達支援はとても充実していると思うのでとても感謝しています。(1年生)
- 障がい児(発達障がい)のショート利用ができたらいいなと思います。池田町では本当に緊急性がない場合しか利用できないようで、他の市町村ではもっと手軽に利用できる所もあるようです(羽島、養老)。子どもは軽度なので、今の所必要ないですが、軽度の診断でも本当に困っているような家族さんもいるので利用できたらと思います。(お母さんが疲れ切っている。放デイでは補いきれていない様子。)(3年生)
- 障がいのある子の子育て支援を充実させてほしい(特別扶養児童手当の支給)。(1年生)
- 発達障がいに関する支援について、こちらから言わないと何も教えてくれないしいつも役場の人はえらそうに言うか見下した態度をとる。不安があっても相談「しにくい」

じゃなく「したくない」になる人ばかり。お金も取り立ては早いのに振り込みは平気で遅れる。(4年生)

(8) 公園などの遊び場

- ちょっとした公園ですらない地区もあるので、もっと公園を増やして散歩がてら行ける様な環境を整えてほしい。(2年生)
- 公園をもう少し増やしてほしいです。放課後遊ぶ場所がなくて危ない。(3年生)
- 公園をもっと増やしてほしい。あとちょっと子どもと食事を外でしたいのに飲食店が少ない。もっと走り回って遊べる場所を作ってほしい。(1年生)
- 公園等、子どもが遊べる場所を充実してほしい。スポーツ公園は交通量の多い道を渡る必要があるため、子どもだけで行くのは心配。(3年生)
- 広い体育館・運動場のある施設がほしい(雨天でも子どもだけで遊べる場所)。高校・大学・専門学校など、大きくなってからの負担が多いのでそこから安心して生活ができる町なら住み続けたいと思うし人も増えると思う。子どもを産み育てたい町のモデルケースとなるような他がやったことのないことを試してみたいかがでしょうか。(1年生)
- 子どもが遊べる公園がなさすぎる。(4年生)
- 子どもがいることはとても幸せに感じている。ただ、地域の公園をなくしたり、感染を理由に祭りを中止したり、子どもの楽しみはなくし、高齢者ばかりが得をしている。あれもダメ、これもダメ、子どもは生きづらい。(2年生)
- 子どもが遊べる室内施設を作ってほしい。(1年生)
- 子どもが喜んで遊べる公園が少ない。(1年生)
- 子どもたちがもっと自由にのびのび遊べる場所がふえるとよいなと思います。(5年生)
- 子どもの遊ぶ場所が少ないので増やしてほしい。(3年生)
- 子ども向けの施設がなく、他の町・市へ行くことになる。池田町周辺の町に新しい公園が増えています。子育てに力を入れている町には思わないです。(1年生)
- 子どもが安心して遊べるところを作ってほしい。公園や屋内施設等。(3年生)
- 身近に子どもが鬼ごっこができるような公園があればいいなと思います。(3年生)
- 地区の公園の整備をしてほしい。(草抜きが大変。手洗場が無い。遊具が古い。)(2年生)

-
- スポーツ公園のリニューアル、もっと魅力的な公園にしてもらいたいです。(1年生)
 - 池田町の公園は老朽化が進み、子ども達が遊ぶとなると、神戸や本巣や穂積等の大きな公園に行きたがるので、広い敷地を有効活用していただきたい。(3年生)
 - 池田町の公園をもっと充実したものにしてほしい。屋内のプールを作ってほしい。飲食店(ファミレス)を充実してほしい。(4年生)
 - 藤代の公園の遊具、サビや古さで子どもが来るのに結構危険だったりします。新しいものにしたりできませんか？(1年生)
 - 養老鉄道の東側に大きな公園がほしい。遊ぶ場所が少ない。(1年生)

(9) 教育・学校

- 行きあたりばったりの改革は、本当に勘弁してほしいです。活動面で楽しいことばかりを優先して、本来の生徒達に社会のルール、道徳、学習の習慣を身につけることを教えていかなきゃいけない…勉強は、義務教育卒業後にも進学したり、就職をして、社会に出てもずっと続いていきます。習慣づける練習が低学年(1,2年)で終わってしまう、温知小の方針は、とても心配です。新しいことをするから素晴らしい！ではありません。新しいことも必要かもしれませんが、従来通りの教えもきっと意味があると思います！(4年生)
- 小学校での給食がまたホールで全学年一緒に食べられるようになるといいなと願っております。池田町内でランドセル、カバンを統一できたらもっと良いと思う。給食費の負担が無いことはとてもありがたいです。(3年生)
- 学校の統廃合を進めたい！ 宮地小はもう限界だと思います。早く統廃合したいのですが…。なかなか話が進みません。(4年生)
- いじめで苦しんでいる子がいたら必ず寄り添って助けてください。(1年生)
- コロナ以外でも、インフル等の感染症の流行しているときは、学校でも手洗い、マスクの推奨をしてもらいたい。子どもは家で指示していても、周りがやっていないからと聞かないことも多いので…。小学生で喫煙の話を耳にしました。安心して子どもが育てられる環境になってほしいです。(3年生)
- タブレットが重く、登下校で持っていくのが大変です。40分以上かかる我が家の1年生はそのせいで歩くのを嫌がったりランドセルを背負おうとして倒れたり転んだりしています。(1年生)
- 配布されたタブレットの使用について。子どもの負担にならないように、使い方を見

-
- 直してほしい。(1年生)
- 学校から支給のタブレットが重すぎる。他の市町村のようにiPadやコンパクトになりませんか?(2年生)
- タブレットが重たいので軽いものに変えてほしいです。(5年生)
- タブレットを毎日持ち帰る様になり、子どもは更に重いランドセルを背負っていて、肩や腰、骨等身体的に不安なので考えてほしい。(3年生)
- ランドセルの重さを校長先生も理解しておらず、全体的にまだ古い。時代もいろいろ変わっているのに、中の人間が古ければ変わることはない。役場の人間、上の立場の人も古い。頭が固い人が多い。変えるには新しいことにも挑戦してくれるような人材が必要かと。通学路が遠いので、早くカメラ等をつけてほしい。(1年生)
- 安芸高田市長のように全小中学校にスタディサプリを導入してほしいです。学業に予算をたくさんかけていらしてうらやましく思います。同じ2万人ほどの人口の首長として池田町長にも同じ様に活動してほしいです。議会のYouTube配信も希望します。ケーブルTVは特定の人しか見られませんよね。(2年生)
- 学校の支援員の先生を増やしてほしい。カウンセラーの先生を常駐させてほしい。児童精神科の医師の診察が受けられるクリニックが近くにあるとよい。学習教材費の補助。中学校の制服代補助があるとありがたい。(4年生)
- 学校の先生方、児童クラブの先生方には日頃子どもの安全安心に生活できるよう見守ってくださいありがとうございます。(4年生)
- 学校の先生方の負担軽減が今より進めばもっと親身に余裕のある対応をしてもらえるのではないかと思います。また、子どもの登下校中や地区内でのトラブルや危険行為について学校では対応してもらえず、子ども会の役員の負担が大きくなっています。学校で対応しない方針であればそれに代わる所が早急にほしいです。各地区内でトラブルはあり、それぞれに困っています。(1年生)
- 教育相談のあり方が少し気になる。外部から相談員が来校して行われているのかと思ったら、担任が直接関わるという方法は、子どもにとって言いにくい場面があり、第三者の感じ方によっては、今の方法が正しいと思われたいのではないのかな? と思った。(6年生)
- 教員の働き方改革は理解できるが、子どものことについて聞きたいときに電話をしたいが、仕事後に電話をするため、担任の不在がある。また高学年になり、子ども達の中でいじめに繋がるような様子もある。常時フリー参観にし、保護者の目が行き届く

ようにすることで、教員も授業に専念しやすいかと思う。やらされる行事、参観でなく、いつもの授業の様子や主体的な授業、活動の姿の方が見たいと思う。いつもありがとうございます。(6年生)

○小学校の防犯対策。誰でも学校内校庭に入ってしまうのは、防犯としてはなっていないと思う。体操服への支援。(6年生)

○体を思いっきり動かせる機会が減っている。休み時間も短縮され、中学へ行っても部活動がなくなり、子どもたちはどうしたらいいか分からない。(6年生)

○池田町にフリースクールがあるとよいなと思います。(1年生)

○池田町のクラブ活動の制限を見直してほしい。家にはゲームが増えるだけでいいことはありません。(5年生)

○池田町の小学校(特に温知)ですが、宿題を廃止にして本当によいのですか? 温知小2年生の先生は、本当に勉強面でのサポートや生活面でのサポートが素晴らしいと思います。(ドリル、プリント、日記、タブレット) やっぱり親がやりなさい! と言うより、先生から宿題を出してもらった方がスムーズにやります。本人達の意味で学習させても楽な方へ進むだけで、学力向上に繋がるとはとても思えません。温知の教育改革により学力が上がったと言うのなら、学校だけじゃ不安だから塾等、習い事の方で補っている子が増えたからじゃないのでは…と思います。ドリルだけの勉強は確かに何回もやる必要はないのかもしれませんが、課題は、指定して出してほしいです。本当に低学年の先生方の指導が、親として一番安心です。(2年生)

○中学生、高校生になるために、買わなければいけない制服や、カバン等にかかるお金の負担が大きい。正直、子ども手当ては生活費になり、塾等に通わせる余裕はないが、小学校では「宿題」がなくなり、家庭学習はやらせるのが難しく、学力は低下していくと思うので、不安しかありません。(3年生)

○学校内のネットワーク環境があまりよくない(また、パソコンができない先生が多いため支援が必要だと思う)。国際的に目を向けて海外とネットワークでつながることも必要。体育館が古い、悪い。エアコンを入れることも必要だと思う。町内に温水プールがないのなら町外のプールへの補助があるといい。(6年生)

○町内の小学校が同じ中学に行くので家庭学習に差が出ないようなシステムにしてほしい。温知小の今のスタイルは個人的には好きだが、他の4校が定期的に宿題を出しているのもそれはちょっと公平ではないと思う。各学校それぞれの取り組みを大切にしながら重要な項目に関しては統一してほしい。(3年生)

-
- 放課後の遊ぶ時間を大野町のように長くしてほしい。(4年生)
 - 役員の会議で本当にやる必要がある会議なのかよく考えて開催してほしいです(無駄な会議はなくしてほしい)。学校の先生方は仕事が多く大変だとは思いますが、いじめ対策などももう少し学校主体でやってもらいたいと思います。(6年生)

(10) P T A ・ 子ども会等

- P T A ・ 子ども会 ・ 少年団 ・ 地域の役員等、共働き世帯 ・ 子どもがいる世帯の減少で負担が分散されなくなっている。コロナでなくして支障のなかったものはなくしていけばよい。親になることで負担が増えるなら子どもは増えない(産まない)。お金をばらまくより負担減に目を向けた方がよい。学校の隣に第三センターを作り、習い事 ・ スポーツが学校帰りにできるようにする。(3年生)
- 子育てと仕事で毎日手一杯。それプラス子ども会やP T Aの役のことまで考える余裕がない。子どものためにとと思うのだけど親はいやいややっている。負担になっている。不安しかない。(1年生)
- 子ども会活動(子ども会)なくしませんか? もしくは任意加入にしてほしいです。活動に出席できないのに役員だけやらなくてはならないのがとても負担です…。(6年生)
- 母親父親の若い世代にまわってくる役員(消防・P T A・婦人会など)が多すぎて大変。減らしたりするべきだと思います。(4年生)
- 子育てしている人だけに支援するのではなく、みんなが仕事の休みを取りやすくしたり、定時に帰れるよう(残業したい人はしてもいいと思う)、社会全体が変わるといいと思う。そうすれば、母親も休みをとりやすいし、父親も早く帰られる日もできると思う。仕事にやりがいは感じているが、プライベートや子どもとの関わりも大切にしていきたい。共働きの家庭が多くなった。また夜勤や土日勤務、単身赴任等、いろいろな働き方をされる方も多い。P T Aや地区の役員等、今のライフスタイルに合わせて見直していける所は少しずつ見直してほしい。役のために子どもを預けたり、子どもとの時間が少なくなってしまうたりと負担も大きいようだ。地域とのつながりは大切にしたいので、やり方を検討していただくとありがたいと思った。(1年生)
- コロナが流行しているときに、P T Aや子ども会の活動が縮減されたが、特に不便は感じなかった。仕事をしていると、それらの活動に参加することが難しいのでP T A、子ども会の参加、不参加は任意になるといいと思っている。(4年生)

-
- もっと共働き家庭の大変さを分かってほしい。2人共社員で働いているため、子ども会や役員など当たったときは、本当に両立させるのが大変。今の時代に合った活動にしていってほしい。休日もフルで動いていると親の体調も悪くなる。(4年生)
 - 行政ではないのですが、学校や地域での集まり(会合)について見直してほしい。長時間の集まりに子どもを連れて行くことが暗黙的にタブーとなっていて仕方なく2歳児を含む子どもを夜7時から2時間程度家に留守番させている。学校等に働きかけて頂くことはできませんか?(1年生)
 - 子ども会の縮小を進めてほしい。区長さんが子ども会に口を出しすぎ。(1年生)
 - 時間がある高齢者、時間がない子育て世代の母親たち。母親ばかり大変でもう少しどうにかできないかと…。働く母親が増えたのにPTAやら役員やら本当に必要なのかと…。負担が多すぎる!(2年生)
 - 少年団等への支援をもう少ししてほしい。子どもの数が減り、団費のみでは道具の充実などまかなえない。親の負担が多い。夏休み、冬休み、春休み等は、仕事を休まざるを得ない日が多いので、生活が特に苦しくなる。支援してほしいです(給付金が減り、食費やガス代等は上がる)。(5年生)

(11) 子育て環境・安全

- 下八幡広海橋交差点にある地下道ですが、暗くて汚れているので子どもが怖がって利用したがりません。しかし、417号線を東西に渡る横断歩道が少ないので地下道を利用せざるを得ません。明るくしてきれいにならないでしょうか。(3年生)
- 育児と介護と仕事で忙殺されている方が身近におられます。介護とまではいなくても、高齢者の自家用車以外の移動手段が少ないために現役世代が子どもの送迎と高齢者の送迎で運転手のような状態になっている場合もあります。高齢者が自立して生活できる環境づくりが子育て支援につながる側面もあるのではないのでしょうか。(3年生)
- 町内の施設の改善をしてほしい(古いトイレ、池田公園のグラウンドの芝の整備)。防犯カメラを町内につけてほしい(子どもの保護のために)。夕方に子どもだけで過ごすことの怖さがあります。大人の目が足りていない。(5年生)
- 通学路の整備、安全。(1年生)
- 通学路の歩道の設置。車道を歩くのは危険である。どの学区でも見直すべき。(2年生)

-
- 夏の暑い日、万が一子どもが「鍵を忘れてしまった」「家に入ろうとしたら入れなかった」という場合、避難する場所が必要ではないでしょうか。命に関わってくると思います。「学校まで戻る」や「お店まで助けを求める」は遠すぎて危険です。(1年生)
 - 一見関係ないように思われるかもしれませんが、そこら中で行われている「野焼き」をぜひやめていただきたいです。仕事で外へ出ている間に燃やされてしまうので、洗濯物を外に出すことができません。そのため、夜の遅い時間に洗濯と洗濯物干しをしなければならず、睡眠不足から体の疲れも取れず、子育てにも支障が出てきます。以前外に干していたときに「野焼き」による煙のにおいがついてしまい、全て洗いなおしてまた干し直したこともあり、これでは時間的にも経済的にも負担になります。体力的にも精神的にも辛いので、子育てにも悪影響となると考えます。くだらない意見で申し訳ないのですが、本当に困っています。(6年生)
 - 変質者、熊など、防犯等にも力を注いでください。(1年生)
 - コロナにより声を出さない(挨拶のとき)となってしまう、コミュニケーション不足になっているため、お互いに目と目を合わせ、声を掛け合い、子ども達が健全に成長できる環境を作ってほしい。町長の若返りを強く希望します！(4年生)
 - コロナ禍や気候の不安定さからか、子どもの遊び場が家庭内でのゲームやYouTube等になっていて、体力の減少・視力低下がとても不安である。子どもも遊び相手がいらないから…となりがちなので、もっと広場の活用をしてほしいと思う。地域の方との触れ合いも減り、挨拶しても知らない人と認識されてしまうのはお年寄りにとっても気の毒なことと思う。もちろん強制は良くないし人付き合いが好きではない子や人もいるが、楽しいところには人が自然と集まるのではないかといつも感じる。(4年生)

(12) 相談・情報提供

- いろいろな支援があることを知らない。どんな支援があるかをもっとわかりやすく教えてほしい(この調査票で知った支援がかなりあったから)。(4年生)
- 人付き合いが苦手なので「相談にのります」と言われても正直困る。自分の信頼する人に相談するし、「誰にも言えない」と孤独を感じているわけでもない。相談員の方は親切のつもりだと思いが事を荒立てないでほしいと思う。ただほんの少しの愚痴を「悩んでるなら！」と勢いよく言われるのはとても疲れます。私の場合は子どもが楽しそうに過ごしているかが1番大切なので、あまり母(私)を「悩んでいる人」にしない

いでほしいと思う。(4年生)

○相談できるレベルではない。(5年生)

○問52の支援員訪問について、もう利用する世代ではないので利用はしませんが、若い親の中には、ご両親の協力も得ずに頑張っている方も多く見えます。そういうサービスがあるなら、もっと利用できるクーポンを、母子手帳の発行時や出産届の時に渡すとか、サービスをPRして利用してもらうようにしてください。PRが不十分。(6年生)

(13) 経済的支援

○各種検定の受験費を負担してもらえる件について。現在、対象が中学生になっていますが、ある程度の基準以上を受験する小学生も対象にしていただけませんか？ この冬、小6で英検2級を受験します。受験費は約8,500円です。これを負担していただくと助かりますし、上を目指す小学生も増えるかなと思います。検討をお願いします。(6年生)

○学校給食費が無償化なのは助かっています。(2年生)

○給食費の無償化等、十分に子育ての支援をしていただいております。ありがとうございます。これからも子どもたちが安心安全に暮らせる町づくりをお願いします。(2年生)

○給食費無償化。(1年生)

○給食費無料にして頂けてとても助かっていますが、もう5年生なのでもっと早く実施してほしかったです。保育料も高額支払っていたのに、今は無料なのでくやしいです。今の小さい年齢の方は負担がなくてうらやましい限りです。(5年生)

○金銭的に苦しい人たちにもっと手厚い補償がほしいです。(2年生)

○経済的な支援をお願いしたい。例えば小学校の学費や学童の月謝を減らしてほしい。予防接種(インフルエンザ)の助成金を増やしてほしい。小学校、中学校の入学金を上げてほしい。特に中学入学のとき。(2年生)

○経済的に困っている。そのために働いているが、児童クラブや学校の費用がかかっている。(1年生)

○経済的支援がもう少しあると、ありがたいです。(4年生)

○県外の友だちの話を聞いていると、岐阜は医療費が高校生までかからなかったり、給食費を負担していただけたりと、とてもありがたいです。いつもありがとうございます！(1年生)

-
- 財政的支援を希望します。
 - 子育て支援で1番助かるとするのは経済面での支援です。授業料、給食費の無料はともありがたいです。でも子どもは成長するに従ってお金もどんどん多くかかるので高校や大学生にも支援を広げてほしいです。(5年生)
 - 子育て世帯への金銭的支援を充実させてほしい。高校まで授業料無償化にしてほしい。(5年生)
 - 子どもが4人いて、もちろん楽しいこともたくさんあるが、今現在物価の高騰や電気やガソリン等子どもにもお金がかかり大変！非課税世帯ばかり優遇されているように感じる。(6年生)
 - 入学(小、中、高)に対する支援等を充実させてほしいです。(3年生)
 - 物価が上がったことにより、経済的に苦しくなっているので、給食費を負担いただいているのはとてもありがたいです。学費も少し負担してもらえると皆さん助かると思っています。(4年生、6年生)
 - 保育料無償化、がんばってほしいです。(1年生)

(14) 少子化対策

- 子どもはたくさんほしいと思っても経済的・年齢的(母・私)にも産めないと感じているのが現実です。来月からパートを辞めて正社員でフルタイム勤務することにし、経済的には不安は減りますが自分の体力が心配。支援が充実することも願っています。(1年生)
- 少子化が進んでおり、若い人たちが安心して子育てができる環境を希望します。また、子どもをたくさん産める人が増えるような施策を優先してほしいです。(5年生)
- 子育てしている人だけに支援すると不平等に感じる人もいると思う。そう思われたくなくて自分は無理をして子どもに負担をかけていたと思う。そうではなく、みんなが同じように休みを自由に取れ、定時で帰りやすい(残業したい人はしてもいいと思う)社会になれば母親や父親も子育てがしやすい社会になるのではと思う。また、人間心に余裕ができればもう1人と考えることもできるのではないかと思った。(3年生)
- 子育てのための経済的支援があればもっと子どもを産みたいと思います。(6年生)
- 子どもがどんどん減っていると強く感じるようになり、もはや外国人に住んでもらうしかないのでは…とってしまう。(6年生)

(15) 計画・アンケートについて

- アンケートの結果、どこを改善したのか教えてほしい。アンケートの意見がどの様に反映されたか等。結果がないとアンケートに意味がないので。(6年生)
- アンケートは必ず出すものでしょうか？(4年生)
- アンケートもデジタル化できると思う。アンケートの回答に対して集計だけでなく、その意見に対して何ができるのか、町としてちゃんと答えてほしい。保健センターのアンケートはいつも実施するだけの感じがする。(4年生)
- こういうアンケートをしていただけることに感謝します。(1年生)
- 毎年のようにこのような意見・アンケートをされていてとても大変だと思う。しかし、アンケートに答えたところで何も変わらない。(2年生)
- このアンケート、うちは保育園の子どももいるので時間がかかりました。Web回答だったら内容の重複する設問はスキップできて、時間短縮出来そうな気がします。今後この様なアンケートを取られる場合、検討いただければと思います。(1年生)
- この時代に紙を使ったお知らせは時代遅れです。税金と資源がもったいないため「すぐーる」等有効活用いただきたいです。このアンケートに携わる方の中にそのことを疑問に思う方はいらっしゃらないのであればとても残念です。(2年生)
- 質問事項が非常に多く、実際に集計し改善する部署の方がどのように利用できたのかを公表してほしいです。アンケートが不必要であったということのないようによろしくをお願いします。(3年生)
- 本調査用紙の配布は、長子のみにしてほしかった。一部は記入しないまま廃棄となり、資源の無駄でもったいないと感じました。用紙で回答するため、設問を減らしてほしい。56問が多く感じました。(1年生)
- 池田町は、アンケートを取っても集計して終わってしまう。反映され、意見に対しての答えを聞ける気がしない。片山保育園の民営化の強引きで、池田町に対して全く期待が持てなくなった。安心して子どもを産み育てられないんじゃないかと思う。(2年生)
- 調査をする以上、実行してください。町長が変わらない限り池田町は変わらない。若い世代が戻ってこない。(1年生)
- こんな分かり切ったアンケートを繰り返さずいい加減結果を出してください！(3年生)

(16) その他

- いつもありがとうございます。今度ともよろしくお願い致します。(1年生)
- 池田町にもストリートピアノを設置してほしいです。(1年生)
- ご意見を…調査に…等やるが何が変わったのか？本気で変える気があるのか。町長が変わらなければ池田は何も変わらない。(5年生)
- 何も期待できないため、期待のできる池田町になってほしい。(3年生)

第2部

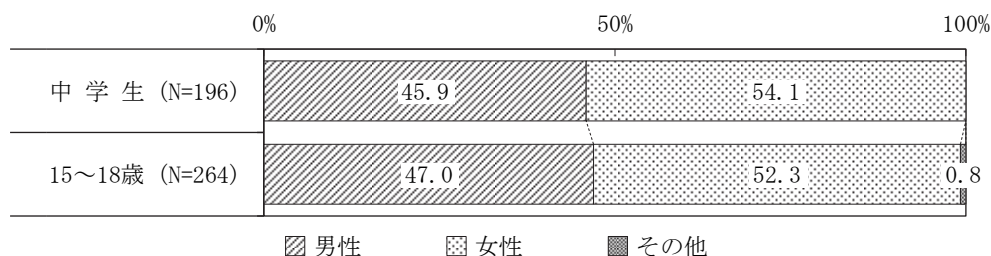
子ども・若者調査（中学生・15～18歳）

1 基本属性

(1) 性別

回答者の性別は、中学生は男性が45.9%、女性が54.1%、15～18歳は男性が47.0%、女性が52.3%と、いずれも女性が多くなっています。

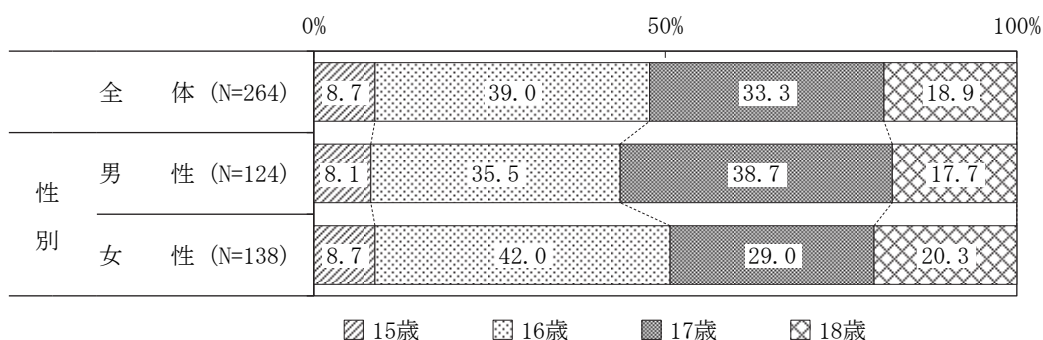
図表3-1 性別



(2) 年齢 (15～18歳)

15～18歳の回答者の年齢をみると、16歳が39.0%と最も高く、次いで17歳(33.3%)、18歳(18.9%)、15歳(8.7%)の順となっています。

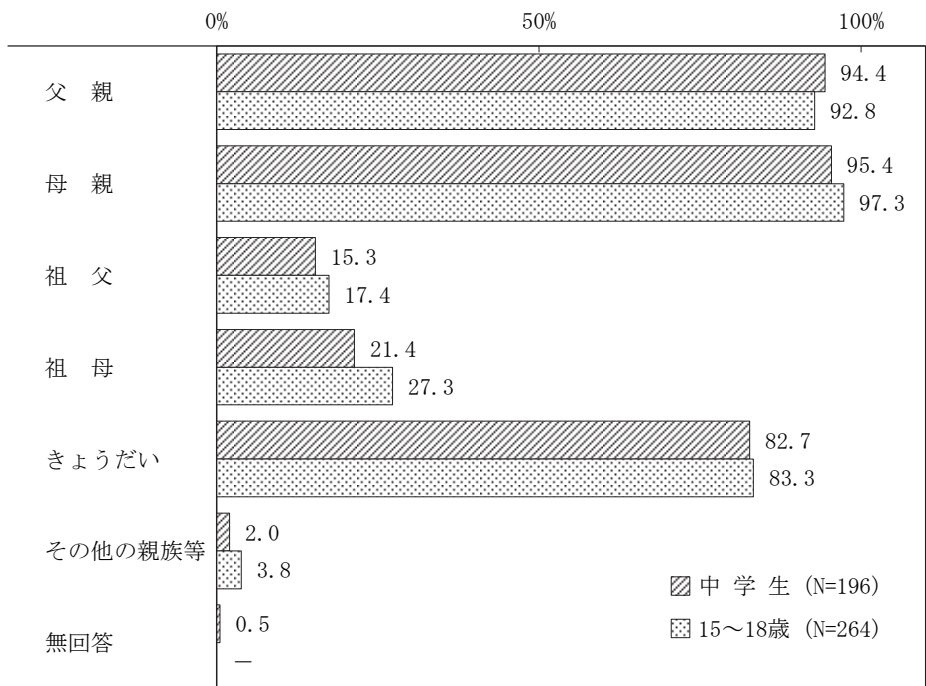
図表3-2 年齢 (15～18歳)



(3) 同居家族

同居家族は図表3-3のとおりです。なお、世帯構成別では、中学生のひとり親世帯は2.6% (5世帯)、親と子の二世帯世帯は(ひとり親世帯を除く)72.4%、三世帯世帯などのその他の世帯は24.5%、無回答は0.5%となっています。15～18歳のひとり親世帯は6.1% (16世帯)、二世帯世帯は61.0%、その他の世帯は33.0%です。

図表 3-3 同居家族（複数回答）



2 生活の状況

(1) 就学・就労状況（15～18歳）

15～18歳の回答者の就学・就労状況をみると、「学生」が98.5%を占めており、「働いている」は1.1%（3人）です。「働いている」は、性別では男性が1.6%（2人）、女性が0.7%（1人）、年齢別では16歳が1.0%（1人）、18歳が4.0%（2人）となっています。

図表 3-4 就学・就労状況（15～18歳）

区分		N	学生	働いている	その他
全体		264	98.5	1.1	0.4
性別	男性	124	98.4	1.6	-
	女性	138	98.6	0.7	0.7
年齢別	15歳	23	100.0	-	-
	16歳	103	98.1	1.0	1.0
	17歳	88	100.0	-	-
	18歳	50	96.0	4.0	-

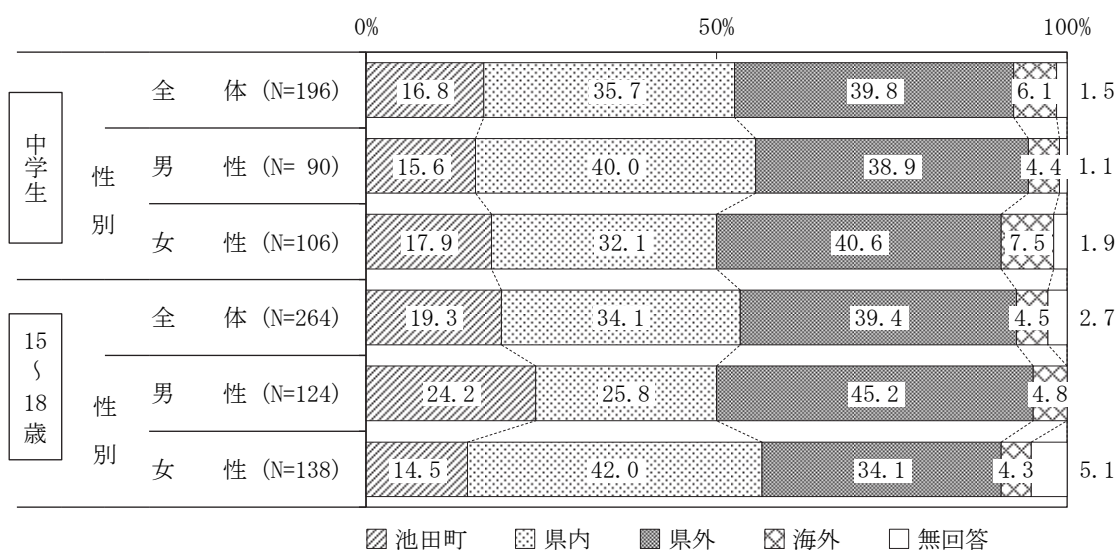
(2) 将来どこで暮らしたいか

将来どこで暮らしたいかたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「県外」が39%台と最も高く、次いで県内の順となっています。

属性別にみると、中学生の女性、15～18歳の男性は「県外」が40%以上と高く、中学生の男性、15～18歳の女性は「県内」が40%以上と高くなっています。

「池田町」は、15～18歳の男性が24.2%と比較的高く、その他は10%台となっています。

図表3-5 将来どこで暮らしたいか



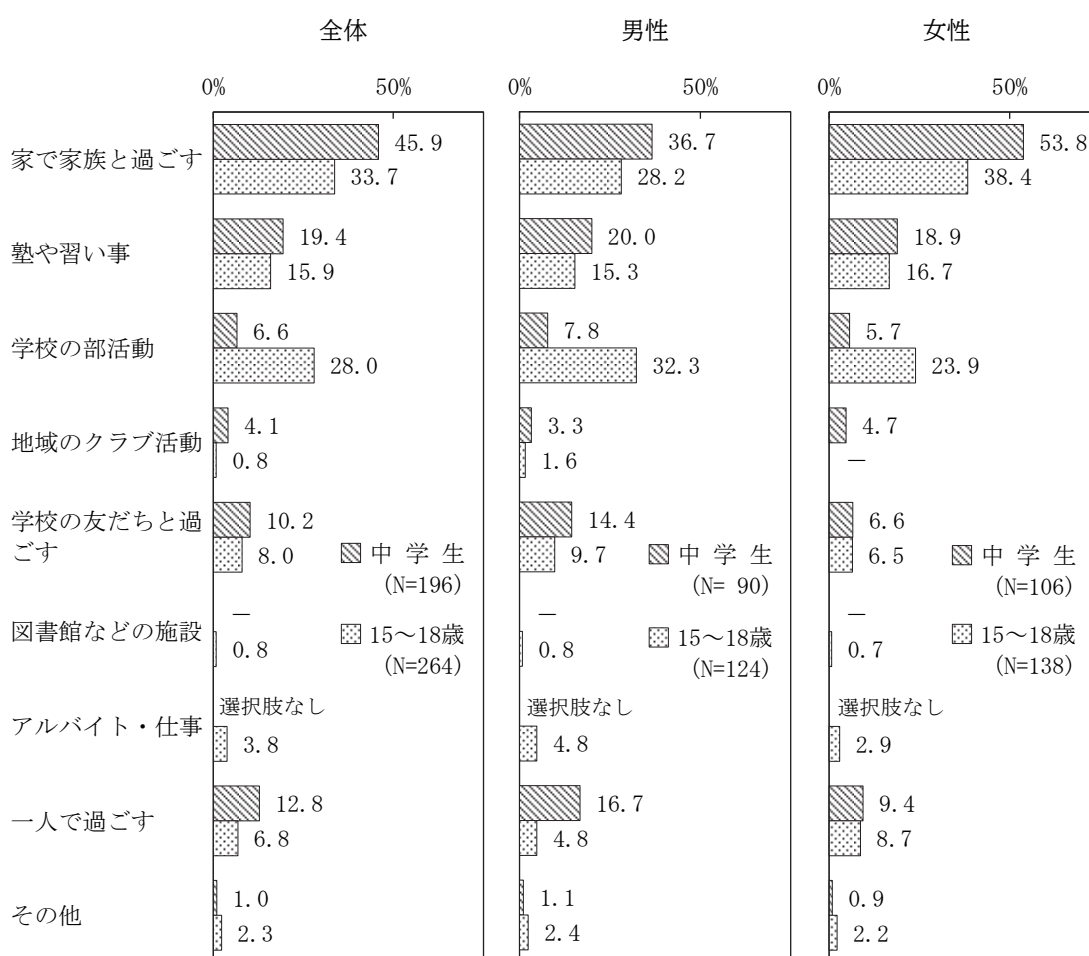
(3) 放課後等の過ごし方

平日の夕方から夜（放課後）、どのように過ごすことが多いかたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「家で家族と過ごす」が最も高くなっています。次いで、中学生は「塾や習い事」が高くなっていますが、15～18歳では「学校の部活動」が2番目に来ています。

性別にみると、女性は男性に比べて「家で家族と過ごす」が高く、男性は女性に比べて「学校の部活動」や「学校の友だちと過ごす」が高くなっています。

「その他」として、「学校」「ゲーム」「運動」などが記載されていました。

図表3-6 平日の夕方から夜の過ごし方

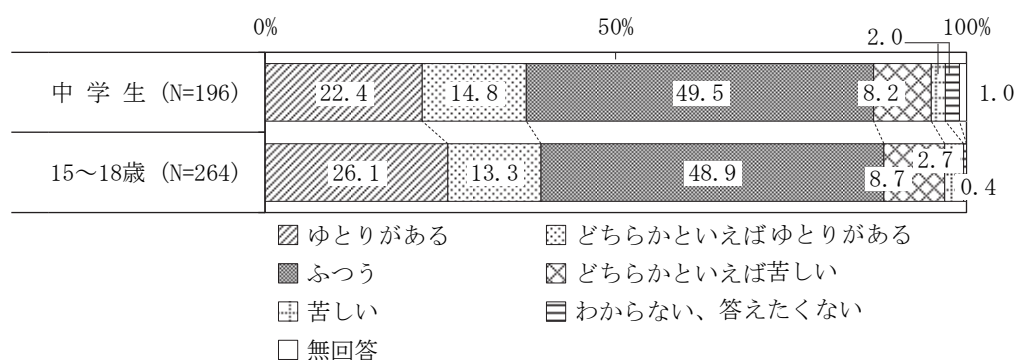


(4) 暮らしの状況

「あなたの暮らし向き（衣・食・住・遊びなどの物質的な生活レベル）は、世間一般と比べてみて、どれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。」という設問に対しては、中学生、15～18歳ともに「ふつう」が最も高く、50%近くを占めています。

「ゆとりがある」「どちらかといえばゆとりがある」を合計した＜ゆとりがある＞は中学生が37.2%、15～18歳が39.4%、「どちらかといえば苦しい」「苦しい」合計した＜苦しい＞は中学生が10.2%、15～18歳が11.4%となっています。

図表3-7 暮らしの状況

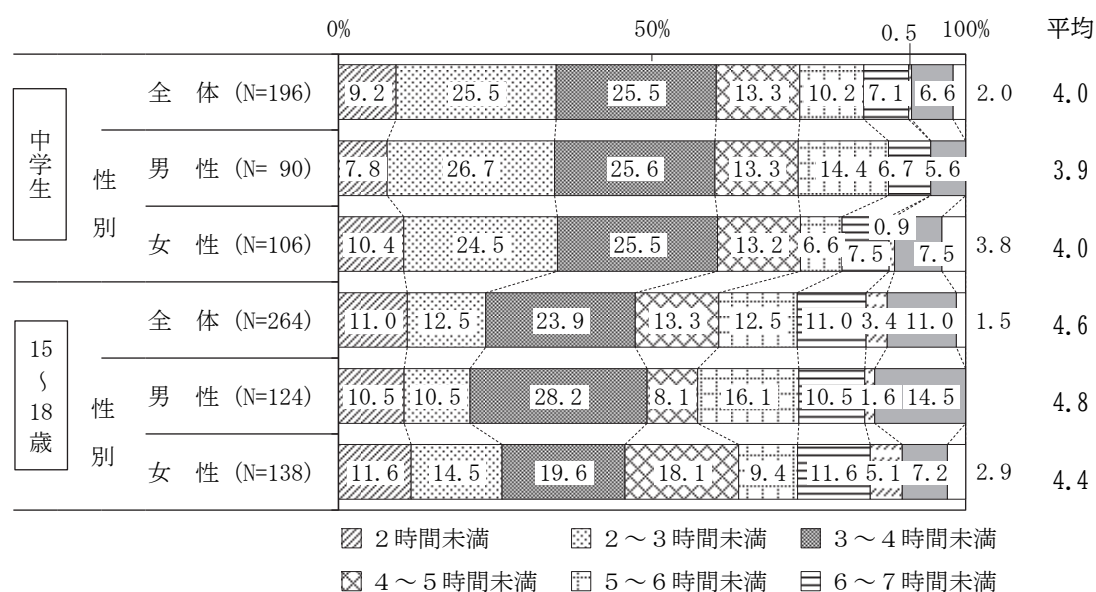


3 困っていること

(1) スマートフォンなどの情報通信機器の利用時間

スマートフォン、パソコン、タブレット端末などを合計して直近1週間で1日およそ何時間ぐらい利用したか（学校の授業や宿題、仕事に関する利用を除く）たずねたところ、中学生は「2～3時間未満」「3～4時間未満」が最も高く、15～18歳は「3～4時間未満」が最も高くなっています。平均時間は、中学生が4.0時間、15～18歳が4.6時間となっています。

図表3-8 スマートフォンなどの情報通信機器の利用時間



(2) インターネット利用によるトラブル

直近1年以内のインターネット利用によるトラブルについてたずねたところ、「被害にあったことはない」「無回答」を除いた<トラブルにあった>人は、中学生が6.1%、12人、15～18歳が14.1%、37人です。

トラブルの内容として比較的割合が高いのは「迷惑メール（フィッシング詐欺メールなど）が頻繁に送られてきた」です。

「その他」として、「インスタグラムを非公開にしたつもりが公開になってしまっていた。」「まちがい電話、迷惑電話」「ゲーム内でぼろくそ言われた」が記載されていました。

図表3-9 インターネット利用によるトラブル（複数回答）

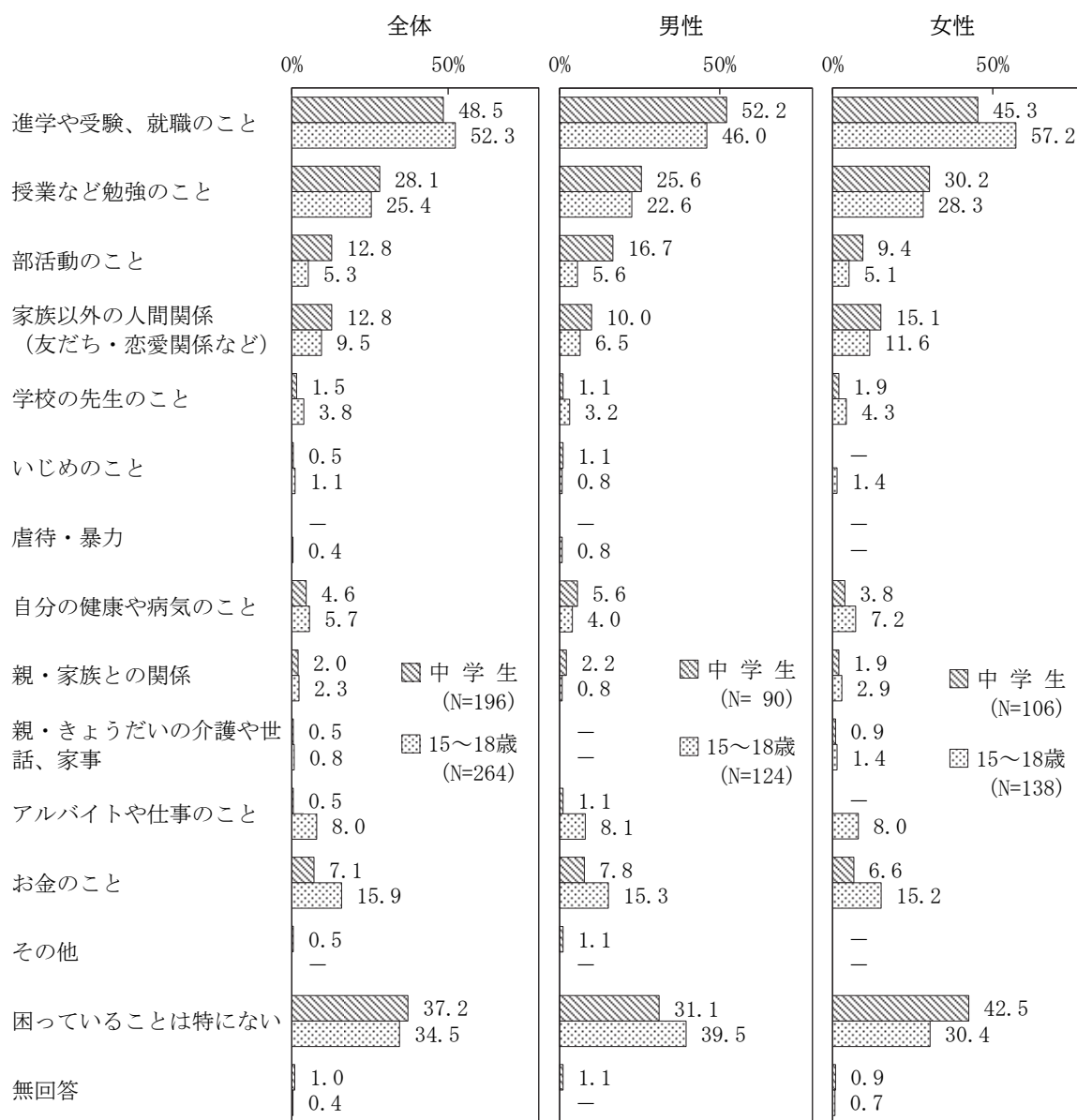
単位：Nは人、他は%

区 分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	196	90	106	264	124	138
身におぼえない料金を請求された	1.0	-	1.9	0.8	1.6	-
知らないうちに会員登録や契約をしてしまった	0.5	1.1	-	1.1	1.6	0.7
ネットショッピングなどで詐欺にあった	1.0	-	1.9	0.4	-	0.7
オンラインゲームで被害にあった	0.5	-	0.9	0.4	0.8	-
SNS、メールなどで、中傷やいやがらせを受けた	1.0	-	1.9	1.9	0.8	2.9
名前や住所、メールアドレスなどの個人情報や写真を勝手に使用された	0.5	-	0.9	0.4	0.8	-
迷惑メール（フィッシング詐欺メールなど）が頻繁に送られてきた	2.6	2.2	2.8	9.1	4.8	13.0
コンピューターウイルスに感染した	1.0	-	1.9	0.4	-	0.7
つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトラブルに巻き込まれた	0.5	-	0.9	0.8	0.8	0.7
その他	1.0	1.1	0.9	0.4	-	0.7
被害にあったことはない	90.8	91.1	90.6	84.8	87.1	82.6
無回答	3.1	4.4	1.9	1.1	1.6	0.7

(3) 困っていること

自分の身近なことで困っていることや心配なこととしては、中学生、15～18歳ともに「進学や受験、就職のこと」が50%前後と最も高く、「授業など勉強のこと」も25%を上回っています。そのほか、中学生では「部活動のこと」「家族以外の人間関係（友だち・恋愛関係など）」、15～18歳では「お金のこと」が10%以上となっています。

図表3-10 困っていること、心配なこと（複数回答）

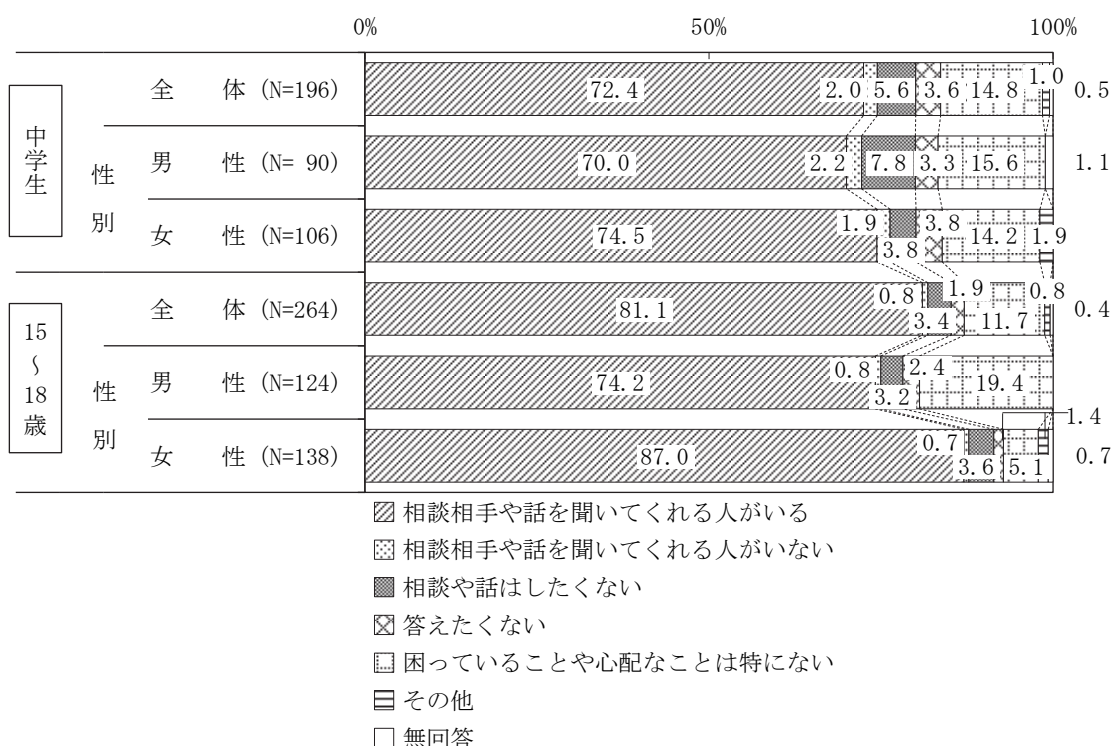


(4) 相談相手の有無

困っていることや心配なことがあるときに相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいるかたずねたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」は、中学生が72.4%、15～18歳が81.1%となっています。「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」は、中学生が2.0%、4人、15～18歳が0.8%、2人となっています。

「その他」として、「話を聞いてくれる人はいるだろうが、顔を見て話をしたくない」「話を聞いてくれる人はいるだろうが、顔を見て話をしたくない」「相談できる人はいるけど相談できない」が記載されていました。

図表3-11 相談相手や話を聞いてくれる人がいるか

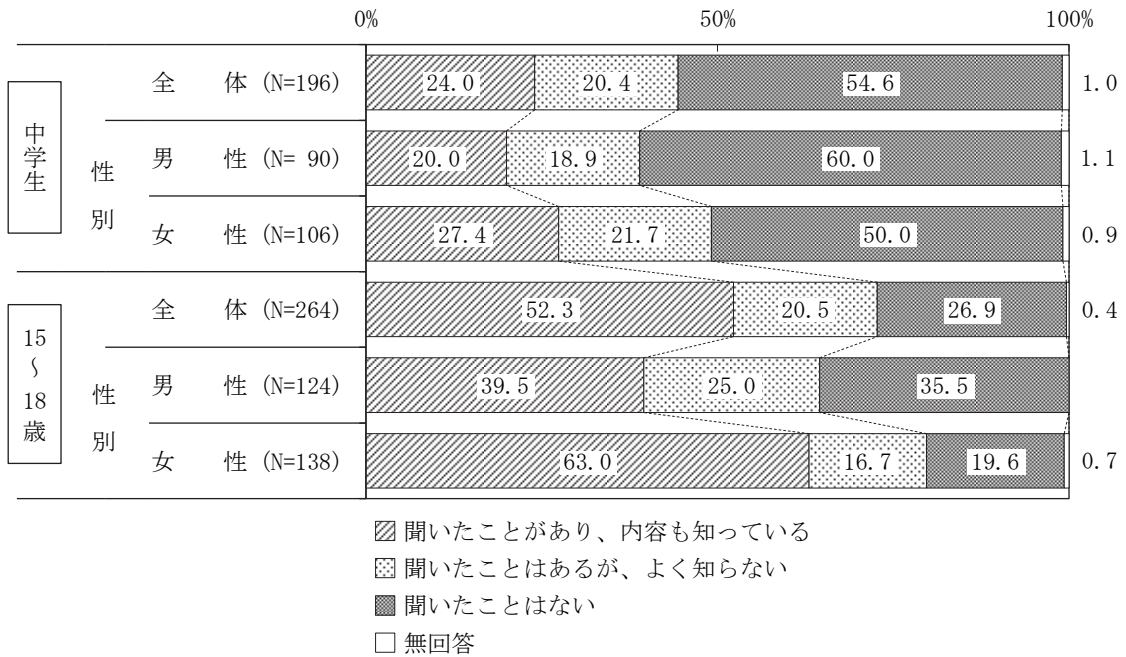


(5) ヤングケアラー

「ヤングケアラー」とは、障がいや病気等のある家族、幼いきょうだいなど、ケアを必要とする家族がいるために、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかたずねたところ、「聞いたことがあり、内容も知っている」は、中学生が24.0%、15～18歳が52.3%です。特に15～18歳の女性は63.0%と非常に認知度が高くなっています。

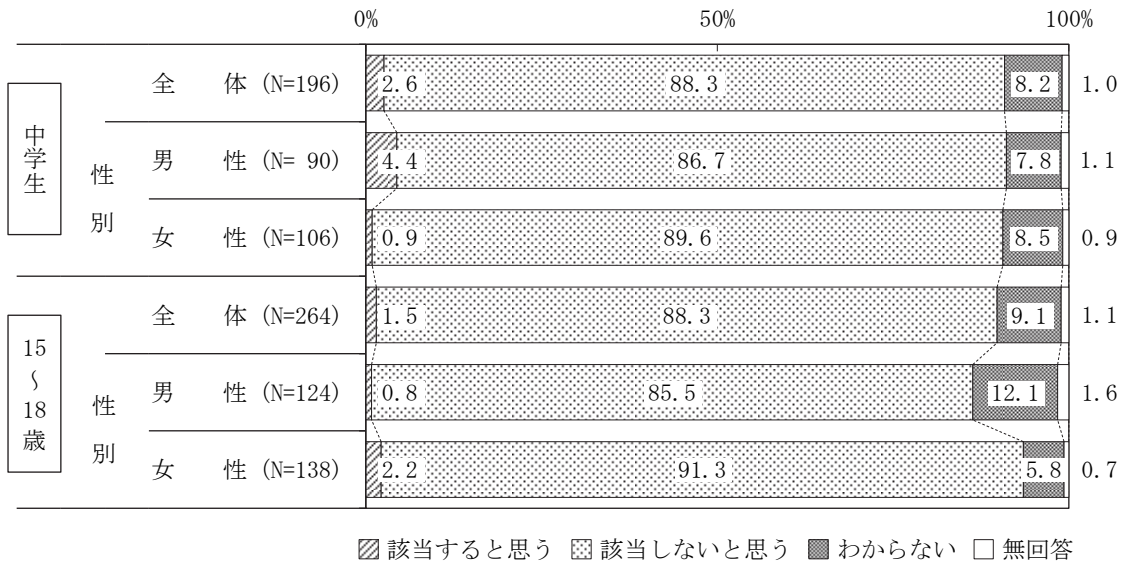
図表 3-12 ヤングケアラーの認知度



(6) ヤングケアラーに該当するか

ヤングケアラーに該当する（該当した）と思うかたずねたところ、中学生の2.6%、5人、15～18歳の1.5%、4人が「該当すると思う」と回答しています。

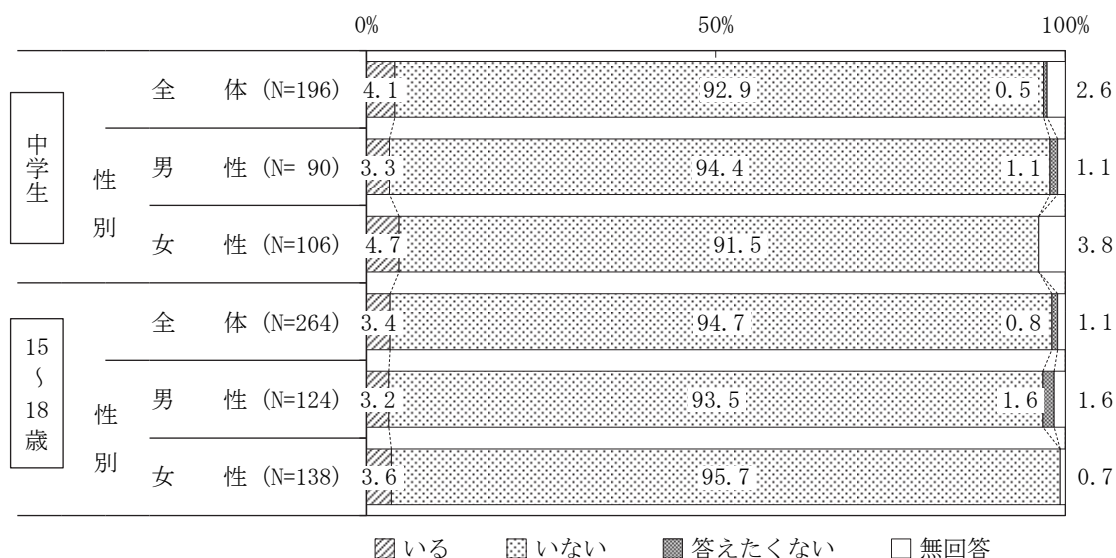
図表 3-13 ヤングケアラーに該当するか



(7) 世話をしている人がいるか

「家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。」という設問に対しては、中学生の4.1%、8人、15～18歳の3.4%、9人が「いる」と回答しています。

図表3-14 世話をしている人がいるか



(8) 世話の状況等

図表3-15～図表3-19は、前項で家族の中に世話をしている人が「いる」と回答した、中学生の8人、15～18歳の9人にたずねた結果です。

① 世話を必要としている人

世話を必要としている人としては、中学生は「父親」「母親」が4人ずつと多く、15～18歳は「きょうだい」が6人と多くなっています。

図表3-15 世話を必要としている人（複数回答）

単位：人

区分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	8	3	5	9	4	5
父親	4	1	3	2	1	1
母親	4	1	3	1	1	-
祖父	1	1	-	-	-	-
祖母	1	-	1	-	-	-
きょうだい	2	1	1	6	2	4
その他の親族等	-	-	-	-	-	-
答えたくない	-	-	-	2	2	-

② 行っている世話

行っている世話の内容をたずねたところ、中学生は「家事（食事の準備・掃除・洗濯）」「話し相手」が4人ずつと多く、15～18歳は「話し相手」が4人と最も多く、「きょうだいの世話や保育園等への送迎」「見守り」も3人ずつとなっています。

図表3-16 行っている世話（複数回答）

単位：人

区 分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	8	3	5	9	4	5
家事（食事の準備・掃除・洗濯）	4	1	3	-	-	-
きょうだいの世話や保育園等への送迎	1	-	1	3	1	2
身体的な介護（トイレや入浴）	2	2	-	1	-	1
外出の付き添い（買い物、散歩）	3	2	1	2	-	2
通院の付き添い	-	-	-	-	-	-
話し相手	4	2	2	4	2	2
見守り	2	1	1	3	-	3
服薬管理	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	1	1	-
答えたくない	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	1	-	-	-

③ 世話をしている日数

世話をしている日数は、中学生、15～18歳ともに「ほぼ毎日」が多くなっています。

図表3-17 世話をしている日数

単位：人

区 分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	8	3	5	9	4	5
ほぼ毎日	4	1	3	5	2	3
週に3～5日	1	1	-	1	-	1
週に1～2日	-	-	-	-	-	-
1か月に数日	2	1	1	3	2	1
答えたくない	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	1	-	-	-

④ 世話をしている時間

世話をしている平均時間は、中学生が2.6時間、15～18歳が2.1時間となっています。

図表 3-18 世話をしている時間 単位：平均時間は時間、他は人

区 分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	8	3	5	9	4	5
1時間以下	1	-	1	4	2	2
2時間	2	2	-	1	1	-
3時間	1	1	-	3	1	2
5時間	1	-	1	1	-	1
無回答	3	-	3	-	-	-
<平均時間>	2.6	2.3	3.0	2.1	1.6	2.6

⑤ 世話をすることのつらさ

世話をすることにつらさを感じているかたずねたところ、中学生は8人中「特につらさは感じていない」が6人、「身体的につらい」が1人となっています。15～18歳では9人中「特につらさは感じていない」が6人、「時間に余裕がない」が3人あります。

図表 3-19 世話をすることのつらさ（複数回答） 単位：人

区 分	中学生			15～18歳		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
N	8	3	5	9	4	5
身体的につらい	1	-	1	-	-	-
精神的につらい	-	-	-	-	-	-
時間に余裕がない	-	-	-	3	1	2
特につらさは感じていない	6	3	3	6	3	3
その他	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	1	-	-	-

4 結婚・子育て・少子化など

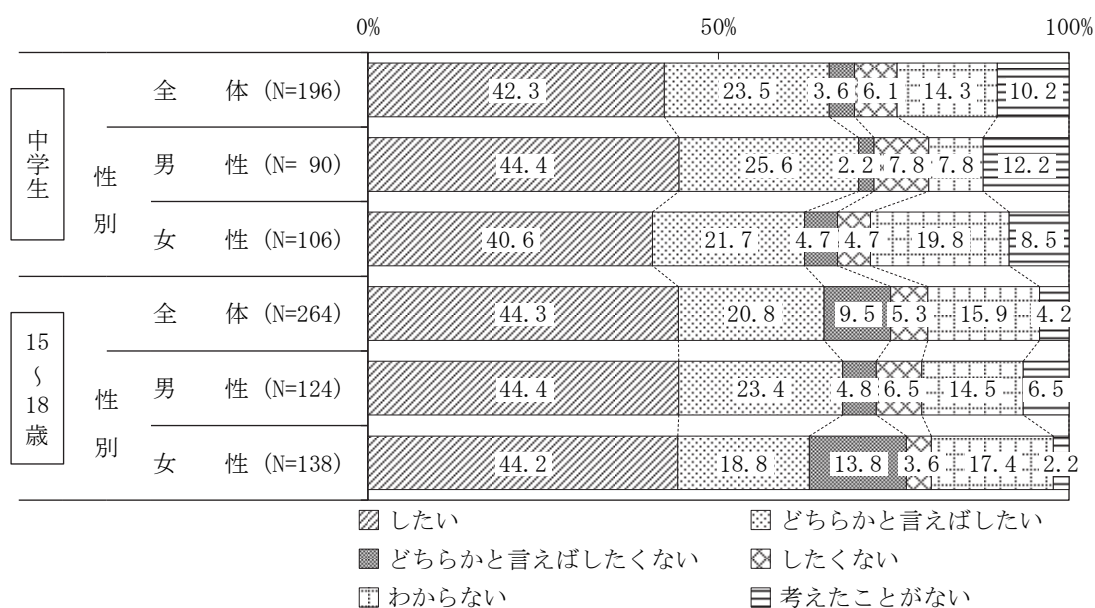
(1) 将来結婚したいと思うか

将来結婚したいと思うかたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「したい」が40%以上と最も高くなっています。これに「どちらかと言えばしたい」を加えた＜結婚したい＞は、中学生の男性が70.0%、女性が62.3%、15～18歳の男性が67.8%、63.0%となっており、女性に比べて男性が高くなっています。

「どちらかと言えばしたくない」「したくない」を合計した＜結婚したくない＞は、中学生の男性が10.0%、女性が9.4%、15～18歳の男性が11.3%、女性が17.4%となっています。

「わからない」は、中学生、15～18歳ともに女性が男性より高く、「考えたことがない」は男性が女性より高くなっています。

図表3-20 将来結婚したいと思うか

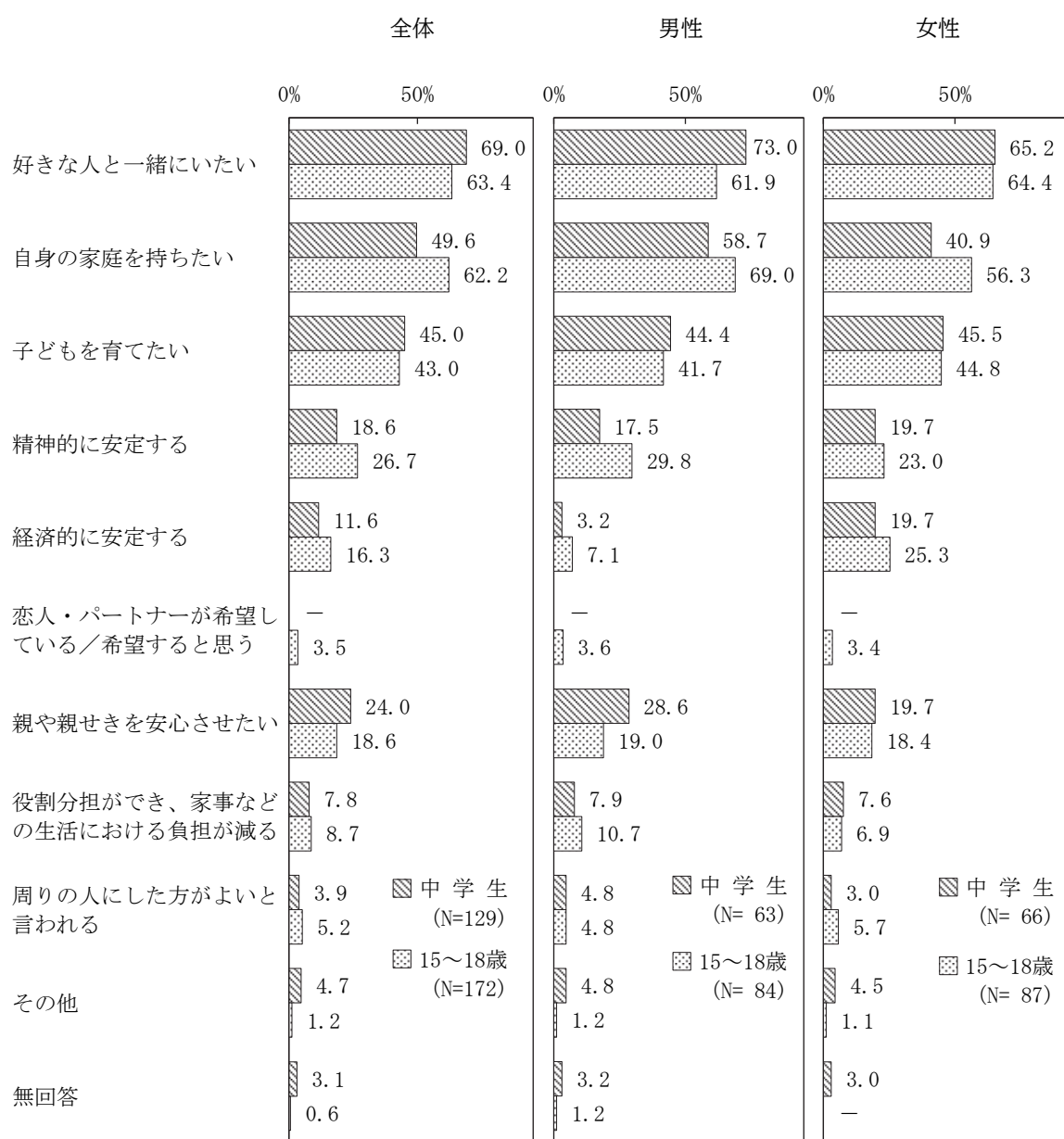


(2) 将来結婚すると思う理由

前項で「結婚したい」と回答した人に、自分が将来結婚すると思う理由をたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「好きな人と一緒にいたい」が最も高く、次いで「自身の家庭を持ちたい」「子どもを育てたい」の順となっています。

性別にみると、上記3項目が上位を占めていますが、15～18歳の男性は「自身の家庭を持ちたい」が最も高く、中学生の女性は「子どもを育てたい」が「自身の家庭を持ちたい」を上回っています。

図表3-21 将来結婚すると思う理由（複数回答）

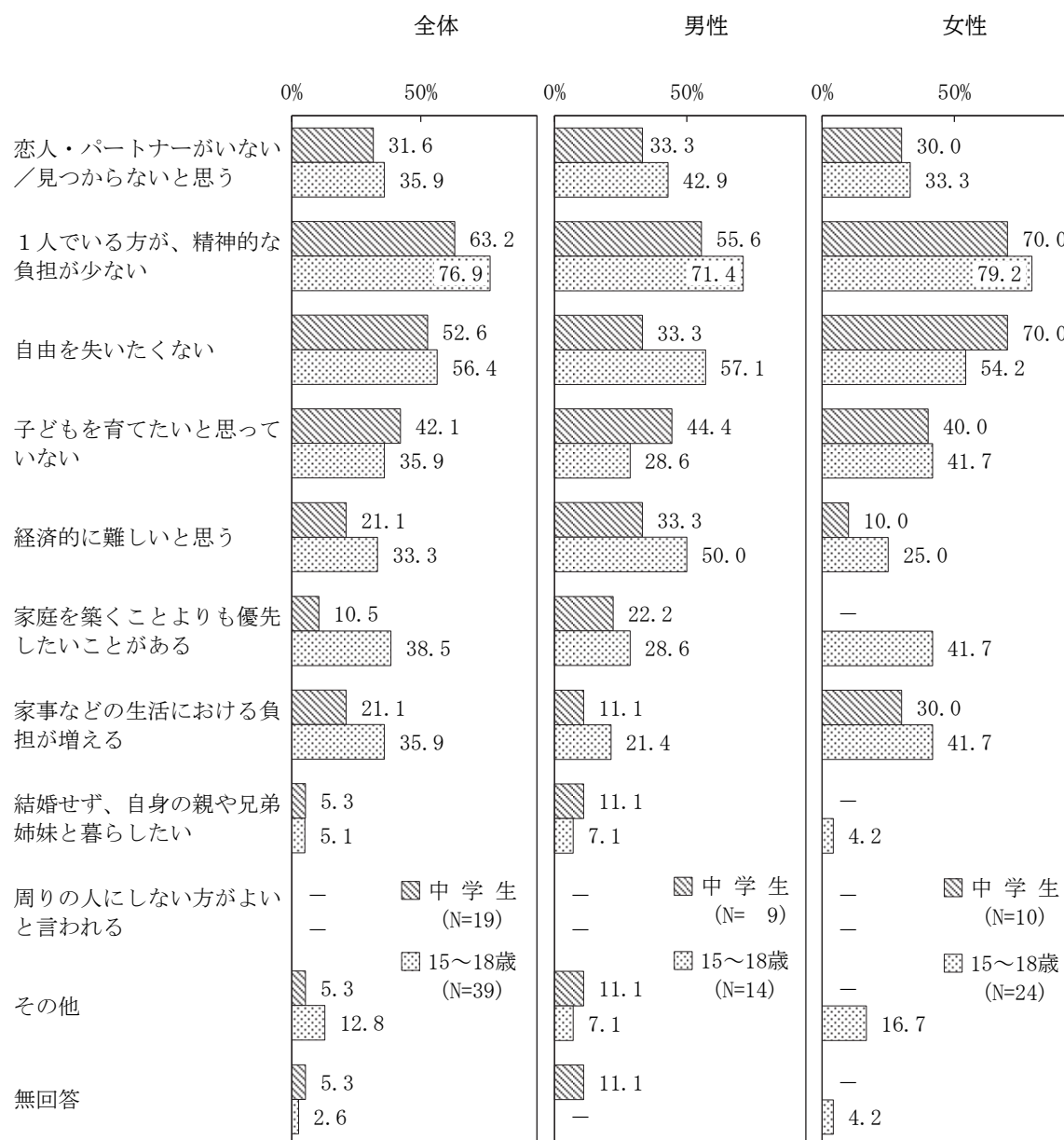


(3) 将来結婚しないと思う理由

(1)で<結婚したくない>と回答した人に、自分が将来結婚しないと思う理由をたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「1人である方が、精神的な負担が少ない」が最も高く、次いで「自由を失いたくない」となっています。中学生では「子どもを育てたいと思っていない」が3番目に来ていますが、15～18歳では「家庭を築くことよりも優先したいことがある」となっています。

性別にみると、15～18歳の男性の「経済的に難しいと思う」、中学生の女性の「自由を失いたくない」が他に比べて高いことが特徴としてあげられます。また、男性は女性に比べて「経済的に難しいと思う」が高く、女性は男性に比べて「家事などの生活における負担が増える」が高くなっています。

図表3-22 将来結婚しないと思う理由（複数回答）



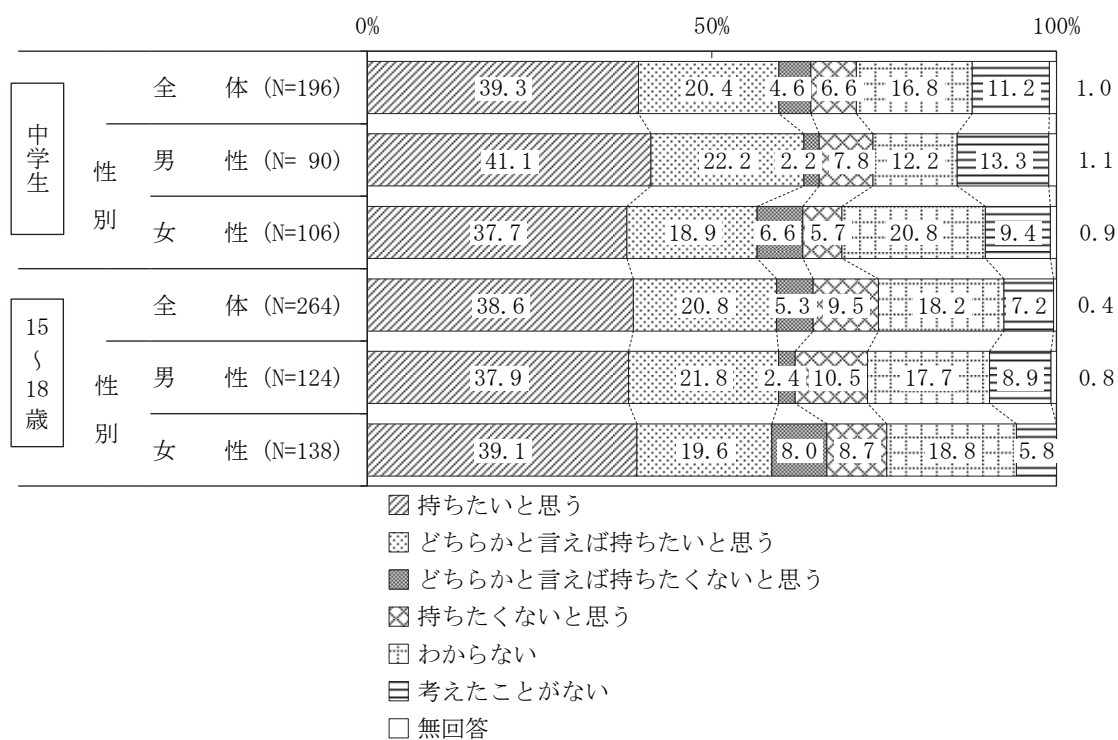
(4) 子どもを持ちたいと思うか

将来、子どもを持ちたいと思うかたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「持ちたいと思う」が最も高く、これに「どちらかと言えば持ちたいと思う」を加えた<持ちたい>は、中学生の男性が63.3%、女性が56.6%、15～18歳の男性が59.7%、女性が58.7%となっています。

「どちらかと言えば持ちたくないと思う」「持ちたくないと思う」を合計した<持ちたくない>は、中学生の男性が10.0%、女性が12.3%、15～18歳の男性が12.9%、女性が16.7%となっています。

中学生、15～18歳ともに、「わからない」は女性が男性より高く、「考えたことがない」は男性が女性より高くなっています。

図表3-23 子どもを持ちたいと思うか



(5) 子どもを持つにあたって障壁となるもの

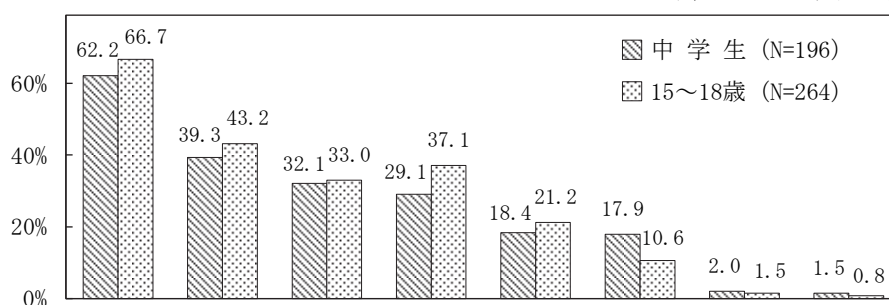
将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものについてたずねたところ、中学生、15～18歳ともに「金銭的な負担」が最も高く、次いで「仕事との両立」となっています。

そのほかでは、15～18歳の女性の「精神的な負担」が44.2%の高い割合です。

「その他」として、「不自由なく成長させられるか不安」「知的障がいなどの遺伝」「日本が心配」などが記載されていました。

図表3-24 子どもを持つにあたって障壁となるもの（複数回答）

単位：Nは人、他は%



区分		N	金銭的な負担	仕事との両立	時間的な負担	精神的な負担	身体的な負担	特にない	その他	無回答
中学生	男性	90	55.6	34.4	35.6	18.9	10.0	25.6	2.2	1.1
	女性	106	67.9	43.4	29.2	37.7	25.5	11.3	1.9	1.9
15～18歳	男性	124	62.9	33.9	29.0	28.2	14.5	16.9	-	-
	女性	138	69.6	51.4	35.5	44.2	26.8	5.1	2.9	1.4

(6) 少子高齢化について、どう感じるか

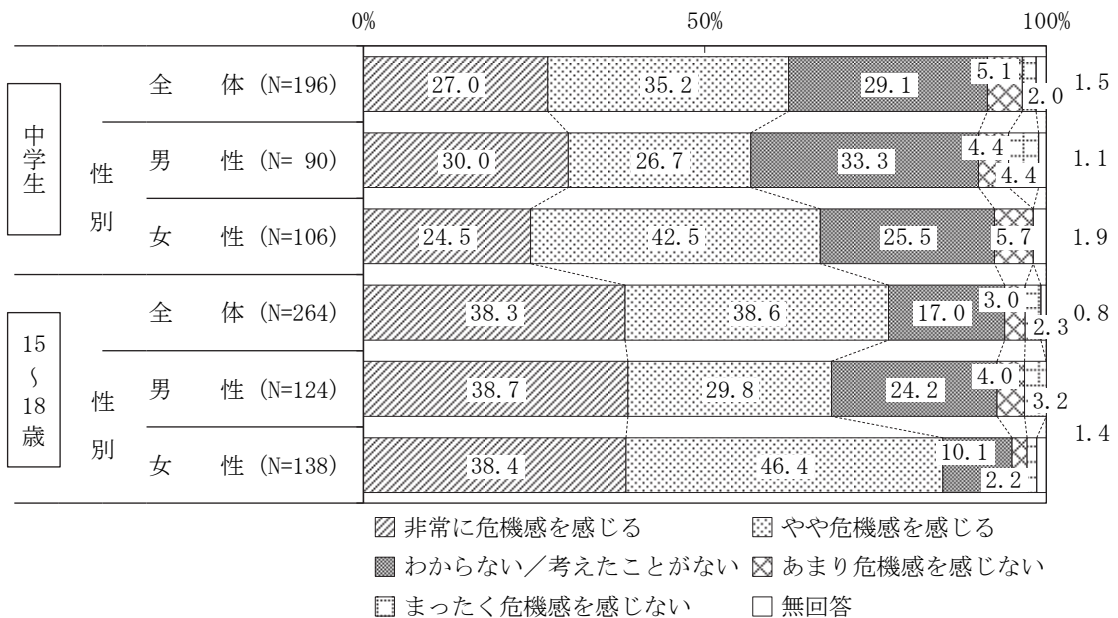
図表3-25は、「日本における出生数は2022年に77万人となり過去最少を記録する一方、65歳以上人口は2022年に29%であり、増加傾向にあります。こうした状況を踏まえ、あなたは少子高齢化について、どう感じますか。」という設問に対する結果です。

中学生は「やや危機感を感じる」が35.2%と最も高く、これに「非常に危機感を感じる」を加えた＜危機感を感じる＞は62.2%です。「あまり危機感を感じない」「まったく危機感を感じない」を合計した＜危機感を感じない＞は7.1%です。「わからない／考えたことがない」は29.1%となっており、15～18歳に比べて12.1ポイント高くなっています。

15～18歳は「やや危機感を感じる」「非常に危機感を感じる」がともに38%台と高く、合計した＜危機感を感じる＞は76.9%となっており、中学生に比べて14.7ポイント高くなっています。＜危機感を感じない＞は5.3%です。

性別にみると、中学生、15～18歳ともに、女性は男性に比べて「やや危機感を感じる」が高く、＜危機感を感じる＞も高くなっています。男性は女性に比べて「わからない／考えたことがない」が高くなっています。

図表3-25 少子高齢化について、どう感じるか



5 あるといいと思う施設や居場所

図表3-26は、若者にとって、あるといいと思う施設や居場所（現在利用している施設等も含む）についてたずねた結果です。

図表3-26 あるといいと思う施設や居場所

中学生	
<p>【図書館・自習室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館（10件） ・大規模な図書館 ・専門的な内容が入った図書館 ・図書館のような年齢層関係なく入れる公共施設 ・図書館で勉強ができたと思う ・学習室・自習室（6件） ・無料で勉強できる場所（2件） ・誰でも入れる自習室 ・自習室を増やしたり、新しくつくってほしい。塾が休みのとき困ったので。来年は受験生なので、その居場所に頼っていきたいし、ありがたい ・誰でも利用できる学習室や放課後学習施設 <p>【塾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料で利用できる塾 ・学校とは違って、個人で勉強を教えてもらえたり、話を聞いてもらえるような場所 ・塾（学生、若者に居場所があるところ） ・フリースクール ・学校に行きにくい人が勉強できるところ。居場所 <p>【集まれる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家にいたくない人が逃げられる場所 ・（直接）体験活動を行う場 ・気軽に集まれる場所 ・休憩できるところ ・友だちと話ができる場 <p>【相談場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談室 ・学校での相談室など、気軽に行けるような場所 ・悩みを聞いてくれる施設 ・電話だけで話を聞いたりするなどは、助けになっていない。もっと安心して生活できるように、気軽に入ることができるような施設 <p>【スポーツ施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動ができる場所 ・陸上のトラック。競技場 ・体育館 ・運動ができる体育館がもっとあるといいと思う ・大きめの体育館 ・ジム ・アイススケート場 ・バスケットコートがほしい ・遊具やアスレチックがあるところ ・雨でもサッカーができる屋根付きのグラウンド <p>【大規模店舗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール（12件） ・大きいショッピングセンター 	<p>【公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園（5件） ・大きい公園（2件） ・広い公園（スポーツ公園や南部公園など） ・小さい子どもたちも遊べるような大きい公園 ・公園には高い柵があるといい。畑や田んぼにボールが入ってしまうから ・屋根のある公園、施設 ・室内で天気を気にせずに遊べる公園的なところ ・遊べることが可能な公園など ・子どもから大人も遊べる遊園地 <p>【カフェ・コンビニ・店舗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーン店（2件） ・マクドナルド、ファストフード店（3件） ・スターバックスコーヒー（2件） ・カフェ（学生用） ・子どもでも入りやすいカフェ ・勉強スペースが多くあるカフェ ・コンビニ（3件） ・雑貨屋 ・相談を聞いてくれる駄菓子屋さん <p>【娯楽施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊べる場所（3件） ・映画館（2件） ・ゲームセンター ・小中学生向け娯楽施設（オセロや将棋、ビデオゲームなど） ・低価格で映画やボウリングまたはスポーツ施設 ・カラオケ ・ストレスを発散できる（楽しめる施設） ・出かけたり遊びに行けるような施設 ・ガチャ展 ・若い人が楽しいと思える飲食店や施設、イベント ・若者が集まる施設をつくる <p>【福祉・医療関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホーム ・介護施設 ・子ども食堂ボランティア ・病院 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校（10件） ・電車（2件） ・JRの駅 ・家（2件） ・パソコン。Eスポーツがやりたい ・好きなことを続けることができる場所（少年団、合唱団等、同じ仲間や先生と） ・町役場

<p>【図書館・自習室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館（11件） ・図書館を増やす ・図書館の閉館時間を遅くしてほしいです ・池田町の図書館が他の町の図書館より、少し遅くまで開いているのがありがたい ・地域の図書館に、もっと理系学術的な資料・本等をおいてほしい。図書館の閉館時刻を遅くしてほしい（PM7:00頃まで） ・自習室・自習スペース（10件） ・図書館等学習スペース（2件） ・学習スペースがほしい。朝早くから開いているカフェや図書館がないので、もし朝早くから開いている勉強スペースがあったら利用したい ・夜まで利用できる勉強場所 ・図書館の中に自習室 ・図書館等にある自習スペース ・勉強できる場所（図書館など） ・誰でも勉強できる場所 ・誰でも自由に使える学習室 ・静かで集中して自習できる環境がほしい ・無料の学習施設（2件） ・自習室のような勉強できたり読書できるスペースが多くなったら良いなと思う ・在宅ワークやパソコンを使った（オンライン）学習（ex スタサブ）などの動画視聴が、負担になることなく誰でも利用できるスペースがあったらいいと思う。家で集中できない人が気軽に利用できる場所 ・自習スペース。図書館のこじんまりとした空間だけでなく、あるといいなと思う ・教育格差是正のために自習室等の学習環境をもっと充実させる ・図書館のように自習ができるような施設がほしい。できれば図書館との休みがずれてほしい ・図書館など静かで勉強がしやすい環境のある施設 ・学習スペースが広い大きな図書館 ・とても広くて学生専用勉強ブースがある図書館。一般利用者と学生を分ける ・個室の自習室部屋が複数ある施設 ・勉強ができるスペース（施設）。一人だけのところか、友だちと一緒にできるところ ・家のように気軽に過ごせる場所がほしい。ワークスペースなど <p>【集まれる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味がほぼ一致する人同士が楽しめる居場所 ・家以外で他の人に迷惑をかけずに友だちと話ができる空間がないので、個室で友だちと気軽に集まれてお話ししたり、勉強したり、さまざまな用途で使用できる空間があるとうれしいなと思います ・学生が遊べる場所（プールなど） ・遊ぶ場所が少ないので、集まれる場所がほしい ・若者が集まれる娯楽施設 ・下校や休日に友だちと気軽に立ち寄れるお店がもっとあると良い ・若者同士で集える場所（悩みを共有する会など） ・コミュニケーションがとれる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家に居場所がない子たちが簡単に利用できて、行きやすい施設 ・小学生は放課後が休みの日に立ち寄れる児童館がある。一方、中高生は児童館のように軽くフラッと立ち寄れるような施設を聞いたことがない。中高生は人間関係や勉強などで悩みを抱えやすい。そんな中高生にこそ、勉強を教えてもらったり、自習をしたり、軽く遊びに来たり、気軽に愚痴や悩みを話せるような、いわゆる中高生版児童館のような居場所を用意すべきだと思う ・個人で勉強を教えてくれたり、LINEで気軽に相談ができるとうれしいです ・外国の人と交流する場。異性と交流する場 ・年代と交流や勉強ができる場があるとうれしいです ・ひまつぶしができるところ ・逃げられる場所 <p>【相談場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近に本当に相談できる人がいないとき、相談できる窓口は必要だなと思います。身内に相談することに抵抗がある人も多いと思うので、他人相手という点も良いポイントだと思いました。これからも変わらず、そういう窓口は設置すべきだと考えています ・友だち関係やいじめなどで悩んでいる人はたくさんいると思うので、気軽に相談できる場所ができたら安心だなと思います。また、子育てで悩んでいる人もいると思うので、先輩ママからアドバイスをもらえる機会や、交流会を開いて、話を聞いてもらうだけでも楽になると思うので、そのようなイベントみたいなものがあつたら、子どもができたときに安心だなと思います ・勉強できるような雰囲気のカフェで、進路や悩み事を気軽に相談できる場所。学校関係外の所・人で進路の相談ができる場所 ・何でも相談できるところ ・友だち感覚のように相談できる場所があるといい <p>【スポーツ施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館 ・スポーツができる場所 ・安全に遊べる広場（スポーツエリア） ・スケートボードができる場所（3件） ・バスケットボール、サッカーなどスポーツができる場。大きな屋内施設 ・屋外の屋根付きフットサル場 ・ジム（2件） <p>【公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園（8件） ・遊べる場所（公園など）（2件） ・室内広場 ・友だちや恋人と来れる遊園地的な公園や、写真スポットをつくれば、町に活気があふれて、豊かに住みやすい池田町になると思います ・木育施設
--	--

<p>【大規模店舗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール（7件） ・大型商業施設（3件） ・商業施設（2件） ・大きなデパート ・モレラとか遊ぶ場所 ・大型ショッピングセンター（2件） ・ショッピングモール等の友人と遊べるような施設 ・もっといいショッピングができるところ。モレラ、アクアはしょぼい ・商店街をつくってほしい ・スーパーなどの施設 ・アウトレット ・若者向けの店（流行のものを扱う店）がほしい <p>【カフェ・飲食店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マクドナルド（9件） ・飲食店（4件） ・飲食店（チェーン店）（3件） ・飲食店（アクセスよく） ・飲食店やゆったりできる施設があるといいと思う ・おいしいご飯屋さん（特にラーメン） ・大手飲食店（マクドナルド、コメダ、はま寿司、サイゼリア） ・ファミリーレストラン（3件） ・カフェ（7件） ・スタバ（2件） ・カフェ併設の勉強ができるところを新しくつくる（マクドナルドやスターバックスなど） ・勉強ができたり、友人と集まってお話ししたりできるようなカフェなどの施設 ・学生が気軽に通えるカフェ ・気軽に立ち寄れるファミレスやファストフード店 ・カフェなどもっと遊ぶことができる場所がほしい ・喫茶店 ・学生、若者が入りやすいお店 ・パン屋（2件） ・手作りの弁当屋やパン屋 ・地元にあるお店のテイクアウトフードを日にち限定で駅で販売してほしい <p>【娯楽施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームセンター（5件） ・ゲームセンター（ボウリング、カラオケ） ・カラオケ（3件） ・ボウリング ・映画館（4件） ・映画館などのアミューズメント施設（2件） ・バッティングセンター ・ひらかたパーク ・ラウンドワン I K E D A ・遊ぶ場所がほしい（2件） ・娯楽施設 ・池田町には子ども（学生）が遊べるカラオケやボウリングなどが1つもないので、あるとよいと思った ・池田温泉 	<p>【書店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本屋（3件） ・大きい本屋（2件） <p>【コンビニ・その他店舗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスルー ・百均ショップ（2件） ・コンビニ（4件） ・高校に向かうときにコンビニに寄ってお昼などを買いたいので、コンビニを増やしてほしい ・スポーツ用品店 ・アニメイト。アニメグッズ等を購入できる店舗 ・リサイクルショップ <p>【福祉・医療関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂（2件） ・保育園・幼稚園など ・保健室みたいなところ ・樹心寮 ・介護施設 ・無料の介護施設 ・障がい者が働ける飲食店 ・色々体験できるイベント（eスポーツ、クラフト系） ・子どもを預けておける場所 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老鉄道（2件） ・電車（2件） ・本数の多い電車 ・情報について学べる場所 ・若者にも受けがいい（誰もが楽しいと感じられる）観光スポット（施設） ・衛生的なトイレ ・池田町にアルバイトのできる場所を増やしてほしい ・部活動 ・言語を使わず、ジェスチャーで意思疎通を図るメタバースの世界がもっと増えるといいと思う。言葉がない分、誹謗中傷される心配はない ・坂がきつい ・外灯を増やしてほしい ・自転車での通学が遠い ・学校
---	--

6 意見・要望等

(1) 中学生

- 僕みたいに、結婚することに無関心、興味のない人のために、魅力を伝えたりするといいと思います。(男性)
- 日本で働くよりも海外で働いた方が得だなと感じる人が増えると、日本で働く人が減ってってしまうので、働きやすい環境をつくったり、所得を上げたりして下さるとありがたいと感じます。(男性)
- 親が共働きの世帯、そうでない世帯を含め、職と子育ての充実と休暇（インドア、アウトドア問わず楽しめる時間、場所）があれば、人は増えると思う。出生数が減っているため、移住者だけを狙って人口を増やすことは難しく、町や県単位で出生数を増やすように、他市町村（明石市等）を参考に補助金を出せばいいと思う。(男性)
- 部活動において、県から出されている規定が守られておらず困っています（時間、休み等）。また、子ども主体性とはほど遠く、理不尽な言動や暴言により、子どもたちが萎縮してしまい、とても環境が悪い。部活動によって、時間や休日の規定を守っている部と守っていない部と差があるようなので、もっと厳しく規制してほしい。(男性)
- 本屋、CDショップがほしい。または、図書館をもっと充実させてほしい。(2件)
- 古い考えばかりにとらわれず、新しいやり方を取り入れて、まずやってみる。良いと思ったことを「すぐに」始める。若い人が住みたくなるようなまちづくりをしてください。(女性)
- 私は外国人中学生なので、冬休み、春休み、夏休み中に勉強をフォローアップしてくれる環境をつくってほしい。(女性)
- 若者がここから出てしまうような雰囲気にならないために、外に出る必要を無くせば良いと思う。だから都会のような便利なものを建てたり、つくったりするのが良いのではないかと思う。(男性)
- すてきな支援だと思う。(女性)
- 遊びに出かけるのに交通費がかかる。(女性)
- 将来の進学費用が不安。(女性)
- 学費を無料にしてほしい。(女性)
- 給食費の無償化。(女性)
- 親の経済的負担を減らしてほしい。(女性)

○高校無償化（男性）

(2) 15～18歳

① 経済的支援

- 子どものための補助金を増やしてほしい。（女性）
- 医療費が高校生まで無料なのは非常にありがたい。（女性）
- ぜひ僕への支援金をお願いします。お金が足りないよ。（男性）
- 給食費の補助、医療費無料は非常にありがたい制度だと思う。（女性）
- 子育ての給付金必要。学費の補助ほしい。（女性）
- 中学生までの検定の補助を大学生までにしてほしい。（男性）
- 毎年、図書券がもらえると資格試験や進学するための参考書が買いやすくてうれしいです。（女性）
- 大学費がもっと安くなれば、みんな大学に行けるのになと思います。（女性）
- 大学生への補助があるとよい。この辺りに大学がないので。学ぶには池田町を離れるしかない。（男性）
- 高校卒業まで児童手当を支給していただきたい。（女性）
- 高校・大学の教育費の支援がほしいです。行きたい大学があるのに、入学費や授業料に加え、一人暮らしの際に必要な費用を考えたところ、断念せざるを得ませんでした。私の大学入学と、兄が就職のために一人暮らしをする時期が重なっているのも一つの要因だと思います。お金が原因で、自分のやりたいこと、行きたい大学を諦めてしまう人が少なくなるといいなと思います。（女性）
- 池田町在住なら、大学卒業まで医療費を免除してくれるようになったら良いなと思います。（女性）
- 所得制限なしで経済的支援があったらいいと思う。（女性）
- 中学、高校と県外に出ましたが、医療のお金がゼロにならない。県内、県外でも手続き等、お金を払わないようにしたい。（女性）
- 専門学校、大学生にも電車賃や学費の補助を願う。（女性）

② 鉄道、交通費の助成

- 養老鉄道の本数をもっと増やしてほしい。（女性）
- 朝の通学時間帯の電車を2両から3両にしてほしい。（男性）

-
- 池田町内にある養老鉄道の駅の駐輪場が狭く、自転車が止められません。どうかしてほしいです。(男性)
 - 電車の定期券を持っていない小学生、中学生、高校生に交通費の支援をしてほしい。(男性)
 - 金銭的支援がほしい。養老鉄道の定期券の3分の1助成がとてもありがたい。継続してほしい。(男性)
 - 養老鉄道の2割負担をしていただきありがとうございます。(男性)
 - 養老鉄道の定期の補助を大学生までにしてほしい。(男性)
 - 通学の定期代の補助をもっと出してほしい(男性)
 - 給付金をもっとあればいい。お金で将来の夢をあきらめることにならぬ社会にしてほしい。(女性)
 - 定期を全額負担してほしい。(男性)
 - 高校を卒業しても、学生のうちは定期購入の補助があるとうれしい。(女性)
 - 養老鉄道が高いので、普通の切符でも学割があったらいい。(女性)

③ 福祉

- きょうだい児（知的障がい）の支援をもっとしてほしい。(女性)
- 障がい者のきょうだいがいる私のような若者は身近にたくさんいます。その子たちの悩みは、親が亡くなってからのきょうだいの面倒をみることです。だから、障がい者の人たちを受け入れる入所施設の設立や斡旋してくれるような窓口があると、今から安心して過ごすことができると思います。もし、あるのなら分かりやすく町報などで伝えてほしいです。(女性)
- ヤングケアラーの方への支援や募金活動を行ってほしい。(女性)
- 悩み相談窓口のように、悩みを話す場は設けられているが、自身の感覚としては「悩み相談窓口」というようなところに立ち寄ったり（電話をしたり）、知らない人である職員に悩みを打ち明けることには、抵抗感を感じる。また、悩みがまだ心のちょっとしたモヤモヤであるという段階では、「これぐらいのモヤモヤを話すなんて大げさじゃないかな…」というように感じて相談をためらい、相談する頃には大きな悩みと化して、解決が困難になってしまうこともあると思う。そのため、悩み相談の窓口の充実、単体だけでなく、まずは相談を担当する人との信頼を深めることから始めることで、心の内を明かしやすくなると思う。信頼の深め方は、児童館のような施設でポ

ードゲームをしたり、勉強を教えるなどの方法があると思う。(男性)

○高齢者を支援した方がよいと思う。(男性)

④ 街灯の設置

○池の駅の周りにもっと明かりがほしい。(女性)

○街灯を少し増やしてください。(女性)

○街灯を増やしてほしい。(女性)

○暗い時間に下校するので、街灯が増えると安心して下校できます。(女性)

○街灯が少ない。特に池田中学校から宮地小学校周辺の街灯が少なく、放課後、部活の帰りの時間(冬場の17時30分~18時30分)に帰ると、街灯が少なく、自転車のライトをつけていても、辺りがはっきりと見えない。池田町は明るい場所と暗い場所の差が激しいので均等とはいわないが、整備に心がけてほしい。(女性)

⑤ まちづくり

○町民自由参加の池田町内のスタンプラリーや、歩く何かしらのイベントがあると、お年寄りの健康問題や、さらに若者も自分の故郷にもっと興味がわくんじゃないかなと思いました。(女性)

○子どもがのびのびと成長できるまちにしてほしい。(男性)

○自殺をなくせる町にしてほしい。(男性)

○もっと自然を生かした町にしてほしい。(男性)

○茶畑が荒れていく。若い世代だけで土地の管理をしていくのは難しいため、町からの支援や有効活用を考えてほしい。(男性)

○農業や茶畑を運営する人が減少傾向にあり、茶畑が荒れていくのを見て、今後、自分たちが管理・運営することを考えると、町からの支援や土地利用をしてほしいと思った。(男性)

⑥ 若者に魅力あるまちづくり

○今の若者世代が、将来池田町に残りたいと思うような環境、施設等を検討していただきたいです。(男性)

○自転車で行ける範囲でないと無理。道の駅とかに行く気になれん。結局、電車とかで大垣とかに行くことになるから、魅力がないまちになる。(女性)

-
- 地区間での経済・人口格差ができるだけ無くなればいいなと思います。例えば、下田畑などの地区には新しい家が建てられたりしますが、草深や小寺といった地区には、土地があるにも関わらず住む人が増えないので、地区によって行事などの負担の差があると、町から離れていく人が増えていくと思います。(女性)
 - 若者をターゲットにした施設をもっと増やすことで、若者も池田町に留まりたくなると思います。(男性)
 - 子どもが楽しめる施設がパツと思いつかない。子どものたまり場がほしい。(女性)
 - 図書館の開放時間がもう少し長いと、平日の夕方にも行きやすくて助かります。(男性)
 - 放課後とかに遊べる場所をもっとください。(女性)
 - 遊ぶ場所をください。(男性)
 - スケボーさせろー。すぐ警察に怒られます。家の前でやっているだけなのに通報されます。(男性)
 - 池田町を子育てしやすい町にして発展させてほしい。世代間のつながりと、同世代のつながりを増やしてほしい。町の発展を願う。そのために、今のままでは駄目だと思う。(女性)
- ⑦ その他
- 車のウインカーを出さずに交差点を曲がる車もいるので気をつけてほしい(ゲンキーとゲオのところ)。(女性)
 - 人間がいる限り、虐待や虐めを確実になくすことは無謀です。貧困がなくなったとしてもこの事実は変わりません。人間社会は今も昔も弱肉強食です。そのため、少子高齢化は仕方のないことだと感じています。下がれば上がるだけなので、限界まで下がれば、あとは時間が過ぎるのを待つしかないでしょう。今の世の中を生き抜かなければならない私たちに未来の心配をする余裕は正直ありません。(女性)
 - 教育現場に金銭的余裕を与えれば、先生方にも余裕ができ、より良い教育ができると考えます。(女性)
 - 意味のわからない税金制度(森林環境税など)を撤廃してほしいです。税金を減らしてください。バイト代を高くしてください。扶養控除の範囲を103万円以上にしてください。岸田さんを総理大臣からやめさせてください。(女性)
 - 池田町だけではできないかもしれませんが、公立高校でも給食を導入していただきたい

いです。朝早くからお弁当を準備するのは、共働きの家では大きな負担です。また、自分でお弁当を作っている高校生も少なくないです。小・中学校で食べていた給食は、健康にとっても配慮されていて、しかもおいしかったです。希望制でも良いので、高校でも給食を導入していただけないでしょうか。(女性)

- 学歴や境遇によって差別されない社会になってほしい。(女性)
- これからの未来が不安になってしまう原因となりうる悪い情報が多すぎる。信用できる大人がいないのではと思ってしまうくらい、情けない自分勝手な責任をとらないお仕事をしている人が身近にもいる。見本になる大人がいなくなれば、子どももおかしな成長をして、この先まっくらな社会になる。責任感のある仕事や子育てをしていけるように変えてほしい。今すぐやらないと手遅れになる。(女性)
- このようなアンケートを子どもや若者に行ってくださいすることで、若者の意見も尊重してくださってとてもうれしい。続けてほしいです。(女性)

第3部

まとめと考察

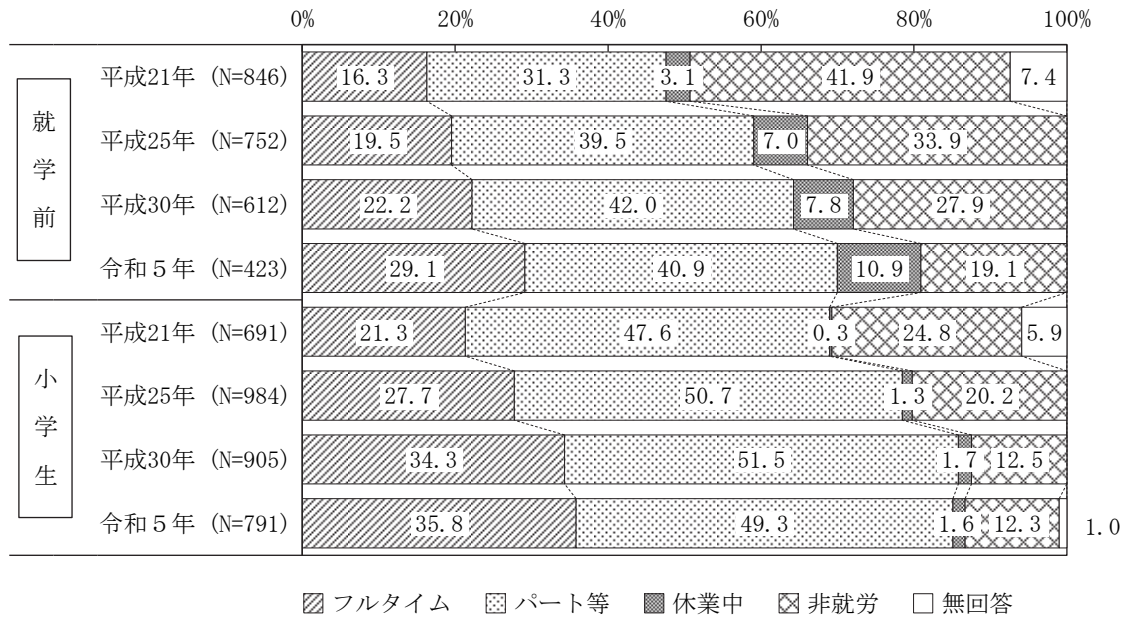
本部には、平成21年度に実施した「池田町次世代育成支援の行動計画（後期）策定に向けたニーズ調査」、平成25年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」、平成30年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」と比較分析しています。この場合、「平成21年」「平成25年」「平成30年」とあるのは上記調査を指し、「令和5年」とあるのは今回の調査を指します。

1 仕事と子育て

(1) 母親の就労状況・形態

母親の就労状況・形態をみると、就学前児童、小学生の母親ともに「フルタイム」の割合の上昇が続いています。また、「フルタイム」「パート等」「育休・介護休業中」を合計した<就労している割合>は、就学前児童の母親は80.9%で上昇が続いていますが、小学生の母親は86.7%と、わずかながらも前回調査を下回りました。

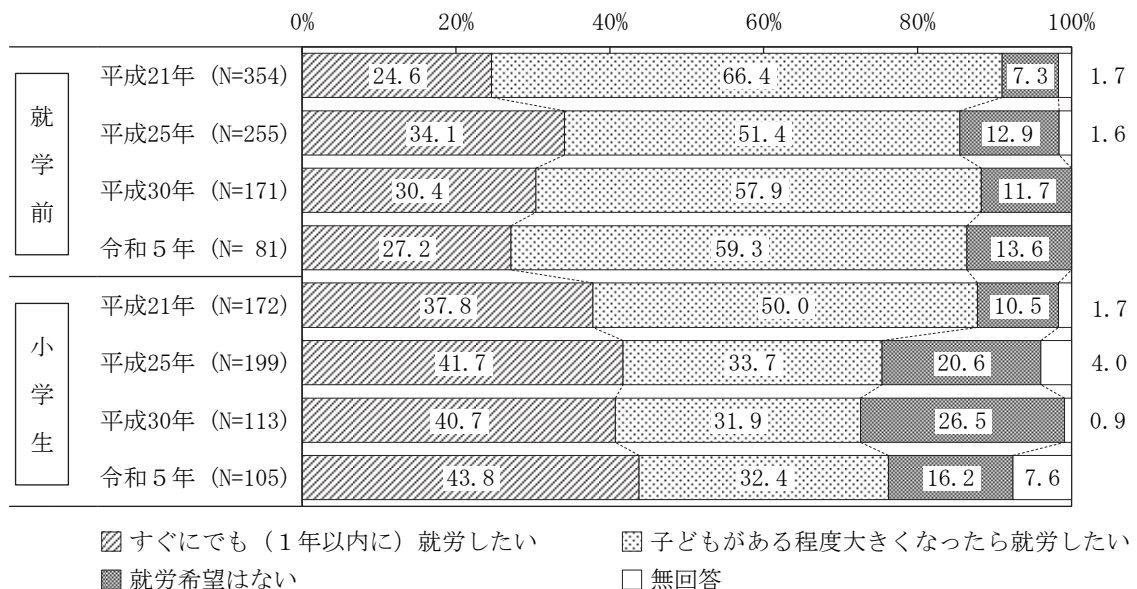
図表4-1 母親の就労状況・形態



(2) 就労していない母親の就労意向

就労していない母親の就労意向は、就学前児童の母親は、「子どもがある程度大きくなったら就労したい」が高くなり、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は

図表4-2 就労していない母親の就労意向

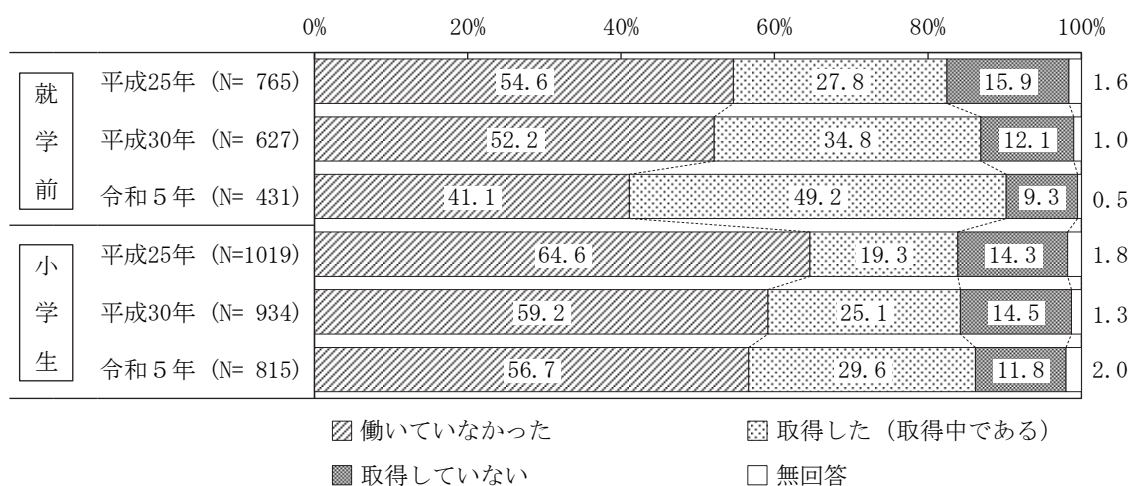


低下する傾向にあります。小学生の母親は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が、これまでの調査の中で最も高くなっています。

(3) 育児休業の取得状況

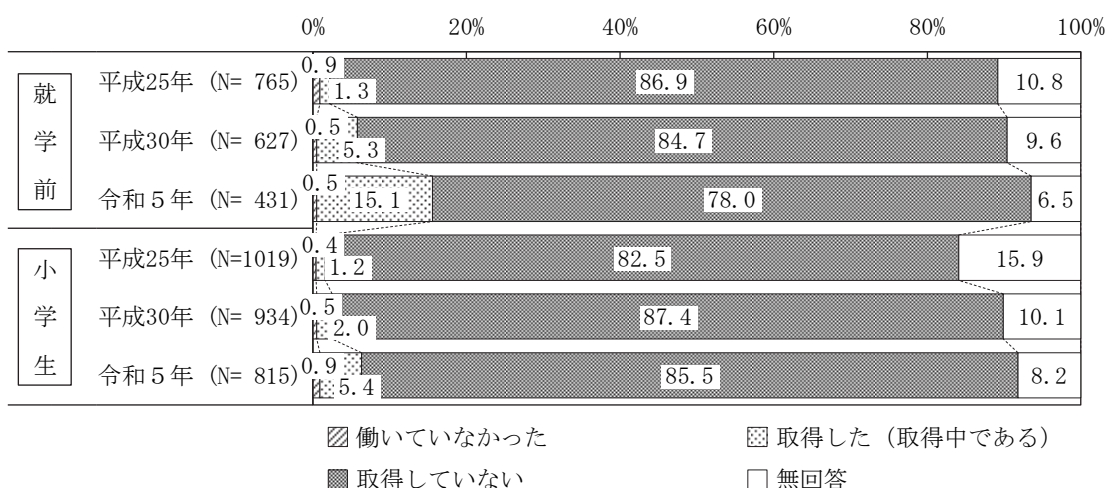
図表4-3は、母親の育児休業の取得状況です。就学前児童、小学生の母親ともに「取得した（取得中である）」が高くなっています。この図表には、就労していない人を分母に含めているので、就労している人だけで計算すればさらに高くなり、就学前では80%を、小学生では70%を超えます。

図表4-3 母親の育児休業の取得状況



父親の育児休業の取得状況をみると、「取得した（取得中である）」は、就学前児童の父親は5.3%→15.1%へ、小学生の父親は2.0%→5.4%へ上昇しています。就学前児童の父親の取得率が大幅に上昇しており、比較的若い父親の取得が進んだと推察されます（図表4-4）。

図表4-4 父親の育児休業の取得状況



2 教育・保育事業

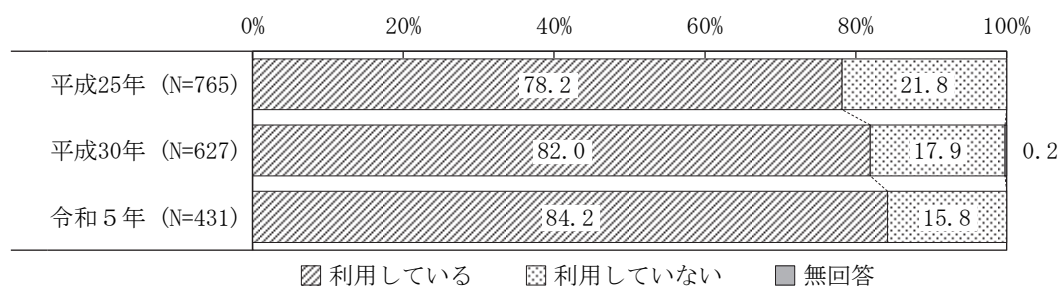
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用意向（就学前児童）

幼稚園、保育園、認定こども園など定期的な教育・保育事業の平日の利用については、84.2%が「利用している」と回答しており、調査毎に上昇を続けています(図表4-5)。

また、年齢別にみると、3歳以上の利用率はほぼ100%ですが、0～2歳の利用率はさらに上昇していくと予測されます(図表4-6)。

利用状況と利用意向について事業別にみると、ほとんどの事業において利用意向が利用状況を上回っています。なお、年齢により利用できない事業もありますが、利用意向は回答のまま集計しています(図表4-7)。

図表4-5 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（就学前児童）



図表4-6 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（就学前児童、年齢別）

区分	令和5年		平成30年	
	利用している	利用していない	利用している	利用していない
0歳	31.7	68.3	27.7	72.3
1歳	72.9	27.1	62.3	37.7
2歳	91.7	8.3	78.1	21.9
3歳	100.0	-	100.0	-
4歳	98.9	1.1	99.2	0.8
5歳	100.0	-	99.3	0.7

図表4-7 定期的な教育・保育事業の利用状況と利用意向（複数回答、就学前児童）単位：Nは人、他は%

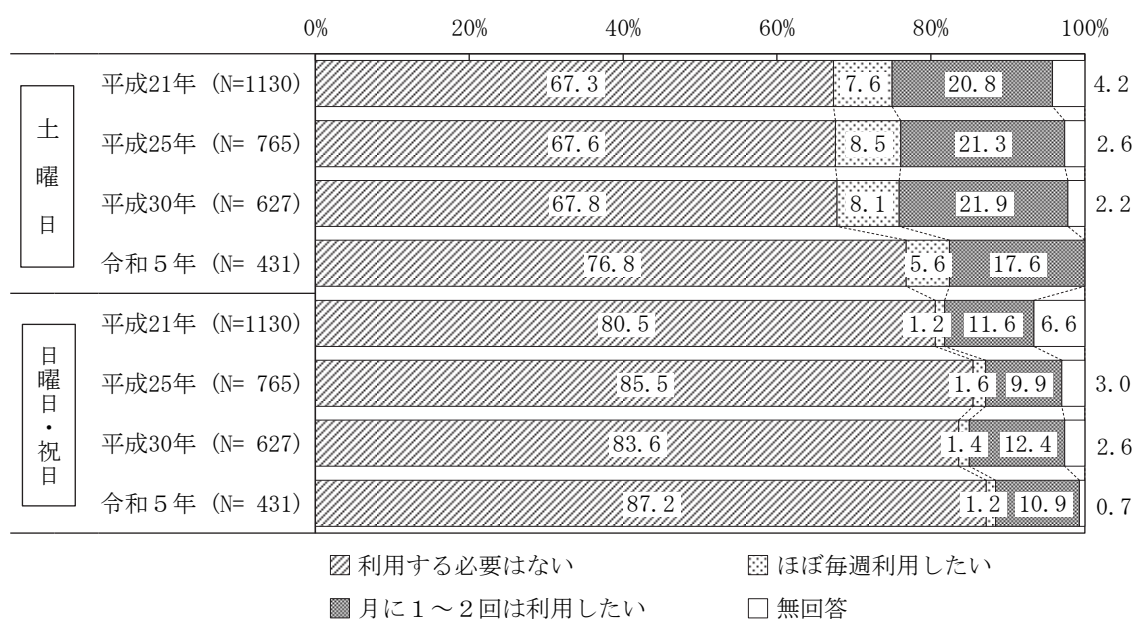
区分	N	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育園	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	利用していない	
		利用状況	平成30年	627	8.8	1.6	46.6	25.0	-	-	0.8	0.2	-	-
	令和5年	431	4.9	1.4	46.2	32.3	-	-	0.2	0.5	-	0.5	0.7	15.8
利用意向	431	18.4	11.9	63.8	41.8	1.4	0.7	4.4	0.5	3.5	7.4	0.5	-	

(2) 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（就学前児童）

土曜日の定期的な教育・保育事業については、「ほぼ毎週利用したい」が5.6%、「月に1～2回は利用したい」が17.6%あります。これまでの調査の中で最も低くなっています。

日曜日・祝日は、「ほぼ毎週利用したい」が1.2%、「月に1～2回は利用したい」が10.9%です。大きな変化は見られませんが、これまでの調査の中で「利用する必要はない」が87.2%と最も高くなっています。

図表4-8 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（就学前児童）

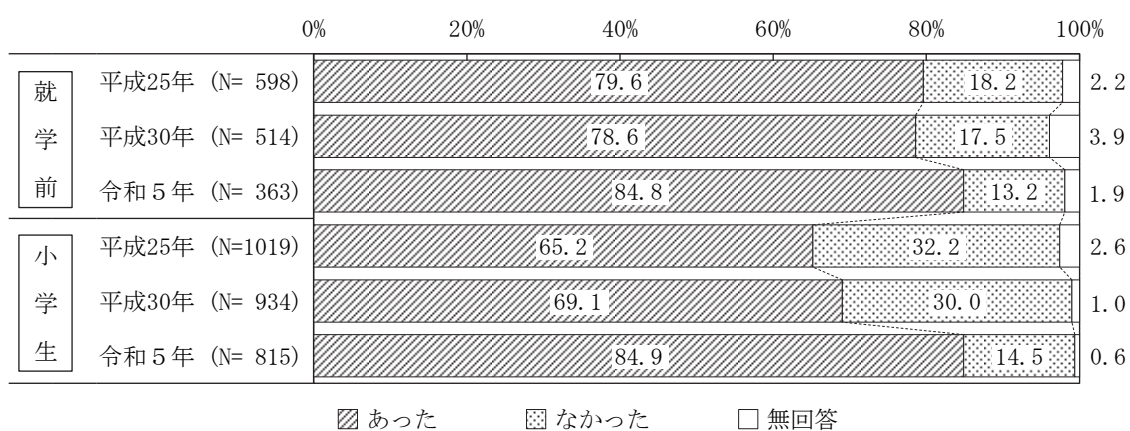


(3) 子どもが病気の時の対応

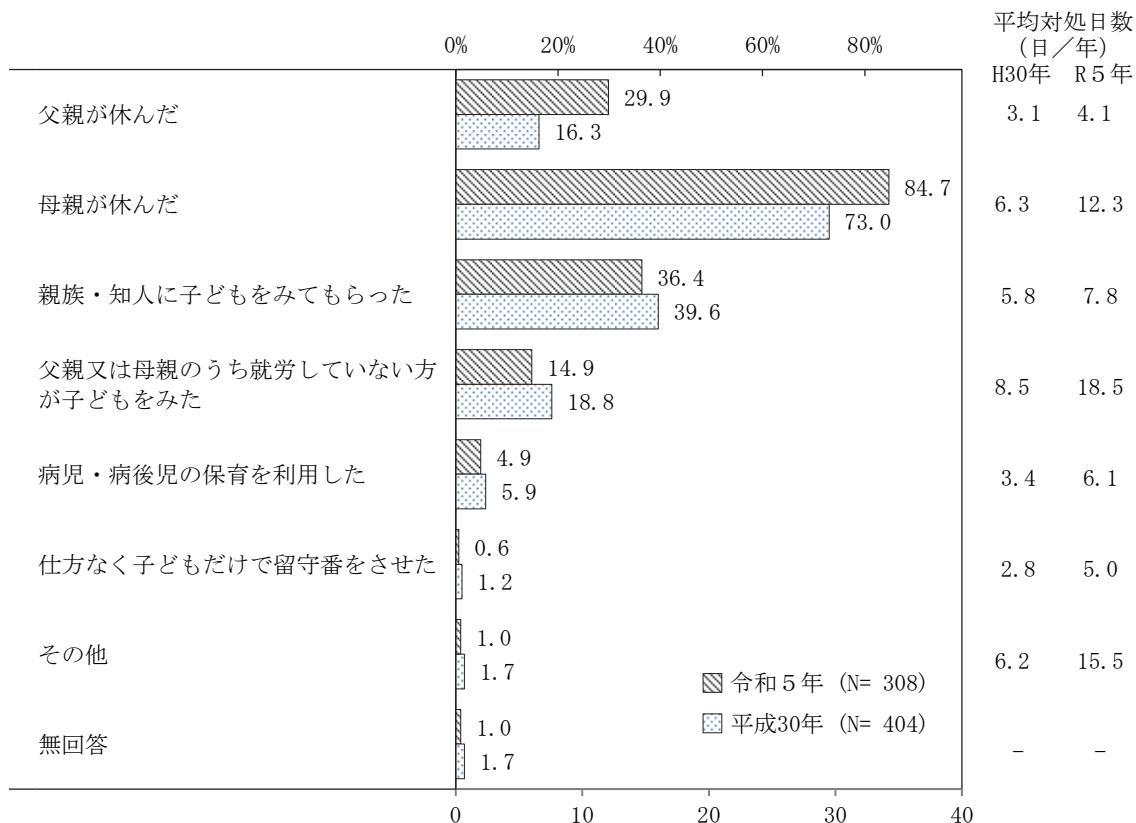
この1年間に、子どもが病気やケガで幼稚園、保育園、認定こども園などを休んだことが「あった」と答えているのは84.8%、小学校を休んだことが「あった」と答えているのは84.9%です。これまでの調査と比べると、「あった」は就学前児童が5ポイント以上、小学生が15ポイント以上高くなっており、新型コロナウイルスの流行による影響があると考えられます（図表4-9）。

園や小学校を休まなければならなかった時の対処方法としては、「母親が休んだ」が高

図表4-9 子どもが病気等で保育園・幼稚園や学校が利用できなかったことの有無

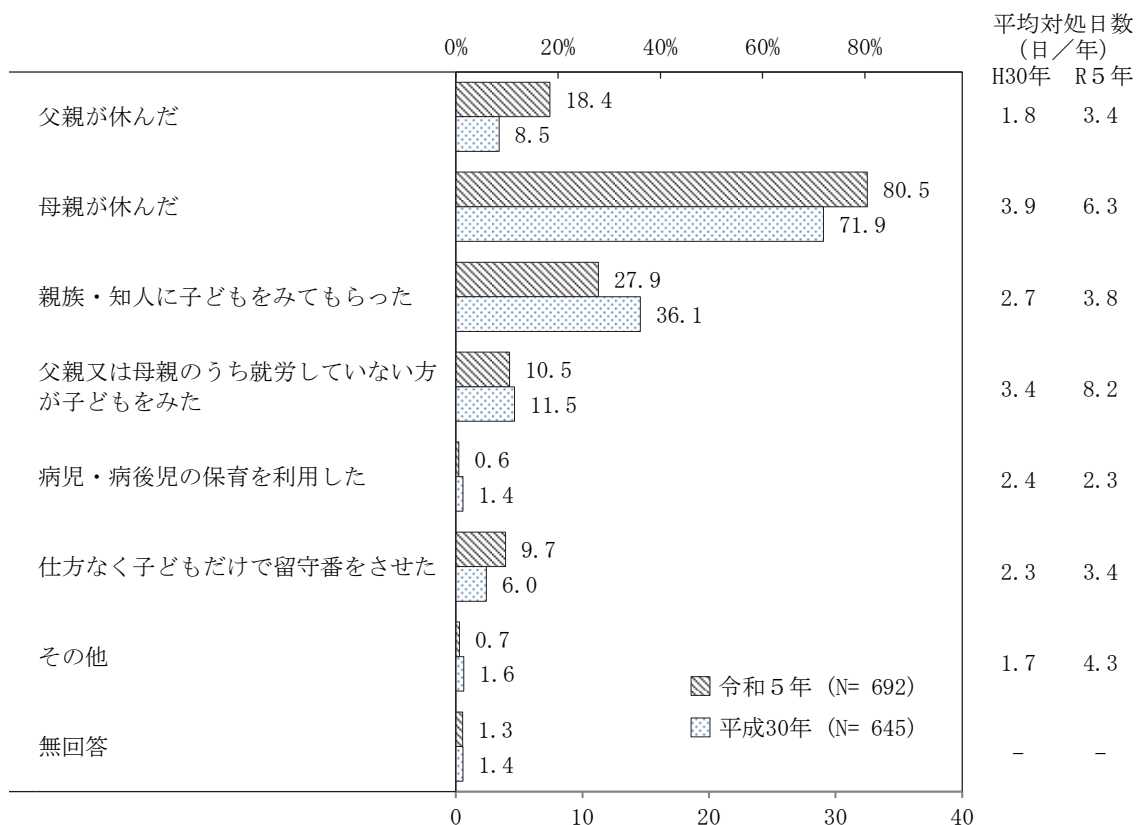


図表4-10 子どもが病気等で園や小学校を利用できなかった時の対処方法（複数回答、就学前児童）



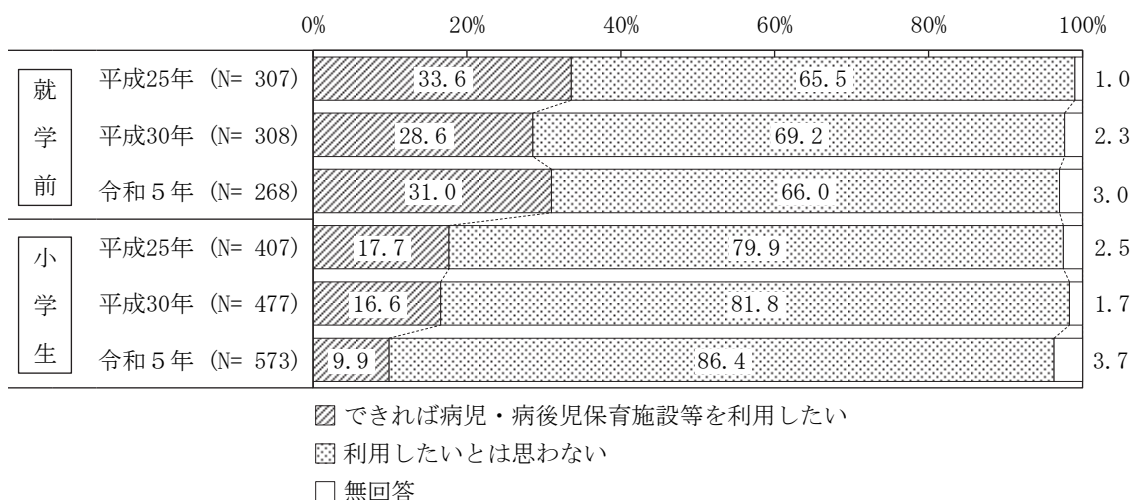
く、日数としては「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が多くなっています（図表4-10・図表4-11）。

図表4-11 子どもが病気等で園や小学校を利用できなかった時の対処方法（複数回答、小学生）



「父親が休んだ」「母親が休んだ」と答えた就学前児童の31.0%、小学生の9.9%が、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えています。就学前児童は前回調査より高くなっていますが、小学生は低下傾向にあります（図表4-12）。

図表4-12 病児・病後児施設等を利用したいと思ったか

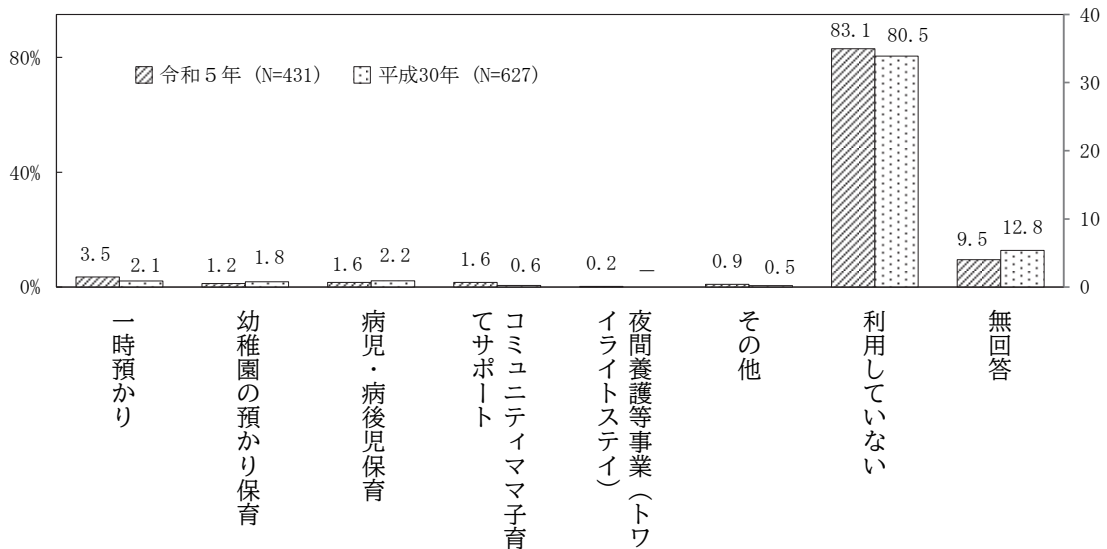


(注) 回答者は、図表4-10・図表4-11で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と答えた人である。

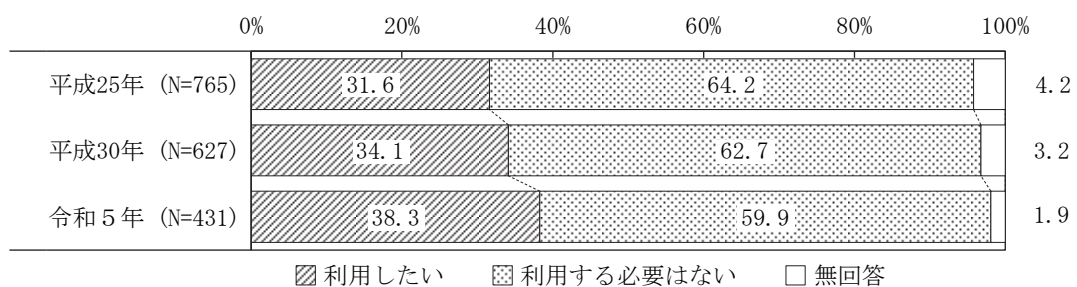
(4) 不特定の教育・保育事業（就学前児童）

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業としては、「一時預かり」(3.5%)、「病児・病後児保育」(1.6%)などあまり高くはありません（図表4-13）。しかし、不特定の教育・保育事業を「利用したい」と答えた人は38.3%あり、調査毎に上昇を続けています（図表4-14）。

図表4-13 不特定の教育・保育事業の利用状況（就学前児童・複数回答）



図表4-14 不特定の教育・保育事業の利用意向（就学前児童）

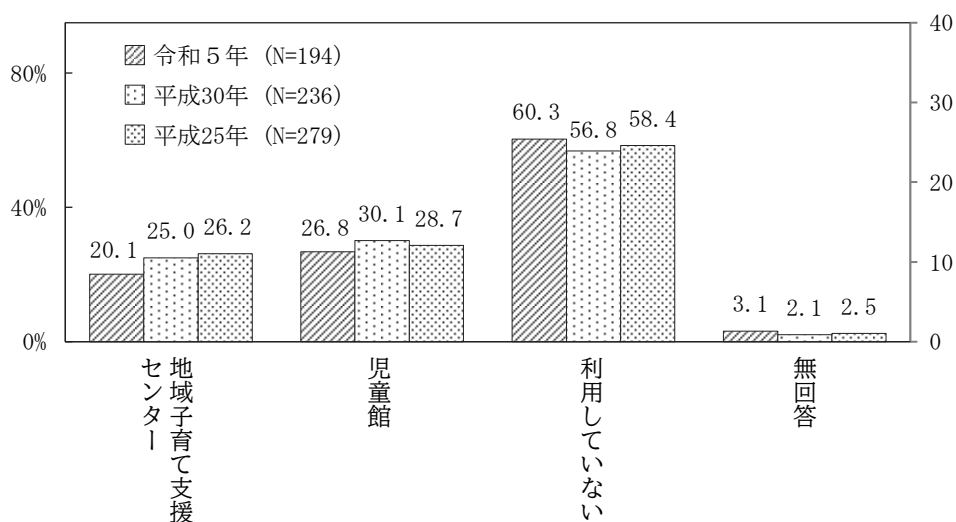


3 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用意向（3歳未満）

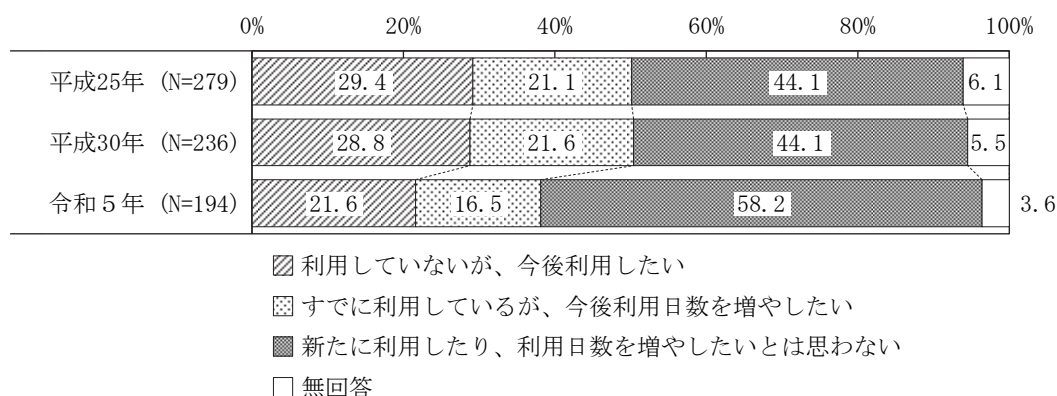
3歳未満の地域子育て支援拠点事業の利用状況は、図表4-15のとおりです。「地域子育て支援センター」が20.1%、「児童館」が26.8%となっていますが、「利用していない」も60.3%あります。

図表4-16で地域子育て支援拠点事業の利用意向をみると、「利用していないが、今後利用したい」が21.6%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が16.5%、合わせて38.1%となっています。

図表4-15 地域子育て支援拠点事業の利用状況（3歳未満・複数回答）



図表4-16 地域子育て支援拠点事業の利用意向（3歳未満）



4 放課後児童クラブ等

(1) 放課後児童クラブの利用（小学生）

放課後児童クラブの利用は、全体では19.4%となっており、平成30年に比べると「利用している」は1～3年生は高くなり、4～6年生は低下しています（図表4-17）。

図表4-17 放課後児童クラブの利用状況（小学生）

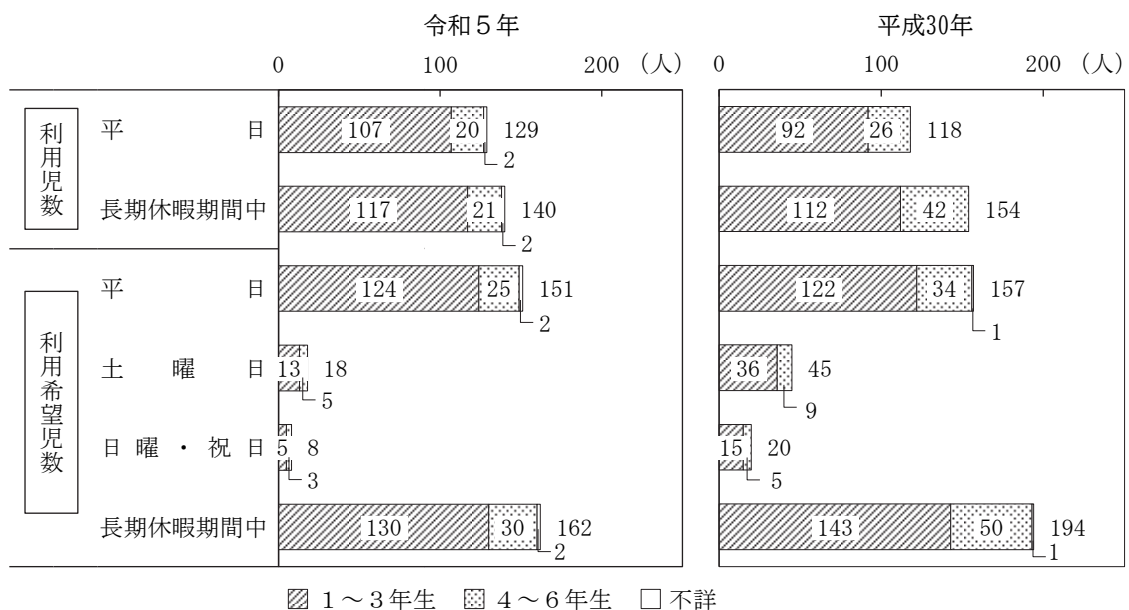
単位：%

区分	令和5年				平成30年				平成25年			
	利用している	利用していないが、できれば今後利用したい	利用していないし、今後利用する必要はない	無回答	利用している	利用していないが、できれば今後利用したい	利用していないし、今後利用する必要はない	無回答	利用している	利用していないが、できれば今後利用したい	利用していないし、今後利用する必要はない	無回答
全体	19.4	5.5	73.7	1.3	17.3	6.3	75.3	1.1	9.5	9.7	78.3	2.5
1年生	38.3	4.7	57.0	-	31.9	12.3	54.6	1.2	12.5	23.1	61.3	3.1
2年生	33.6	12.4	53.1	0.9	25.2	10.1	64.7	-	17.6	16.4	62.4	3.6
3年生	27.7	7.7	63.2	1.3	22.6	5.1	71.5	0.7	15.9	5.3	77.1	1.8
4年生	14.3	4.2	79.8	1.7	15.4	4.9	79.0	0.7	12.4	5.2	79.7	2.6
5年生	5.0	3.6	89.3	2.1	7.6	3.5	87.7	1.2	0.5	5.4	92.5	1.6
6年生	1.3	1.9	94.8	1.9	5.1	2.3	90.3	2.3	-	3.5	94.2	2.3

(2) 放課後児童クラブの利用児数と利用希望児数（小学生）

図表4-18は、放課後児童クラブの利用児数と利用希望児数を示しています。夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望が最も多い162人となっています。

図表4-18 放課後児童クラブの利用児数と利用希望児数（小学生）

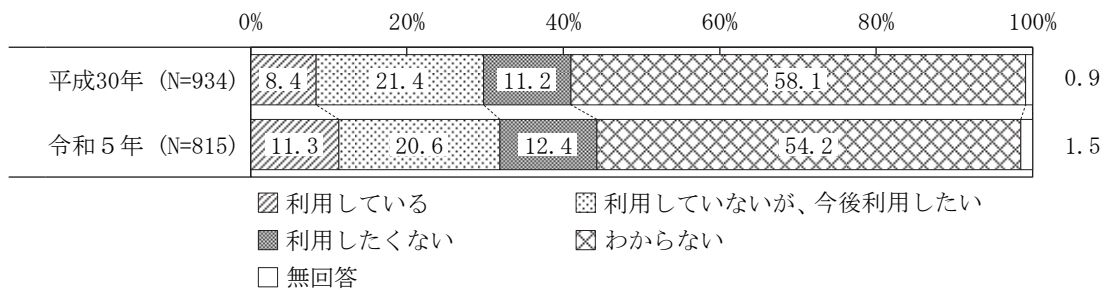


(3) 池田っ子チャレンジ教室（小学生）

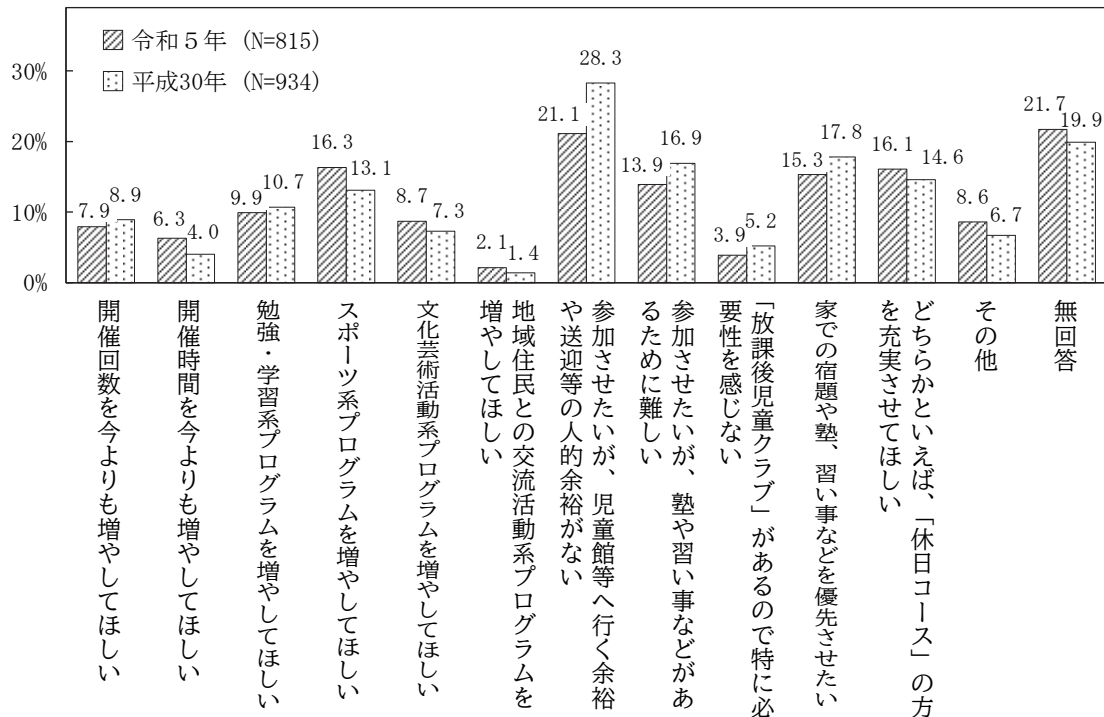
すべての子どもを対象とする「池田っ子チャレンジ教室」については、「わからない」が54.2%を占めています。「利用している」は11.3%ですが、「利用していないが、今後利用したい」が20.6%あります。プログラム、開催日、送迎などの改善により高いニーズとなる可能性があります。

また、学習支援としての寺子屋については、43.9%と高い参加意向を示しています。

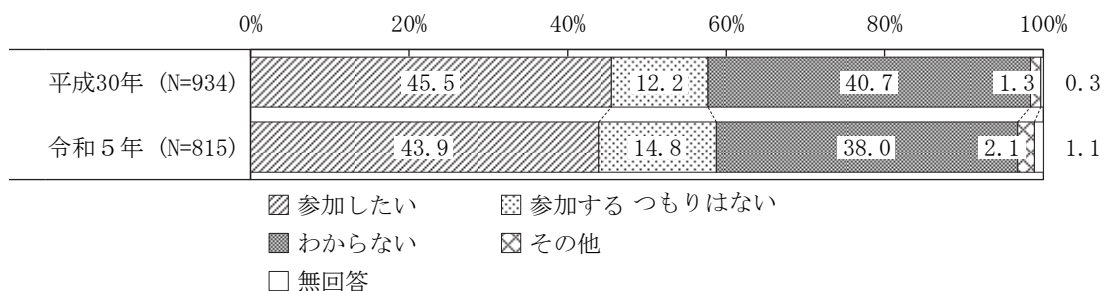
図表4-19 池田っ子チャレンジ教室の利用状況（小学生）



図表4-20 池田っ子チャレンジ教室の考え方（小学生・複数回答）



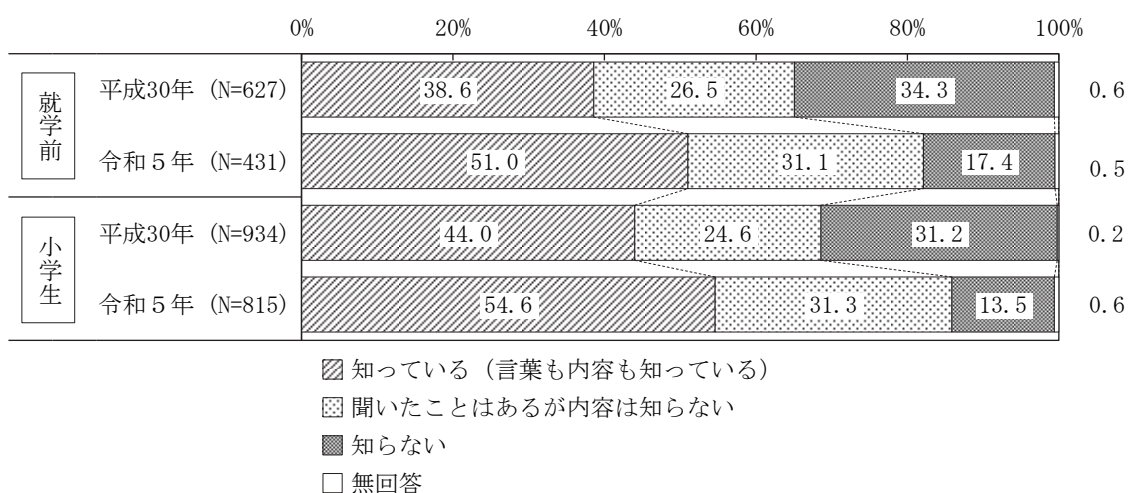
図表4-21 寺子屋の参加意向（小学生）



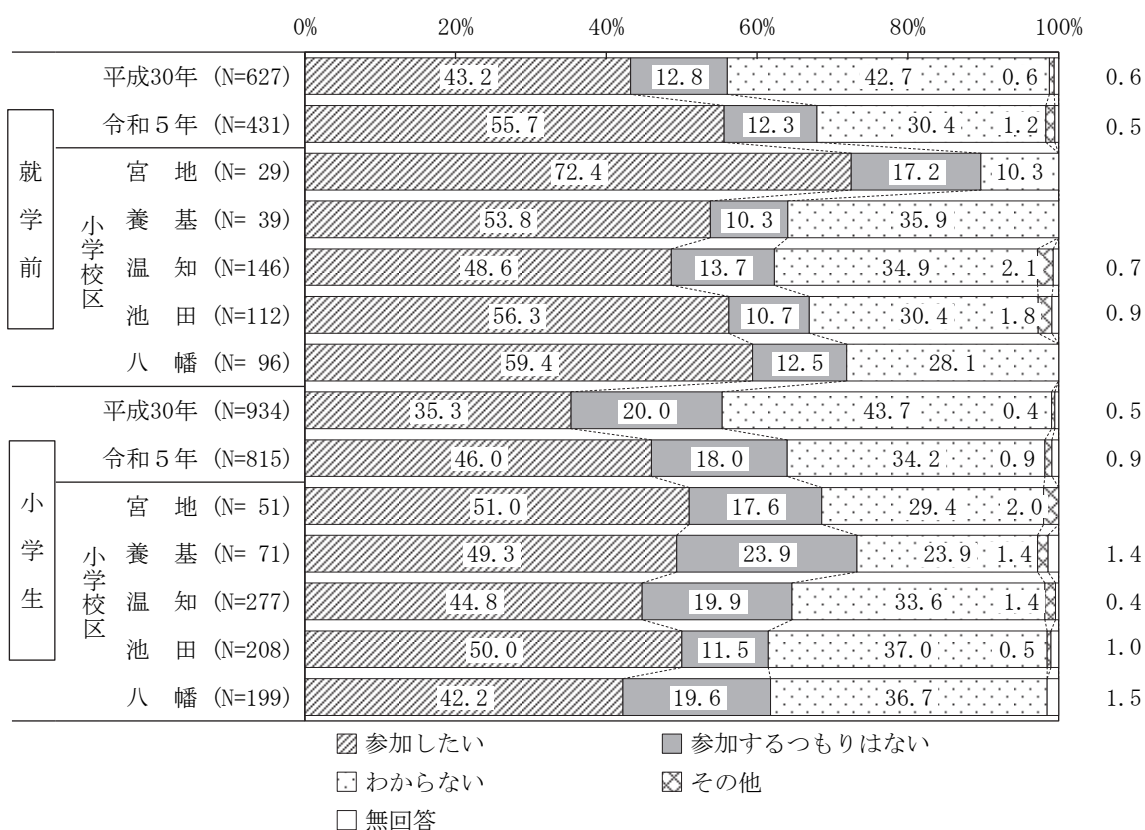
5 子ども食堂

子ども食堂の認知度については、「知っている（言葉も内容も知っている）」は、就学前児童は51.0%、小学生は54.6%となっており、前回調査と比べると、いずれも10ポイント以上高くなっています。参加意向は就学前児童が55.7%、小学生が46.0%となっており、前回調査と比べると、認知度と同様に10ポイント以上高くなっています。

図表4-22 子ども食堂の認知度



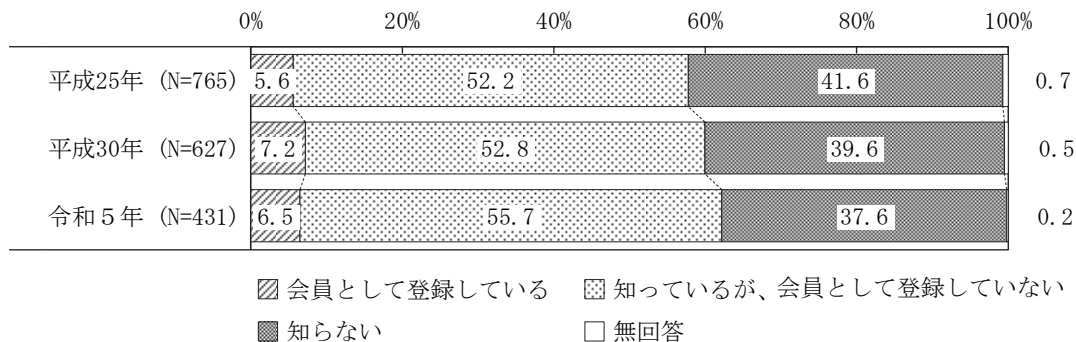
図表4-23 子ども食堂の参加意向



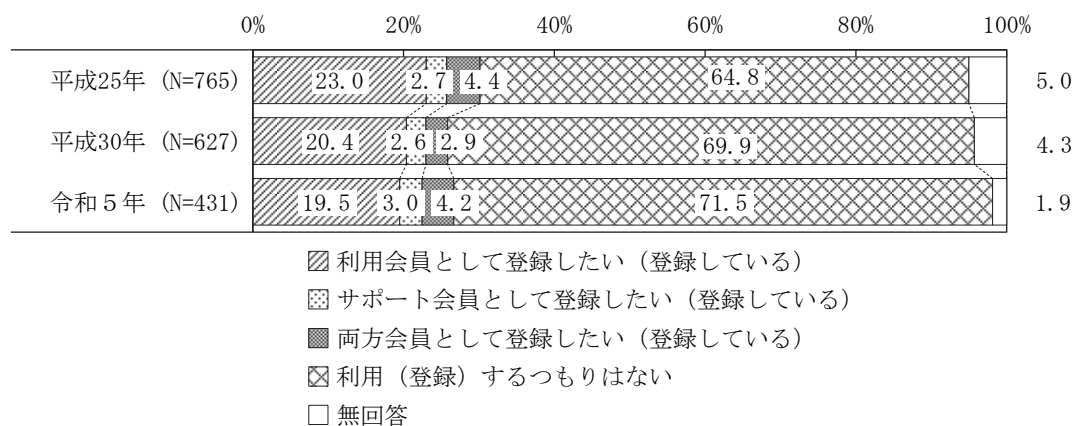
6 コミュニティママ子育てサポート（就学前児童）

コミュニティママ子育てサポートの認知度はわずかながら高くなっていますが、利用意向については大きな変化はありません。

図表4-24 コミュニティママ子育てサポートの認知度（就学前児童）



図表4-25 コミュニティママ子育てサポートの利用意向（就学前児童）



7 子育て支援サービスの評価等

図表4-26は、子育て支援事業等について、改善してほしいこと、利用してよかったことについて記述された件数をまとめたものです。保育園・認定こども園、病児・病後児保育、学校、放課後児童クラブなどについて多くの記述がありました。

件数の多いサービスは利用が多く、利用してよかったことが多いサービスは評価が高いバロメーターとも言えます。改善してほしいことが多いサービスについては、内容を確認するとともに、ニーズの高いサービスであることを示しているのとらえ、見直しについて検討していく必要があります。

図表4-26 子育て支援事業等の改善してほしいことやよかったこと

単位：件

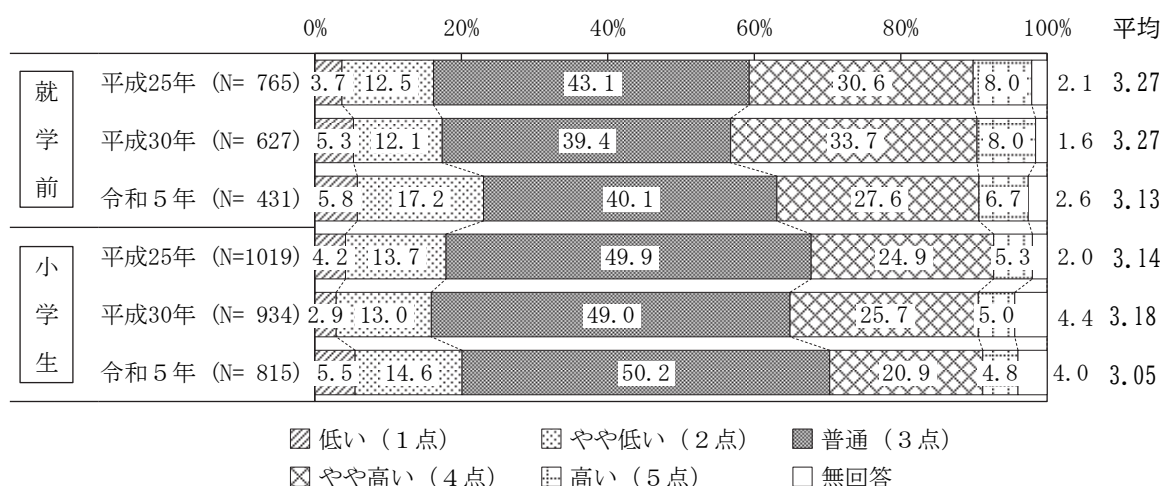
就学前児童			小学生		
サービス名	改善してほしいこと	利用してよかったこと	サービス名	改善してほしいこと	利用してよかったこと
保育園	43	61	学校	89	38
認定こども園	12	36	放課後児童クラブ	58	53
幼稚園	8	9	児童館	4	6
病児・病後児保育	41	12	その他	15	9
保健センター	31	29			
コミュニティママ子育てサポート	8	9			
児童館	6	5			
子育て支援センター	3	5			
ことばの教室	3	4			
その他	5	1			

8 子ども・子育て支援の充実のために

(1) 子育ての環境や支援への満足度

地域の子育ての環境や支援への満足度については、平均点でみると、就学前児童が3.13、小学生が3.05となっています。これまでの調査と比べると、いずれも満足度は低下しています。

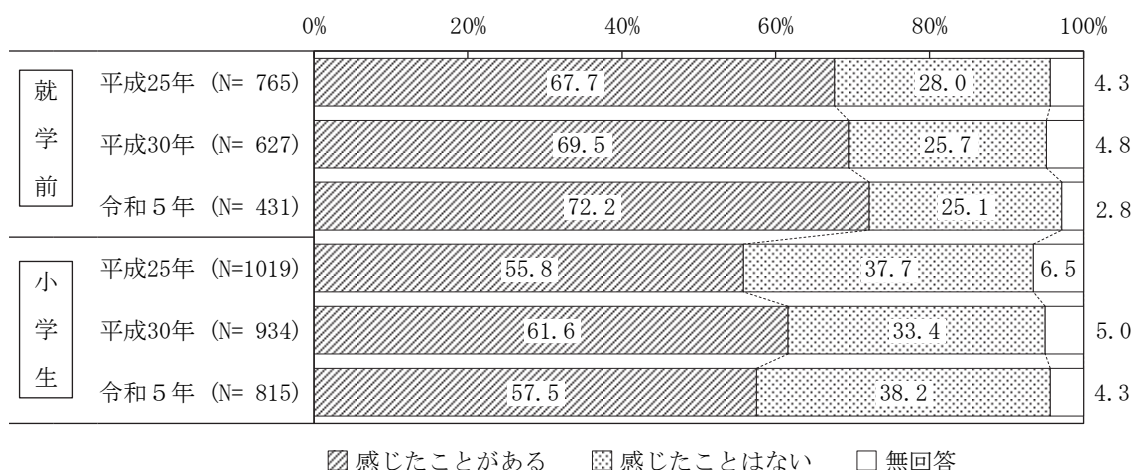
図表4-27 子育ての環境や支援への満足度



(2) 子育て支援を感じたことがあるか

地域、園、学校、職場、行政の関係施設などにおいて、子育て支援をしてもらっていると「感じたことがある」と回答した割合は、就学前児童が72.2%、小学生が57.5%となっています。就学前は調査毎に上昇していますが、小学生は前回調査から4.1ポイント低下しています。支援を感じた内容としては、行政や事業所が実施するサービスに加え、小学生では職場や見守りボランティアなどに関する内容が多数あげられています。

図表4-28 子育て支援を感じたことがあるか

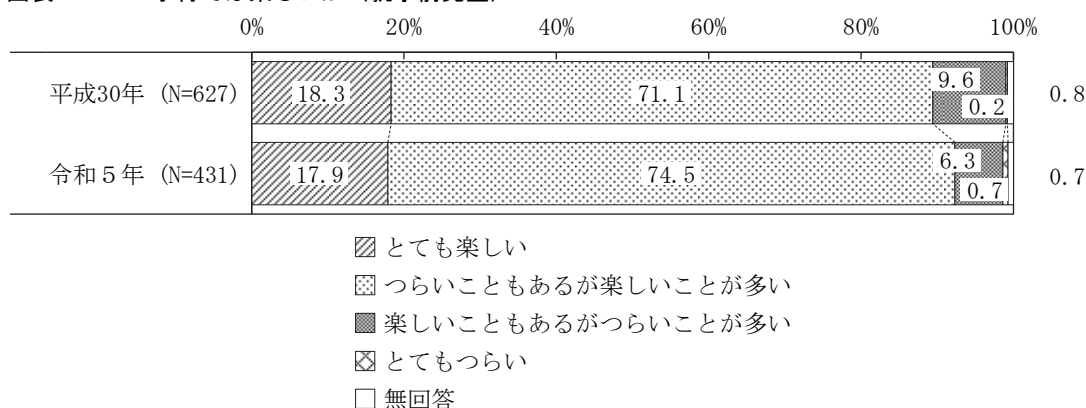


(3) 子ども・子育て支援の参考指標

① 子育ては楽しいか

子育ては楽しいかたずねた設問に対しては、「とても楽しい」は前回調査より 0.4 ポイント低下していますが、「つらいこともあるが楽しいことが多い」が高くなり、合計した<楽しい>は 3.0 ポイント高くなり、「楽しいこともあるがつらいことが多い」「とてもつらい」を合計した<つらい>は 2.8 ポイント低下しています。

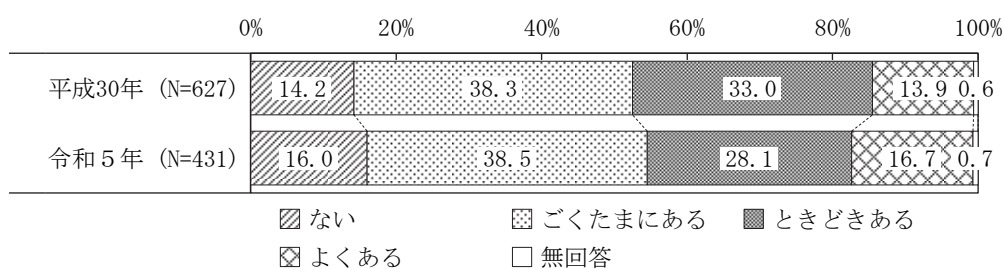
図表 4-29 子育ては楽しいか（就学前児童）



② 子育てに自信が持てなくなることがあるか

子育てに自信が持てなくなることがあるかたずねた設問に対しては、「ない」が 1.8 ポイント高くなった反面、「よくある」が 2.8 ポイント高くなっています。

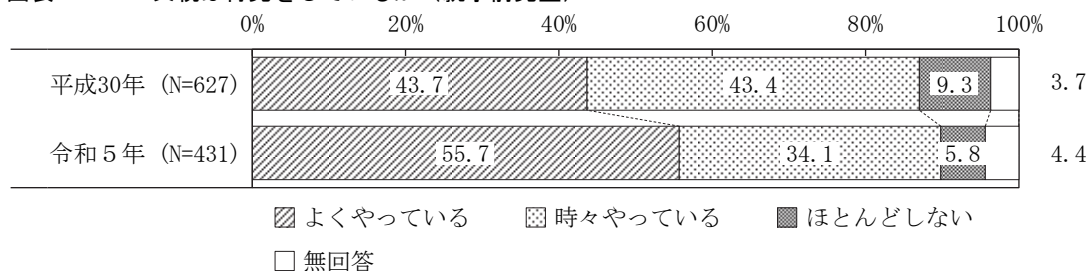
図表 4-30 子育てに自信が持てなくなることがあるか（就学前児童）



③ 父親は育児をしているか

父親は育児をしているかたずねた設問に対しては、「よくやっている」が 12.0 ポイント上昇しています。

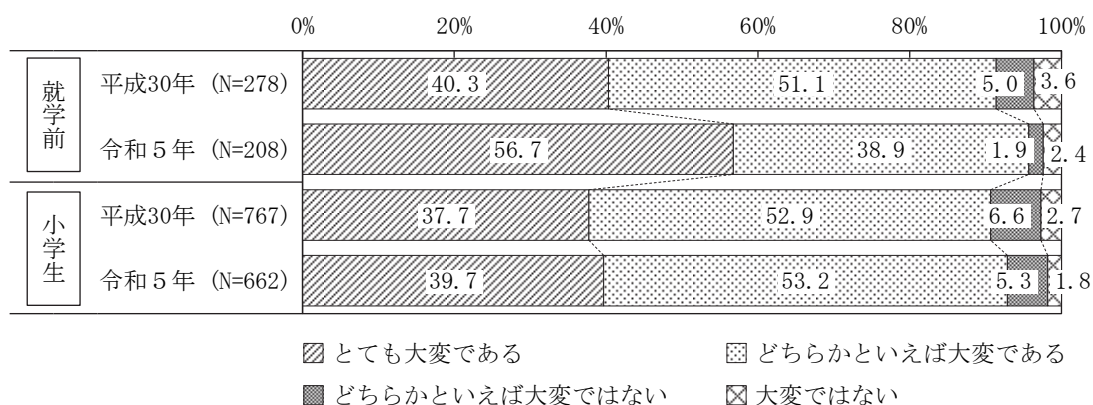
図表 4-31 父親は育児をしているか（就学前児童）



④ 仕事と子育ての両立

子育てをしながら就労している母親に、仕事と子育ての両立は大変かたずねた設問に対しては、就学前児童の「とても大変である」が16.4ポイント高くなっています。小学生は2.0ポイント高くなっています。

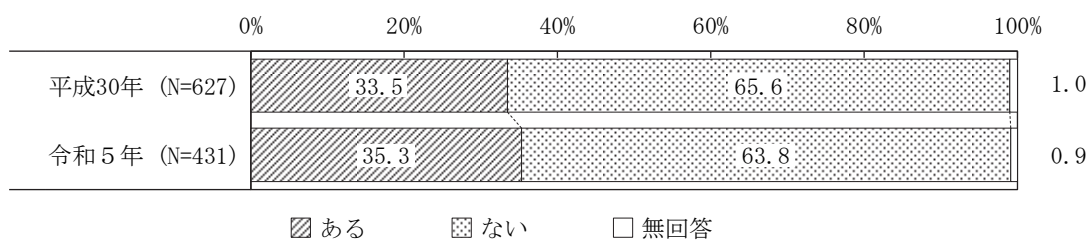
図表4-32 仕事と子育ての両立（働いている人のみ）



(4) 産後うつ（就学前児童）

35.3%の母親が、これまでに産後うつを感じたことが「ある」と回答しており、前回調査に比べると、1.8ポイント高くなっています。

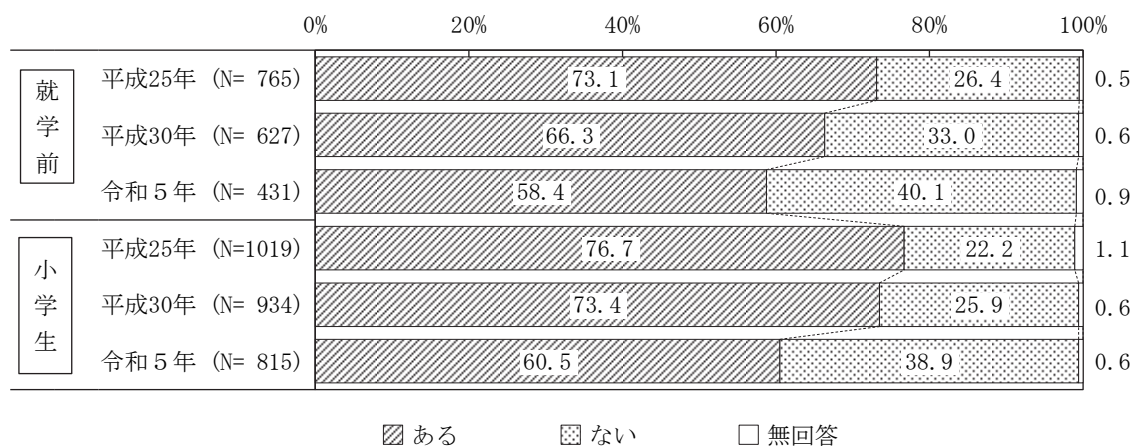
図表4-33 産後うつを感じたことがあるか（就学前児童）



(5) 子どもへの暴力

子育てのストレスなどから、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことがあるかたずねたところ、「ある」は、就学前児童が58.4%、小学生が60.5%となっています。これまでの調査と比べると、「ある」の割合は調査毎に低下してきています。

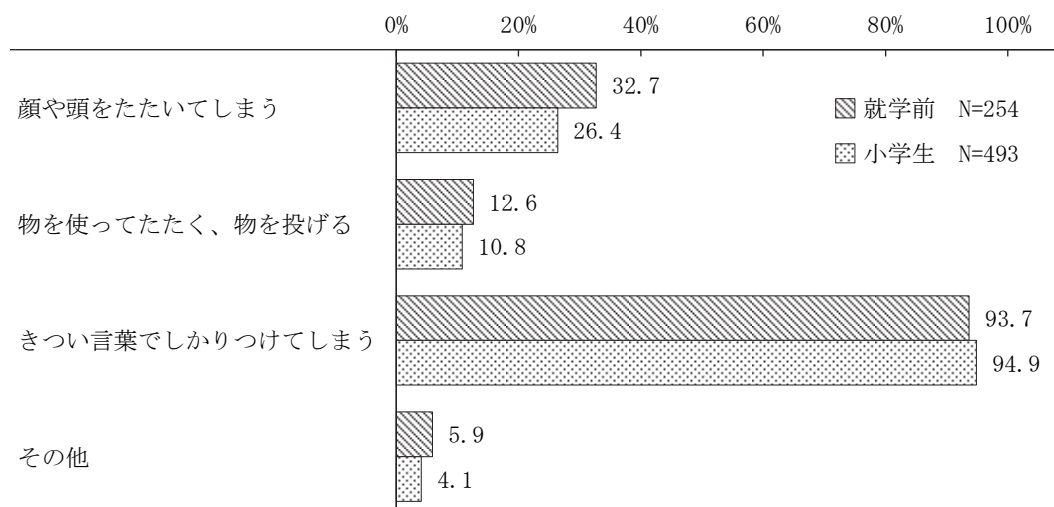
図表4-34 子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったこと



(6) 子どもへの暴力の内容

(5)で「ある」と答えた人の具体的な行動としては、90%以上の人が「きつい言葉でしかりつけてしまう」をあげています。「顔や頭をたたいてしまう」も30%を超えています。

図表4-35 子どもへの暴力の内容（複数回答）



(7) 子どもの数の理想と現実

理想の子ども数は、就学前児童2.7人、小学生2.6人となっています。これに対して現実の子ども数は、就学前児童が2.2人、小学生が2.3人となっています。理想と現実の差は就学前児童が0.5人、小学生が0.3人となっています。これまでの調査と比べると、就学前児童の理想の子ども数が0.1人多くなっていますが、その他は変化していません。

図表4-36 子どもの数の理想と現実

単位：人

区 分	就学前児童			小学生		
	理 想	現 実	回答者の 子ども数	理 想	現 実	回答者の 子ども数
平成25年	2.6	2.2	—	2.6	2.3	—
平成30年	2.6	2.2	2.1	2.6	2.3	2.3
令和5年	2.7	2.2	2.1	2.6	2.3	2.3

9 ヤングケアラー

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかたずねたところ、「聞いたことがあり、内容も知っている」は、中学生が24.0%、15～18歳が52.3%です。全国と比べると本町の認知度が非常に高くなっていますが、これは、調査方法の違いも考えられますが、全国は3年前の調査であることが大きいと推測されます(図表4-37)。

お世話をしている家族の有無については、全国に比べると、中学生、高校生ともに本町が低くなっています(図表4-38)。なお、世話を必要としている人は、親が17人、きょうだいが8人、祖父母が2人でした。

自分がヤングケアラーに該当するかについては、中学生は本町が高く、高校生は全国が高くなっています。全国は「わからない」が高くなっています(図表4-39)。

図表4-37 ヤングケアラーの認知度

単位：%

区 分		聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはある が、よく知らない	聞いたことはない	無回答
池田町	中学2年生	24.0	20.4	54.6	1.0
	15～18歳(高校 生相当)	52.3	20.5	26.9	0.4
全 国	中学2年生	6.3	8.8	84.2	0.6
	全日制高校2 年生相当	5.7	6.9	86.8	0.6

資料：全国は令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」web上で回答

図表4-38 世話をしている家族の有無

単位：％

区 分		いる	いない	答えたくない	無回答
池田町	中学2年生	4.1	92.9	0.5	2.6
	15～18歳（高校生相当）	3.4	94.7	0.8	1.1
全 国	中学2年生	5.7	93.6		0.6
	全日制高校2年生相当	4.1	94.9		0.9

資料：図表4-37と同じ。

図表4-39 ヤングケアラーに該当すると思うか

単位：％

区 分		該当すると思う (あてはまる)	該当しないと思う (あてはまらない)	わからない	無回答
池田町	中学2年生	2.6	88.3	8.2	1.0
	15～18歳（高校生相当）	1.5	88.3	9.1	1.1
全 国	中学2年生	1.8	85.0	12.5	0.7
	全日制高校2年生相当	2.3	80.5	16.3	0.8

資料：図表4-37と同じ。

10 結婚観等

将来結婚したいと思うかという設問については、「したい」「どちらかと言えばしたい」を合計した＜結婚したい＞は、本町、全国ともに63～67%台です（図表4-40）。

将来、子どもを持ちたいと思うかという設問については、「持ちたいと思う」「どちらかと言えば持ちたいと思う」を合計した＜持ちたい＞は、本町の男性が59.7%、女性が58.7%と性差はみられませんが、全国は男性が61.1%、女性が55.8%と男性が女性を5.3ポイント上回っています（図表4-41）。

図表4-40 将来結婚したいと思うか

単位：％

区 分		したい	どちらかと言 えばしたい	どちらかと言 えばしたくない	したくない	わからない	考えたこと がない	
池田町	全体	44.3	20.8	9.5	5.3	15.9	4.2	
	15～18歳 (高校生相当)	男性	44.4	23.4	4.8	6.5	14.5	6.5
		女性	44.2	18.8	13.8	3.6	17.4	2.2
全 国	全体	43.8	21.7	8.2	9.2	8.7	8.4	
	17～19歳	男性	45.3	21.1	7.1	8.5	7.3	10.7
		女性	42.2	22.2	9.4	10.0	10.0	6.0

資料：全国は「18歳調査」第52回－価値観・ライフデザイン－報告書、日本財団、令和5年1月、web調査

図表4-41 子どもを持ちたいと思うか

単位：%

区 分		持ちたい と思う	どちらか と言え ば持ち たいと 思う	どちらか と言え ば持ち たく ない と思 う	持ちたく ないと思 う	わからな い	考えたこ とがない	無回答
池田町 15～18歳 (高校生相当)	全体	38.6	20.8	5.3	9.5	18.2	7.2	0.4
	男性	37.9	21.8	2.4	10.5	17.7	8.9	0.8
	女性	39.1	19.6	8.0	8.7	18.8	5.8	-
全 国 17～19歳	全体	35.7	22.9	8.6	12.6	11.3	8.9	
	男性	35.9	25.2	7.7	10.1	10.3	10.7	
	女性	35.4	20.4	9.6	15.2	12.3	7.1	

資料：図表4-40と同じ。

将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものについては、本町、全国ともに「金銭的な負担」が60%台と最も高く、次いで「仕事との両立」となっています（図表4-42）。

図表4-42 子どもを持つにあたって障壁となるもの（複数回答）

単位：%

区 分		金銭的な負担	仕事との両立	時間的な負担	精神的な負担	身体的な負担	特にな い	その他	無回 答
池田町 15～18歳 (高校生相当)	全体	66.7	43.2	33.0	37.1	21.2	10.6	1.5	0.8
	男性								
全 国 17～19歳	全体	69.0	54.3	41.2	29.8	27.8	4.9	0.2	
	男性								

資料：図表4-40と同じ。

11 考 察

(1) 就労している母親の増加

令和5年の就労している母親（フルタイム、パート・アルバイト、育休・介護休業中）の割合は、就学前児童は80.9%となっており、5年前の平成30年と比べると8.9ポイント、10年前の平成25年と比べると14.9ポイント高くなり、上昇を続けています。小学生は86.7%となっており、平成30年とくらべると、わずかに0.8ポイント低くなっていますが、平成25年と比べると7.0ポイント高くなっています。小学生以下の子どもを持つ母親の80%以上が就労していることとなります。

育児休業の取得割合も高くなっています。

これらは、男女共同参画社会の促進、子ども・子育て支援に係る制度の充実、社会保障制度の見直し、働き方の見直し、人手不足による女性の労働力への需要の増大などが要因として考えられます。

このような背景のもと、幼稚園、保育園、認定こども園などを利用する割合、特に0～2歳の利用割合が高くなってくると予測されます。このようなサービス利用率の上昇と、同時に急激な出生数の減少を踏まえて、必要なサービスの確保・見直しを行っていく必要があります。

(2) 父親の子育て意識等の変化

父親の子育てについての意識、取組について、変化が見えてきています。例えば、「父親は育児をしているか」という設問に対して、「よくやっている」という回答が55.7%と高くなっています。主に子育てをしている人としては「主に母親」が低下し、「父母ともに」が高くなっています。また、これまでほとんど取得していなかった父親の育児休暇の取得にも、わずかではありますが動きが見え始めています。一方で、80%以上の育児休暇を「取得していない」と回答した父親の多くが「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と回答しており、職場環境の更なる改善が求められます。

(3) 子ども・子育て支援の評価

子育ての環境や支援への満足度については、これまでの調査と比べると、わずかですが平均点数では低くなっています。

一方、地域、園、学校、職場、行政の関係施設などにおいて、子育て支援をしてもらっていると「感じたことがある」保護者は、就学前児童では72.3%となっており、調査毎に上昇しています。小学生は57.5%と前回調査に比べて4.1ポイント低下しており、要因について把握していく必要があります。

支援してもらっていると感じたこととしては、医療費の無料化、児童手当などの経済的支援もさることながら、子育て支援センター、保健センター、園、ことばの教室などにおける相談、話せる場の提供が多数記載されており、専門的な相談体制の充実、気軽に相談できる場、居場所づくりなどを引き続き推進していく必要があります。また、職場における子育て支援も多数あげられており、子育て支援サービスと相まって仕事と子育ての両立支援を推進していく必要があります。

(4) 主なサービスの評価・ニーズ

サービスごとに多くの感謝の言葉が寄せられた一方、様々な要望が記載されており、これらに対応する改善や説明・情報提供を行っていく必要があります。

① 幼稚園、保育園、認定こども園

子育て支援事業等について、改善してほしいこと、利用してよかったことについて記述された件数をみると、幼稚園・保育園・認定こども園については、改善してほしいこと63件、利用してよかったこと106件という多くの意見が寄せられています。

利用してよかったこととしては、子どもの成長、保育士等の対応、長時間保育や一時保育などが多数あげられています。

改善してほしいこととしては、保育士等の対応、保育時間の延長、保育内容の充実、保育料軽減・無料化、保護者の負担軽減などに関する要望等が記載されており、これらに対応する改善や情報提供を検討していく必要があります。

② 病児・病後児保育

安心して仕事に行くことができるということからニーズの高いサービスといえます。利用定員の増、web等による予約、診断書等の書類、利用料などに関する要望が記載されており、利便性の向上、利用者負担の軽減などが求められています。

③ 保健センター

よかったこととしては、各種健診、予防接種などの事業と、それらを通じた相談、ア

ドバイスがあげられています。改善してほしいこととしては、施設のトイレ・照明の改善または新設、保健師等の対応、予約、利用時間・曜日等について要望が記載されており、事業ごとの見直し、施設の改善等について検討していく必要があります。

④ 学校

よかったこととしては、教職員、少人数、発達支援などがあげられています。改善してほしいこととしては、教職員、授業・指導、タブレット、連絡・情報提供、いじめ、PTA・学校行事、登下校、服装、統廃合・クラス分けなどに関する要望が多数記載されています。いじめ、子どもの安全などは、この計画としても検討が必要です。また、同時に、教職員の働く環境の改善、教職員への支援が必要です。

⑤ 放課後児童クラブ

利用してよかったこととしては、活動内容・イベント、指導員、長期休暇の利用、安全・安心などに関する内容が多数あげられています。改善してほしいこととしては、利用条件、預かり時間、指導員、活動内容、おやつ・弁当、利用料、施設・環境などに関する要望等が多数記載されています。

放課後児童クラブの利用対象は1年生から6年生までとなっていますが、5・6年生の利用が十分に対応できていない現状から、長期休暇期間中の利用を含め、受け入れ体制の充実が求められます。

⑥ 児童館

利用してよかったこととしては、職員の対応、楽しく遊べる、イベントなどが記載されています。改善してほしいこととしては、開館日、利用時間、職員対応等についての要望等が記載されており、休日の開館について検討していく必要があります。

(5) 児童虐待の防止等

子育てのストレスなどから、子どもに手をあげてしまう、あるいは手をあげそうになったことが「ある」と回答したのは就学前児童が58.4%、小学生が60.5%となって調査毎に低下してきています。

子どもへの虐待に関する痛ましい報告が後を絶たない状況の中、本町においても早期の気づきと対応ができるよう、相談体制の充実とともに、関係機関との連携、情報の共有などを図っていく必要があります。

(6) 少子化対策について

子ども・子育て支援は、子どもの育ちと、家族の子育てを支援するものには違いありませんが、その根本には子どもを増やしたいというねらいがあります。

アンケートでは、理想の子ども数の2.6～2.7人に対し、現実の子ども数は2.2～2.3人となっています。全国の子ども数は減少の一途をたどっており、本町においても出生数が減少してきています。出産・子育ては個人の自由な選択によるものであることは当然ですが、中長期を含めた少子化施策について検討していく必要があります。

子ども・若者が少子高齢化について、どう感じるかをたずねた設問では、「非常に危機感を感じる」「やや危機感を感じる」を合計した＜危機感を感じる＞は、中学生が62.0%、15～18歳が76.9%となっており、リプロダクティブ・ヘルス/ライツはもちろん、少子化の現状や課題など、子ども・若者に様々な情報を提供していくことも必要です。

(7) 子ども食堂、学習支援等について

子ども食堂は地域の子どもたちに無料または低額で食事を提供する取組です。その始まりは貧困家庭の子どもへの支援といわれますが、現在は、全ての子ども、高齢者を含めるなど、地域づくりや食育（共食）の一環として全国に広がっています。月に1～2回程程度の開催が多くなっていますが、開催回数、参加者、開催場所、運営方法などは様々です。

また、学習支援（寺子屋など）は、教師OB等のボランティアによる、小中学生などを対象とした学習支援活動です。町内では、1か所、第2・第4土曜日に、保護者が送迎できる小中学生を対象として開催されています。

全てのこどもを対象とする池田っ子チャレンジ教室は、各学校区で年間1回の教室が行われています。

アンケートでは、子ども食堂の認知度、参加意向は前回調査を大きく上回っており、更なる展開が期待されます。また、学習支援の参加意向は前回調査からわずかに低下しましたが、43.9%という高い割合となっています。池田っ子チャレンジ教室も利用意向は前回調査を上回っています。

地域住民、ボランティア、社会福祉法人などとの連携を図り、地域の福祉力を高める中で取組を推進していく必要があります。

(8) 子どもが安全に安心してインターネットを利用できる環境整備

パソコン、タブレット、スマートフォンなどによるインターネット利用が急速に広まる一方で、他人への誹謗中傷、個人のプライバシーに関する情報の無断掲示など、人権やプライバシーの侵害につながる行為が急増しています。また、学校裏サイトやネットいじめが社会問題となっています。

直近1年以内のインターネット利用による何らかのトラブルがあったのは、中学生が6.1%、12人、15～18歳が14.1%、37人です。

社会の情報化が進展する中、子どもが情報活用能力を身に付け、情報を適切に取捨選択して利用するとともに、インターネットによる情報発信を適切に行うことができるようにすることが重要な課題となっています。また、情報の収集・発信における個人の責任や情報モラルについて理解させるための教育の充実、いじめやトラブルに対応できるよう相談体制の充実、窓口の周知を図る必要があります。

(9) 複合化・複雑化する支援ニーズへの対応

本来おとなが担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆるヤングケアラーは、中学生の2.6%、5人、15～18歳の1.5%、4人が該当すると答えています。世話をしている家族がいるのは、中学生の4.1%、8人、15～18歳の3.4%、9人となっています。

また、育児と親などの介護を一人が同時期に抱えるダブルケア、子どもの貧困などの問題もあり、福祉課題は複雑化・複合化してきています。これらの課題に対応するためには、子ども・高齢者・障がい者などの対象者別、介護・虐待・生活困窮などのリスク別といった枠を超えて、包括的な支援体制の構築が必要であることから、重層的な相談・支援体制の構築を図っていくことが求められます。

(10) 感染症等への対応

新型コロナウイルス感染症の影響についての設問では、就学前児童の49.4%、小学生の59.0%が「こども本人が感染した」と答えており、就学前児童の49.2%、小学生の52.6%が「同居家族が感染した」と答えています。

子どもが病気やケガで園や学校などを休んだことが「あった」と答えているのは、就学前児童が84.8%、小学生が84.9%となっており、これまでの調査と比べると、「あつ

た」は就学前児童が5ポイント以上、小学生が15ポイント以上高くなっており、新型コロナウイルスの流行による影響が大きいと考えられます。

感染によりサービスが利用できなくなった場合には、仕事を休んで親などが看なければなりません。今後も感染症や災害が発生することが考えられることから、サービスの提供が継続できるよう、また、早期にサービス提供が再開できるよう、事業継続計画（BCP）に基づく研修、訓練等が必要です。

(11) 子ども・若者の居場所づくり

学生、若者にとって、あるといいと思う施設や居場所（現在利用している施設等も含む）についてたずねた設問では、「図書館・自習室」「集まれる場」「スポーツ施設」「娯楽施設」「公園」などが多数記載されていました。

このうち、「図書館・自習室」「集まれる場」が非常に多くなっています。就学前児童や小学生については、児童館がありますし、先に示した子ども食堂や寺子屋も居場所の一つと言えますが、特に中・高生など若者の居場所について検討していくことは必要です。家庭、学校以外で、勉強だけでなく、一人で、または仲間と安心して過ごせる居場所が求められています。

なお、就学前児童、小学生の保護者が重点的に取り組んでほしい施策の具体的内容としては、公園・児童館を含む「遊び場の充実」が多数記載されており、重要施策の一つと言えます。

池田町子ども・子育て支援事業計画二一ズ調査報告書

令和6年3月

発行 ◆ 池田町

編集 ◆ 池田町役場 民生部 子育て支援課

〒503-2492

岐阜県揖斐郡池田町六之井1468-1

TEL 0585-45-3111 FAX 0585-45-8314
